

授業評価 2022

—学生による授業評価報告書—

【2022年度新規開設科目】

2023年3月



授業評価 2022
— 学生による授業評価報告書 —
【2022 年度新規開設科目】

<u>I. 「学生による授業評価 2022」の概要</u> -----	1
I-1. 目的	
I-2. 構成と内容	
I-3. 方法と期間	
I-4. 時系列分析	
I-5. 回答者の特性	
I-6. 評価結果の提供と公表	
I-6-1. 評価結果の提供	
I-6-2. 評価結果の公表	
I-7. その他	
<u>II. 評定尺度調査の分析結果</u> -----	21
II-1. 学部の分析結果	
II-1-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-1-2. 学習への取組み姿勢	
II-1-3. 学部の授業評価	
II-1-4. 学部の重回帰分析	
II-2. 大学院の分析結果	
II-2-1. 項目平均から見た全体的傾向	
II-2-2. 学習への取組み姿勢	
II-2-3. 大学院の授業評価	
II-2-4. 大学院の重回帰分析	
<u>III. 自由記述のまとめ</u> -----	122
III-1. 学部（放送授業）	
III-2. 学部（オンライン授業）	
III-3. 大学院（放送授業）	
III-4. 大学院（オンライン授業）	
<u>付録</u> -----	227

2022 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

I. 「学生による授業評価 2022」の概要

I-1. 目的

本学では、授業に関する学生の理解の状況や満足感・充実感等を把握することによって、教育内容や教授方法、講義資料及び学習支援システム・施設等の改善に資することを目的とし、2005年度より自己点検・評価の一環として学生による授業評価を導入した。本年度は、第18回目となり、例年の通り2022年度に新規開設した科目を評価の対象とした。

以下、その量的分析結果及び自由記述の内容を報告する。

学生による授業評価は、個々の科目に対する学習者の視点からの具体的で詳細なフィードバックを得ることを企図して実施される調査である。その主な目的は、次の通りである。

- (1) 個別授業科目の改善支援……個々の科目を受講者がどのように学習し、どう評価しているかを項目ごとに把握することにより、次の科目改訂等に際して改善すべき点の発見を容易にするような資料を提供する。
- (2) カリキュラム全体の改善支援……コースまたは領域、プログラム（群）における、より効果的なカリキュラム構成や水準のバランス等を検討する上での有効な資料を提供する。
- (3) 認証評価に関わる資料提供……大学に対して社会的に強く求められている定期的な認証評価に際しての重要な資料を提供する。

しかし、一般の大学とは異なり、放送大学においては授業評価の結果をそうした目的にストレートに用いることが必ずしも容易ではない。そこには、次のような放送大学に固有のいくつかの条件と特殊事情があり、結果の利用には一定の留保が求められることになるからである。

第1に、放送大学では、収録された放送授業を4年間継続して放送する原則になっていることである。そのため、たとえ授業評価で改善点が明確に示唆されたとしても、即座にそれを改善する（つまり、評価の次年度に改訂版を収録する）ことが非常に難しいのである。

第2に、放送大学の主任講師は半数程度が客員教員であり、その場合、必ずしも科目の改訂を同一教員がするとは限らないことである。主任講師が交代すると、科目の内容や構成が変わってしまう場合があるため、前科目に対する評価は往々にして参考程度の意味しか持たないことになるのである。

第 3 に、放送大学は公開大学であり学部には入学試験がないこともあって、他の一般大学に比して学生集団は多様で流動的であり、そこに一定のまとまった特性を求めることは難しい。授業評価で得られた結果も他の大学よりはるかに分散が大きいことが容易に予想される。したがって、たとえ結果を得たとしても、どの層の学生をターゲットとして授業改善をしていったらよいのか、必ずしも明確ではないのである。事実、過去の数次にわたる授業調査で毎回見られることであるが、例えば、「放送授業と印刷教材はできるだけ同一の内容に」と「放送授業と印刷教材の内容が同じでは別の教材である意味がない」とは、常に同じくらい多く書かれる意見である。もちろん、そうした意見の平均や中間点を採用してもあまり意味がないことは言うまでもない。

そして、第 4 に、放送大学は教員の 5 年任期制を採っており、再任のためには 5 年ごとの内部審査の通過が必要とされることである。そのため、個々の教員の評価にストレートに結びつきがちな授業評価の実施に対しては、当初より慎重論も決して少なくなかった。したがって、上述した第 3 の特性を持つ授業評価に関しては、授業改善あるいはカリキュラム改善のためにのみ結果を用いる、という確たる合意が必要とされるのである。

I-2. 構成と内容

本学生による授業評価調査（放送授業）は、大きく分けて 3 つの部分からなっている。

第 1 は、当該科目への取組姿勢、放送授業、印刷教材、単位認定試験等について 4 段階で評価する評定尺度質問である。その内容は、①当該科目にどれだけ熱心に取り組んだかを示す回答者自身の自己評価と、②授業の難易度・分量、放送授業、印刷教材、通信指導・単位認定試験および全体的に見た授業評価の 2 つに分かれる。

第 2 は、当該科目のよかった点、改善すべきだと感じた点、本学の教育システム全般への意見に関する質問であり、自由に記述してもらう形態を採った。

そして、第 3 は回答者の属性に関する質問である。

実際に使用した調査票については 14,15,16 頁と 19,20 頁を参照されたい。

I-3. 方法と期間

評価の対象としたのは、2022 年度第 1 学期に本学で開講していた放送授業のうち、本年度に開設した科目及び前年度第 2 学期に開設した科目（開講 1 年目の科目）、学部 52 科目（オンライン授業 4 科目を除く）、大学院 11 科目（オンライン授業 2 科目を除く）、計 63 科目である（表 1-1 参照）。このような選定システムにすることで、開設後 4 年間継続して放送することとされている全科目が、開講期間中に必ず 1 回授業評価の対象とされることになる。

表1-1 コース・プログラム別の評価対象科目数および有効回答数（オンライン授業を除く）

【学部】					【大学院】				
コース	科目数		有効回答		プログラム	科目数		有効回答	
	2022年度		2022年度			2022年度		2022年度	
	全開設	評価対象	人数	構成比		全開設	評価対象	人数	構成比
基盤科目(一般科目)	5	5	1178	19%	生活健康科学	2	2	76	23%
基盤科目(外国語)	2	2	345	5%	人間発達科学	1	1	26	8%
生活と福祉	6	6	1154	18%	臨床心理学	1	1	38	11%
心理と教育	7	7	1070	17%	社会経営科学	4	4	84	25%
社会と産業	12	12	708	11%	情報学	1	1	28	8%
人間と文化	7	7	661	11%	人文学	2	2	80	24%
情報	6	6	450	7%	全体	11	11	332	100%
自然と環境	3	3	262	4%					
看護師資格取得	1	1	105	2%					
夏季集中科目	3	3	342	5%					
全体	52	52	6,275	100%					

※構成比は、四捨五入しているため、各項目を合計しても100%にならない場合がある。

2018年度より、教務情報システム（システムWAKABA）のアンケート機能を用いたオンライン調査とし、評価対象科目を受講した学部 33,595名、大学院 1,053名、計 34,648名（いずれも延べ人数）に対し、学内連絡及びメールにて周知を行い、実施した。

調査期間は第1学期単位認定試験終了後の7月26日から9月30日までの67日間とし、有効回答数は学部 6,275人、大学院 332人、計 6,607人であった。無記名調査ながら、有効回答率は学部 18.7%、大学院 31.5%、全体で 19.1%と、2021年度の有効回答率（2021年度新規開設科目学部 18.3%、大学院 27.4%、全体 18.6%）と比較すると学部、大学院共に有効回答率が上昇していた。

※オンライン授業を除く

表1-2 調査対象者数および有効回答率

	2022年新規開設科目			2021年新規開設科目			2020年新規開設科目		
	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率	対象者数	有効回答者数	有効回答率
学部	33,595	6,275	18.7%	42,584	7,783	18.3%	35,552	7,320	20.6%
大学院	1,053	332	31.5%	1,501	412	27.4%	650	223	34.3%
計	34,648	6,607	19.1%	44,085	8,195	18.6%	36,202	7,543	20.8%

I-4. 時系列分析

報告書の一部に過去2年度の調査との比較を掲載した。

本調査は原則として開講1年目の科目を対象とするため、調査対象科目は年度ごとに異なっているという事情がある。本来ならば、時系列分析は同一の科目同士あるいは同一科目から構成されるコース（プログラム）を比較対象としてこそ、その意義が発揮されるであろう。しかし、対象科目が異なるとはいえ、年度ごとに開設された放送授業の全体的な傾向及びその方向性を見る上では参考になると思われる。

I-5. 回答者の特性

(1) 回答者の属性分布と母集団との比較

※ pt:ポイント

(次頁表1-3)は、回答者の属性分布と母集団(全受講登録者)の属性分布を比較したものである。両者を比較して、回答者の属性分布と母集団の属性分布間に乖離がないか確認を行う。

学部では、男性は-4.6pt、女性は+4.6ptで母集団との差は、大きかった。

年齢階層別では19歳以下~40歳代までがマイナスで、20歳代(-11.7pt)と30歳代(-7.4pt)が、母集団との差が大きかった。

反対に母集団より高かったのは50歳代~70歳以上で、50歳代(+11.2pt)と60歳代(+9.8pt)が特に差が開いていた。

学生種別では全科履修生が+12.9pt、選科履修生が-6.1pt、科目履修生が-6.8ptと母集団との乖離が大きかった。

一方、大学院の性別では男性が-11.2pt、女性は+11.2ptで、学部と同様、母集団との差は大きかった。

年齢階層別では、20~40歳代までと60歳代~70歳以上が母集団より低くなっていた。

学生種別では修士全科生は母集団より16.3pt高く、修士選科生は逆に-15.4pt低かった。

表1-3 回答者の属性分布

【学部】

		2022年新規開設科目			2021年新規開設科目			2020年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	39.2%	43.8%	▲4.6pt	39.2%	38.3%	0.9pt	40.9%	39.7%	1.2pt
	女性	60.8%	56.2%	4.6pt	60.8%	61.7%	▲0.9pt	59.1%	60.3%	▲1.2pt
年齢 階 層 別	19歳以下	1.2%	3.3%	▲2.1pt	1.2%	1.3%	▲0.1pt	0.4%	1.2%	▲0.9pt
	20～29歳	7.7%	19.4%	▲11.7pt	7.7%	16.0%	▲8.3pt	6.5%	15.5%	▲9.0pt
	30～39歳	8.8%	16.2%	▲7.4pt	8.8%	14.4%	▲5.6pt	11.6%	17.5%	▲5.9pt
	40～49歳	21.9%	22.4%	▲0.5pt	21.9%	23.1%	▲1.2pt	24.0%	25.1%	▲1.1pt
	50～59歳	30.8%	19.6%	11.2pt	30.8%	23.8%	7.0pt	31.7%	23.1%	8.6pt
	60～69歳	21.3%	11.5%	9.8pt	21.3%	13.5%	7.8pt	18.3%	12.0%	6.3pt
	70歳以上	8.2%	7.6%	0.6pt	8.2%	8.0%	0.2pt	7.6%	5.7%	1.9pt
学生 種 別	全科履修生	81.3%	68.4%	12.9pt	81.3%	79.0%	2.3pt	71.8%	68.6%	3.2pt
	選科履修生	14.8%	20.9%	▲6.1pt	14.8%	17.5%	▲2.7pt	18.7%	20.6%	▲1.9pt
	科目履修生	3.9%	10.7%	▲6.8pt	3.9%	3.4%	0.5pt	9.5%	10.8%	▲1.3pt
人数 (N)		6,275	-	-	7,783	-	-	7,320	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にならない。

pt：ポイント

【大学院】

		2022年新規開設科目			2021年新規開設科目			2020年新規開設科目		
		回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差	回答者	母集団 (全受講 登録者)	母集団 との差
性別	男性	50.7%	61.9%	▲11.2pt	50.7%	50.0%	0.7pt	66.4%	62.4%	4.0pt
	女性	49.3%	38.1%	11.2pt	49.3%	50.0%	▲0.7pt	33.6%	37.6%	▲4.0pt
年齢 階 層 別	20～29歳	1.5%	5.0%	▲3.5pt	1.5%	4.5%	▲3.0pt	5.4%	6.3%	▲0.9pt
	30～39歳	10.4%	11.2%	▲0.8pt	10.4%	11.5%	▲1.1pt	11.2%	13.0%	▲1.8pt
	40～49歳	15.8%	18.2%	▲2.4pt	15.8%	21.0%	▲5.2pt	22.0%	24.1%	▲2.1pt
	50～59歳	38.6%	24.7%	13.9pt	38.6%	29.1%	9.5pt	29.1%	28.7%	0.4pt
	60～69歳	23.8%	26.4%	▲2.6pt	23.8%	21.9%	1.9pt	23.8%	20.6%	3.2pt
学生 種 別	70歳以上	10.0%	14.4%	▲4.4pt	10.0%	12.0%	▲2.0pt	8.5%	7.2%	1.3pt
	修士全科生	33.5%	17.2%	16.3pt	33.5%	14.1%	19.4pt	36.3%	39.5%	▲3.2pt
	修士選科生	58.3%	73.7%	▲15.4pt	58.3%	77.4%	▲19.1pt	54.3%	53.0%	1.3pt
修士科目生	8.3%	9.1%	▲0.8pt	8.3%	8.5%	▲0.2pt	9.4%	7.4%	2.0pt	
人数 (N)		332	-	-	412	-	-	223	-	-

※回答者については、無回答があるため、合計は100%にならない。

pt：ポイント

以下、今回の評価結果を分析する上で、回答者の特性からみて留意すべき点を明らかにするために、回答者の属性についてさらに見ていくことにする。

(2) 年齢階層別の分布 (2022 年新規開設科目)

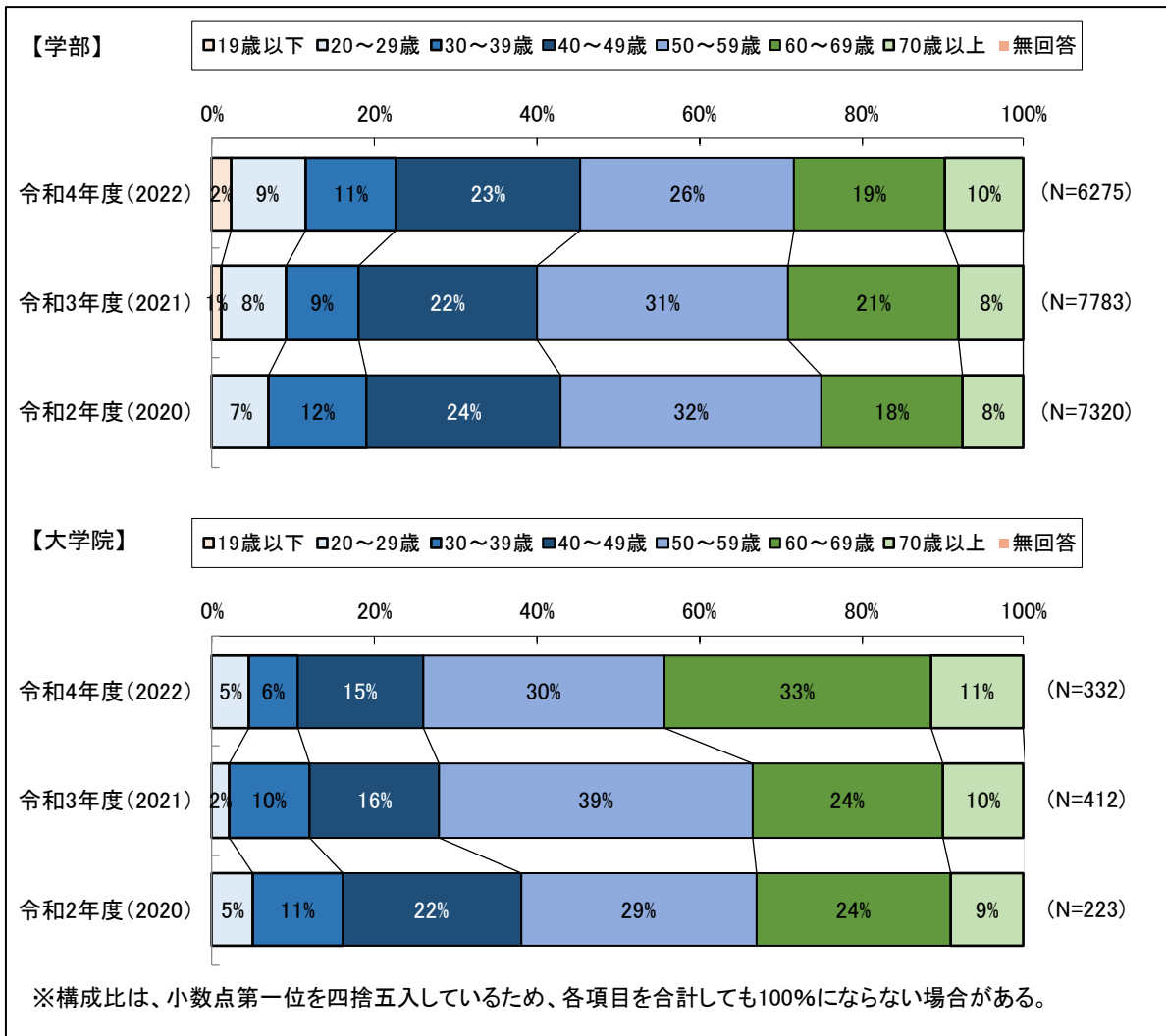
年齢階層別に本年度 (2022 年新規開設科目) の回答者の分布を見ると (図 1 - 1)、学部では 50 歳代が最も多く 26%、次いで 40 歳代 23%、60 歳代が 19% で、40 歳代から 60 歳代で約 7 割を占めていた。

昨年度と比べると、19 歳以下から 40 歳代、70 歳以上が増え、50 歳代から 60 歳代が減っていた。

大学院は学部とは異なり、60 歳代が最も多く 33% で、40 歳代から 60 歳代の構成比が高く、全体の約 9 割に達していた。

昨年度との比較では 50 歳代が減少し、60 歳代が増加していた。

図 1 - 1 年齢階層別回答者



(3) 性別の傾向（2022年新規開設科目）

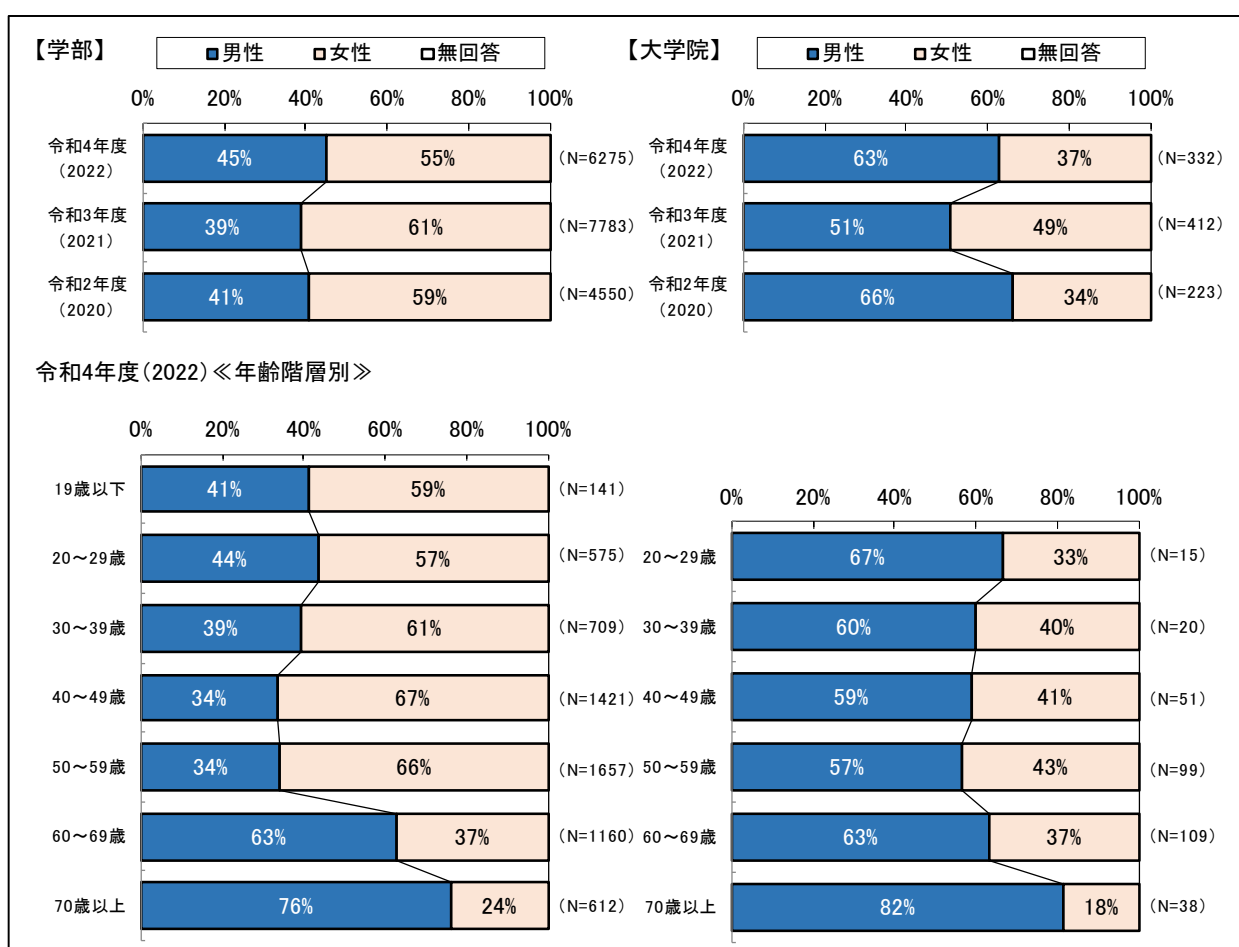
学部について、男女別全体では（図1-2）、「男性」は45%、「女性」は55%となり、今回は男性が増加していた。

年代毎の男女の構成を見ると、19歳以下から50歳代までは女性の割合が多く、逆に60歳代以上から男性が多くなり、70歳以上は男性が約8割を占めていた。

大学院では、「男性」63%、「女性」37%で、昨年度より男性が12ポイント増えていた。

年代別では70歳以上で、男性の割合が特に多く、8割以上を占めていた。

図1-2 性別回答者



(4) 職業別分布 (2022 年新規開設科目)

学部在籍者の職業は (図 1 - 3)、「会社員」が最も多く 22%、次いで「無職」(19%) 「パート・アルバイト」(15%) が続いている。

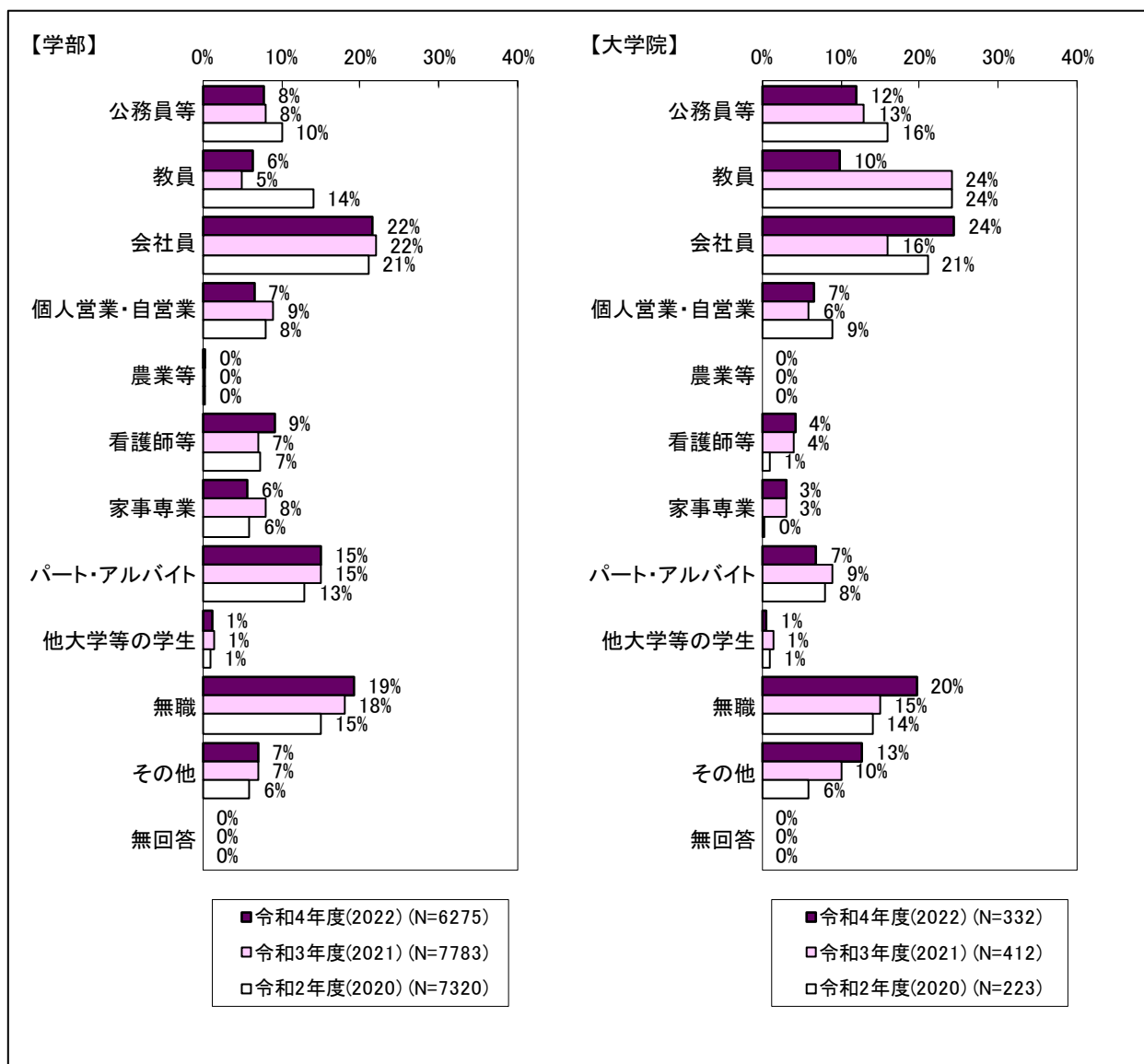
時系列で見ると、大きな変化は見られないが、昨年度と比べ、「看護師等(9%)」が 2 ポイント増、「個人営業・自営業(7%)」「家事専業 (6%)」が 2 ポイント減であった。

大学院では「会社員」が 24%と最も多く、次いで「無職 (20%)」、「その他 (13%)」が続いていた。

時系列で見ると、年々「無職」、「その他」が増加している一方、「公務員」については、減少傾向が続いていた。

なお、ここでの年齢別、性別、職業別の回答者の割合は、調査対象年度の科目による相違も影響しているので、放送大学の全学生の構成や時系列変化とは必ずしも同じではないことに注意されたい。

図 1 - 3 回答者の職業



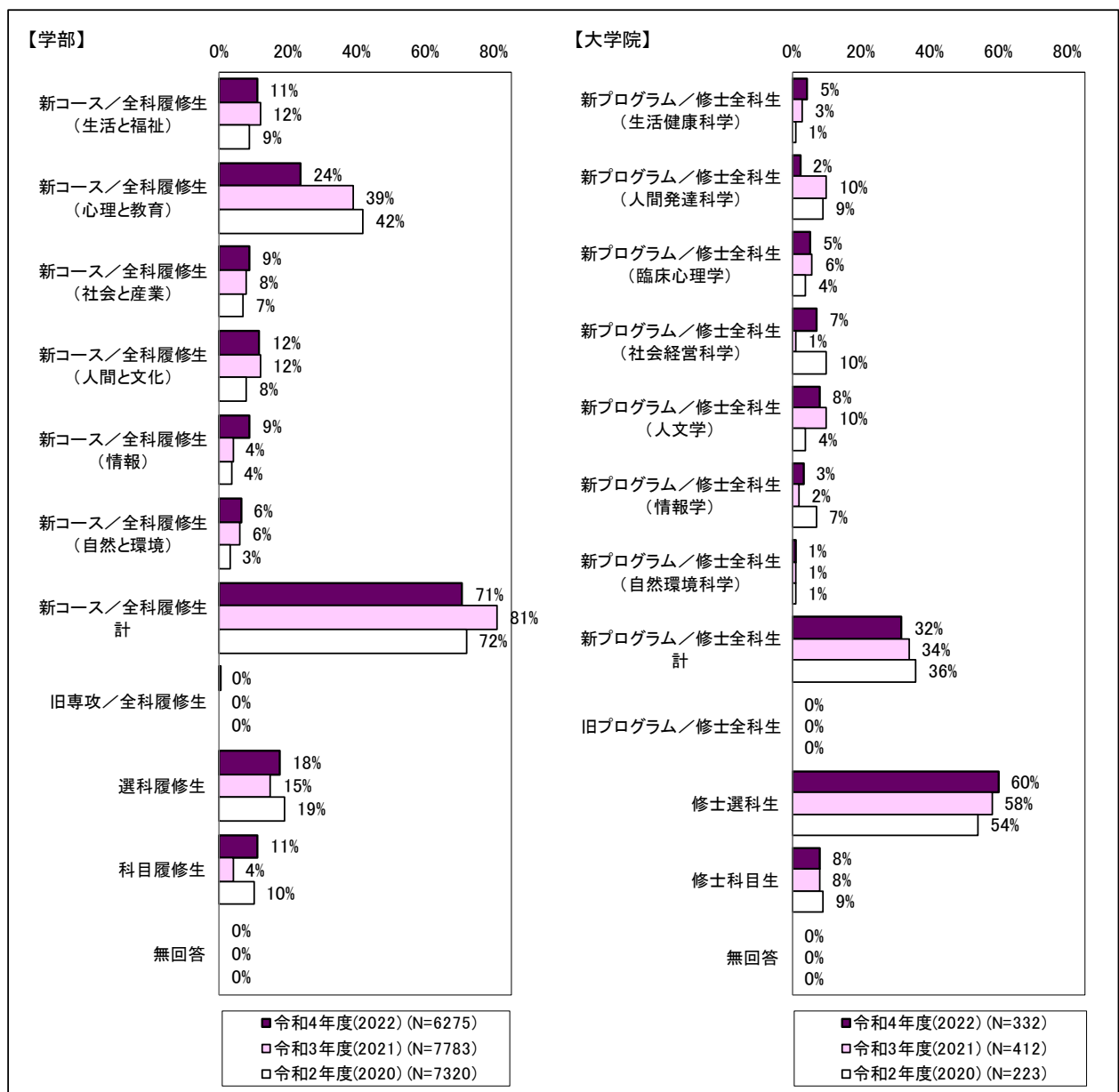
(5) 所属コース（プログラム）別分布（2022 年新規開設科目）

所属コース（プログラム）別の分布では（図1-4）、学部は全科履修生（新コース）が71%を占めているが、昨年度より10ポイント減少していた。その中では、「心理と教育（24%）」が昨年度より15ポイント近く減少していた。

大学院では修士選科生が60%を占めており、修士全科生（新プログラム）が32%、修士科目生が8%であった。

修士全科生の所属プログラムでは「人文学（8%）」と「社会経営科学（7%）」が上位であった。

図1-4 回答者の所属コース（プログラム）



I-6. 評価結果の提供と公表

I-6-1. 評価結果の提供

本授業評価は、先にも掲げたように「個別授業科目の改善支援」「カリキュラム全体の改善支援」「認証評価に関わる資料提供」という3つの大きな目的のもとに実施開始年度当初に企画された。また、当時の授業評価小委員会（以下「小委員会」という。）での検討の結果、得られたデータは次のように資料提供されることとなった。

- (1) 当該科目を担当した主任講師への提供……担当科目の詳細な評価結果を主任講師に提供する。担当科目の評価結果には、担当科目と比較可能な全科目平均等及び自由記述部分が含まれる。
- (2) コース主任及びプログラム・コーディネーターへの提供……全てのコース・プログラムに対して、その関係する資料一式を提供する。
- (3) 教授会及び教務委員会等関連委員会への提供……大学全体のカリキュラム編成に関しての検討や意思決定に際しての資料とするため、教授会及び各委員会に提供する。実際に主任講師等へ提供した個別科目に関する資料の内容は、12頁～20頁の「提供資料サンプル」に示した通りである。

I-6-2. 評価結果の公表

さて、収集された授業評価の結果は授業改善の目的で用いることに加えて、現在では大学の社会的責務として評価結果の公表を強く求められていることから、以下のことを基本的な方針とすることとしている。

(1) 公表への基本姿勢

授業評価の結果については、基本的にできる限り広く社会に提示することが必要である。放送大学に課せられた社会的使命、教育体系全体における位置付け、そして納税者国民への説明責任等を勘案するならば、言うまでもなくそれが理の当然である。そこで、当面は以下に示す形態で公表していくこととする。

(2) 公表する内容

以下のデータに関して公表することとする。

- ① 調査の概要 : 授業評価の目的、方法、実施時期、調査対象者数、調査票等
- ② 回答者の概要 : 基本属性別に見た有効回答者数
- ③ 評点平均 : 全対象科目を総計した結果について、回答者の属性別、科目の分野別、メディア別等の各設問の評点平均値
- ④ 自由記述の概略 : 特徴的・代表的な記述

(3) 公表の方法

(2)の内容について、放送大学ホームページ等で適宜公表することを基本とする。

I-7. その他

オンライン授業科目について

2015 年度から開設されたオンライン授業科目については、原則放送授業に準じた授業評価項目をアンケート調査することとしているが、次の理由により全体集計には入れず、「Ⅲ. 自由記述のまとめ」に当該科目の自由記述の集計等を参考情報として掲載するに留める。

- ・調査時期（4月5日～8月31日）が異なること
- ・放送授業と同様に調査できない項目が一部あること（例：印刷教材を作成していない）
- ・対象科目が少ない（学部4科目、大学院2科目）こと

提供資料サンプル【学部】

学部1 2022年度学生による授業評価の調査結果【2022年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

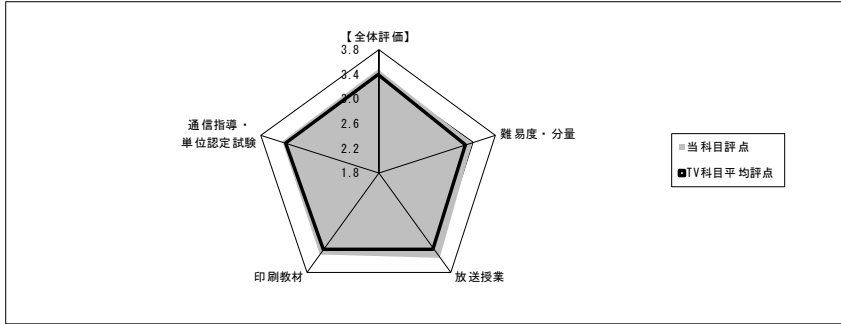
科目名（コード） ○○○○ (○○○○) 教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出。

1. 取組み姿勢

	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
取組姿勢	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	347	54%	39%	6%	1%	3.45	3.40	3.42	0.03
	A-2 放送授業を十分に視聴した	347	51%	32%	12%	4%	3.31	3.23	3.27	0.04
	A-3 印刷教材を熱心に学習した	347	51%	40%	9%	1%	3.40	3.36	3.38	0.02

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、TV科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	TV科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	347	49%	40%	10%	2%	3.36	3.21	3.24	0.12
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	347	54%	37%	8%	2%	3.43	3.29	3.31	0.12
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	347	48%	38%	11%	2%	3.33	3.22	3.25	0.08
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	347	52%	39%	8%	2%	3.40	3.29	3.31	0.09
授送	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	347	57%	34%	8%	1%	3.46	3.31	3.34	0.12
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	347	59%	34%	5%	1%	3.52	3.33	3.37	0.15
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	347	61%	28%	9%	3%	3.46	3.22	3.30	0.16
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	347	60%	31%	6%	2%	3.50	3.22	3.34	0.16
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	347	59%	33%	5%	2%	3.50	3.10	3.20	0.30
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	347	49%	43%	6%	2%	3.39	3.36	3.35	0.04
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	347	50%	41%	8%	2%	3.39	3.25	3.28	0.11
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	347	54%	39%	6%	1%	3.45	3.22	3.33	0.12
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	347	56%	36%	6%	2%	3.45	3.30	3.34	0.11
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	347	51%	42%	6%	2%	3.41	3.35	3.37	0.04
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	347	59%	35%	4%	2%	3.52	3.42	3.44	0.08
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を試すのにふさわしい内容だった	347	53%	38%	7%	2%	3.43	3.31	3.33	0.10
全体評価	B-17 授業科目内はこの科目の内容を知る上で役に立った	347	49%	38%	11%	2%	3.35	3.34	3.37	-0.02
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	347	58%	35%	6%	2%	3.49	3.40	3.42	0.07
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	347	68%	28%	3%	1%	3.63	3.53	3.56	0.07
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	347	48%	44%	6%	3%	3.37	3.22	3.26	0.11
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	347	63%	33%	4%	1%	3.57	3.37	3.40	0.17

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	全科履修生（新コース所属）						全科履修生（旧コース所属）	全科履修生【小計】	選科履修生	科目履修生	無回答	計
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境						
	75	118	31	40	12	17	0	293	38	16	0	347

性別	男性	女性	無回答	計
	131	216	0	347

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	32	37	36	71	89	56	26	0	347

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	20	6	68	32	1	40	25	54	13	60	28	0	347

通信指導・単位認定試験	単位認定試験 受験	通信指導 未提出	無回答	計
	320	4	5	347

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	27	67	253	0	347

2022年度学生による授業評価の調査結果【2022年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覽】

学部	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ										A-2 放送授業を十分に視聴した										A-3 印刷教材を熱心に学習した									
	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価	平均	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価	平均	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価	平均	回答数		選択肢別の回答割合・回答数		肯定評価	平均						
	4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答		4	3	2	1	無回答							
合計（全体）	6275	50%	41%	8%	1%	0%	91%	3.40	6275	46%	36%	14%	4%	0%	82%	3.23	6275	49%	40%	10%	2%	0%	89%	3.36						
	3160	2568	473	73	0	5729		2578	2240	896	261	0	5118		3075	2494	611	95	0	5569										
生活と福祉	691	49%	42%	8%	1%	0%	91%	3.40	691	45%	35%	16%	5%	0%	80%	3.20	691	47%	42%	10%	1%	0%	89%	3.35						
	341	291	54	5	0	632		308	243	109	31	0	55		324	292	66	9	0	616										
心理と教育	1495	52%	41%	6%	1%	0%	93%	3.44	1495	48%	35%	14%	4%	0%	82%	3.26	1495	51%	39%	8%	2%	0%	90%	3.40						
	779	607	91	18	0	1386		712	520	208	55	0	1232		768	583	119	25	0	1351										
社会と産業	561	48%	42%	8%	2%	0%	90%	3.36	561	45%	37%	14%	4%	0%	82%	3.23	561	48%	41%	9%	2%	0%	90%	3.36						
	268	238	46	9	0	506		252	209	78	22	0	461		271	232	49	9	0	503										
人間と文化	741	50%	40%	9%	1%	0%	90%	3.39	741	49%	36%	11%	5%	0%	84%	3.28	741	49%	39%	10%	2%	0%	88%	3.34						
	371	294	67	9	0	665		361	264	80	36	0	625		360	290	77	14	0	650										
情報	565	43%	47%	10%	1%	0%	89%	3.30	565	40%	37%	17%	6%	0%	77%	3.10	565	39%	46%	13%	2%	0%	85%	3.22						
	240	263	55	7	0	503		223	210	98	34	0	433		220	262	73	10	0	482										
自然と環境	402	50%	41%	8%	2%	0%	91%	3.38	402	51%	33%	11%	5%	0%	84%	3.31	402	43%	42%	13%	3%	0%	84%	3.25						
	199	165	31	7	0	364		205	133	46	18	0	338		172	167	53	10	0	339										
旧専攻所属	7	43%	29%	29%	0%	0%	72%	3.14	7	14%	29%	43%	14%	0%	43%	2.43	7	43%	43%	14%	0%	0%	86%	3.29						
	3	2	2	0	0	5		1	2	3	1	0	3		3	3	1	0	0	6										
全科履修生	4462	49%	42%	8%	1%	0%	91%	3.39	4462	46%	35%	14%	4%	0%	82%	3.23	4462	48%	41%	10%	2%	0%	89%	3.34						
【小計】	2201	1860	346	55	0	4061		2082	1581	622	197	0	3643		2118	1829	438	77	0	3947										
選科履修生	1111	50%	41%	8%	1%	0%	91%	3.41	1111	43%	36%	17%	4%	0%	78%	3.17	1111	51%	37%	11%	1%	0%	88%	3.37						
	560	456	83	12	0	1016		474	397	192	48	0	871		561	414	124	12	0	975										
科目履修生	702	57%	36%	6%	1%	0%	93%	3.49	702	49%	37%	12%	2%	0%	86%	3.32	702	56%	36%	7%	1%	0%	92%	3.48						
	399	253	44	6	0	652		342	262	82	16	0	604		396	251	49	6	0	647										
単位 受験	5760	52%	41%	7%	1%	0%	93%	3.44	5760	47%	35%	14%	4%	0%	83%	3.27	5760	50%	40%	9%	1%	0%	90%	3.39						
	2979	2355	384	42	0	5334		2732	2031	789	208	0	4763		2887	2296	518	59	0	5183										
単位 未受験	142	26%	50%	20%	4%	0%	76%	2.99	142	28%	40%	25%	7%	0%	68%	2.88	142	34%	42%	20%	4%	0%	76%	3.06						
	37	71	29	5	0	108		39	57	36	10	0	96		48	60	28	6	0	108										
単位 認定 試験 通信指導未提出	93	24%	31%	26%	19%	0%	55%	2.59	93	22%	33%	23%	23%	0%	55%	2.54	93	24%	26%	29%	22%	0%	50%	2.52						
	22	29	24	18	0	51		20	31	21	21	0	51		22	24	27	20	0	46										

(注) 1. 「選択肢別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査の選択肢「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選択肢「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として集計した。

2022年度学生による授業評価調査票（学部）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					

提供資料サンプル【学部】

(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につき視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

- (3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

提供資料サンプル【学部】

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>〔全科履修生 新コース所属の方〕</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>〔全科履修生 旧専攻所属の方〕</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>〔選科履修生・科目履修生〕</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

提供資料サンプル【大学院】

大学院1

2022年度学生による授業評価の調査結果【2022年度新規開設科目】（単純集計）

コース・プログラム等 ○○○○

科目名（コード） ○○○○

(○○○○)

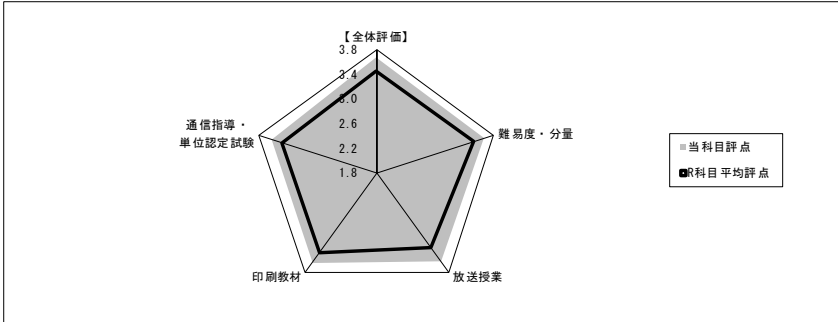
教員氏名 ○○○○

(注) 平均評点は、「あてはまる:4点」「ややあてはまる:3点」「あまりあてはまらない:2点」「あてはまらない:1点」として算出。

1. 取組み姿勢

取組み姿勢	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
A-1	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ	60	70%	25%	5%	0%	3.65	3.50	3.52	0.13
A-2	放送授業を十分に視聴した	60	65%	25%	8%	2%	3.53	3.36	3.39	0.14
A-3	印刷教材を熱心に学習した	60	55%	38%	7%	0%	3.48	3.44	3.46	0.02

2. 授業評価



	設問内容	有効回答	回答割合				平均評点			【当科目評点と、R科目平均評点との差】
			あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	当科目評点	全体平均評点	R科目平均評点	
難易度・分量	B-1 放送授業の難易度は適切だった	60	68%	30%	0%	2%	3.65	3.45	3.42	0.23
	B-2 放送授業の内容は適切な分量であった	60	70%	27%	3%	0%	3.67	3.50	3.49	0.18
	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	60	65%	32%	2%	2%	3.60	3.45	3.41	0.19
	B-4 印刷教材の内容は適切な分量であった	60	63%	32%	5%	0%	3.58	3.47	3.46	0.12
放送	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	60	75%	22%	2%	2%	3.70	3.46	3.45	0.25
	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	60	75%	25%	0%	0%	3.75	3.48	3.47	0.28
	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	60	55%	37%	3%	5%	3.42	3.26	3.21	0.21
	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	60	55%	35%	8%	2%	3.43	3.19	3.09	0.34
	B-9 ゲストや聞き手によって、理解が深まった	60	60%	27%	13%	0%	3.47	3.31	3.25	0.22
印刷教材	B-10 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった	60	67%	28%	5%	0%	3.62	3.43	3.45	0.17
	B-11 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	60	65%	32%	3%	0%	3.62	3.44	3.41	0.21
	B-12 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った	60	50%	45%	5%	0%	3.45	3.27	3.19	0.26
	B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた	60	70%	28%	2%	0%	3.68	3.48	3.46	0.22
通信指導・単位認定試験	B-14 通信指導のコメントは、納得のいくものだった	60	65%	30%	3%	2%	3.58	3.42	3.38	0.20
	B-15 通信指導は学習内容の理解に役立った	60	77%	18%	3%	2%	3.70	3.48	3.47	0.23
	B-16 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度を高めるのにふさわしい内容だった	60	62%	33%	2%	3%	3.53	3.38	3.37	0.16
全体評価	B-17 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	60	67%	30%	2%	2%	3.62	3.45	3.43	0.19
	B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	60	75%	23%	0%	2%	3.72	3.58	3.55	0.17
	B-19 新しい知識が身につく視野が広がった	60	75%	25%	0%	0%	3.75	3.61	3.58	0.17
	B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた	60	58%	38%	3%	0%	3.55	3.35	3.30	0.25
	B-21 この科目の内容には全体として満足している	60	77%	22%	0%	2%	3.73	3.52	3.47	0.26

3. 回答者の属性（単位：人）

学生種別	修士全科目（プログラム別）						修士全科目【小計】	修士選科生	修士科目生	特別聴講学生	無回答	計
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	人文学	情報学						
	3	0	9	0	2	0	14	38	8	0	0	60

性別	男性	女性	無回答	計
	31	29	0	60

年齢	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
	0	3	4	10	22	17	4	0	60

職業	公務員等	教員	会社員	個人営業・自営業	農業等	看護師等	家事専業	パート・アルバイト	他大学等の学生	無職	その他	無回答	計
	9	8	11	4	0	6	2	6	0	4	10	0	60

通信指導・単位認定試験	単位認定試験 受験	通信指導 未受検	通信指導 未提出	無回答	計
	58	2	0	0	60

単位認定のための学習方法	ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ	ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ	放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ	無回答	計
	2	7	51	0	60

2022年度学生による授業評価の調査結果【2022年度新規開設科目】（学生種別、通信指導提出状況・単位認定試験出席状況別クロス集計）【全体一覧】

大学院	A-1 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ												A-2 放送授業を十分に視聴した												A-3 印刷教材を熱心に学習した											
	選抜別別の回答割合・回答数				評点 平均	選抜別別の回答割合・回答数				評点 平均	選抜別別の回答割合・回答数				評点 平均	選抜別別の回答割合・回答数				評点 平均																
	4	3	2	1		4	3	2	1		4	3	2	1		4	3	2	1																	
合計(全体)	332	56%	38%	5%	1%	0%	95%	3.50	332	53%	33%	11%	3%	0%	86%	3.36	332	55%	36%	7%	2%	0%	91%	3.44												
生活健康科学	15	27%	60%	13%	0%	0%	87%	3.13	15	33%	47%	20%	0%	0%	80%	3.13	15	47%	33%	20%	0%	0%	80%	3.27												
人間発達科学	8	75%	25%	0%	0%	0%	100%	3.75	8	88%	13%	0%	0%	0%	100%	3.88	8	75%	25%	0%	0%	0%	100%	3.75												
臨床心理学	18	78%	22%	0%	0%	0%	100%	3.78	18	61%	33%	6%	0%	0%	94%	3.56	18	67%	28%	6%	0%	0%	95%	3.61												
社会科学	24	50%	50%	0%	0%	0%	100%	3.50	24	54%	33%	13%	0%	0%	88%	3.42	24	50%	38%	13%	0%	0%	88%	3.38												
人文学	27	74%	22%	4%	0%	0%	96%	3.70	27	63%	33%	4%	0%	0%	96%	3.59	27	70%	22%	7%	0%	0%	93%	3.63												
情報学	11	36%	55%	9%	0%	0%	91%	3.27	11	46%	46%	9%	0%	0%	91%	3.36	11	46%	46%	0%	9%	0%	91%	3.27												
自然環境科学	3	67%	33%	0%	0%	0%	100%	3.67	3	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33	3	33%	67%	0%	0%	0%	100%	3.33												
エレクトロニクス工学	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00	0	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0.00												
修士全学科 【小計】	106	59%	38%	4%	0%	0%	96%	3.55	106	56%	36%	9%	0%	0%	92%	3.47	106	59%	32%	9%	1%	0%	91%	3.48												
修士選科生	199	56%	38%	5%	1%	0%	94%	3.49	199	53%	30%	13%	4%	0%	83%	3.32	199	52%	39%	7%	2%	0%	92%	3.42												
修士科目生	27	48%	44%	4%	4%	0%	83%	3.37	27	44%	37%	11%	7%	0%	81%	3.19	27	63%	26%	7%	4%	0%	89%	3.48												
単 位 認 定 指 定 試 験	315	58%	39%	3%	1%	0%	96%	3.53	315	54%	33%	10%	3%	0%	87%	3.39	315	55%	37%	6%	2%	0%	92%	3.46												
未 受 験	8	38%	13%	50%	0%	0%	50%	2.88	8	13%	38%	50%	0%	0%	50%	2.63	8	38%	13%	50%	0%	0%	50%	2.88												
通信指導未提出	6	33%	33%	17%	17%	0%	67%	2.83	6	33%	0%	33%	33%	0%	33%	2.33	6	67%	0%	17%	17%	0%	67%	3.17												

(注) 1. 「選抜別別の回答割合」は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合もある。
 2. 「肯定評価」は、調査票の「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計である。
 3. 評価については、選抜別「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2022年度学生による授業評価調査票（大学院）

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

1. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。（この面が済みましたら、裏面にもお答えください。）

（注）通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	（テレビ科目についてのみお答えください） テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	（テレビ科目についてのみお答えください） ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	（ラジオ科目についてのみお答えください） ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					
(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

提供資料サンプル【大学院】

Ⅱ. 次の点について、ご自由にお書きください。

(1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

(2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

(3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

(4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

Ⅲ. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

Ⅳ. あなたご自身についてお答えください。（あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。）

(1) 学生種別	【修士全科生 新プログラム所属の方】 1. 生活健康科学 2. 人間発達科学 3. 臨床心理学 4. 社会経営科学 5. 人文学 6. 情報学 7. 自然環境科学 【修士全科生 旧プログラム所属の方】 8. 文化情報学 9. 文化情報科学群 10. 環境システム科学群 11. 政策経営 12. 教育開発 13. 臨床心理 【修士選科生・修士科目生】 14. 修士選科生 15. 修士科目生
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他（ ）

どうもありがとうございました。

Ⅱ. 評定尺度調査の分析結果

【評定尺度調査の分析にあたって】

今回用いた評定尺度は、「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」による4段階評価である。

本報告書においては、データの理解や分析のしやすさを考慮し、便宜的に4段階のカテゴリーに4～1の点数を振り、その平均値を算出することによって、データの代表値とした。

ただし評定尺度の各カテゴリーに振られた「数字」を「数値」として加減乗除の演算をすることは、厳密に言えば統計処理として適切でない。

3が2よりもあてはまる程度が大きいことは言えても、4と3の間と3と2の間が等距離（つまり1の間隔）だという保証はどこにもないからである。

しかし4つのカテゴリーごとの相対度数（パーセント）から何らかの傾向を掴み取るとは容易ではないため、平均値を回答の傾向を推察する目安の1つとして用いたい。

また、ここでの平均値は何らかの単位を持つものではないので、データ同士の相対比較でのみ、その傾向を読み取ることになる。仮にある項目の平均値が、他の項目より低かったとしても、大部分の回答者がその項目に対して肯定的な評価をしていれば、その項目の評価は低いと簡単に断言できるものではないからである。つまり絶対的な評価が把握しにくいと言える。そこで、「あてはまる」もしくは「ややあてはまる」と回答した対象者の割合を合計して提示した。

これによって、その評価項目に対し肯定的評価をしている学生がいかにどの割合で存在するかを推測する目安とする。

さらに回答者の属性ごとの回答者数について、本来ならば、グラフ等のデータごとに回答者数を示すべきであるが、全てのデータに回答者数を掲載すると極めて煩雑になるため、ここに一括して掲載することにした（次頁表2-1）。

以下、本章においては、常に次頁の回答者数に基づいてデータを見る必要がある。特に回答者数の少ない層ほど誤差が大きくなり、%表記がそぐわないため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。

例えば、大学院では職業別の「看護師等」（14人）、「家事専業」（10人）、「他大学等の学生」（2人）、（農業等は0人）で、年齢階層別では、「20～29歳」（15人）（19歳以下は0人）が挙げられる。

表 2-1 回答者数一覧

【学部】				【大学院】			
全体		6,275		全体		332	
(単位:人)				(単位:人)			
メディア		年齢階層		メディア		年齢階層	
テレビ科目(TV)	4,652	19歳以下	141	テレビ科目(TV)	66	19歳以下	0
ラジオ科目(R)	1,623	20～29歳	575	ラジオ科目(R)	266	20～29歳	15
職業		30～39歳		職業		30～39歳	
公務員等	490	40～49歳	1,421	公務員等	40	40～49歳	51
教員	401	50～59歳	1,657	教員	33	50～59歳	99
会社員	1,355	60～69歳	1,160	会社員	81	60～69歳	109
個人営業・自営業	409	70歳以上	612	個人営業・自営業	22	70歳以上	38
農業等	26	コース		農業等	0	プログラム	
看護師等	573	基盤科目(一般科目)	1,178	看護師等	14	生活健康科学	76
家事専業	358	基盤科目(外国語)	345	家事専業	10	人間発達科学	26
パート・アルバイト	941	生活と福祉	1,154	パート・アルバイト	23	臨床心理学	38
他大学等の学生	73	心理と教育	1,070	他大学等の学生	2	社会経営科学	84
無職	1,207	社会と産業	708	無職	65	情報学	28
その他	442	人間と文化	661	その他	42	人文学	80
		情報	450				
		自然と環境	262				
		看護師資格取得	105				
		夏季集中科目	342				

Ⅱ－1. 学部の分析結果

Ⅱ－1－1. 項目平均から見た全体的傾向

ここからは、A-1～B-21 の評価項目（14～15 頁の提供資料サンプルを参照）ごとに、平均値と肯定的評価のグラフを基に、そのデータから目立つ点や、特徴的傾向を記述していくことにする。

平均値は、評価項目の選択肢である「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」に対して順に 4 点、3 点、2 点、1 点の得点を与え、その得点合計を回答者数で割った値である。全員が「あてはまる」とした場合、平均値は 4.00 で最も高くなり、全員が「あてはまらない」とすると最低の 1.00 となる。

また、肯定的評価は文字通り「あてはまる」と「ややあてはまる」の比率の合計である。

平均値より肯定的な評価の方が（例えば回答者の 80% と）イメージしやすく、平均値と肯定的評価に齟齬が出た場合、どちらを採るか合理的な判断ができないので、記述については肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、過去 2 年間との年度間の比較（24 頁等）の箇所は、比率の差の検定結果から、全体の回答者数(2022 年度:6,275 人、2021 年度:7,783 人、2020 年度:7,320 人)が多いため、各比率の差が概ね 2 ポイントで有意となり、2 ポイント以上で差があることとした。

テレビ科目とラジオ科目のメディア間の比較では、同検定結果から概ね 2 ポイントで有意差が見られるため、年度間比較と同様 2 ポイント以上で差があることとした。

図 2－1 の肯定的評価では各項目とも 80% 台で、『通信指導・単位認定試験』『全体評価 (B-17～B-21)』が 89% と最も高く、逆に『放送授業』(83%) が最も低い評価であった。

図 2－1 【学部】項目平均による全体的傾向

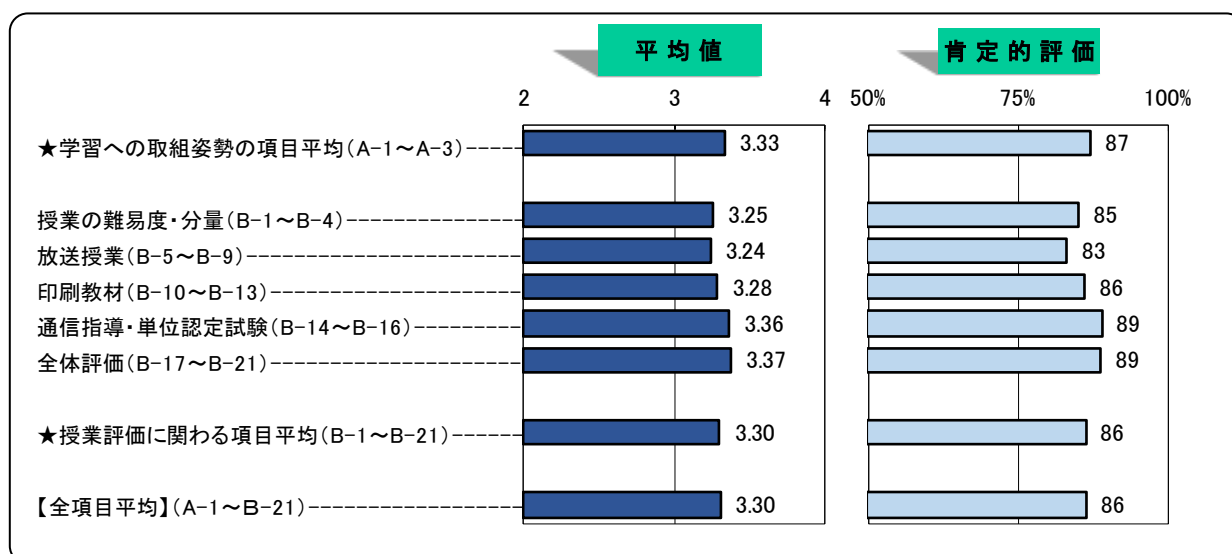
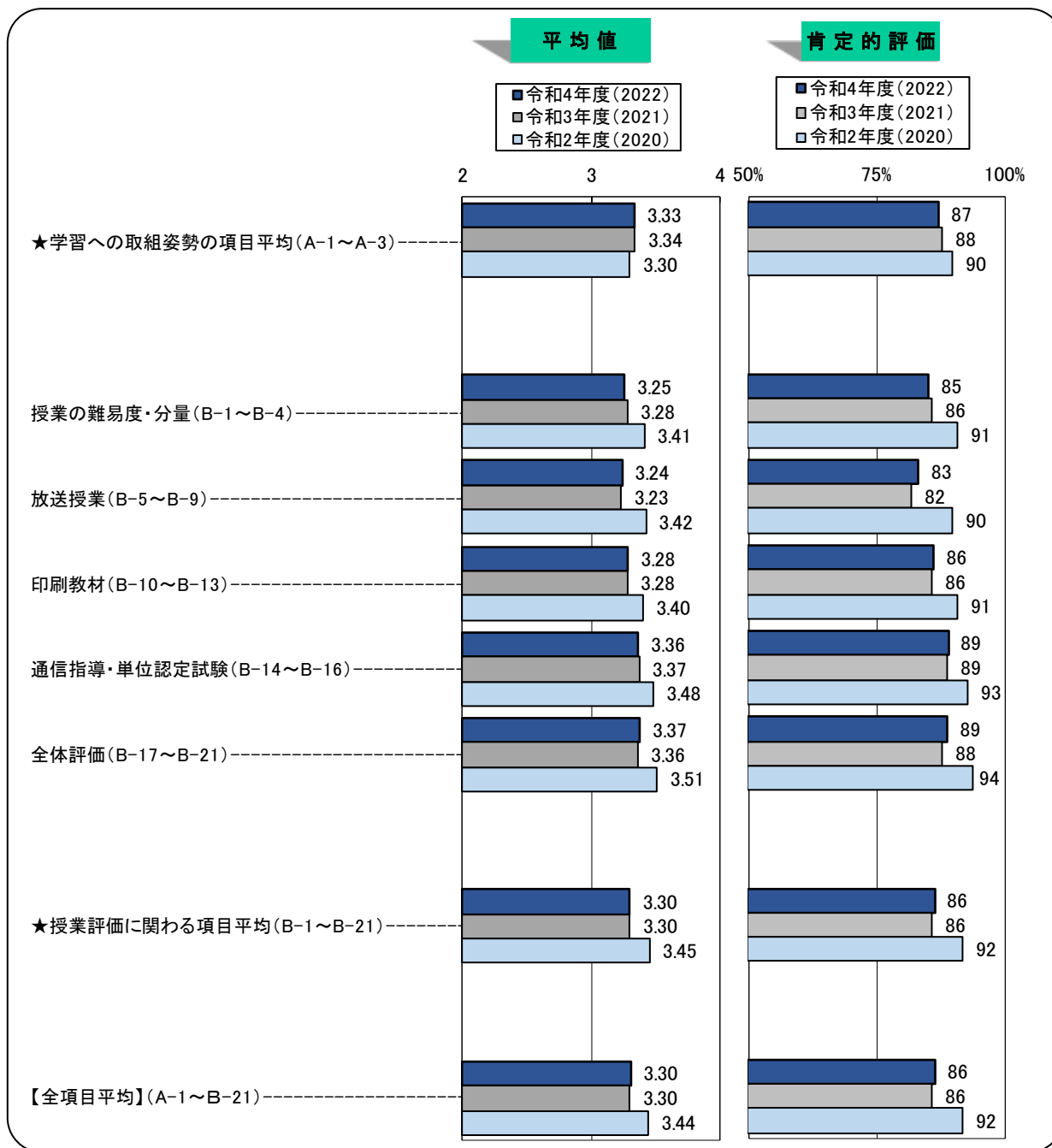


図2-2の項目平均による全体的傾向では、肯定的評価が本年度は、『学習への取組姿勢』『授業の難易度・分量』が連続して低下していた。それ以外の項目については、昨年度より1~2ポイント増となっていた。

図2-2【学部】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



※放送授業(B-5~B-9)の質問項目については、令和3年度(2021)より入れ替えが行われた。

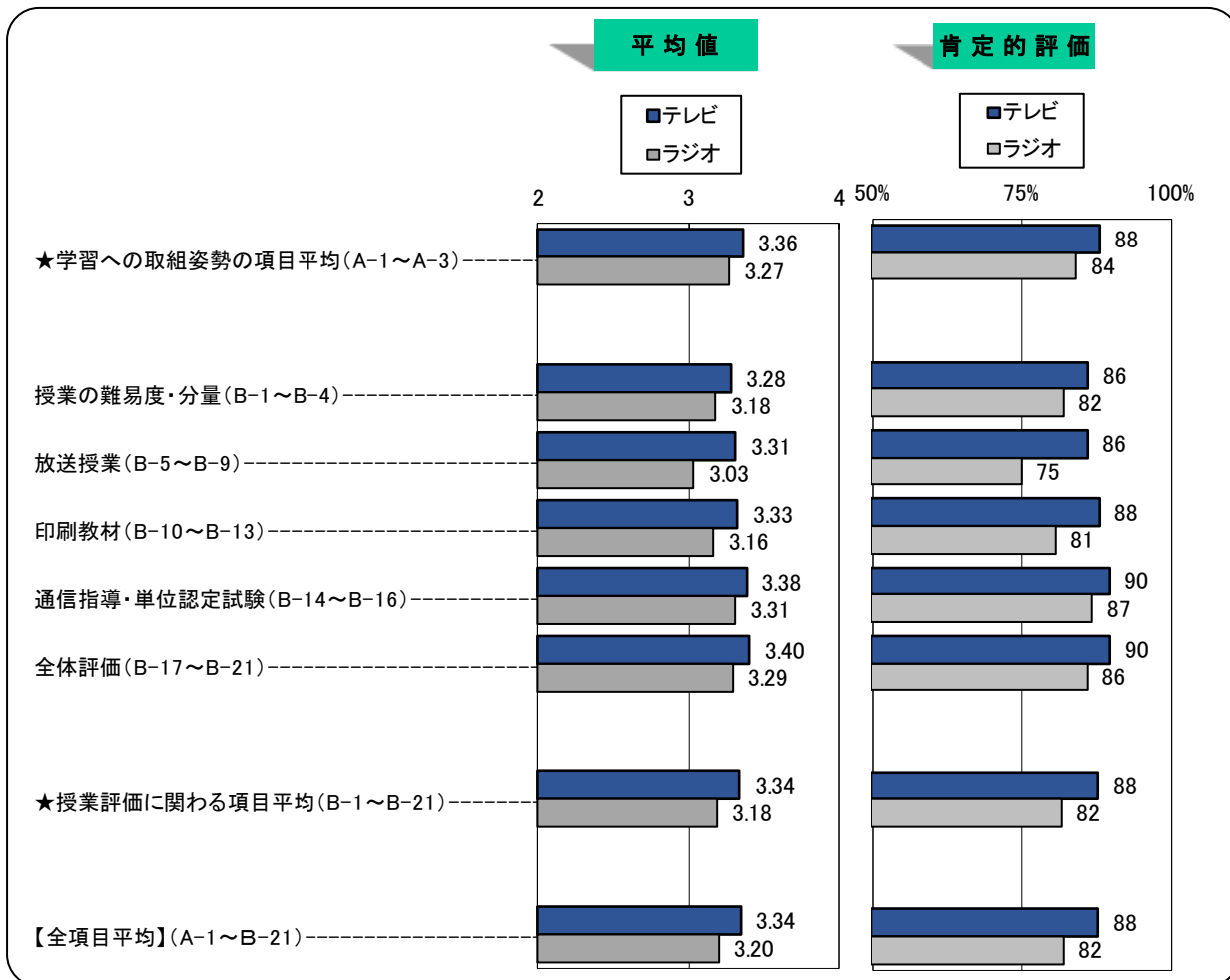
追加された項目：B-8【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった
B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった

削除された項目：講師の熱意が十分に伝わった

従って、放送授業(B-5~B-9)の質問項目の年度比較については、留意されたい。

メディア別では（図2-3）、テレビ科目とラジオ科目のメディア間では、いずれの項目もテレビの方が4～11ポイント高くなっていた。（特に『放送授業』の差が大きい）

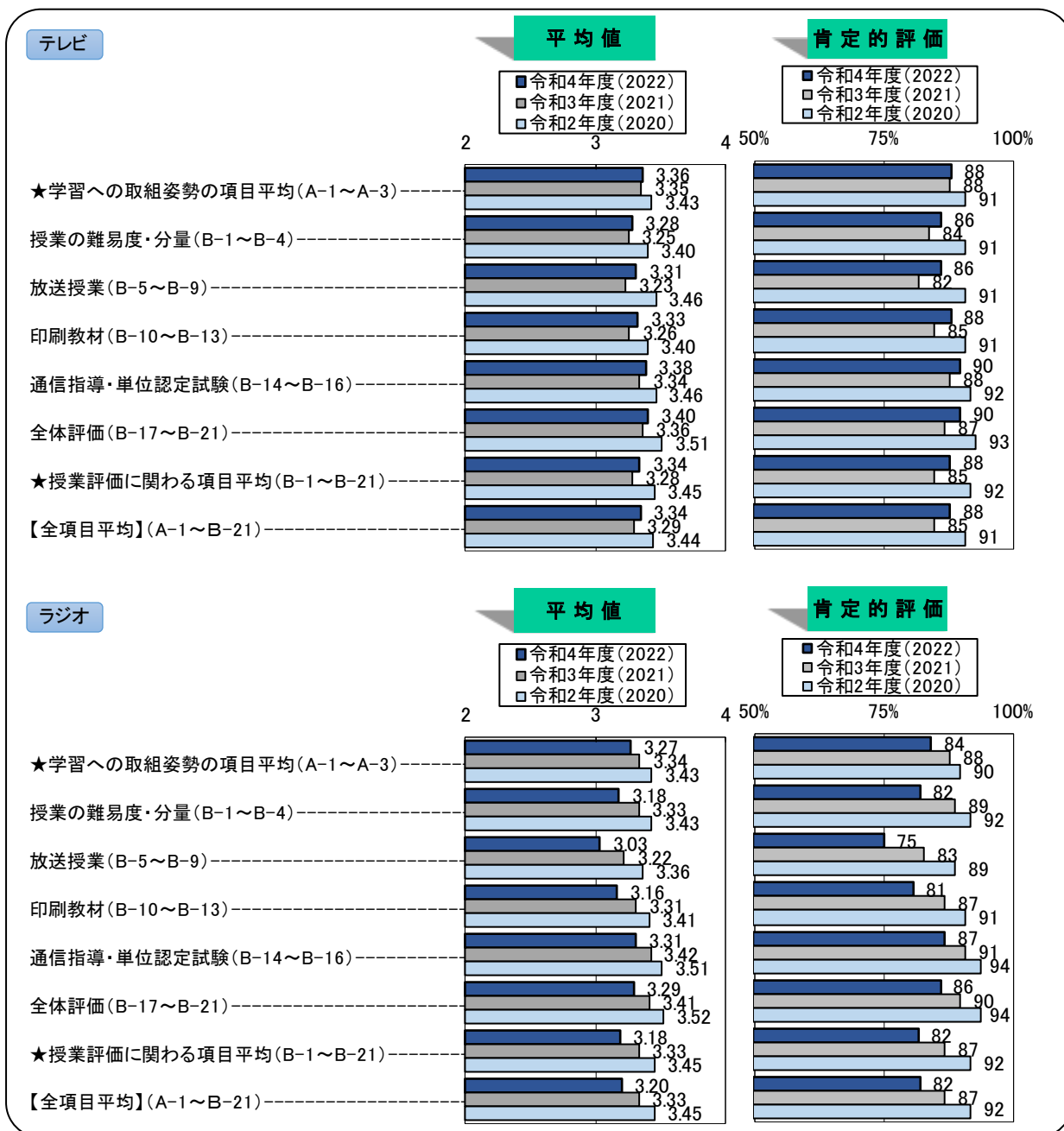
図2-3 【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向



メディア別の項目平均を時系列で比較して見ると（図2-4）、テレビ科目では、本年度は昨年度より全ての項目で評価が上昇していた。

一方、ラジオ科目では、全項目で評価が昨年度を下回っており、中でも『放送授業』は8ポイントのマイナスであった。

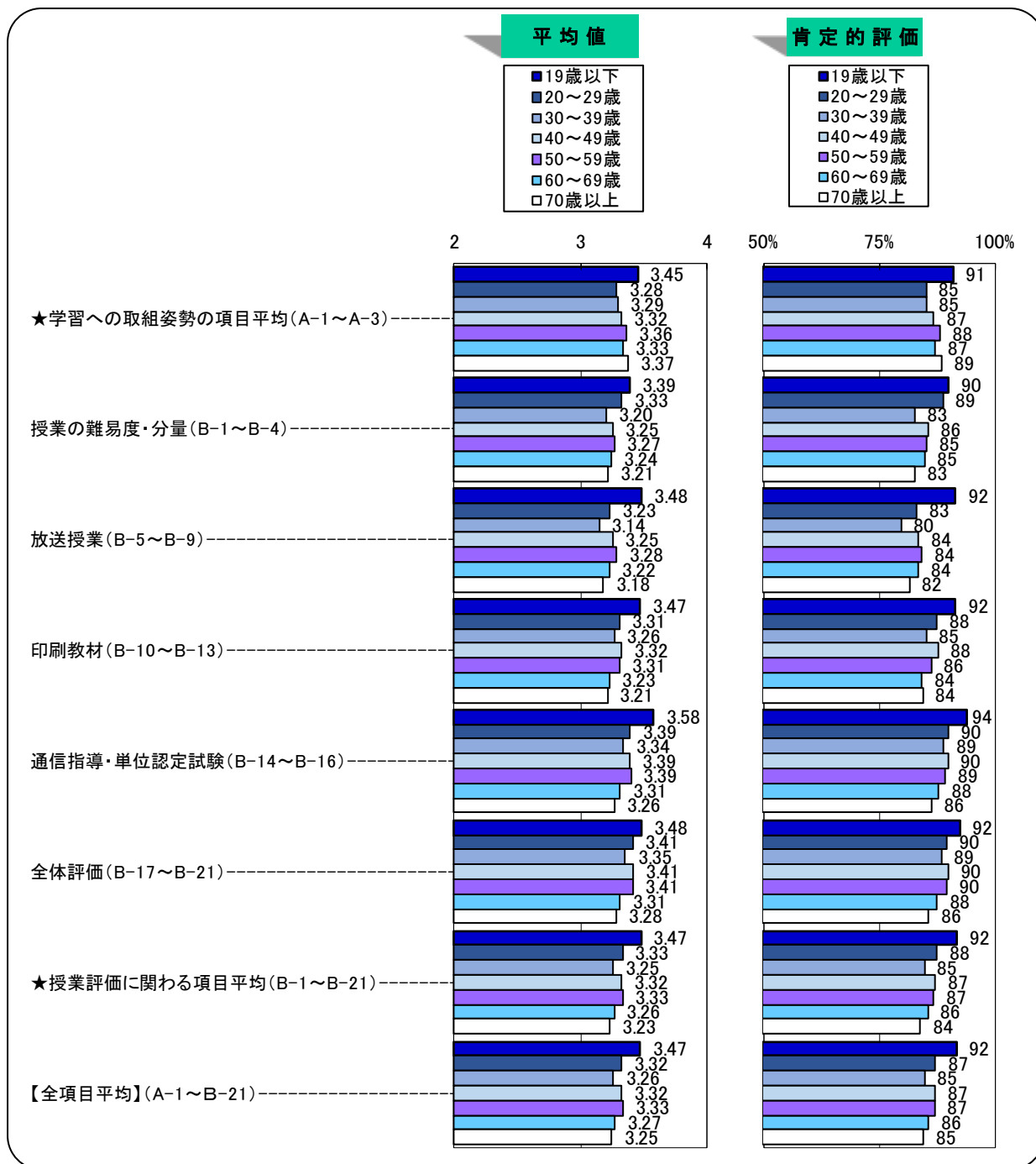
図2-4【学部】項目平均によるメディア別全体的傾向（開設年度比較）



年齢階層別（図2-5）では、19歳以下は、全項目で肯定評価が高くなっていた。『授業の難易度・分量』『通信指導・単位認定試験』は20歳代も評価が高かった。

逆に全般的に評価が低かったのは30歳代で、特に『放送授業』の評価が80%と低かった。

図2-5 【学部】項目平均による年齢階層別全体的傾向

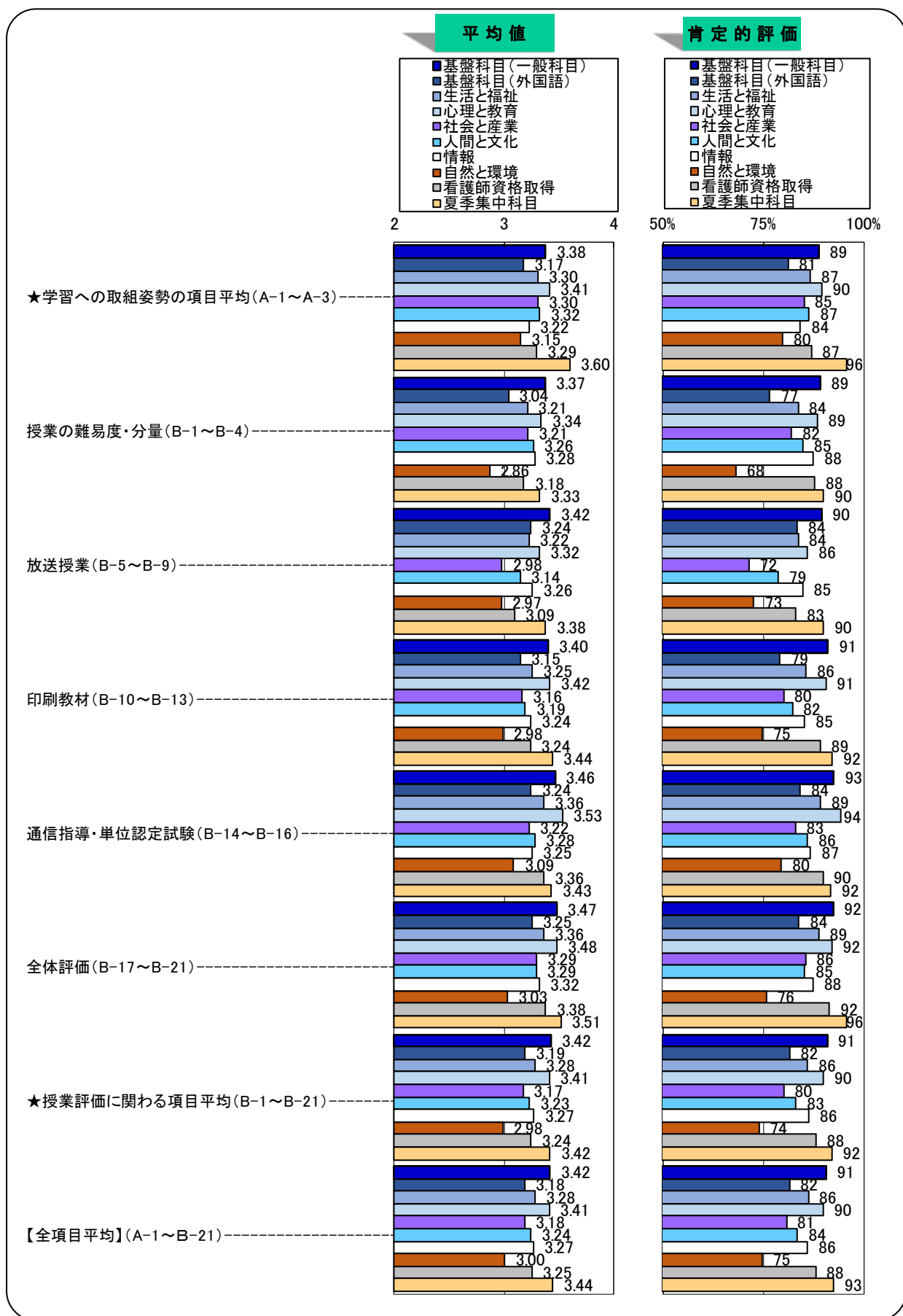


所属コース別に項目平均を見ると（次頁図2-6）、『通信指導・単位認定試験』以外の項目で「夏季集中科目」の肯定評価が最も高かった。また、「心理と教育」は、『学習への取組姿勢』『授業の難易度・分量』『印刷教材』『通信指導・単位認定試験』『全体評価』において、肯定評価が高く90%～94%であった。

逆に「自然と環境」は『放送授業』以外の項目で、他の所属コースより肯定的評価が低く、最も評価の低い『授業の難易度・分量』は68%と他の所属コースに比べ大きな差が見られた。

その結果、『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』において、「夏季集中科目」の肯定的評価が最も高く、「自然と環境」が最も低かった。

図2-6 【学部】項目平均による所属コース別全体的傾向

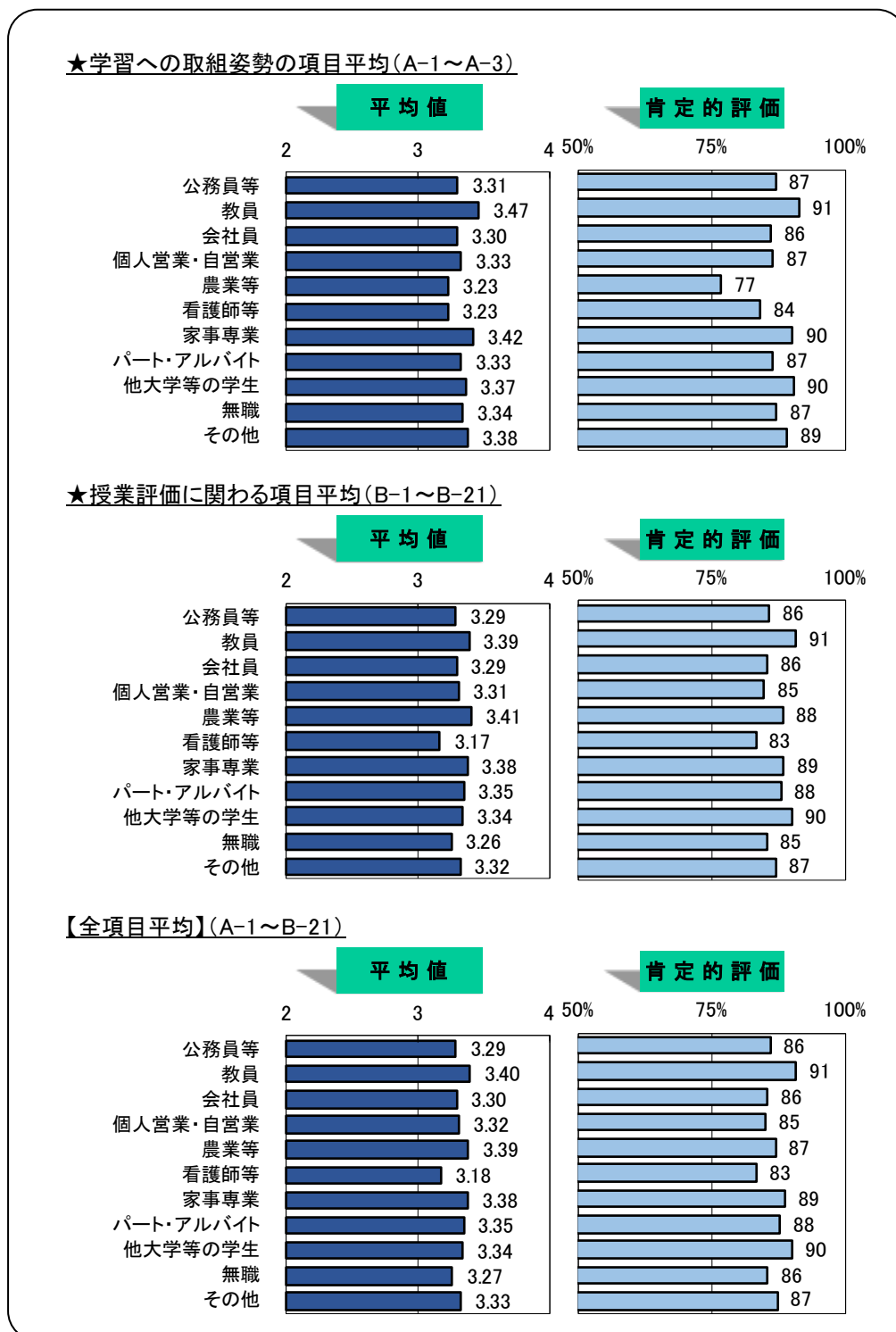


職業別の（図2-7）肯定的評価は「教員」と「家事専業」と「他大学の学生」において、下記全ての項目で上位1~3位の高評価で、89~91%であった。

反対に「看護師等」は『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』で最も評価が低く、上位1~3位に比べ8ポイント以上の差が見られた。

他に「農業等」も『学習への取組姿勢の項目平均』では、77%と低くなっていた。

図2-7 【学部】項目平均による職業別全体的傾向



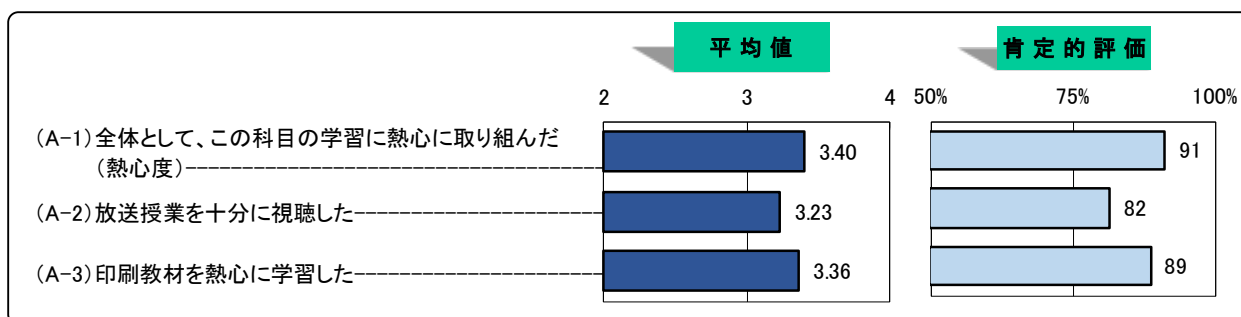
Ⅱ-1-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれの評価項目ごとに調査結果を見ていく。

全回答者の学習への取組み姿勢（図2-8）は、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」が91%と、その熱心度は高かった。

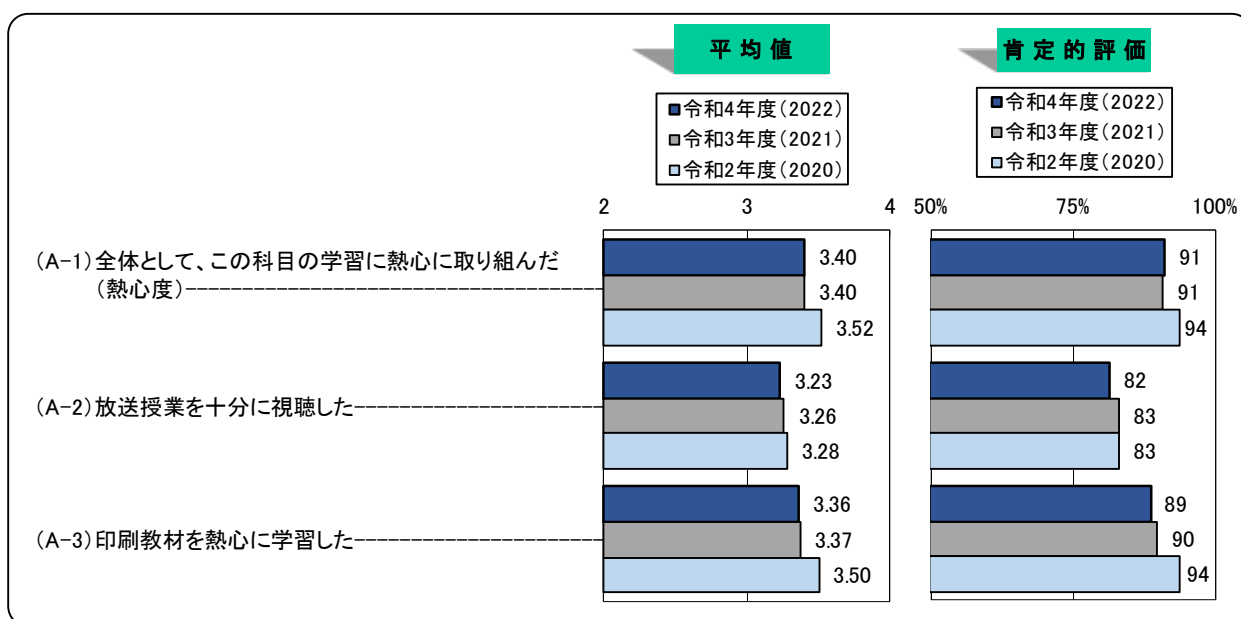
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は82%と、他の2項目に比べ低く、印刷教材での学習のウエイトの方が高かった。

図2-8 【学部】回答者全体の取組姿勢



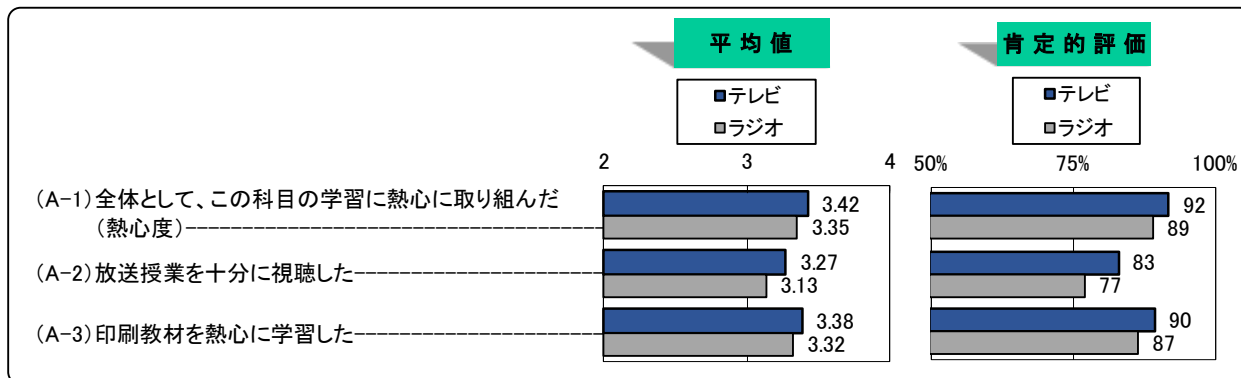
取組姿勢を時系列で見ると（図2-9）、全ての項目で本年度の結果が、大きな差ではないものの、昨年度、一昨年度と同水準か下回っていた。

図2-9 【学部】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-10）、テレビ科目とラジオ科目を比べると各項目ともにテレビ科目の評価が高かった。

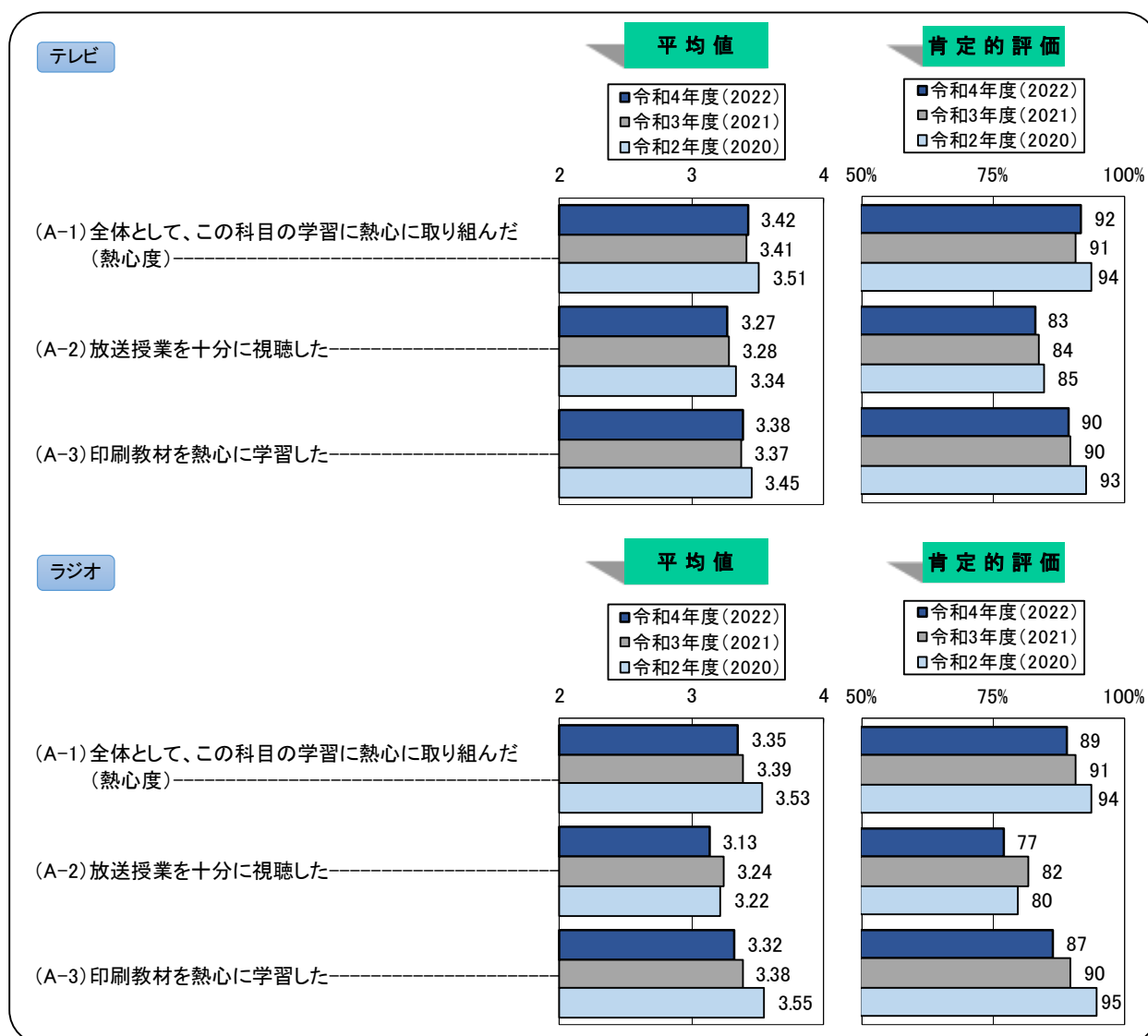
図2-10 【学部】メディア別の取組姿勢



メディア別の取組姿勢を時系列で見ると（図2-11）、テレビ科目は、昨年度と比べ3項目とも1ポイント前後の増減となっており、大きな変化は見られなかった。

ラジオ科目については、昨年度と比べ3項目とも評価が低下しており、中でも（A-2）「放送授業を十分に視聴した」は5ポイント減となっていた。また、（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」、（A-3）「印刷教材を熱心に学習した」ことについては、連続して評価が低下していた。

図2-11 【学部】メディア別の取組姿勢（時系列）

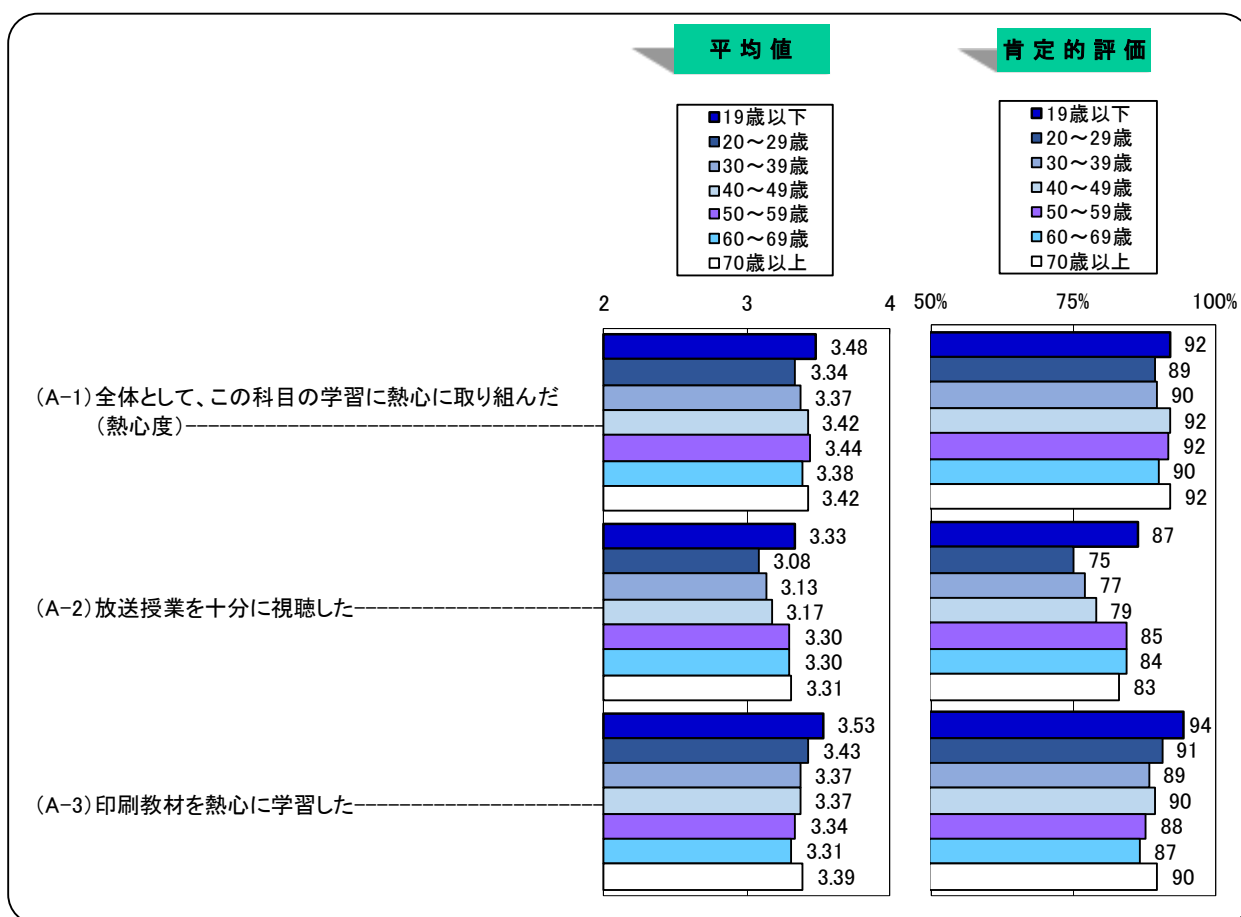


年齢階層別に取り組姿勢を見ると（図2-12）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は各年代とも89～92%と大きな差は見られなかった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については19歳以下が87%と高い一方、20～40歳代は8割を下回っていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」についても、19歳以下が94%と最も熱心度が高かった。

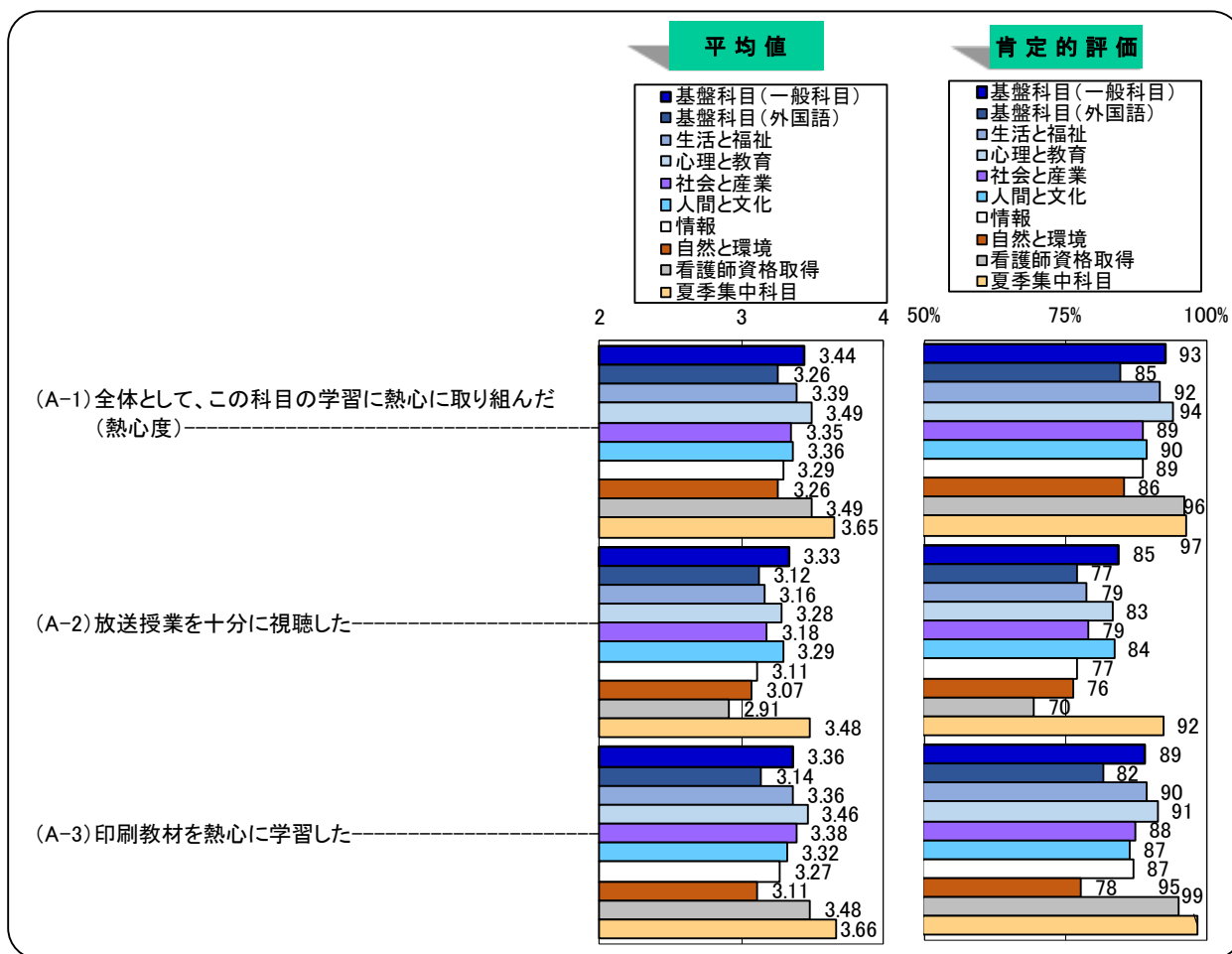
図2-12 【学部】年齢階層別に取り組姿勢



所属コース別に取組姿勢を見ると（図2-13）、全ての項目で「夏季集中科目」が最も高く、特に（A-1）「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」（A-3）、「印刷教材を熱心に学習した」は、その受講生の97%以上が積極的に取り組んでいた。

上記の2項目については「看護師資格取得」でも同様で、それぞれ95~96%と、高かったが、（A-2）「放送授業を十分に視聴した」については70%と、最下位で極端な傾向が見られた。

図2-13 【学部】所属コース別の取組姿勢

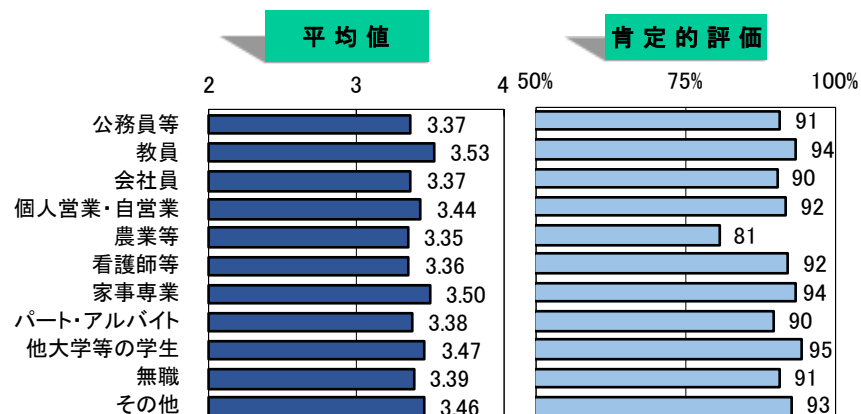


職業別に取り組姿勢を見ると（次頁図2-14）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ」は「他大学等の学生」（95%）が他の職業と比べ、その割合が高かった。

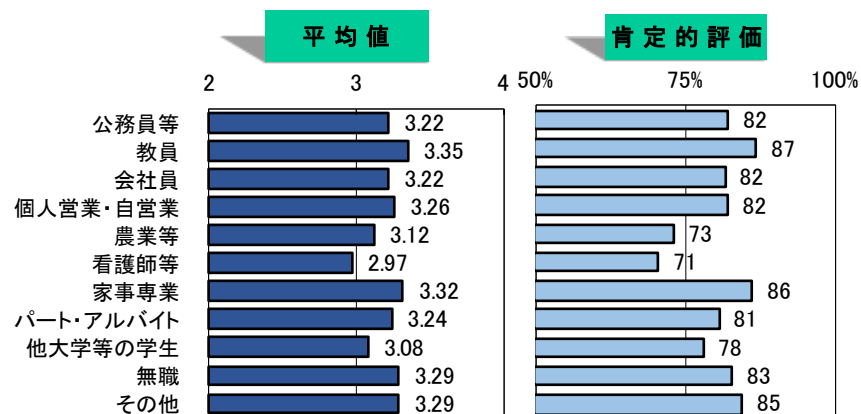
(A-2)「放送授業を十分に視聴した」については「他大学等の学生」は78%と低かったが、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」では「他大学等の学生」（99%）は最も高かった。各項目とも熱心度が最も低かったのは「農業等」であった。

図2-14【学部】職業別の取組姿勢

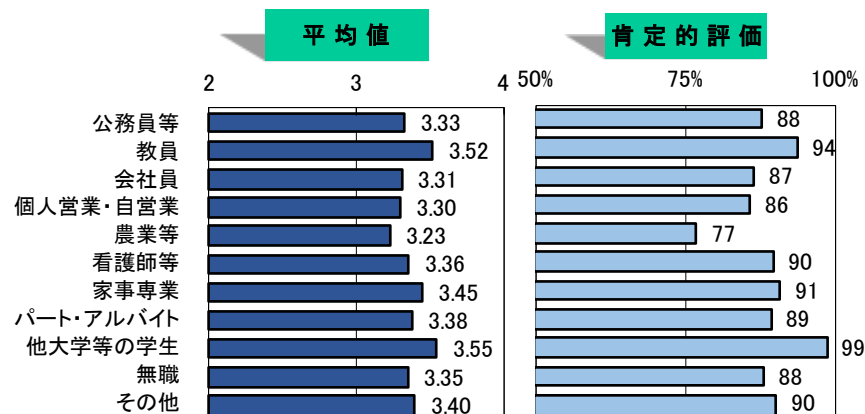
(A-1) 全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ(熱心度)



(A-2) 放送授業を十分に視聴した



(A-3) 印刷教材を熱心に学習した



単位認定のための学習方法（次頁図2-15）では、全体は『放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ』が72%と多く、『ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ』が21%、『ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ』は7%にしか過ぎず、「印刷教材の学習」で見ると、その利用は93%であった。

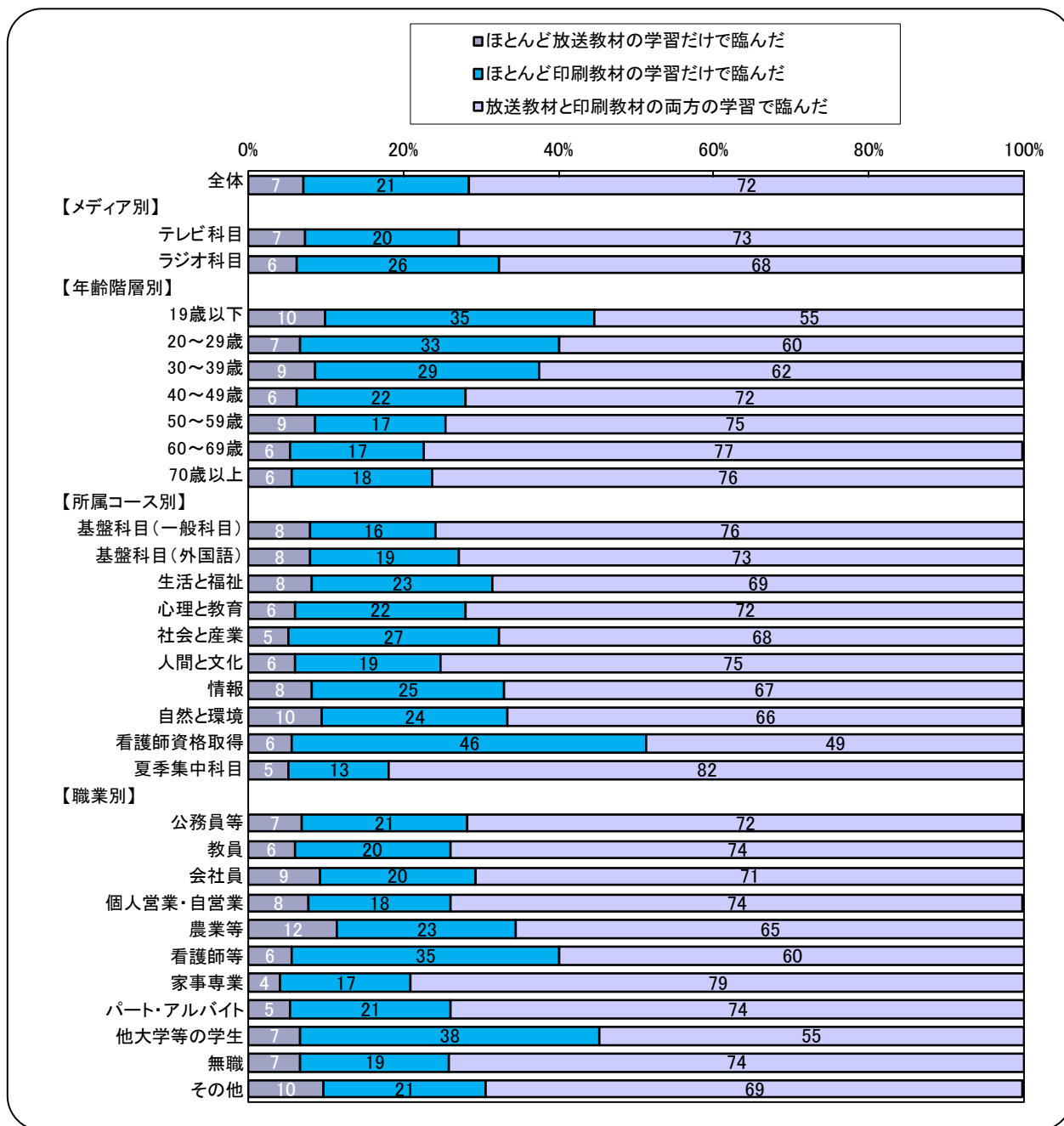
メディア別では「テレビ科目」は『放送教材と印刷教材の両方』が「ラジオ科目」より多く、「ラジオ科目」は『ほとんど印刷教材の学習だけ』が「テレビ科目」より多かった。

年齢階層別では、若い世代になるほど『ほとんど印刷教材の学習だけ』が多くなる傾向が見られた。

所属コース別では「看護師資格取得」は、『ほとんど印刷教材の学習だけ』が他の所属コースと比べ特に高く、46%であった。

職業別では、「看護師等」「他大学等の学生」については、『ほとんど印刷教材の学習だけ』がそれぞれ35%以上高かった。

図2-15 【学部】単位認定のための学習方法



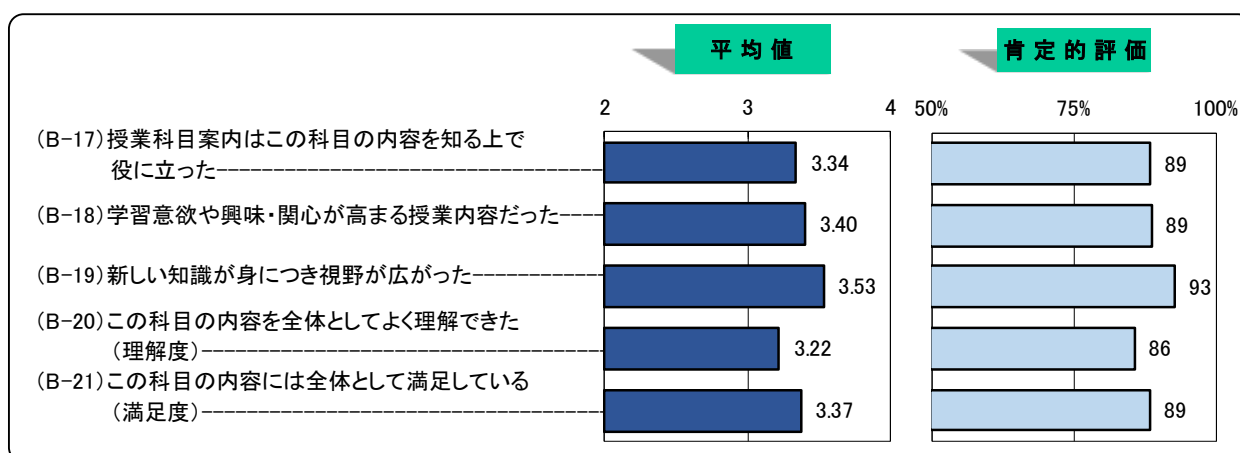
Ⅱ-1-3. 学部の授業評価

(1) 全体評価

次に学部の授業評価について、評価項目ごとに見ていく。

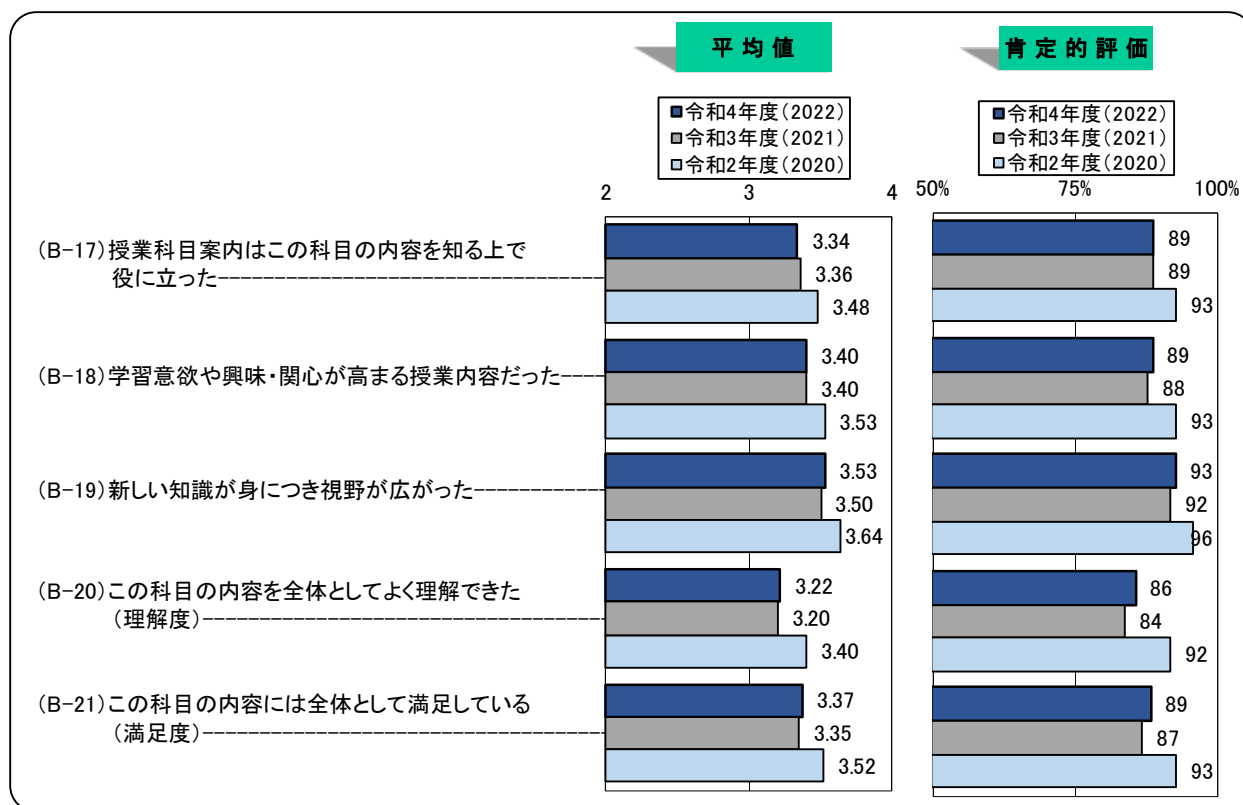
全体評価の各項目（図2-16）については、(B-18)「新しい知識が身につく視野が広がった」が93%と最も高かった。それ以外の項目については86～89%の評価であった。

図2-16 【学部】回答者全体の全体評価



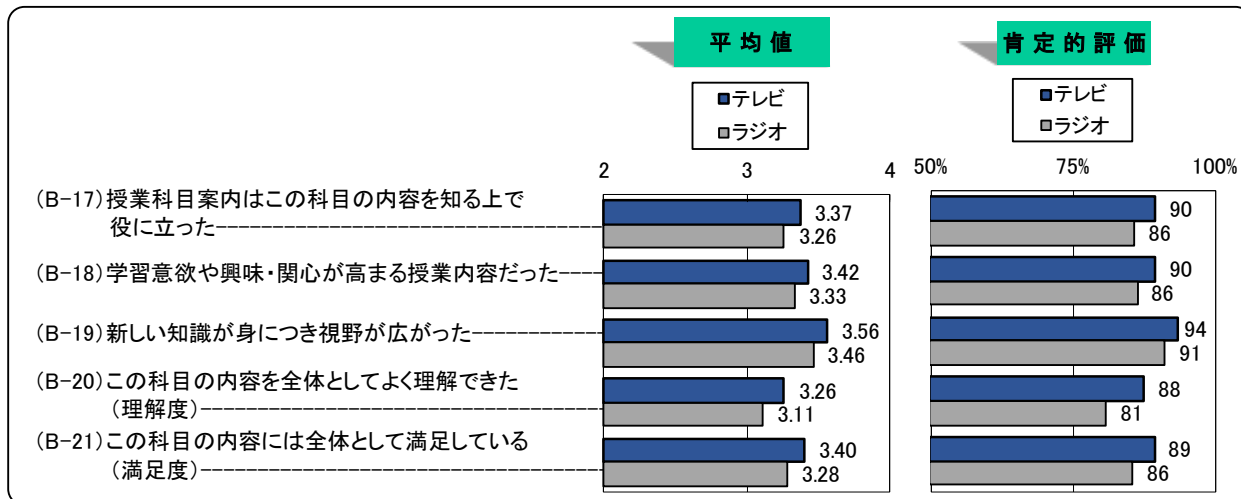
全体評価を時系列で見ると（図2-17）、本年度は下記全ての項目で、昨年度より横ばいなし評価が上昇しており、中でも(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は最も高く96%に達していた。

図2-17 【学部】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-18）、下記全項目でテレビ科目の評価の方が高かった。

図2-18 【学部】メディア別の全体評価

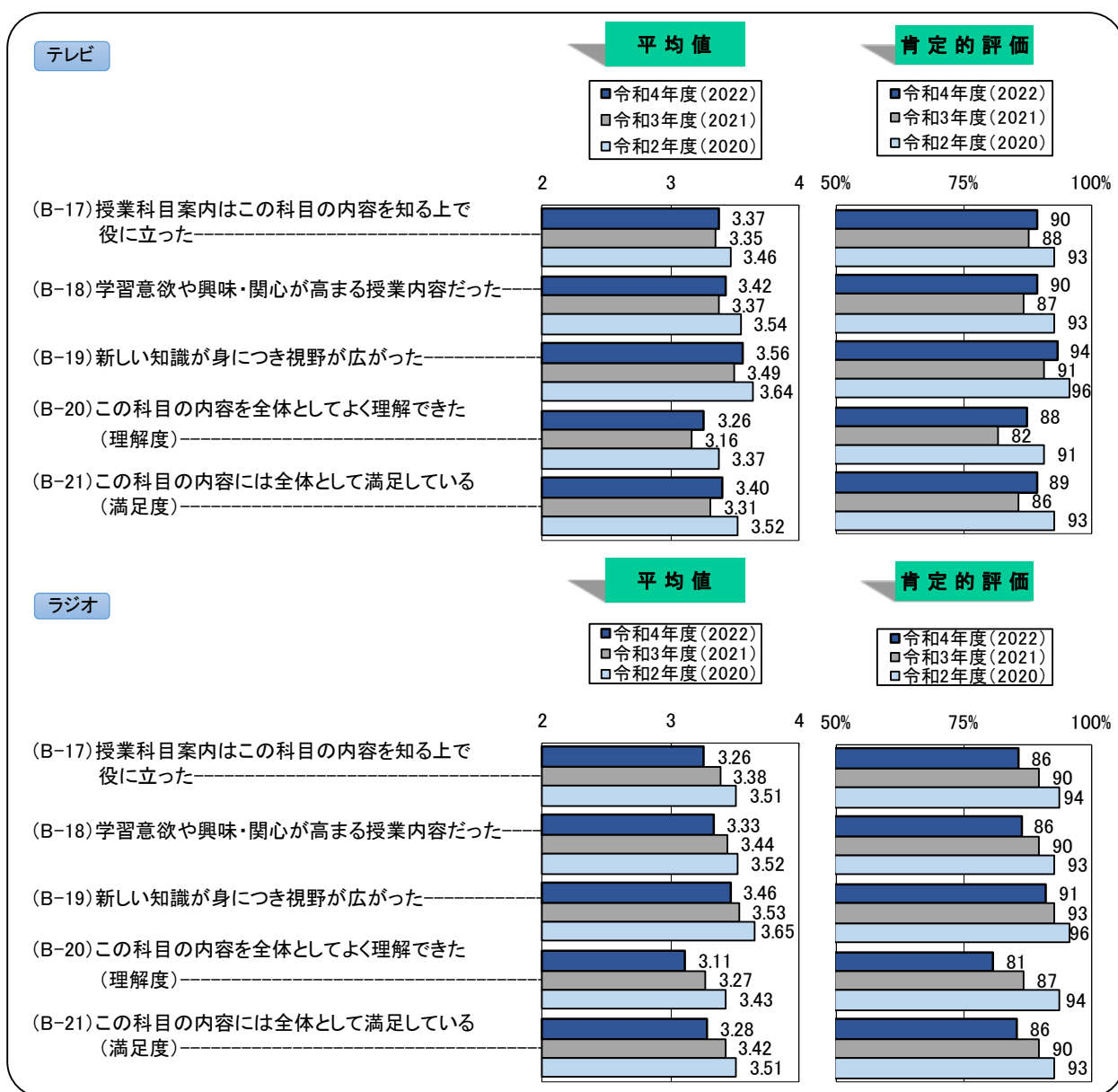


メディア別の全体評価を時系列で見ると（図2-19）、テレビ科目の評価は、下記全ての項目において、昨年度から上昇しており、中でも(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」が96%と最も高かった。

テレビ科目の昨年度からの上昇幅は、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」が最も大きく、6ポイントであった。

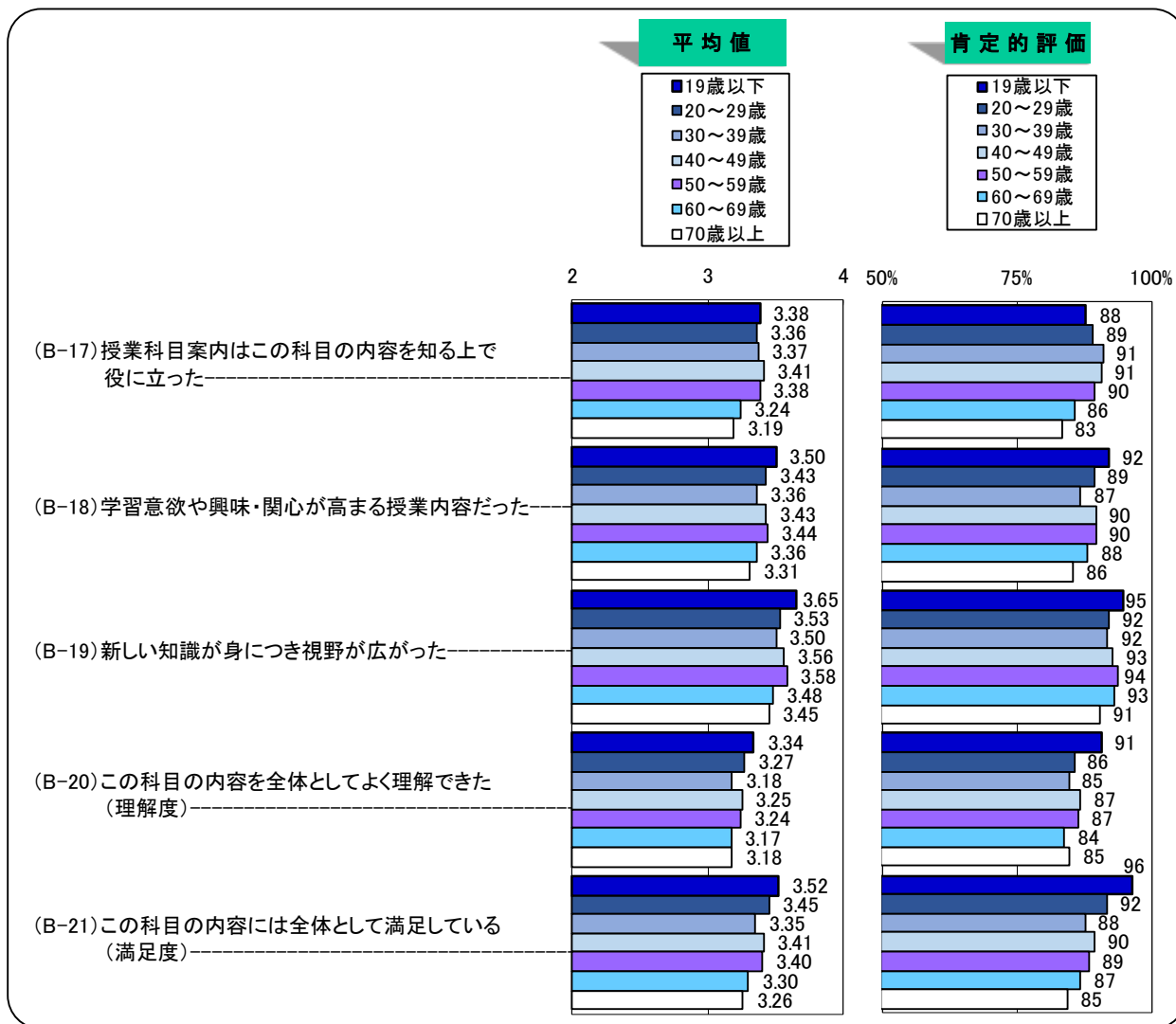
一方、ラジオ科目の評価については、下記全ての項目が連続して低下しており、特に昨年度からの減少幅が大きいのは、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」で、6ポイントであった。

図2-19 【学部】メディア別の全体評価



年齢階層別に全体評価（図2-20）を見ると、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」以外の各項目で19歳以下の評価が最も高くなっていた。反対に他の年代と比べ評価が全般的に低かったのは、60歳代と70歳以上であった。

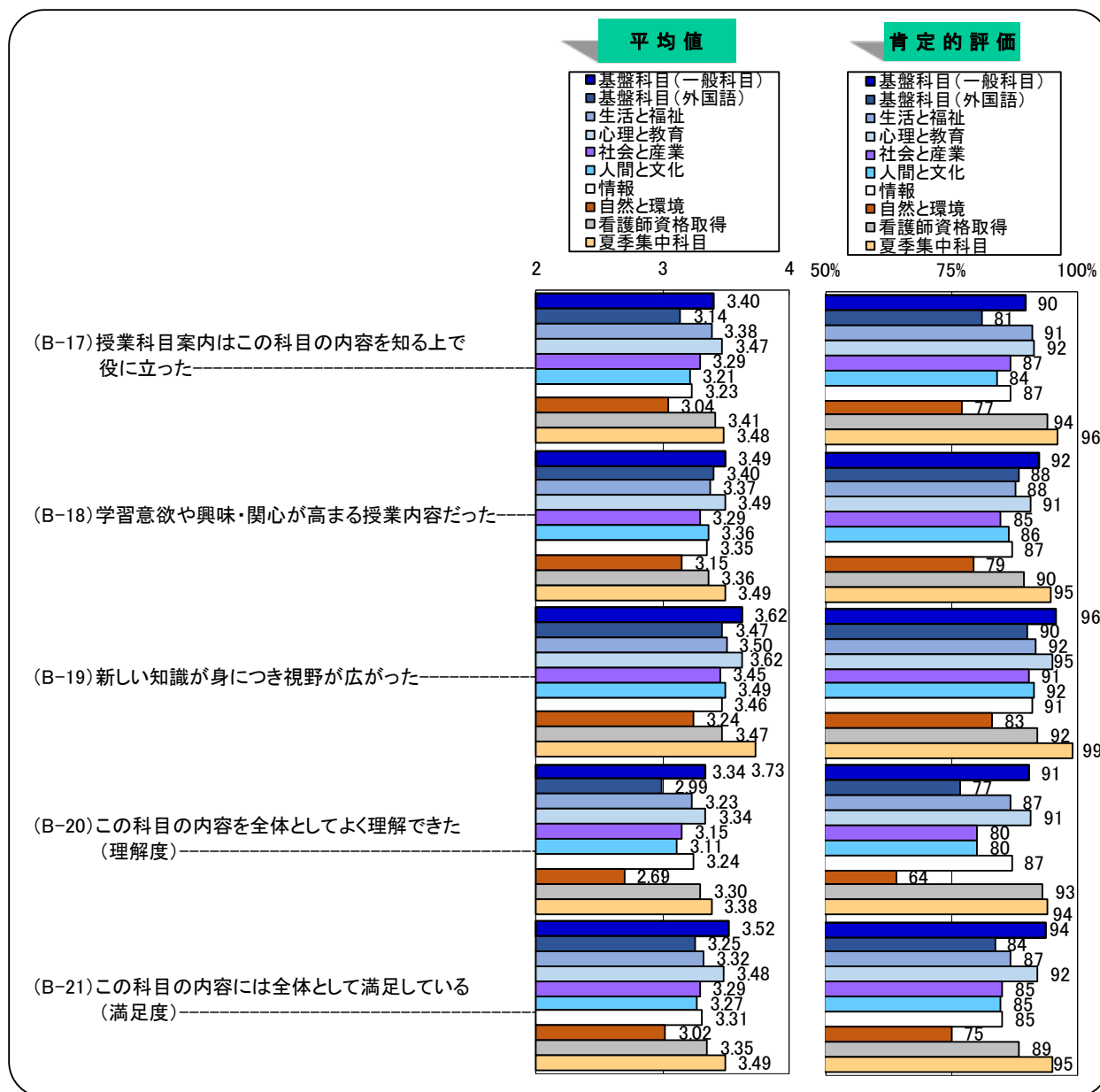
図2-20【学部】年齢階層別の全体評価



所属コース別の全体評価では（図2-21）、下記各項目いずれも「夏季集中科目」の評価が高かった。（B-19）「新しい知識が身につく視野が広がった」に対する評価は、「自然と環境」を除いてどの所属コースも90%を上回った。

「自然と環境」については、上記の（B-19）「新しい知識が身につく視野が広がった」以外の項目でいずれも80%以下と特に低かった。

図2-21 【学部】所属コース別の全体評価

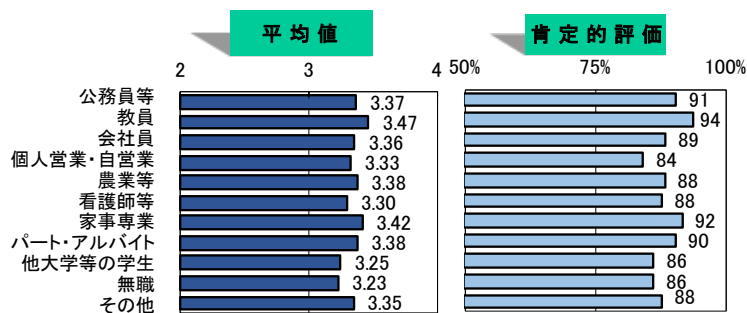


職業別の全体評価（次頁図 2 - 2 2）では、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」以外の次頁全ての項目で評価が高かったのは「教員」で、4 項目とも 92～98% であった。

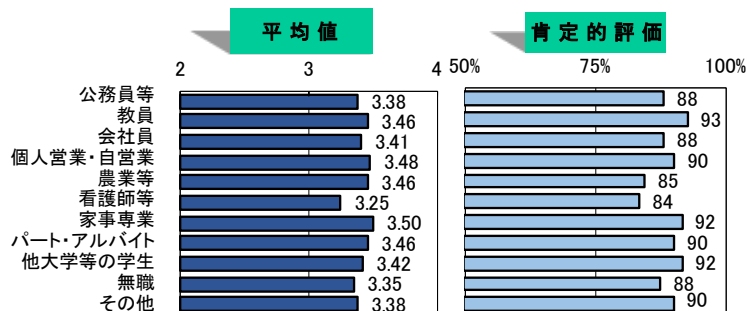
反対に評価が低かったのは、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」では「個人営業・自営業」(84%)、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」、(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「看護師等」であった。

図2-22【学部】職業別の全体評価

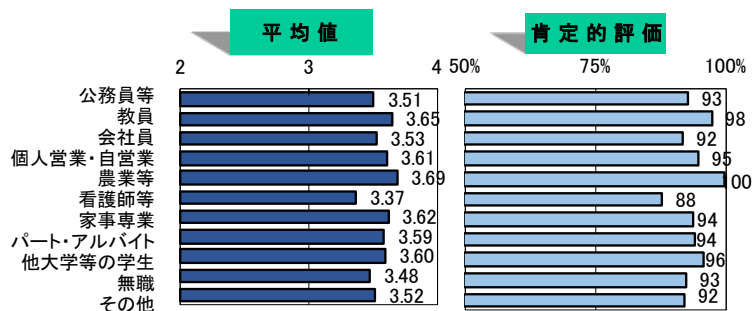
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



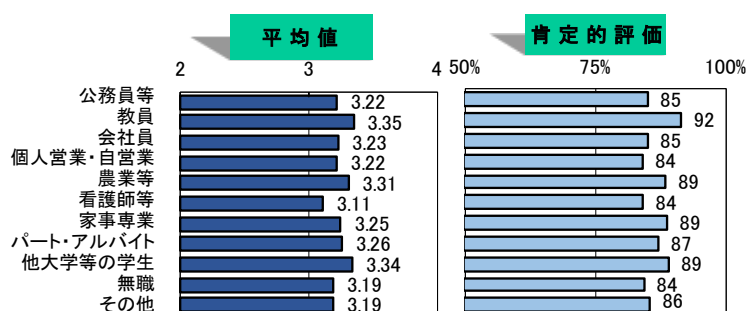
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



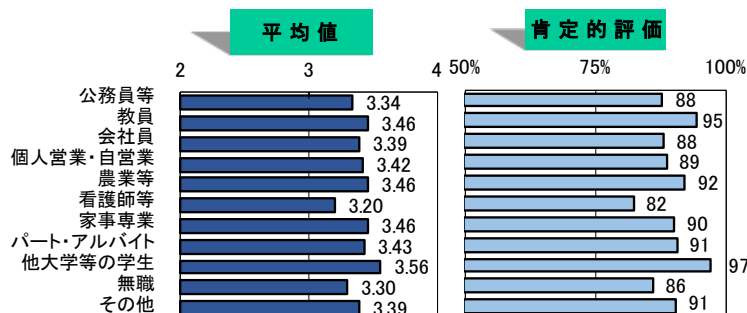
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

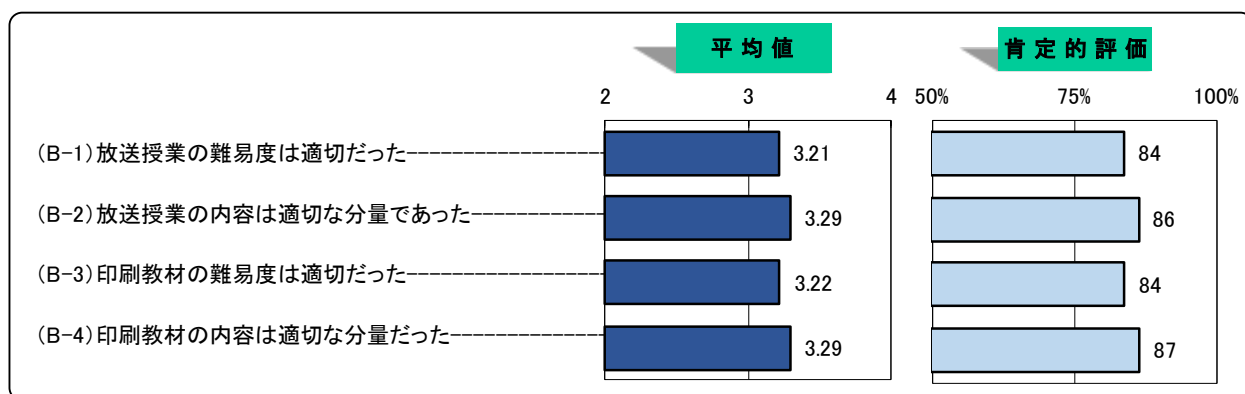


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量（図2-23）について、評価項目ごとに見ていくことにする。

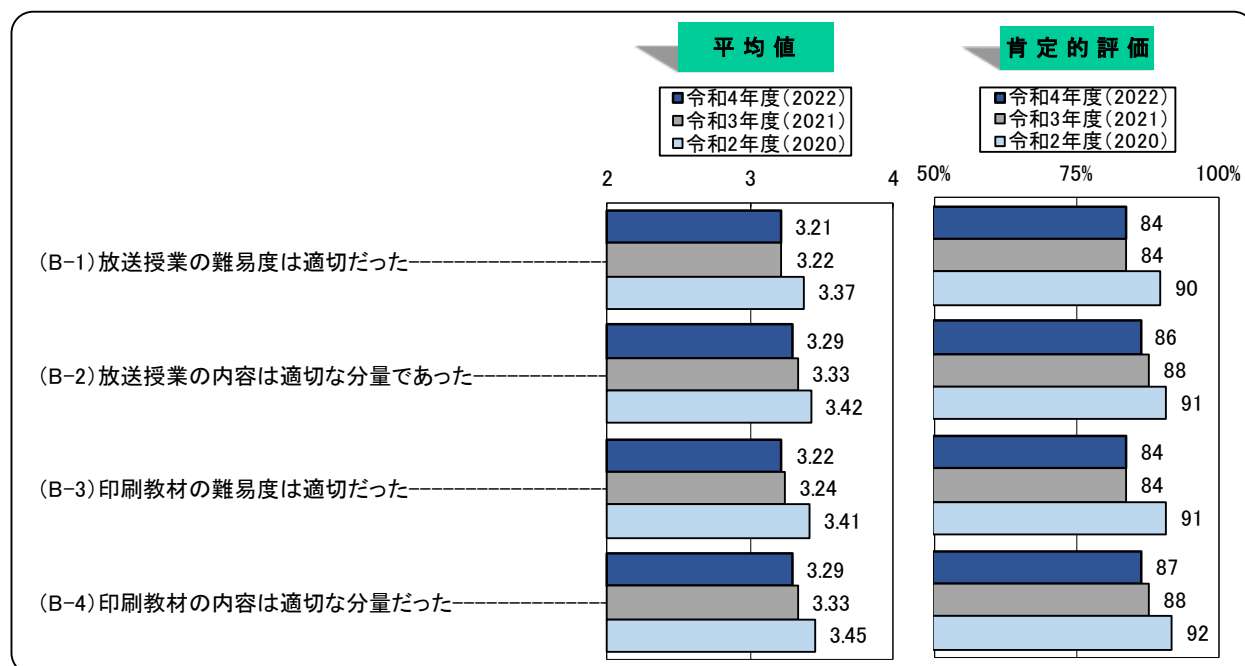
肯定的評価は、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」の難易度については、両項目とも84%、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」と(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」の分量については、86~87%で、それぞれの「分量」についての評価の方が高かった。

図2-23 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価



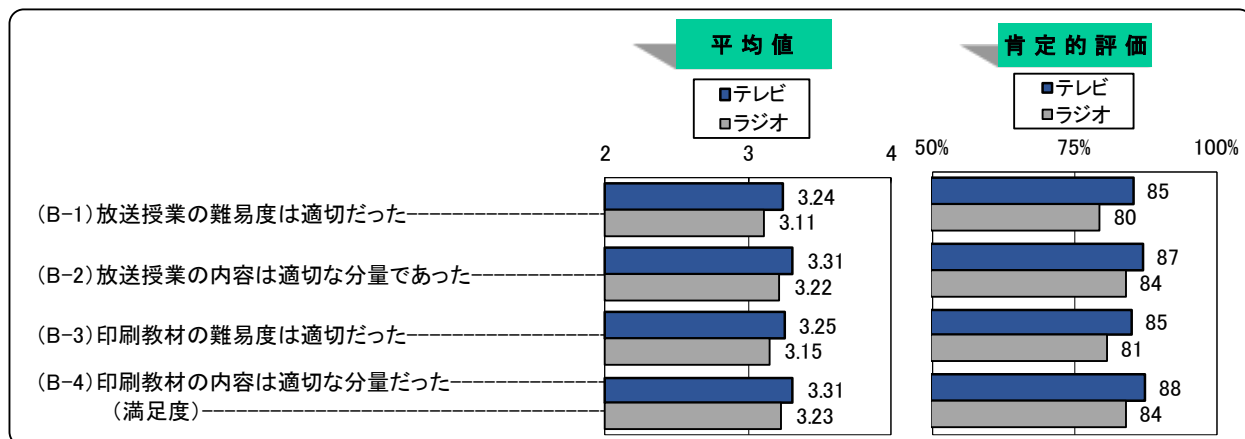
開設年度で比較すると（図2-24）、本年度は、下記4項目全てで、過去2年度から横ばいなし、評価を下げていた。

図2-24 【学部】 回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-25）、メディア間に差があり、いずれもテレビ科目の方が、評価が高く、特に(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では、テレビ科目がプラス5ポイントと大きな差であった。

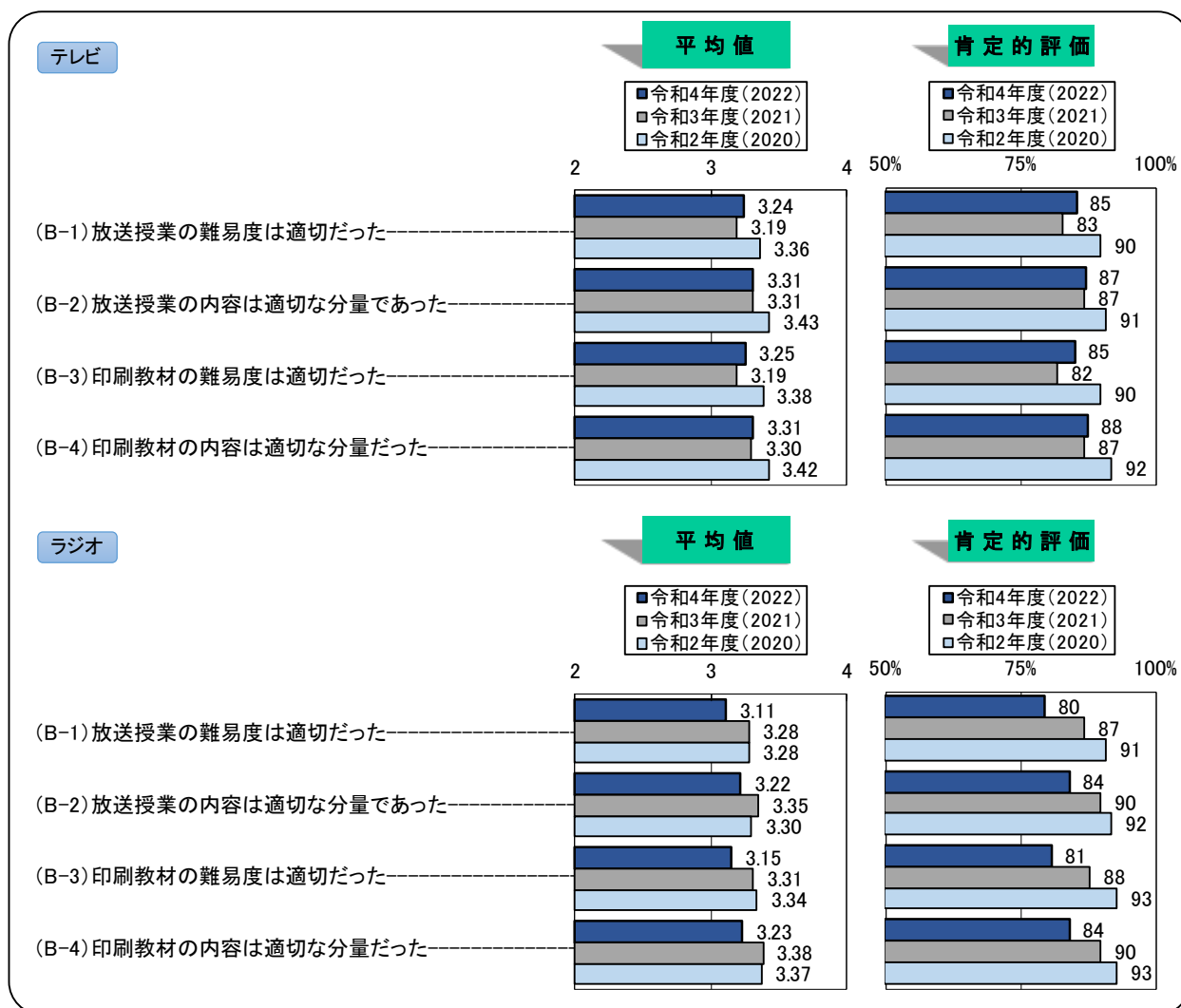
図2-25 【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価



メディア別の授業の難易度・分量を開設年度で比較すると（図2-26）、テレビ科目の肯定的評価は、全ての項目で昨年度を横ばいしないし上回っていた。

ラジオ科目については、逆に全ての項目で評価が低下傾向にあり、特に(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は7ポイント減であった。

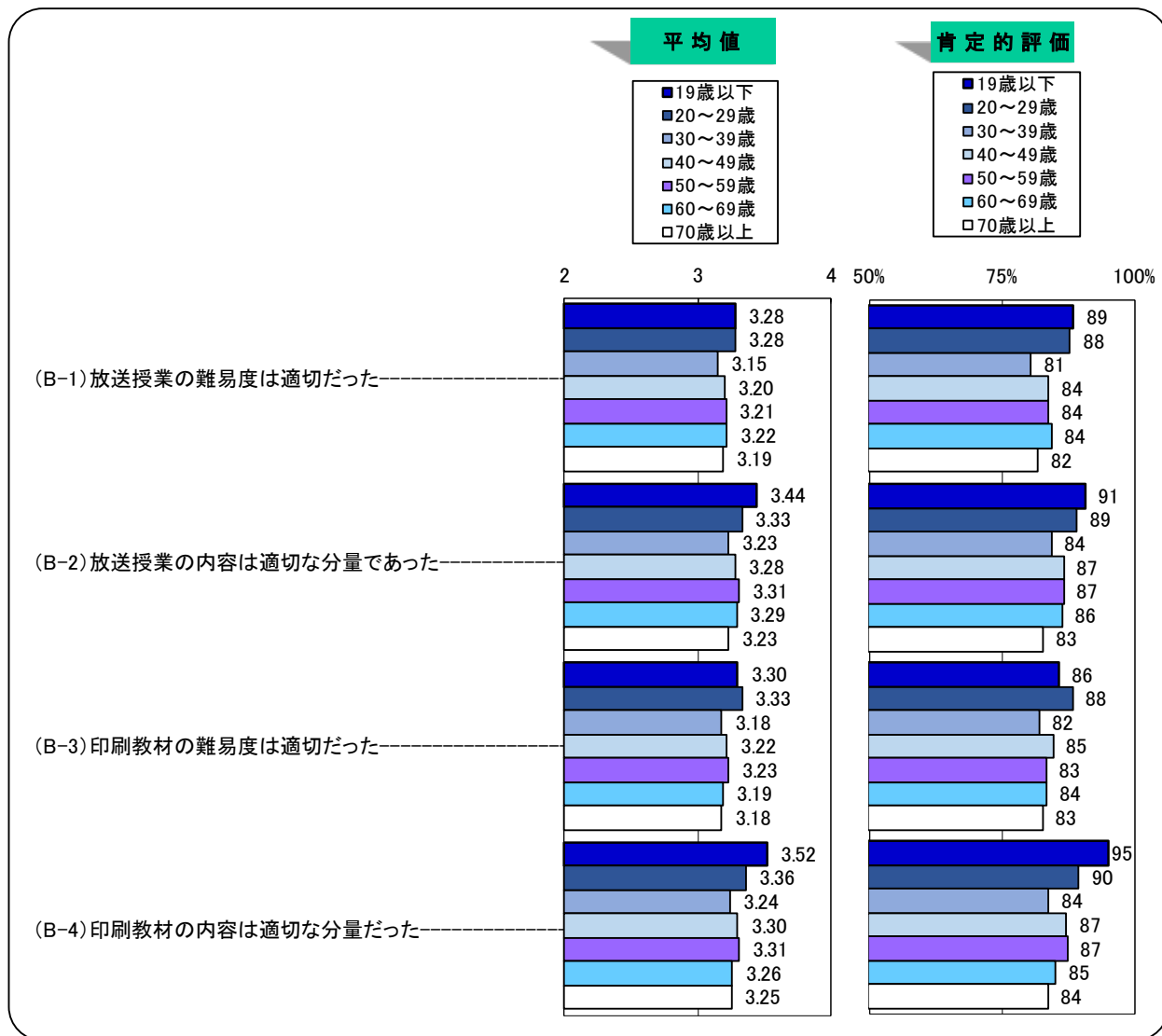
図2-26【学部】メディア別の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-27）、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」を除く各項目において、19歳以下の評価が最も高かった。

反対に70歳以上では、下記全ての項目において評価が84%以下と最も低かった。

図2-27【学部】年齢階層別の授業難易度・分量の評価

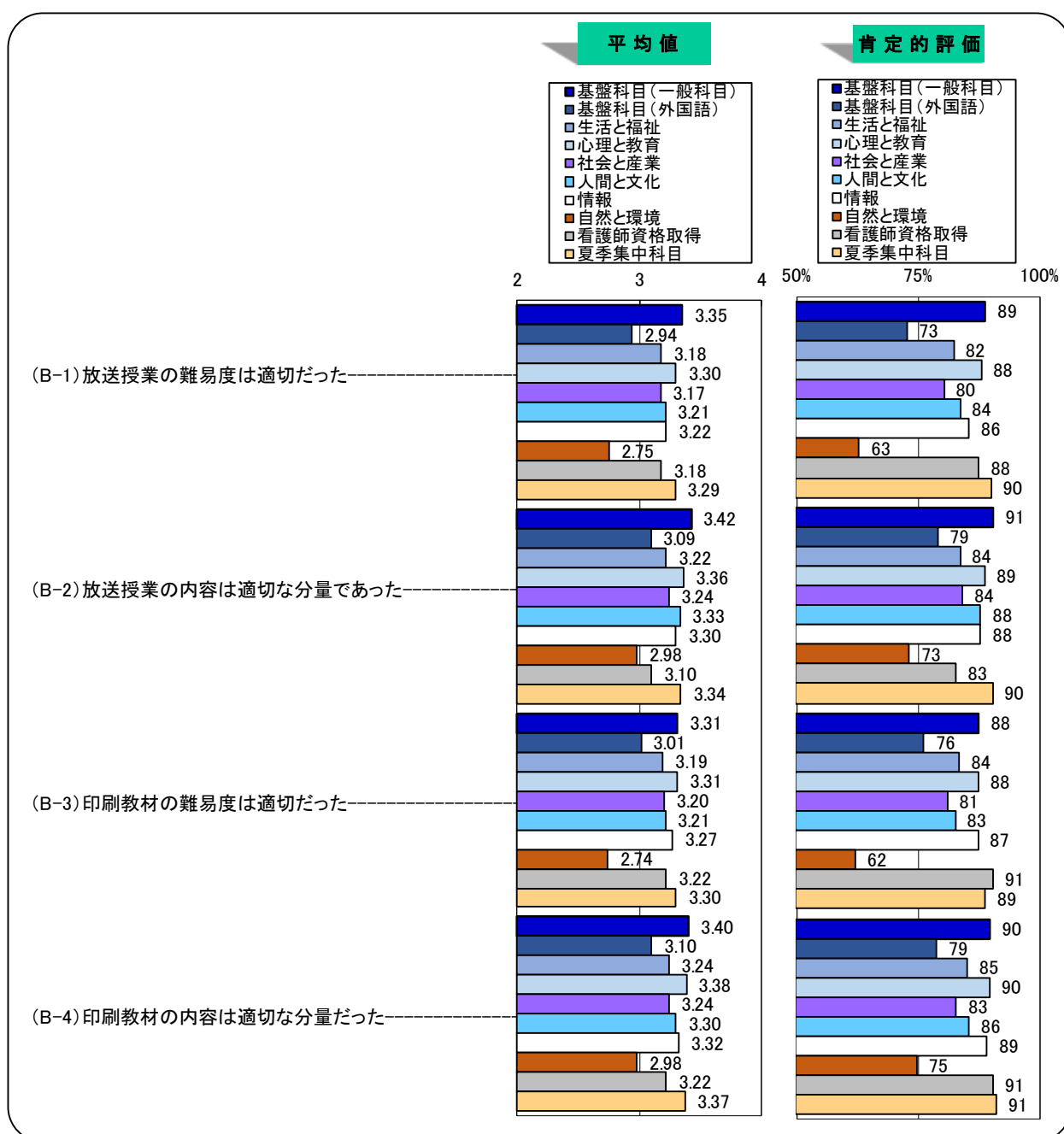


所属コース別に授業の難易度・分量を見ると（図2-28）、下記全ての項目で特徴的であったのは、「夏季集中科目」「看護師資格取得」が上位1、2位を占めていた。

また、(B-2)「放送授業の内容は適切な量だった」では「基盤科目（一般科目）」の評価も高く、91%であった。

反対に全ての項目で最も評価が低かったのは「自然と環境」で、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」と(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、他の所属コースから10ポイント以上の開きがあり、それぞれの難易度に対する評価は低かった。

図2-28 【学部】所属コース別の授業難易度・分量の評価

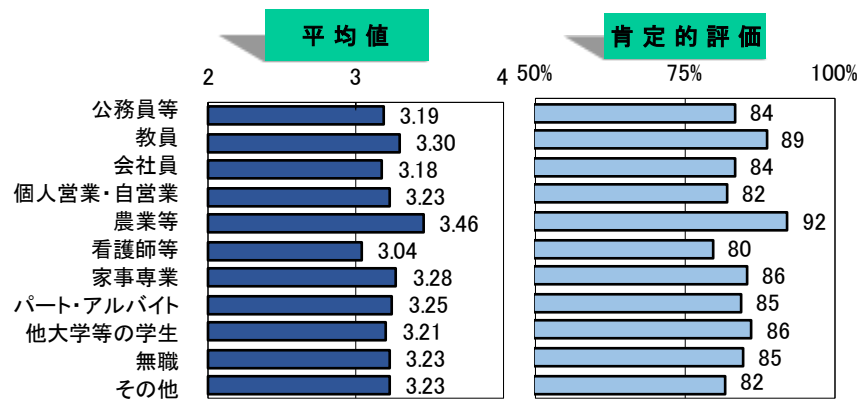


職業別に授業の難易度を見ると（次頁図2-29）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」、(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」については、それぞれ「教員」「農業等」の評価が89%～96%と高かった。(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」については、「他大学等の学生」が93%と最も高かった。

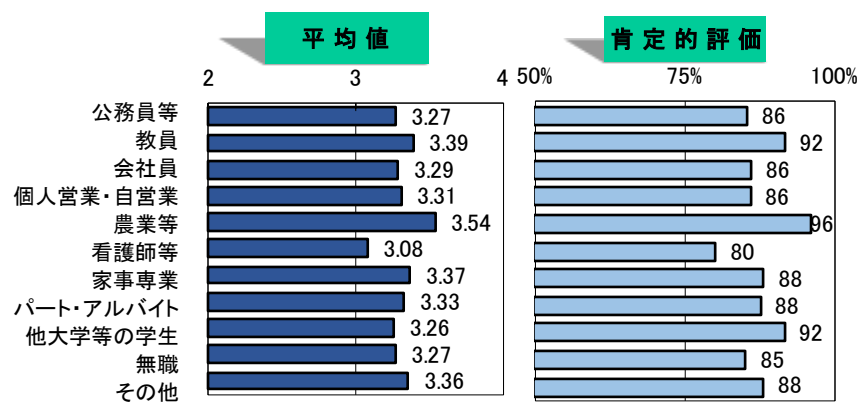
逆に、各項目で評価が最も低かったのは「看護師等」であった。

図 2-29 【学部】職業別の授業難易度の評価

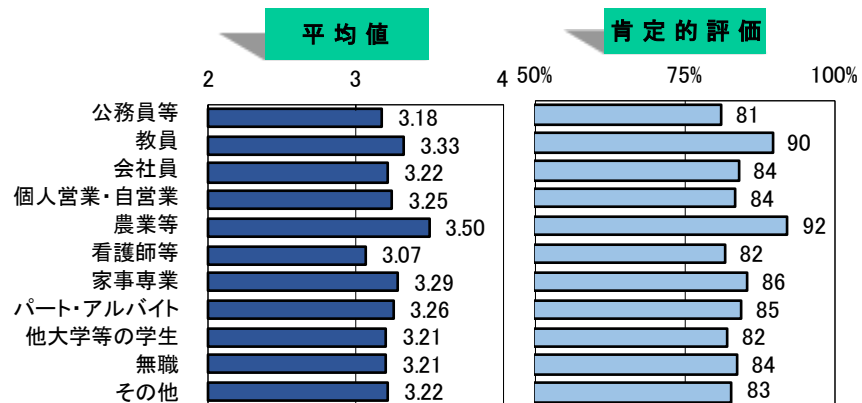
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった



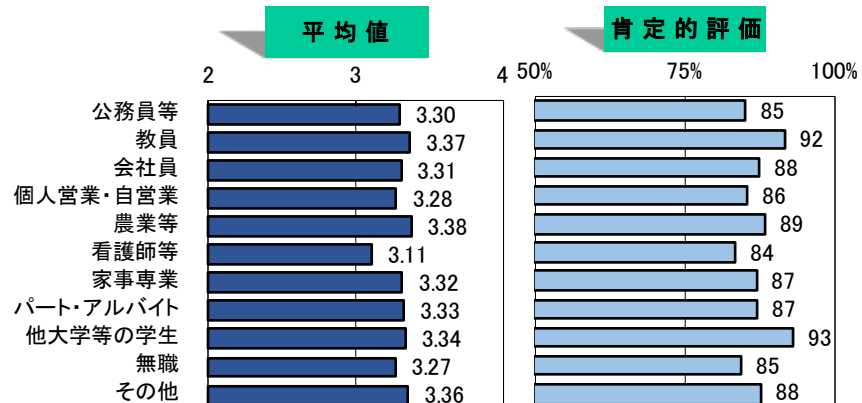
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった



(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量だった

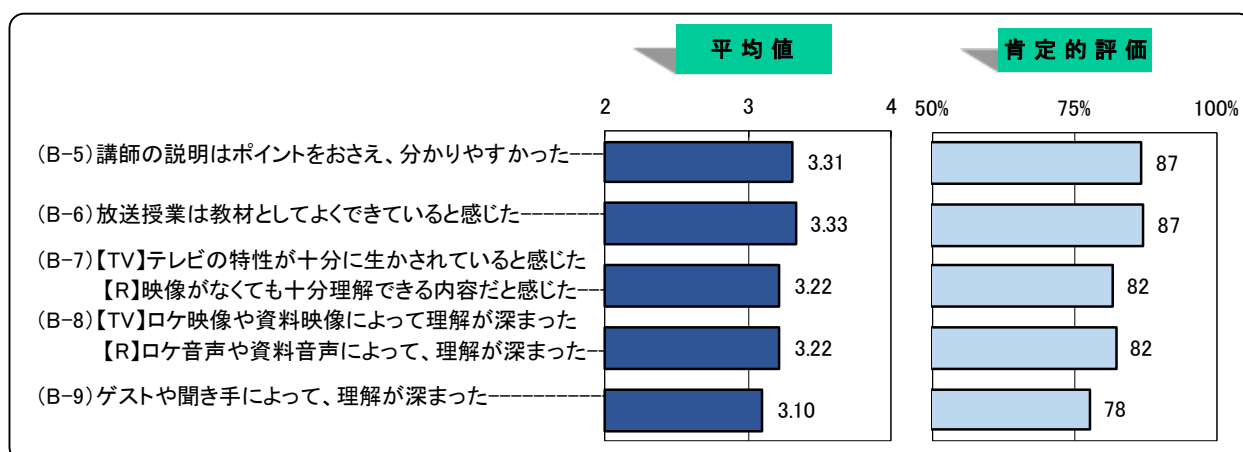


(3) 放送授業

ここからは放送授業について、評価項目ごとに見ていくことにする。

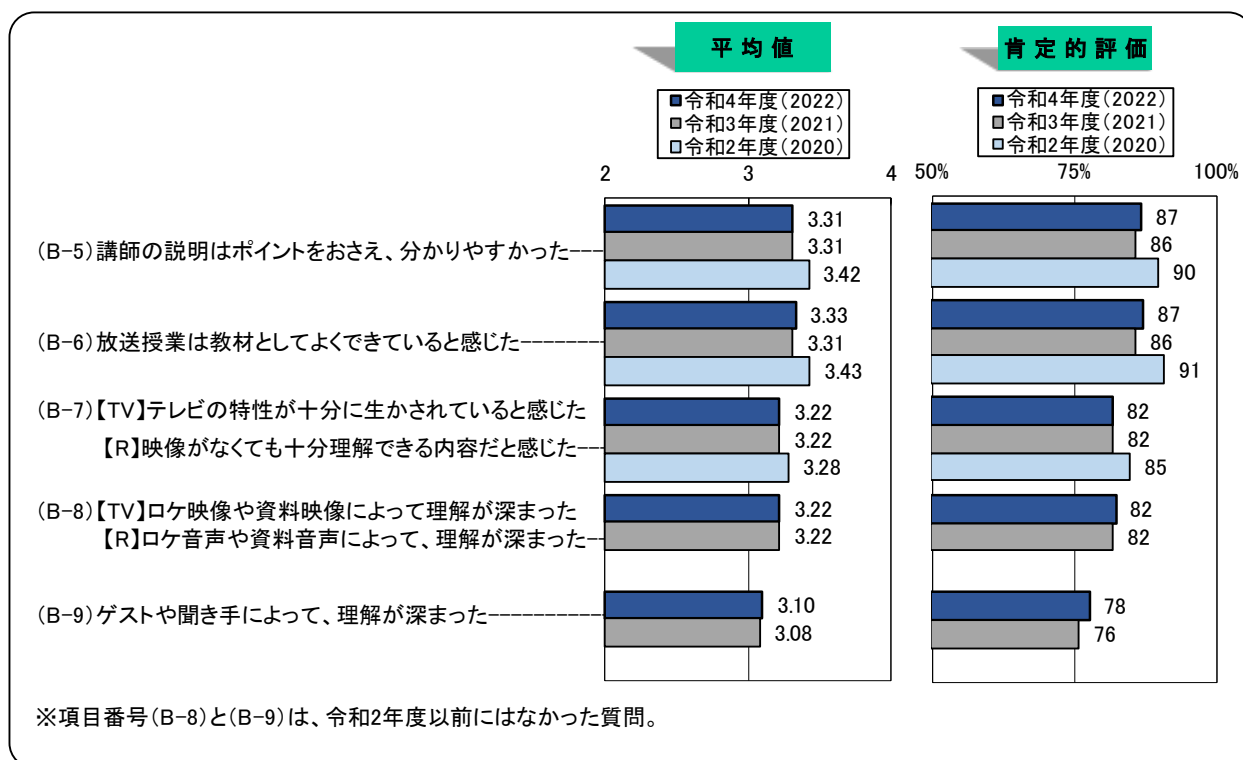
放送授業に関する評価項目（図2-30）では、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」と(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」が87%と高く、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は78%と、他の項目に比べると極めて評価が低かった。

図2-30 【学部】回答者全体の放送授業の評価



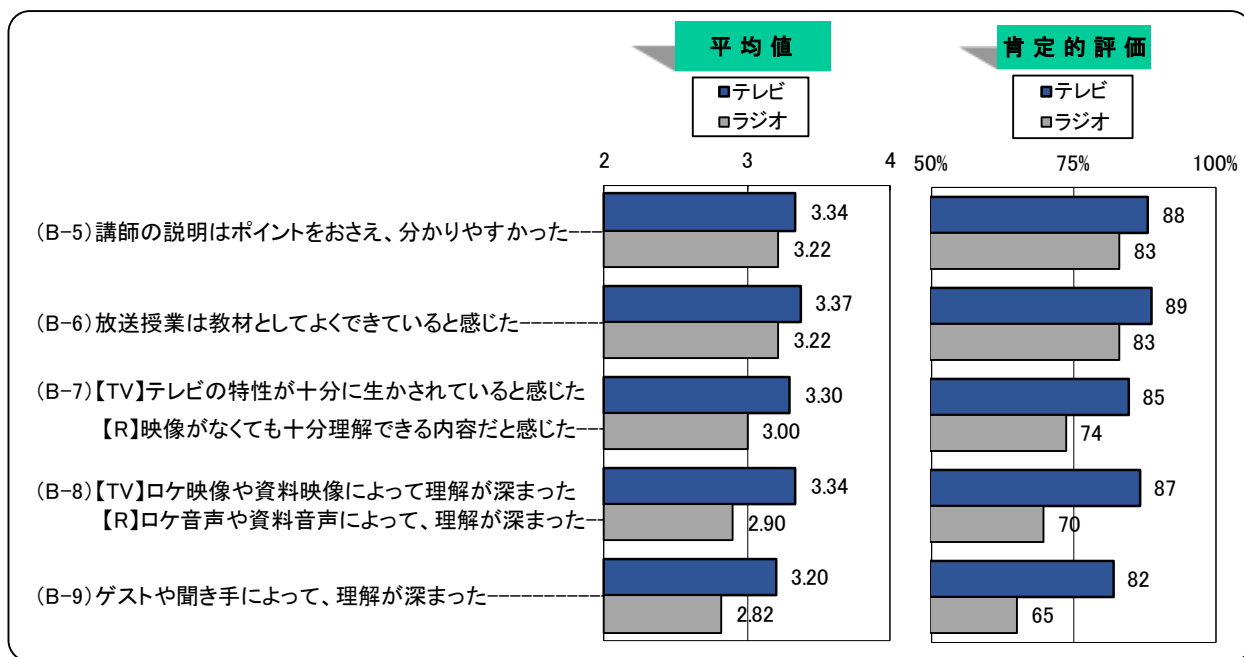
放送授業の評価を時系列で見ると（図2-31）本年度は、昨年度と比べると、(B-7)を除いたすべての項目で評価が上がっていた。

図2-31 【学部】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-32）、全ての項目でテレビ科目の評価が高かった。中でも(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた／【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」、(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった／【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」では、10ポイント以上テレビ科目の評価が高かった。

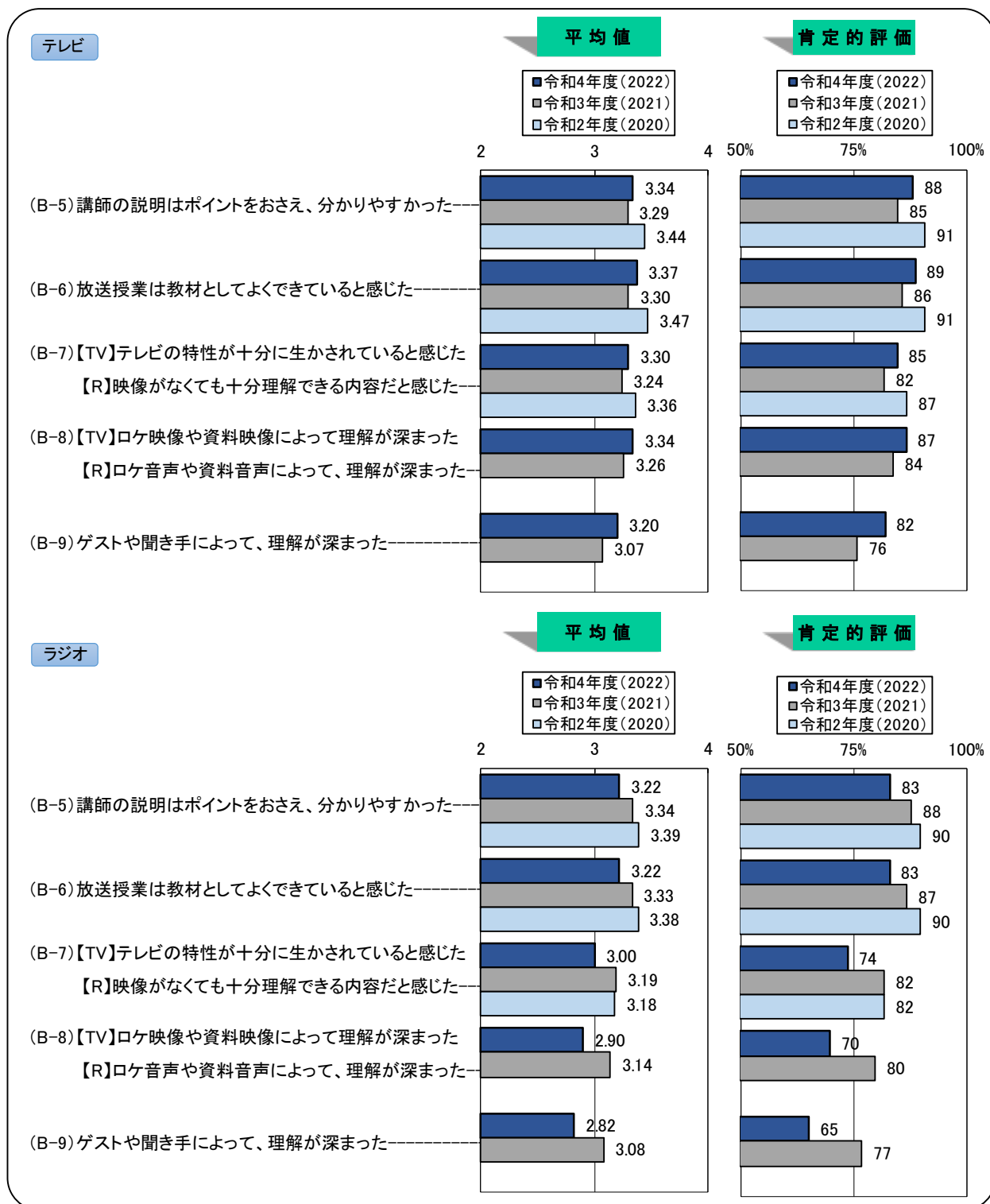
図2-32 【学部】メディア別の放送授業の評価



また、メディア別に放送授業の評価を時系列で見ると（図2-33）、テレビ科目については、全項目で、昨年度との比較で、3～6ポイント評価を上げていた。

一方、ラジオ科目では、全ての項目で昨年度よりも評価が低下しており、中でも(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」については、12ポイントの大幅減となっていた。

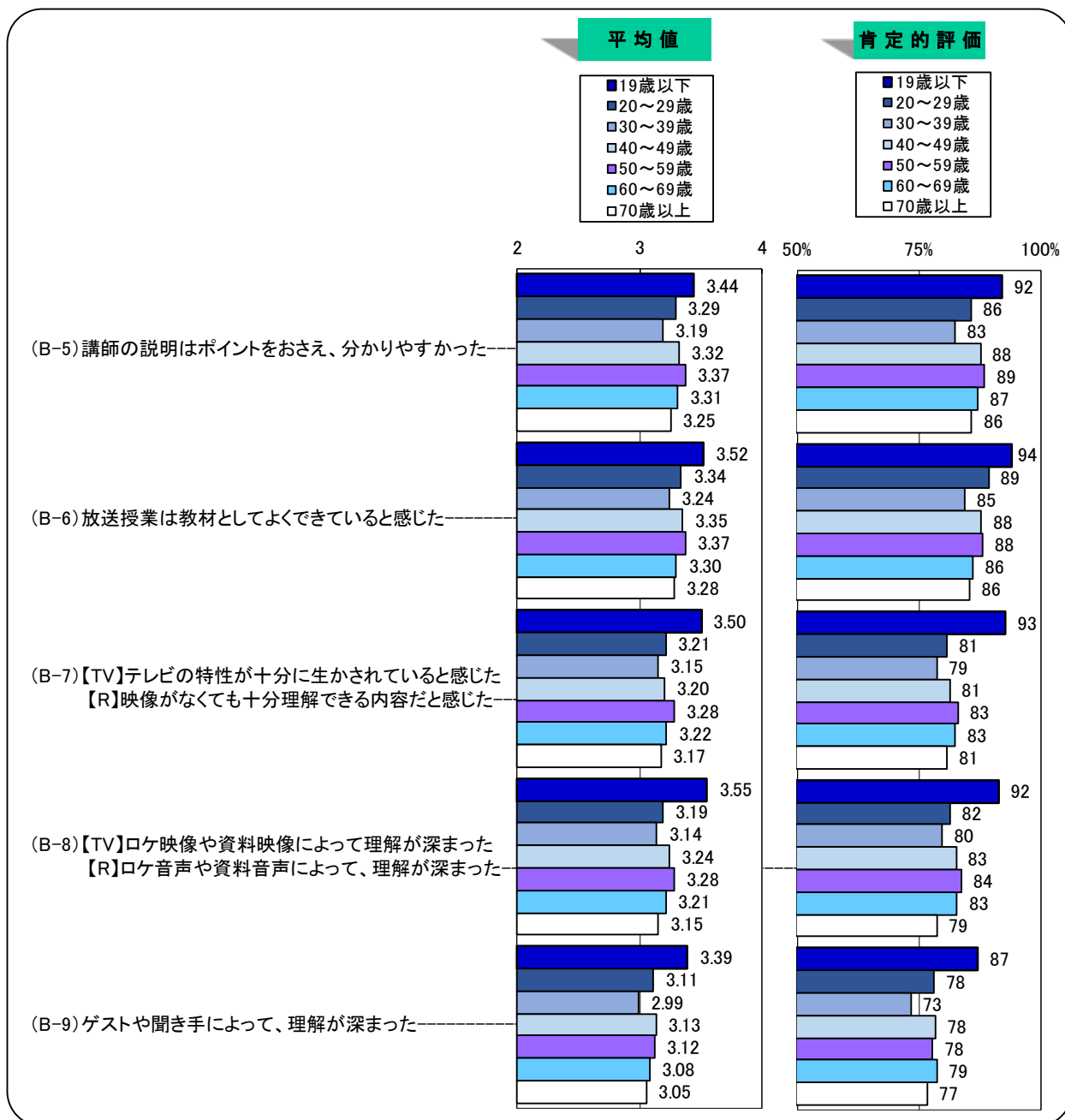
図2-33 【学部】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別の放送授業の評価で（図 2 - 3 4）特徴的であったのは、下記の項目全てで 19 歳以下の評価が最も高く、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」では 94%に達していた。

反対に全ての項目で評価が最も低かったのは 30 歳代で 73~83%に留まっていた。

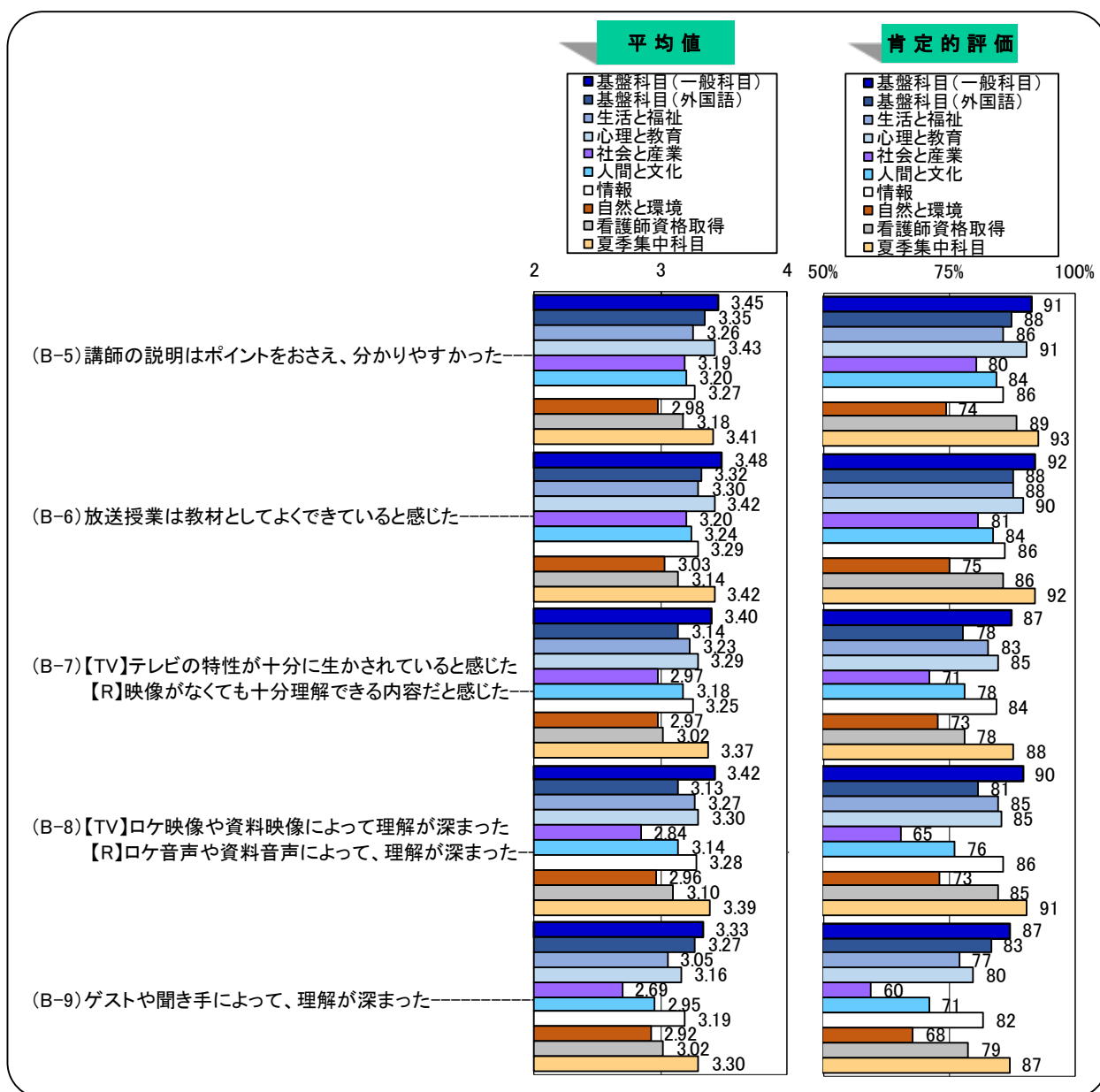
図 2 - 3 4 【学部】年齢階層別の放送授業の評価



所属コース別に放送授業の評価を見ると（図2-35）、特徴的であったのは、「基盤科目（一般科目）」と「夏季集中科目」が全ての項目で上位1位か2位の高評価であった。（B-5）「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「心理と教育」（91％）の評価も高かった。

反対に低い評価であったのは、「社会と産業」「自然と環境」で、全ての項目で下位1位か2位であった。特に「社会と産業」では（B-8）「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」（B-9）「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」の評価が65％以下と特異な傾向が見られた。

図2-35 【学部】所属コース別の放送授業の評価



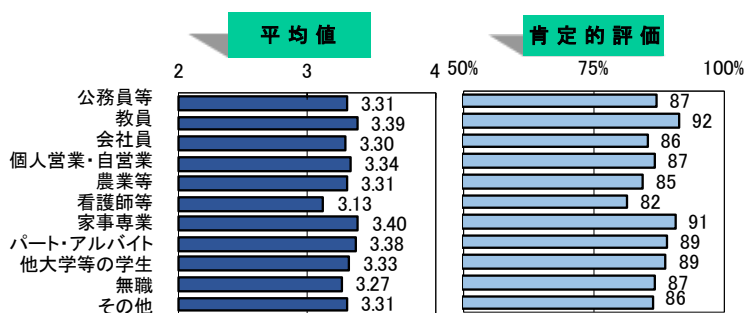
職業別の放送授業の評価（次頁図 2 - 3 6）で特徴的な傾向は、(B-6) (B-7) を除く全ての項目で「教員」が最も高い評価であった、

(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は「他大学等の学生」(92%)、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、「農業等」が 92%と最も高い評価であった。

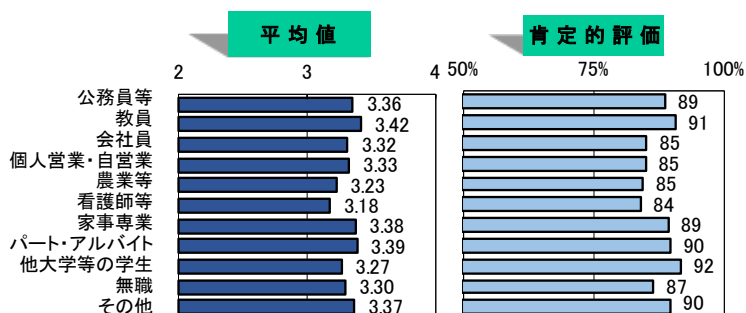
反対に (B-9) を除く全ての項目で、最も低い評価をしたのは「看護師等」で、特に (B-7) の評価が 76%と低かった。

図 2-36 【学部】職業別の放送授業の評価

(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった

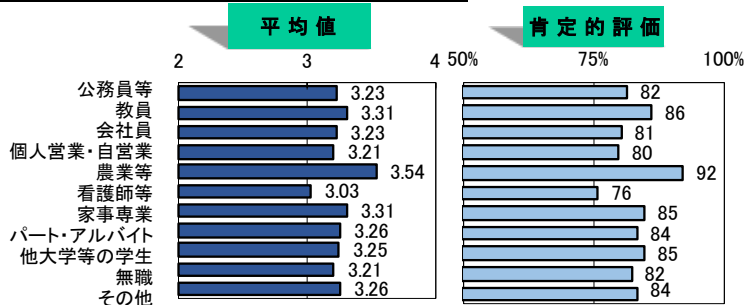


(B-6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた



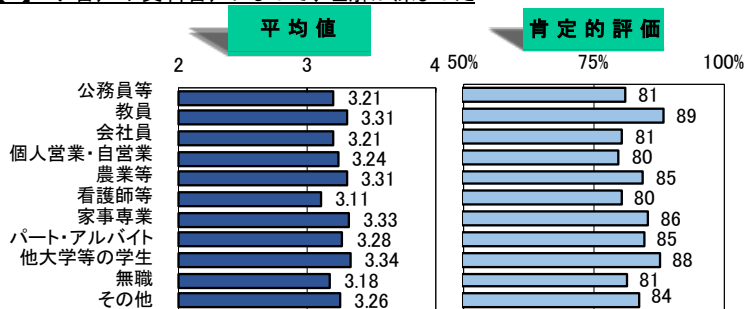
(B-7) 【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた

【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた

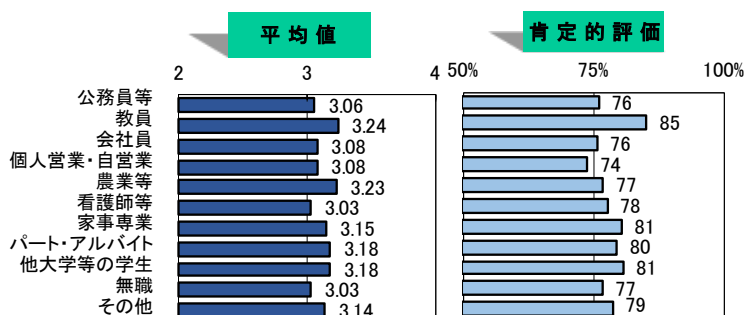


(B-8) 【TV】ロケ映像や資料映像によって理解が深まった

【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった



(B-9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった

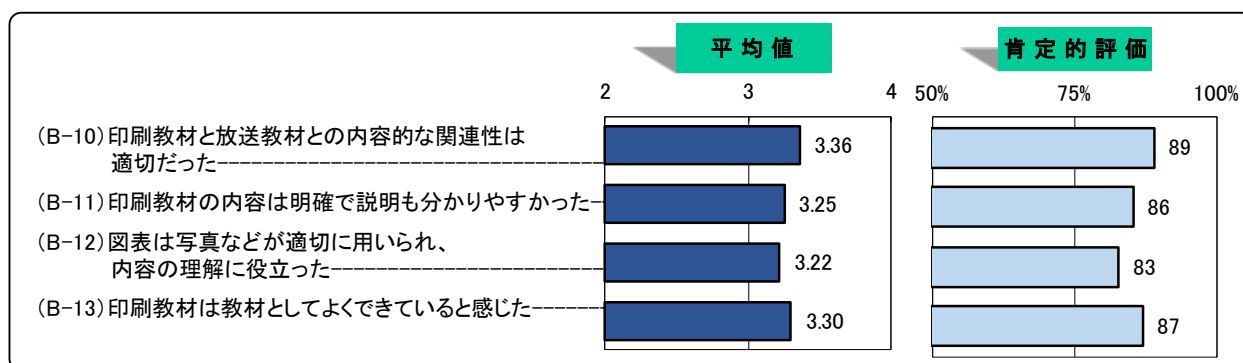


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていくことにする。

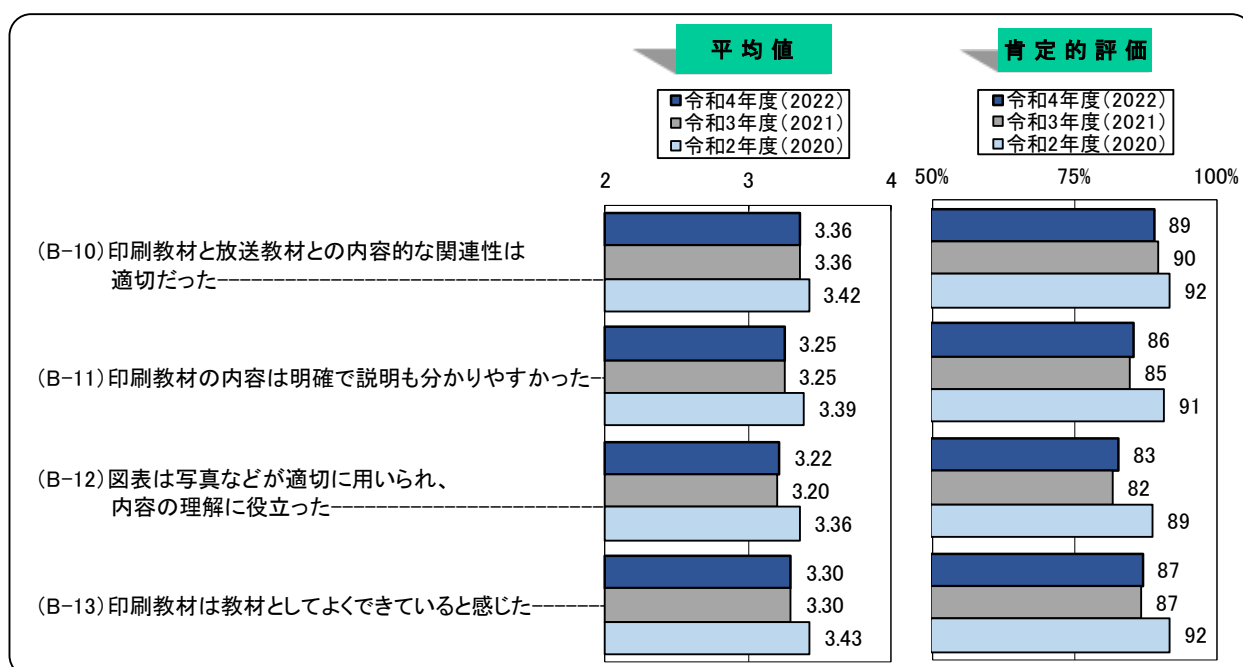
印刷教材の評価項目では（図2-37）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」が89%と最も高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が83%と最も低かった。

図2-37 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価



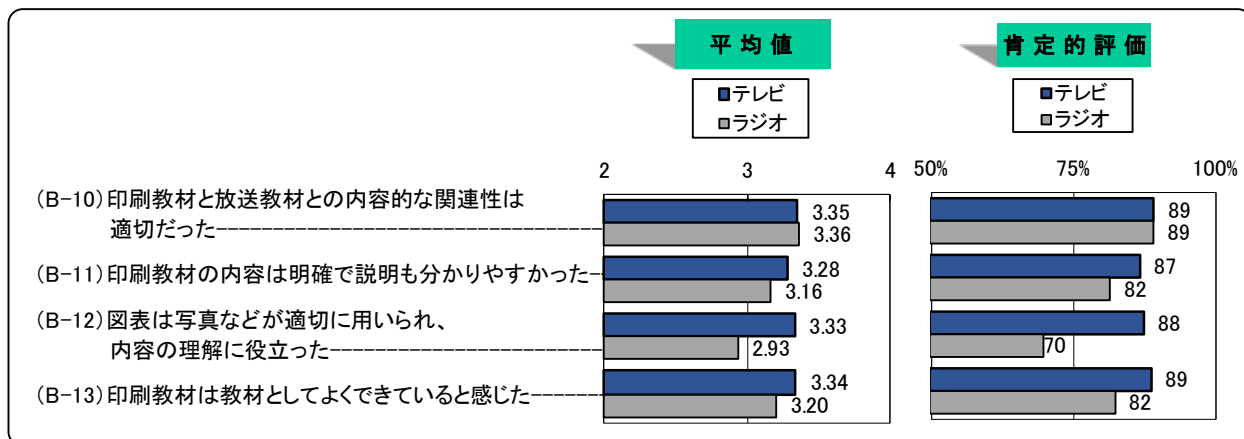
印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-38）、本年度は(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は昨年度より評価を下げたものの、それ以外の項目では、評価が上向いていた。

図2-38 【学部】 回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-39）、(B-10)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」を除く3項目では、テレビ科目の評価の方が高かった。特に(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は18ポイントと大きな差であった。

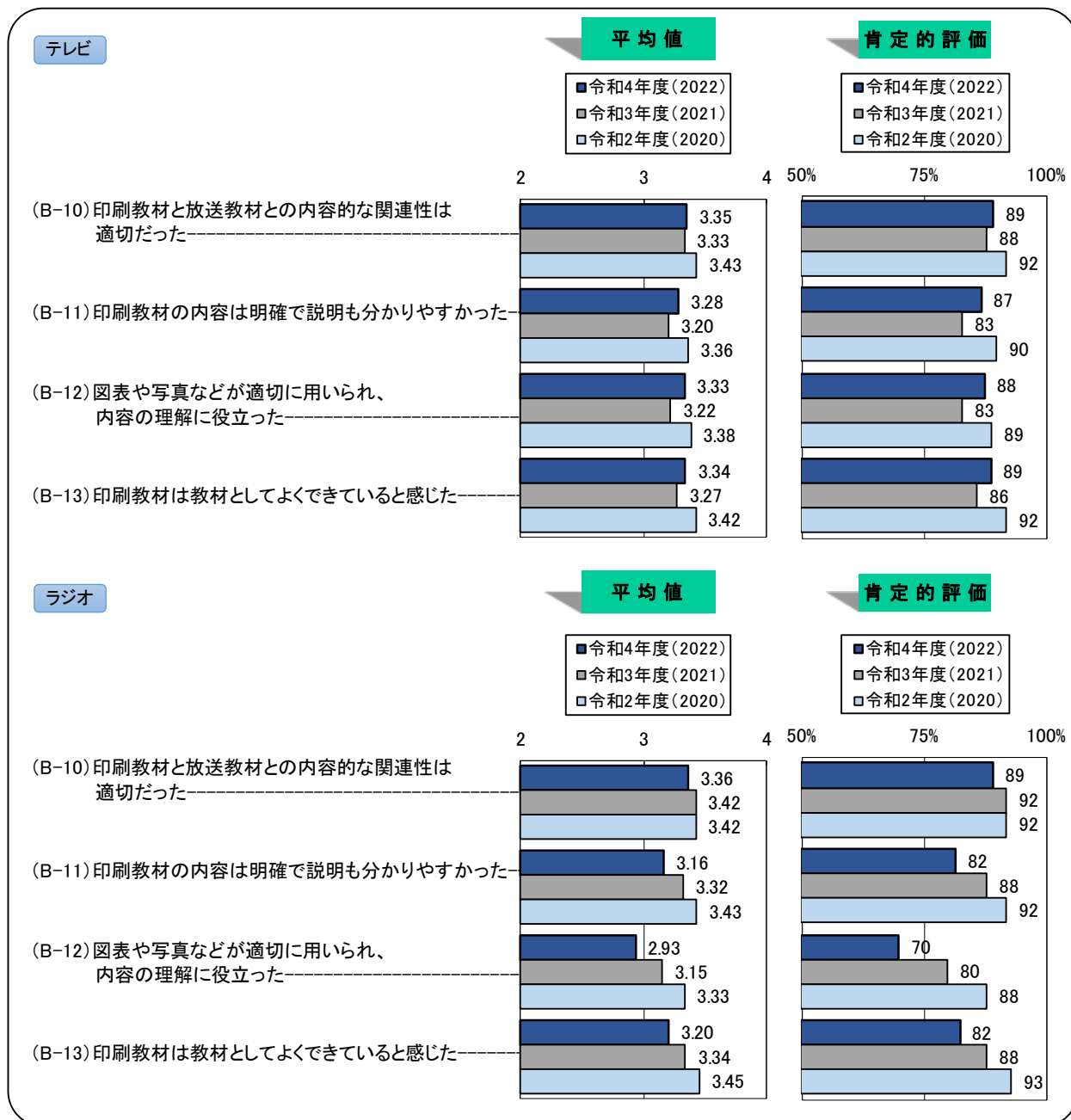
図2-39 【学部】メディア別の印刷教材の評価



メディア別の印刷教材の結果を時系列で見ると（図2-40）、テレビ科目では、本年度は、全ての項目で昨年度より評価が上がっていた。

一方、ラジオ科目については、過去2年度から4項目全てで評価が低下しており、中でも(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」においては、昨年度よりマイナス10ポイントと、大幅減であった。

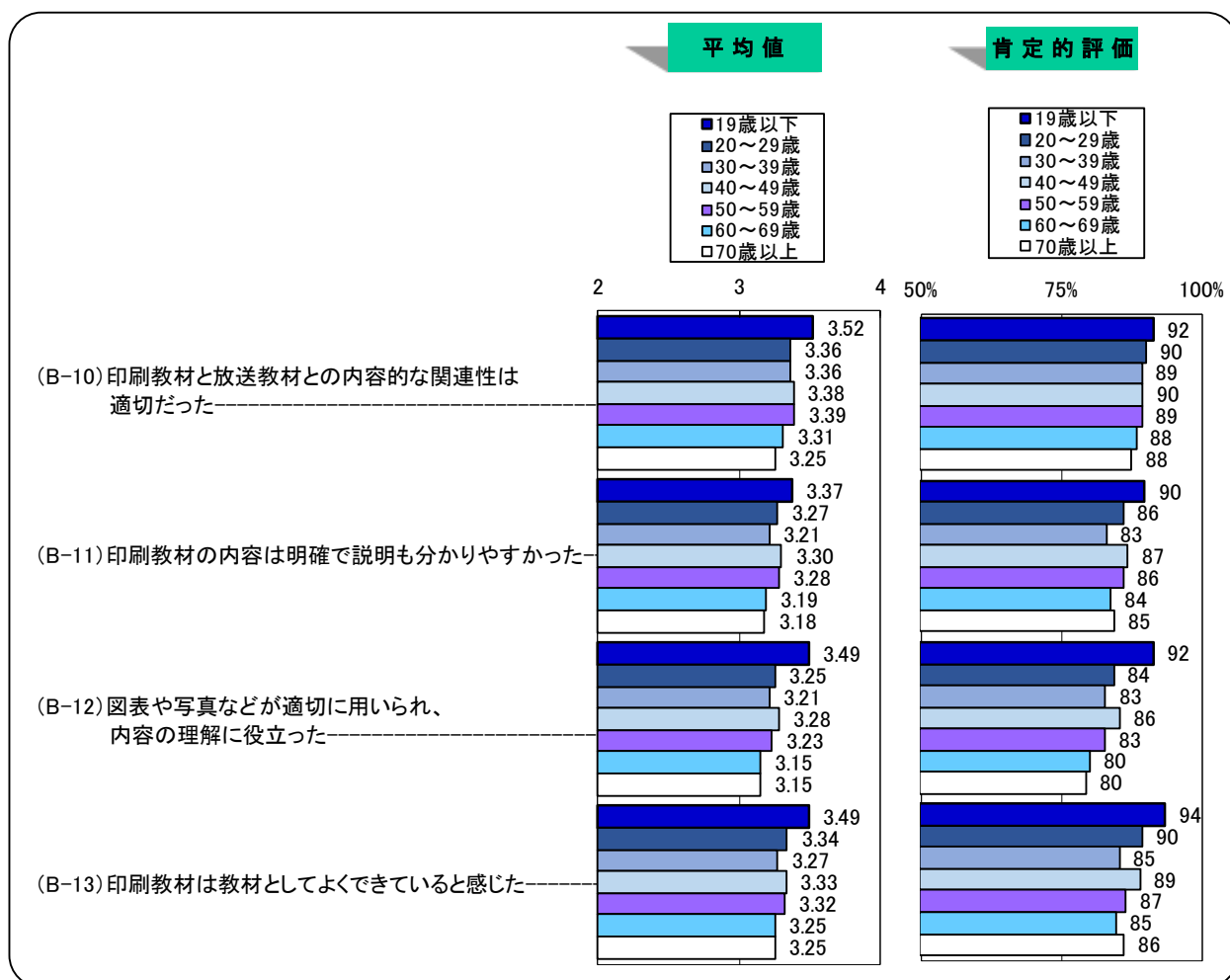
図2-40【学部】メディア別の印刷教材の評価（時系列）



年齢階層別に印刷教材の評価を見ると（図2-41）、全ての項目で19歳以下の評価が最も高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」では92%と、他の年代から群を抜いていた。

反対に評価が低かったのは、70歳以上で、全ての項目において、下位1,2位となっていた。

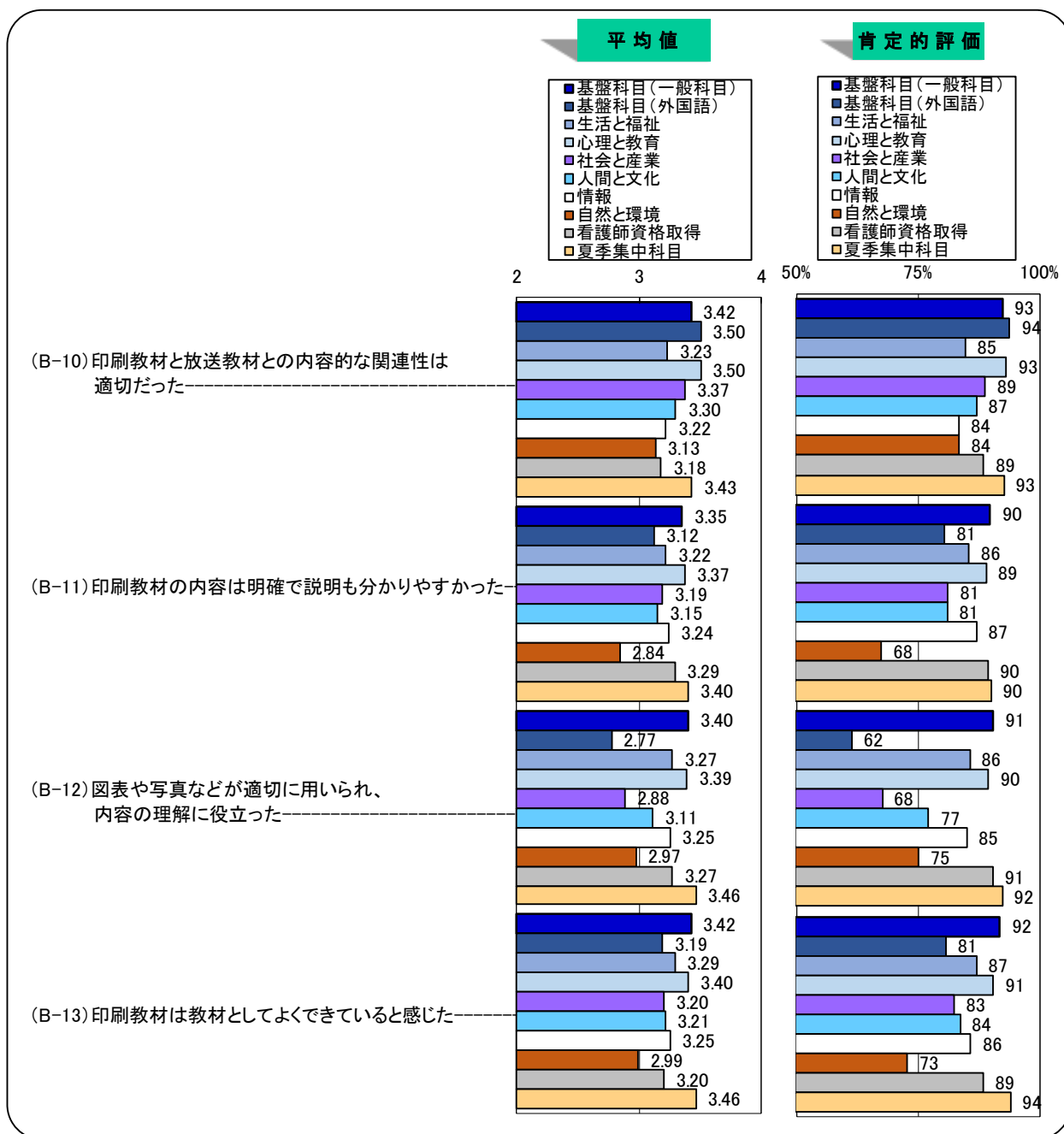
図2-41 【学部】年齢階層別の印刷教材の評価



所属コース別に印刷教材の評価を見ると（図2-42）、「夏季集中科目」が、全ての項目で90%以上の評価であった。（B-10）「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」では「基盤科目（外国語）」、「（B-11）「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」、（B-12）「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」、（B-13）「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」については、「基盤科目（一般科目）」の評価も高かった。

反対に評価が低かったのは、「自然と環境」で、（B-12）を除く項目で最も評価が低かった。（B-12）で最も評価が低かったのは、「基盤科目（外国語）」（62%）であった。

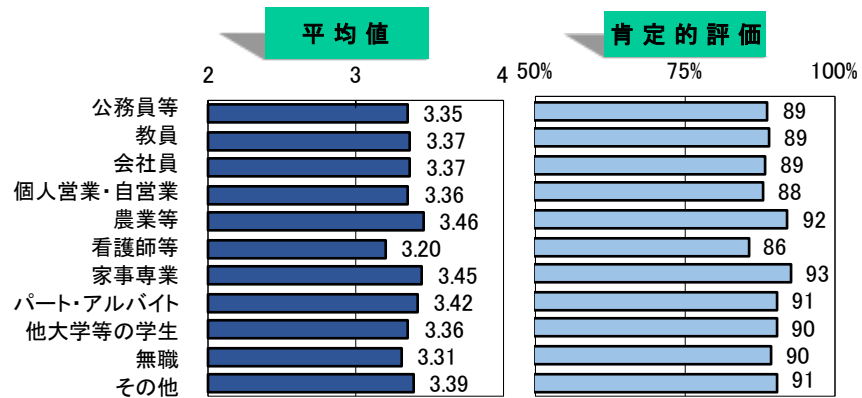
図2-42 【学部】所属コース別の印刷教材の評価



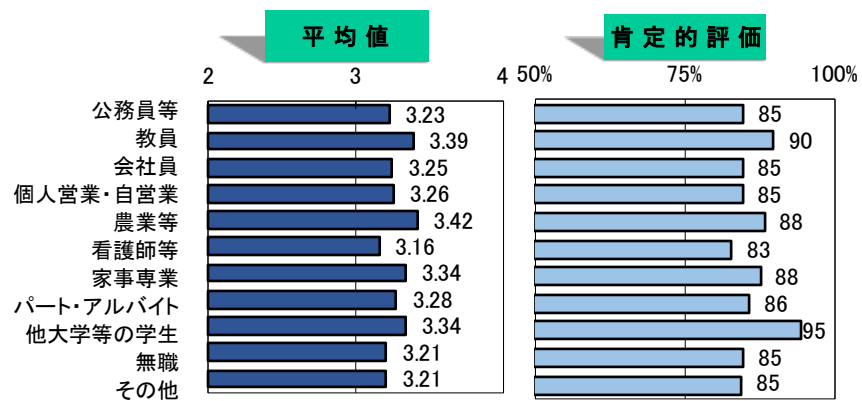
職業別の印刷教材の評価（次頁図2-43）で、特徴的であったのは、「教員」と「他大学等の学生」の評価が高く、(B-10)以外は1,2位の評価であった。(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は「農業等」と「家事専業」の評価が高かった。反対に評価が低かったのは「看護師等」で、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」を除く各項目で最も評価が低かった。

図 2-43 【学部】職業別の印刷教材の評価

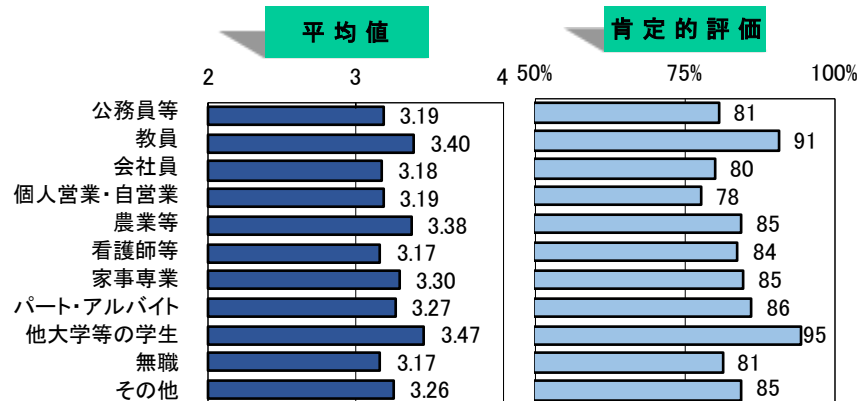
(B-10) 印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



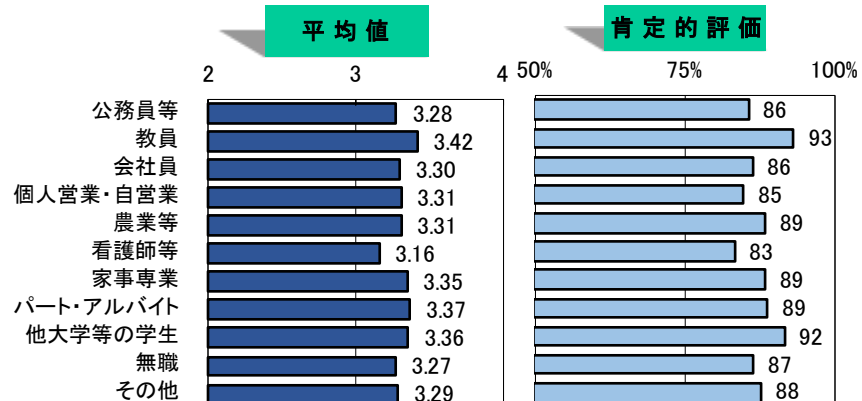
(B-11) 印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12) 図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13) 印刷教材は教材としてよくできていると感じた

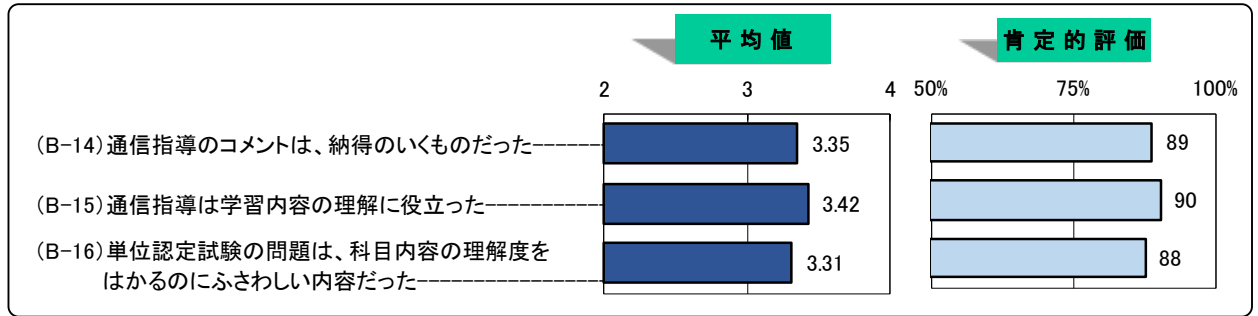


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

通信指導・単位認定試験については（図2-44）、全ての項目で88～90%と同水準であった。

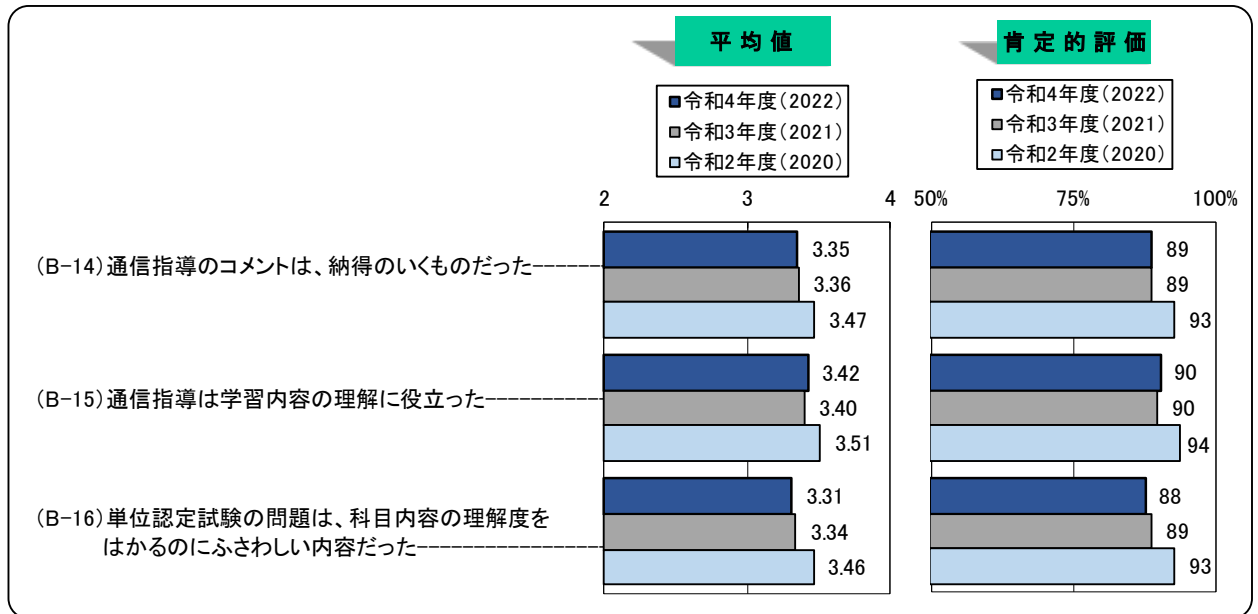
図2-44 【学部】 回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると（図2-45）、本年度は、下記の3目全てで、昨年度とほぼ同水準であった。

一昨年度と比べると、各項目全てで4～5ポイントのマイナスであった。

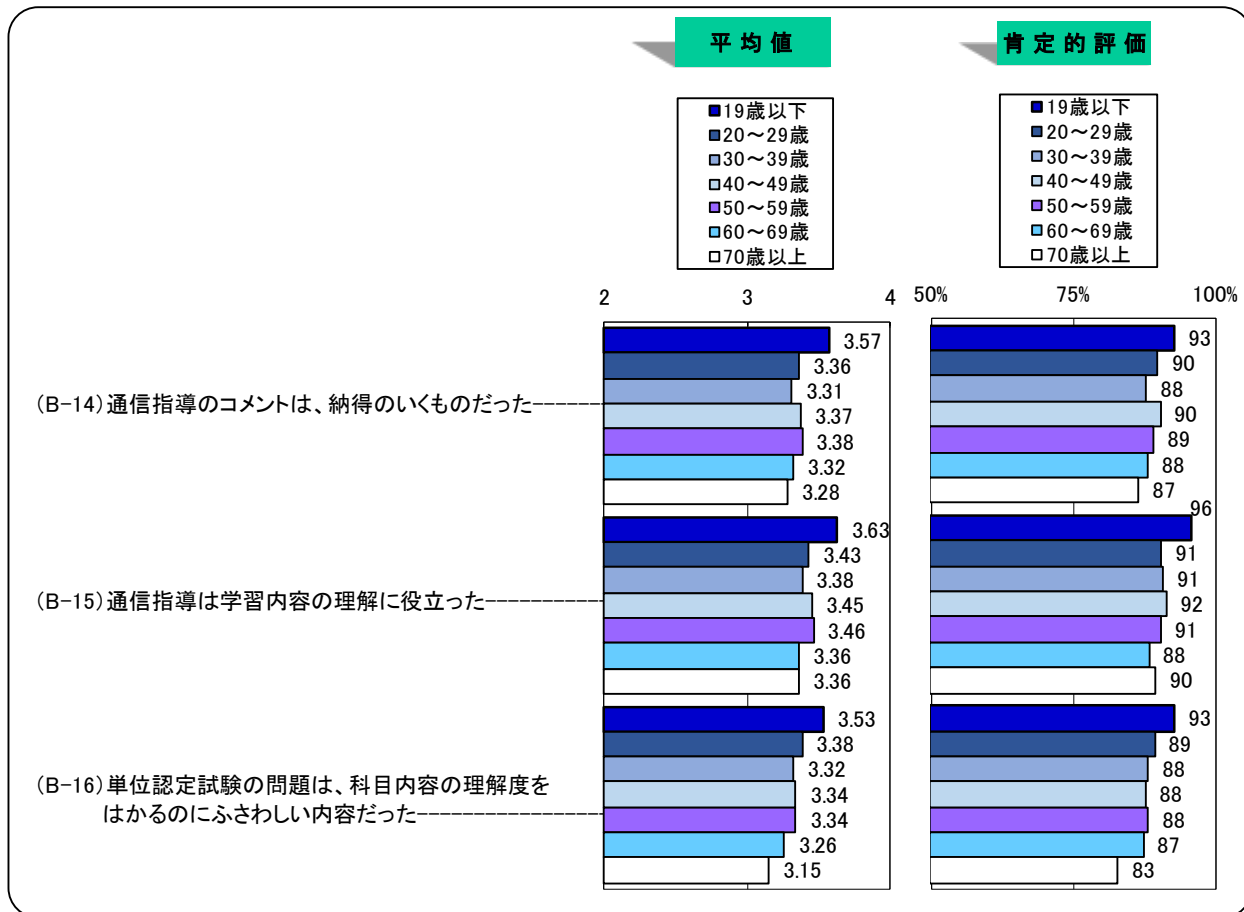
図2-45 【学部】 回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価（時系列）



年齢階層別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-46）、全ての項目で19歳以下の評価が最も高かった。中でも(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、96%と他の年代よりも特に高かった。

反対に全般的に評価が低かったのは60歳代、70歳代以上で、各項目とも下位1,2位であった。

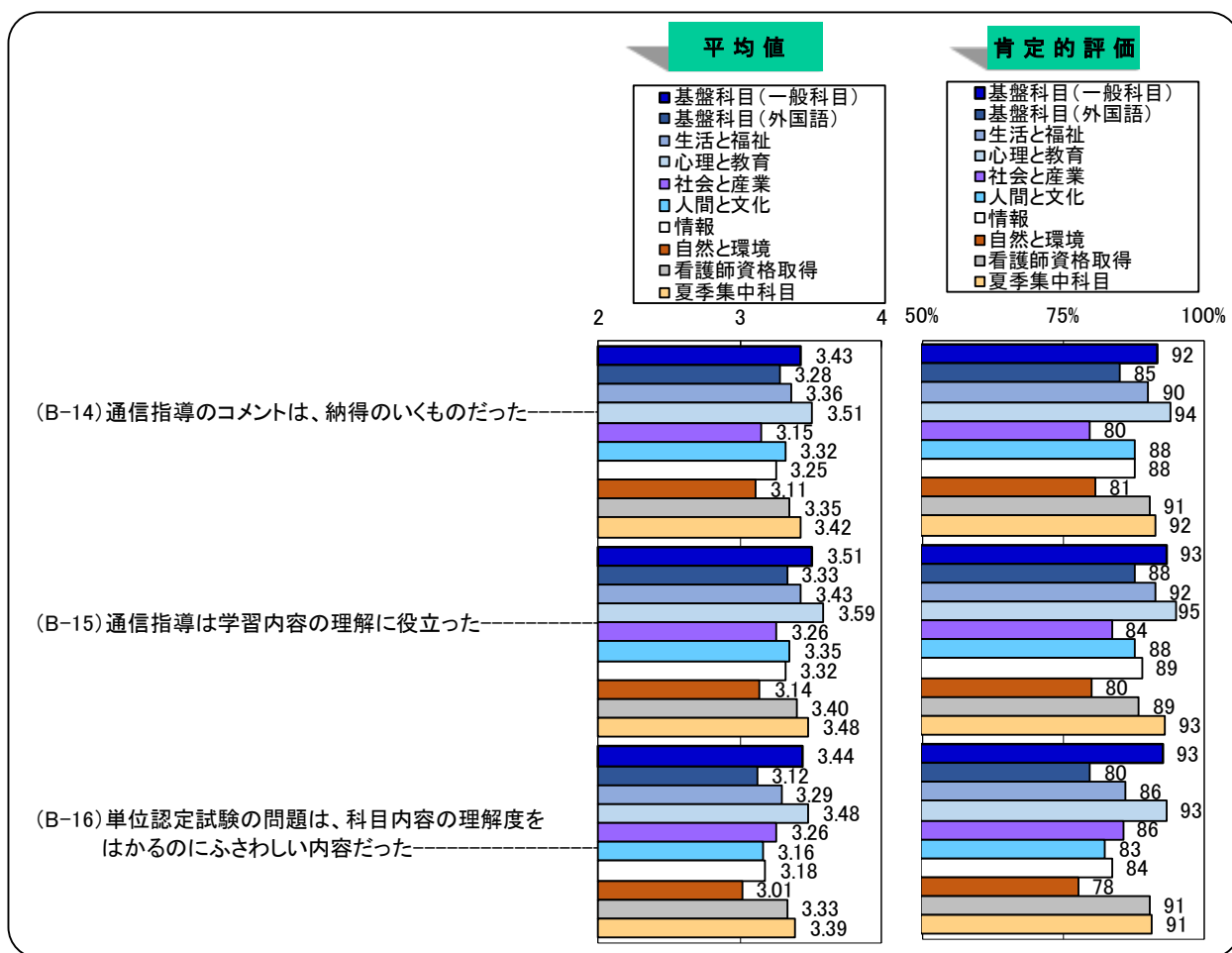
図2-46 【学部】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価



所属コース別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（図2-47）、全項目で「心理と教育」の評価が最も高かった。また、「基盤科目（一般科目）」「夏季集中科目」の評価も高い傾向が見られた。

反対に評価が低いのは、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では「社会と産業」「自然と環境」、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では「基盤科目（一般科目）」と「自然と環境」が目立って低かった。

図2-47 【学部】所属コース別の通信指導・単位認定試験の評価



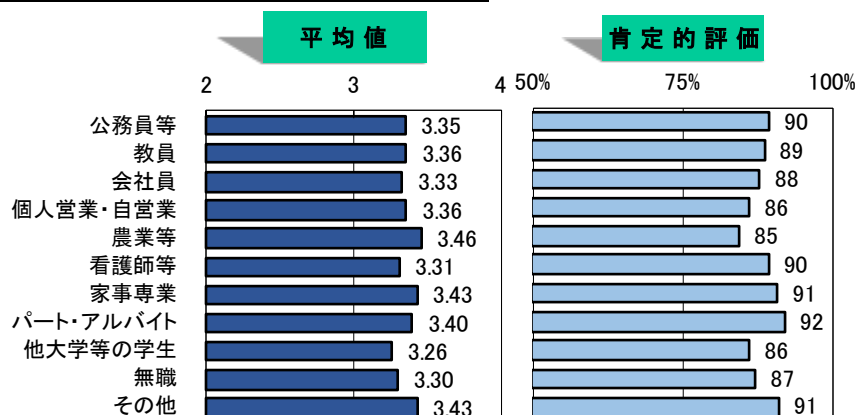
職業別に通信指導・単位認定試験の評価を見ると（次頁図2-48）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は「家事専業」（91%）と「パート・アルバイト」（92%）の評価が高く、反対に「農業等」が85%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「公務員等」「家事専業」「パート・アルバイト」が93%と最も高かった。最も評価が低かったのは「農業等」、「無職」（88%）であった。

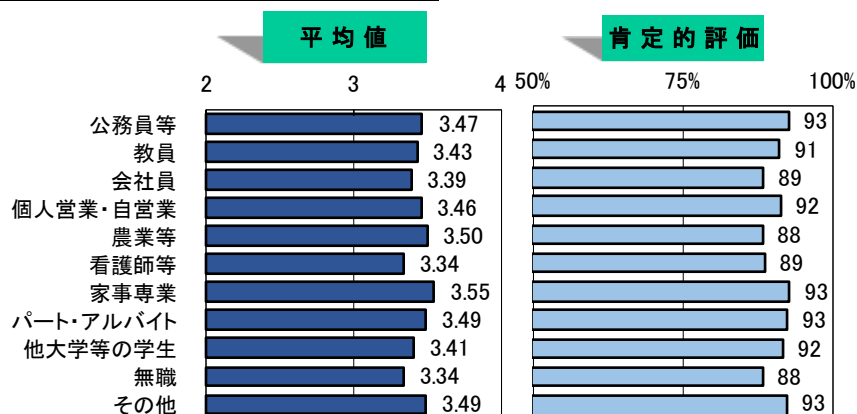
(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は「他大学等の学生」が95%と最も高く、他に「教員」「家事専業」「パート・アルバイト」がそれぞれ90%となっていた。

図2-48【学部】職業別の通信指導・単位認定試験の評価

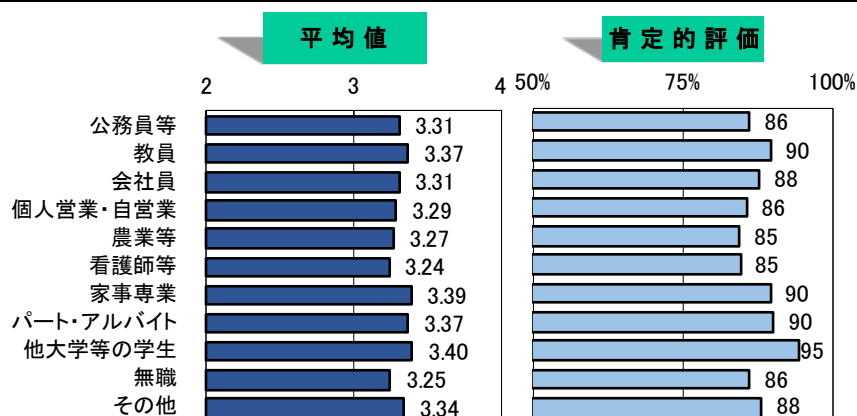
(B-14) 通信指導のコメントは、納得のいくものだった



(B-15) 通信指導は学習内容の理解に役立った



(B-16) 単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった



Ⅱ-1-4. 学部の重回帰分析

重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏重回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 6275 人のローデータを使用した。

その結果は以下の通りとなった。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.745 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 1.984 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.745
自由度修正済み決定係数	0.744
ダーヴィンワトソン比	1.984
残差の標準偏差	0.388

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	3696.768	6274				
回帰による変動	2755.142	15	183.676	1220.898	0.000	[**]
回帰からの残差変動	941.626	6259	0.150			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」で 0.238、次いで B-20「この科目の内容を全体としてよく理解できた」、(0.236)、他に B-19「新しい知識が身につく視野が広がった」(0.143)と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-7 (0.021) を基準に、他の項目がその何倍となるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-18:11.3 倍、B-20:11.2 倍、B-19:6.8 倍となった。

この結果を踏まえ、今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 89%) を上げるためには、上位 2 項目、「B-18 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」、「B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)」が突出しており、この 2 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-18:89%、B-20:86%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地は残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-7との対比
B-21全体の満足度	0.238	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	11.3
	0.236	B-20この科目の内容を全体としてよく理解できた	[**]	11.2
	0.143	B-19新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	6.8
	0.088	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	4.2
	0.074	B-5 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった	[**]	3.5
	0.070	B-6 放送授業は教材としてよくできていると感じた	[**]	3.3
	0.061	B-16単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	2.9
	0.045	B-17授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	2.1
	0.036	B-11印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった	[**]	1.7
	0.036	B-15通信指導は学習内容の理解に役立った	[**]	1.7
	0.032	B-1 放送授業の難易度は適切だった	[**]	1.5
	0.023	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]	1.1
	0.021	B-7 テレビの特性が十分に生かされていると感じた	[**]	1.0
	定数項		[**]	

Ⅱ-2. 大学院の分析結果

Ⅱ-2-1. 項目平均から見た全体的傾向

評価項目の内容ごとに回答者全体の平均値と肯定的評価を A-1～A-3 等の複数の項目の平均を算出しグラフ化（図 2-49）した。

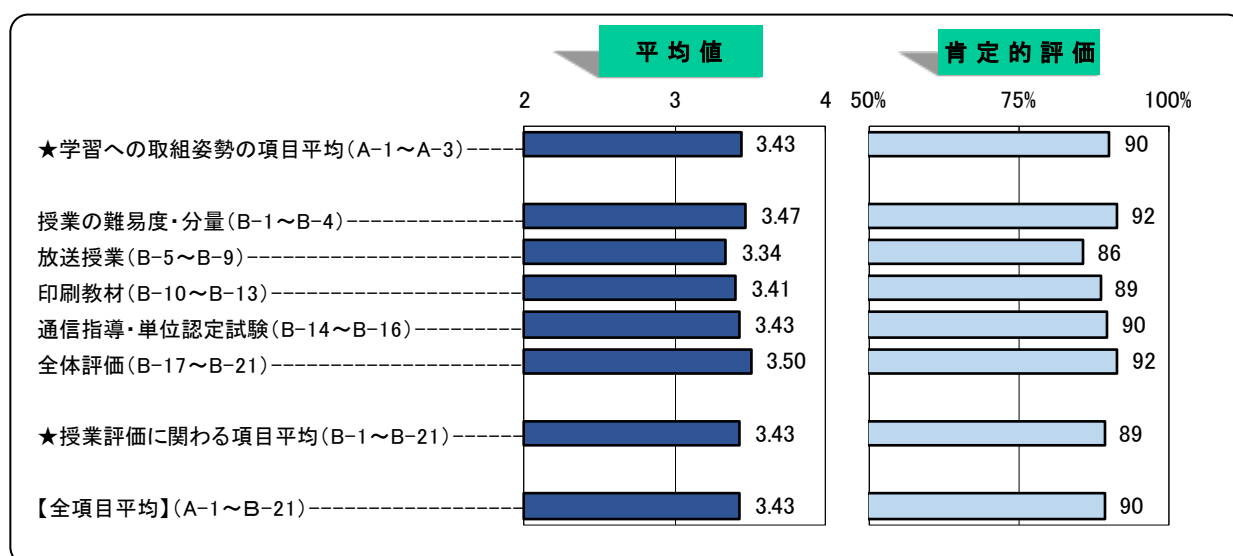
学部同様、肯定的な評価（「あてはまる」＋「ややあてはまる」）の方が（例えば回答者の 80%）イメージしやすく、下図左側の平均値と肯定的評価に齟齬が生じた場合、どちらを採用するか合理的に判断出来ないため、コメントについては肯定的評価を用いて、平均値は参考値として扱っていきたい。

また、新規開設科目の年度比較は、比率の差の検定結果から、大学院は、学部ほど回答者数が多くないため（2022 年度:332 人、2021 年度:412 人、2020 年度:223 人）、本年度と昨年度の比較では概ね 6 ポイントの差で有意となったため、6 ポイント以上で差があることとした。

更に、回答者数が小サンプルの場合、%表記にすると、誤差が大きくなるため、いずれも参考値としてグラフに記載しているが、コメントを割愛する事にする。年齢階層別の「20～29 歳」（15 人）、職業別の「看護師等」（14 人）、「家事専業」（10 人）、「他大学等の学生」（2 人）が挙げられる。（「農業等」は一人もいなかった。）

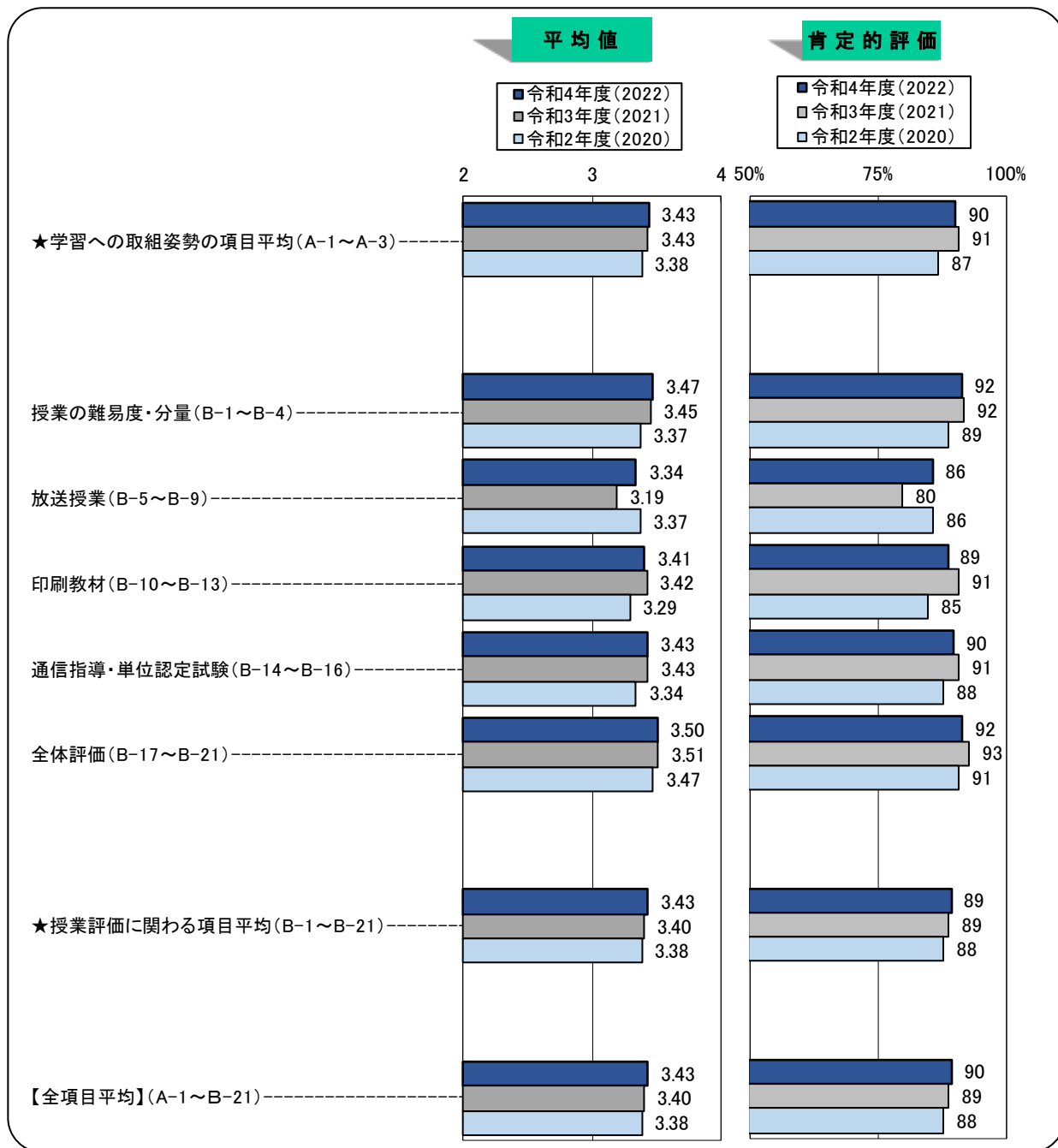
項目平均による全体的傾向をみると（図 2-49）、『放送授業』が 86%と他の項目と比べ極めて低かった。それ以外の項目は 90%前後で、中でも『授業の難易度・分量』『全体評価』が 92%と最も高かった。

図 2-49 【大学院】項目平均による全体的傾向



項目平均を科目の開設年度で比較して見ると（図2-50）、本年度は昨年度と比べ『放送授業』がプラス6ポイントと大きく増加したほかは、僅かに評価が下がっていた。

図2-50 【大学院】項目平均による全体的傾向（開設年度比較）



※放送授業(B-5~B-9)の質問項目については、令和3年度(2021)より入れ替えが行われた。

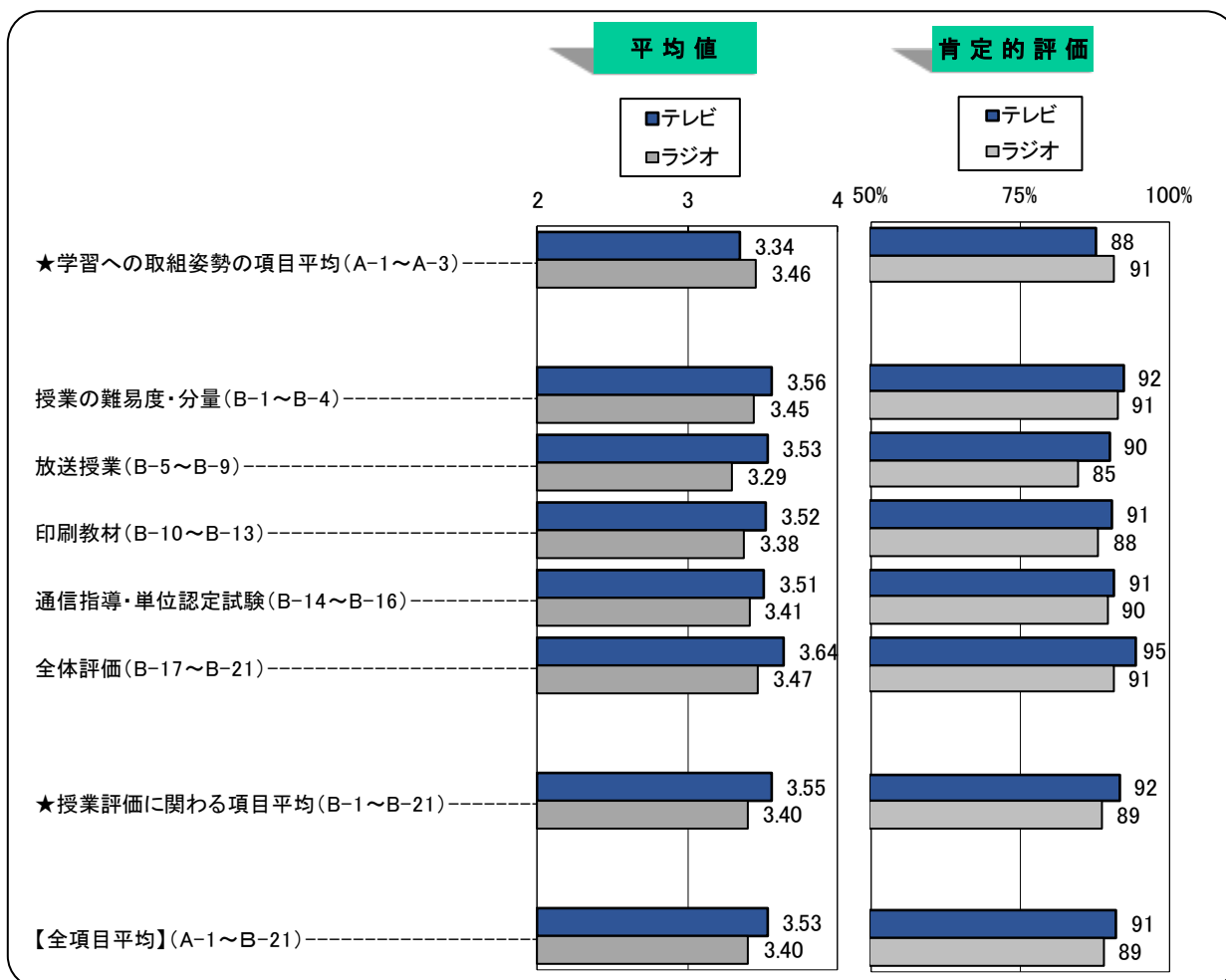
追加された項目：B-8【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった
B-9ゲストや聞き手によって、理解が深まった

削除された項目：講師の熱意が十分に伝わった

従って、放送授業(B-5~B-9)の質問項目の年度比較については、留意されたい。

メディア別では（図2-51）、『学習への取組姿勢』がラジオ科目の方が高い評価のほかは、いずれもテレビ科目の評価が高くなっていた。特に『放送授業』のテレビ科目（90%）とラジオ科目（85%）の差は5ポイントと、大きかった。

図2-51 【大学院】項目平均によるメディア別全体的傾向

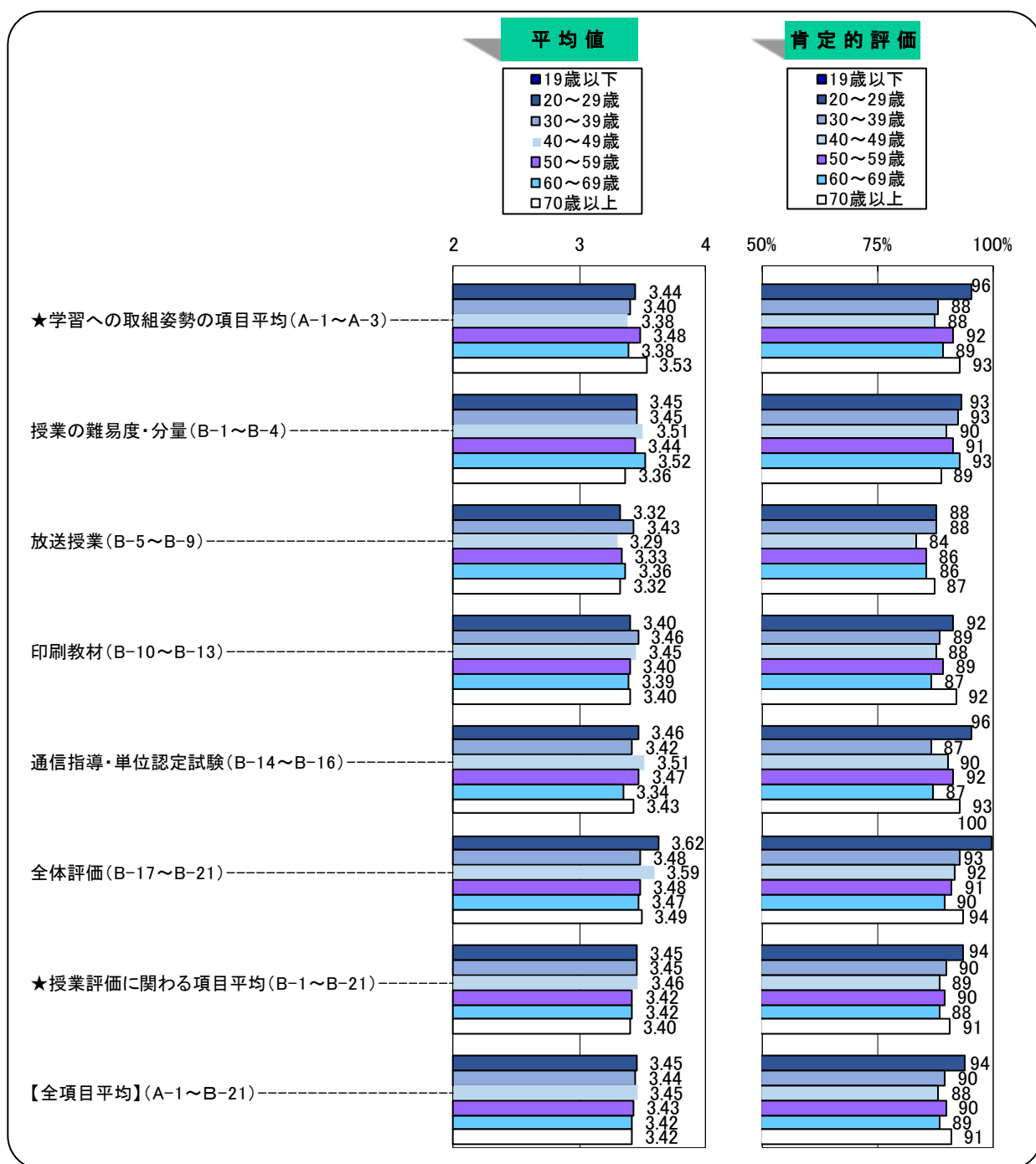


年齢階層別では（図2-52）、『授業の難易度・分量』と『放送授業』を除く項目では、70歳以上が90%越えと評価が高かった。

『授業の難易度・分量』では30歳代、60歳代が最も高く、93%、『放送授業』では30歳代が88%で最も高かった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数で誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-52 【大学院】項目平均による年齢階層別全体的傾向



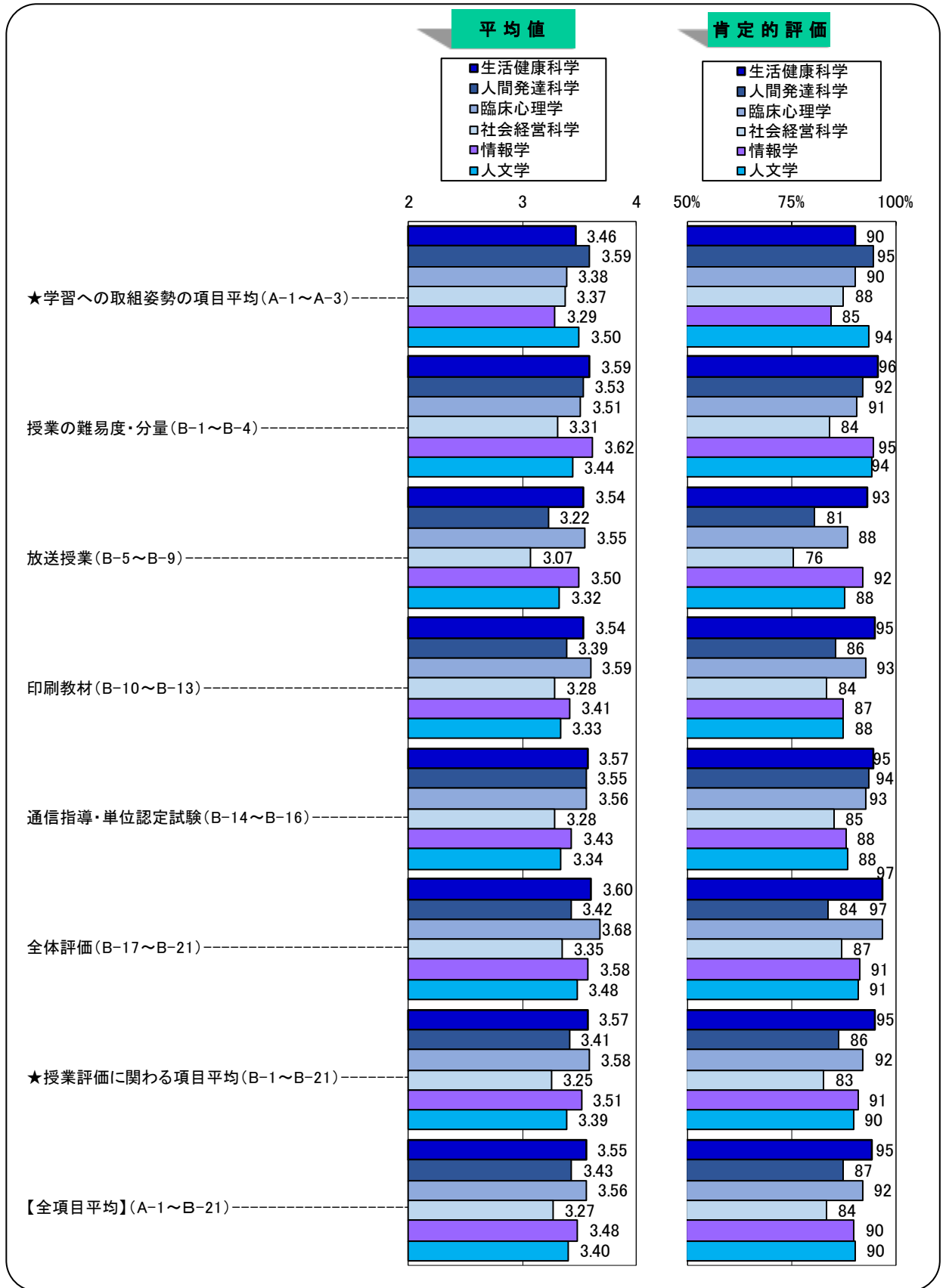
所属プログラム別に項目平均を見ると（次頁図2-53）、『学習への取組姿勢』を除く全ての項目で「生活健康科学」の評価が高く、特に『授業の難易度・分量』と『全体評価』で96～97%と高い評価となっていた。

『学習への取組姿勢』では、「人間発達科学」が95%で最も高かった。

反対に『学習への取組姿勢』『全体評価』を除く全ての項目で評価が低かったのは「社会経営科学」であった。

『学習への取組姿勢』は「情報学」、『全体評価』は「人間発達科学」の評価が最も低かった。

図 2-53 【大学院】項目平均による所属プログラム別全体的傾向

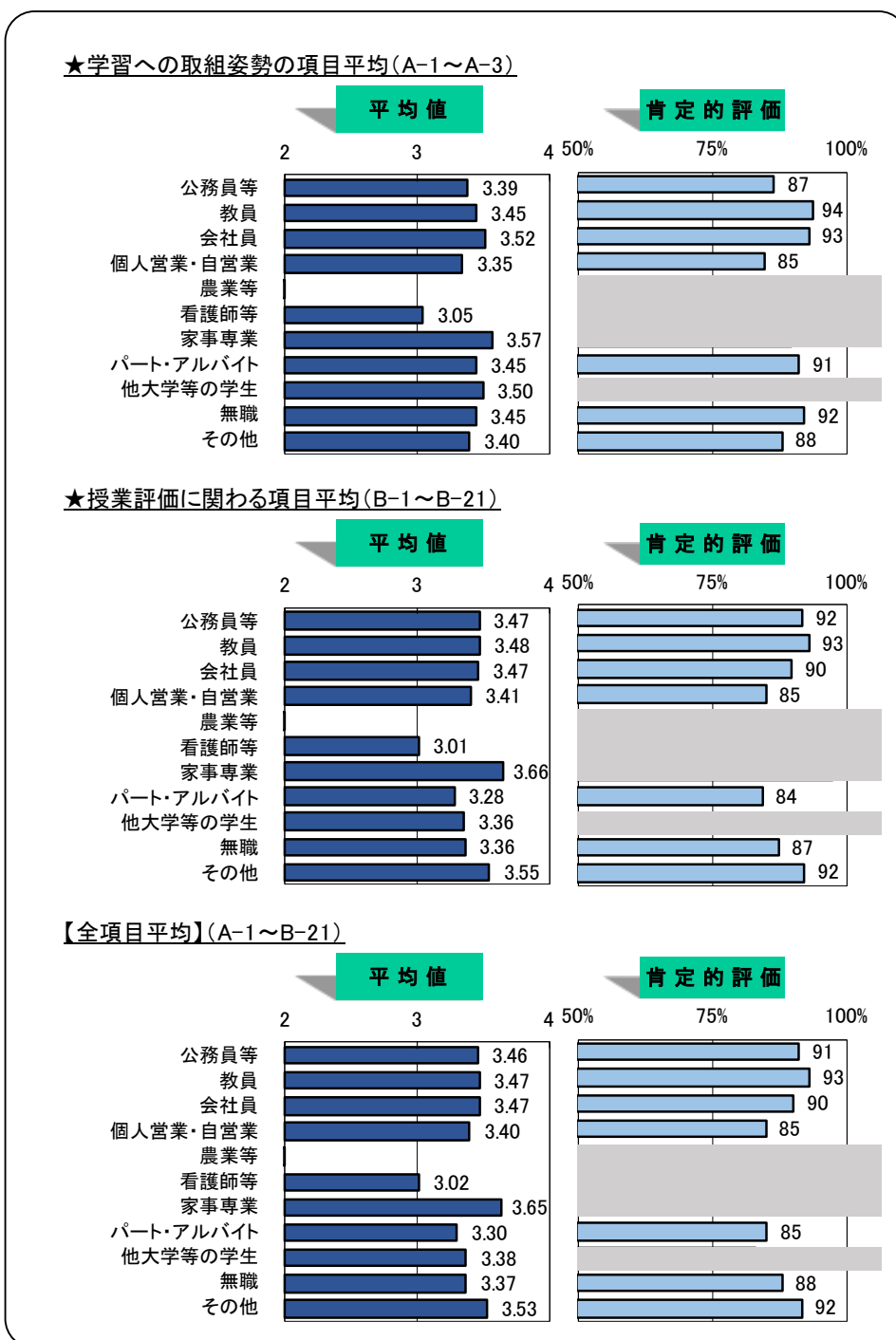


職業別では（図2-54）、『学習への取組姿勢』は「教員」「会社員」が93～94%で評価が高く、「個人営業・自営業」が85%と評価が低かった。

『授業評価に関わる項目平均』と『全項目平均』では、「教員」が両項目とも93%と、評価が高く、「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」が、84～85%と、評価が低かった。

※「農業等」は一人もおらず、「看護師等」（14人）と「家事専業」（10人）、「他大学等の学生」（2人）は回答者が少人数だった為、誤差が大きく極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

図2-54 【大学院】項目平均による職業別全体的傾向

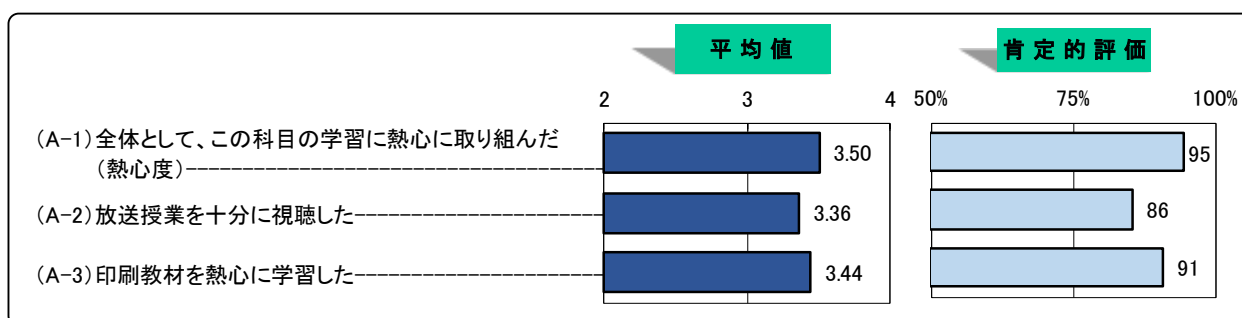


Ⅱ-2-2. 学習への取組み姿勢

ここからはそれぞれ評価項目ごとに調査結果を見ていく。

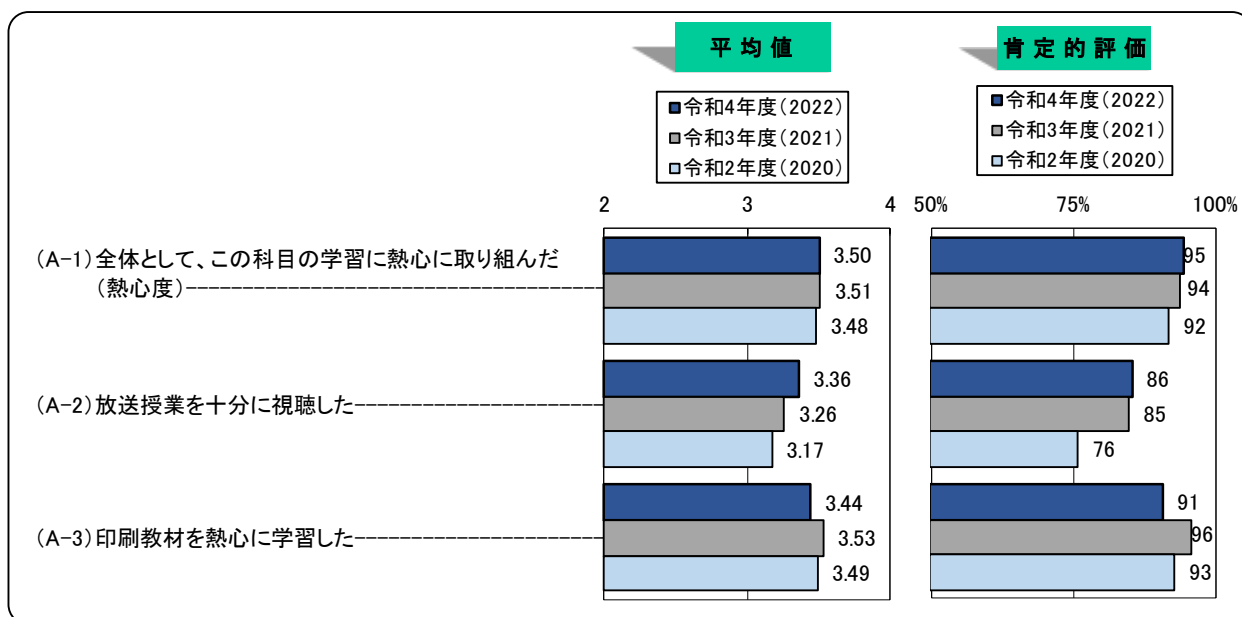
『学習への取組姿勢』（図2-55）では、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と (A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は 91～95%に達していたが、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は 86%と、前述の 2 項目に比べると取組姿勢が低かった。

図2-55 【大学院】回答者全体の取組姿勢



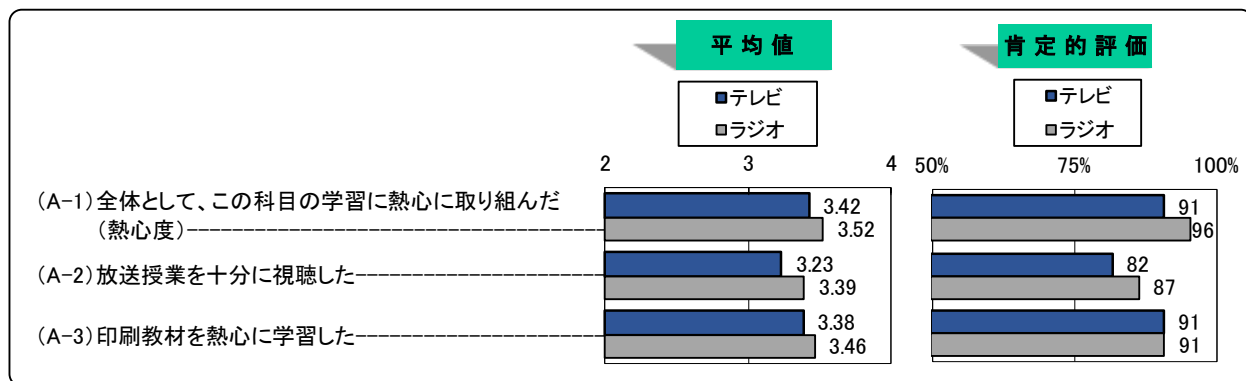
『学習への取組姿勢』を時系列で見ると（図2-56）、本年度の評価は昨年度と比べ、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」放送授業を十分に視聴した、(A-2)「放送授業を十分に視聴した」はわずかな上昇であったが、(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は昨年度より 5 ポイントマイナスであった。

図2-56 【大学院】回答者全体の取組姿勢（時系列）



次にメディア別の取組姿勢では（図2-57）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」と(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、テレビがそれぞれラジオより5ポイント低くなっていた。(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、同水準であった。

図2-57 【大学院】メディア別の取組姿勢



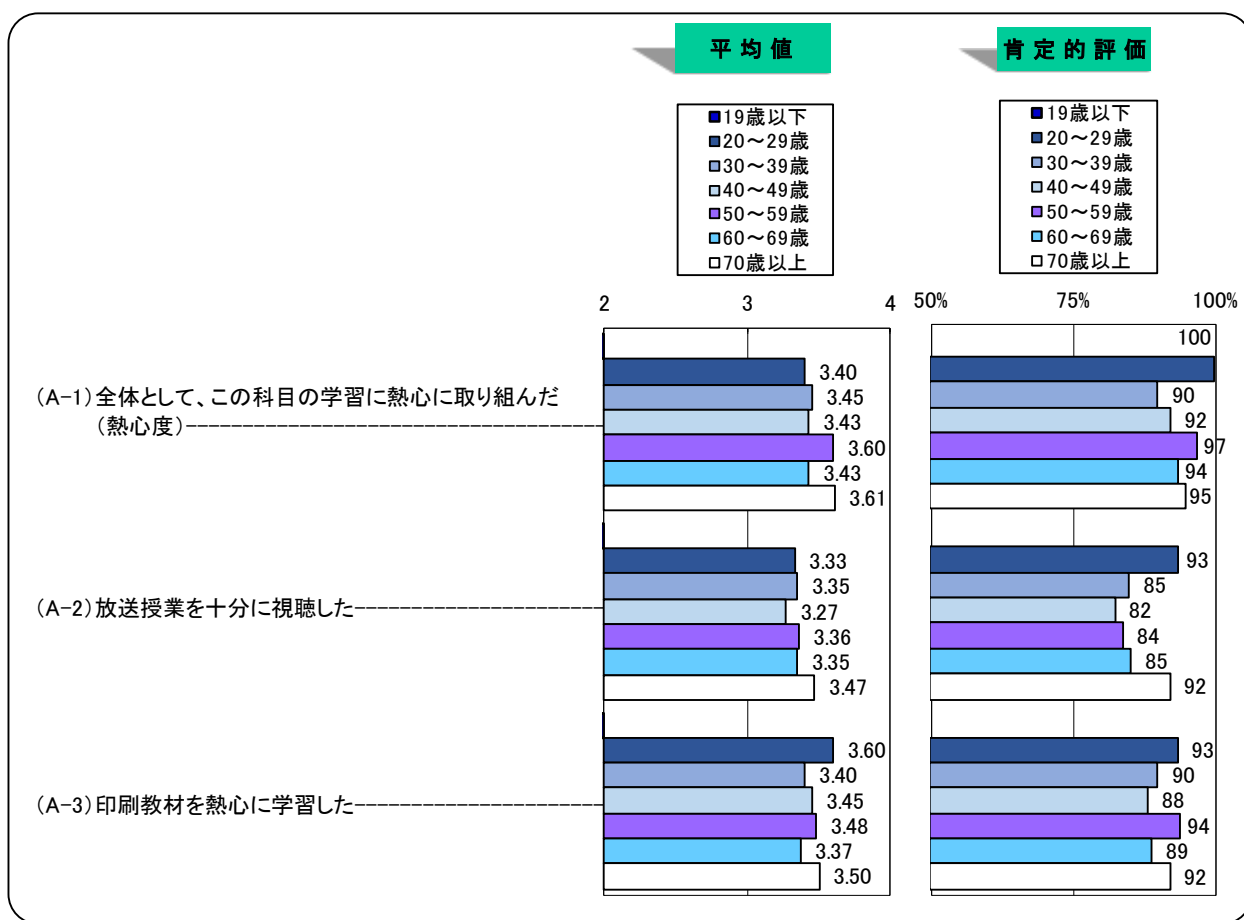
年齢階層別では（図2-58）、(A-1)「全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」は、50歳代が97%と熱心度が高く、次いで70歳以上が95%で続いていた。反対に熱心度が低かったのは、30歳代で、90%であった

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、70歳以上が92%と高く、反対に40歳代は82%と低くなっていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、50歳代の評価が高かった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数で極端な値を取る場合がある為、コメントを割愛した。また、これ以降のページも同様とする。

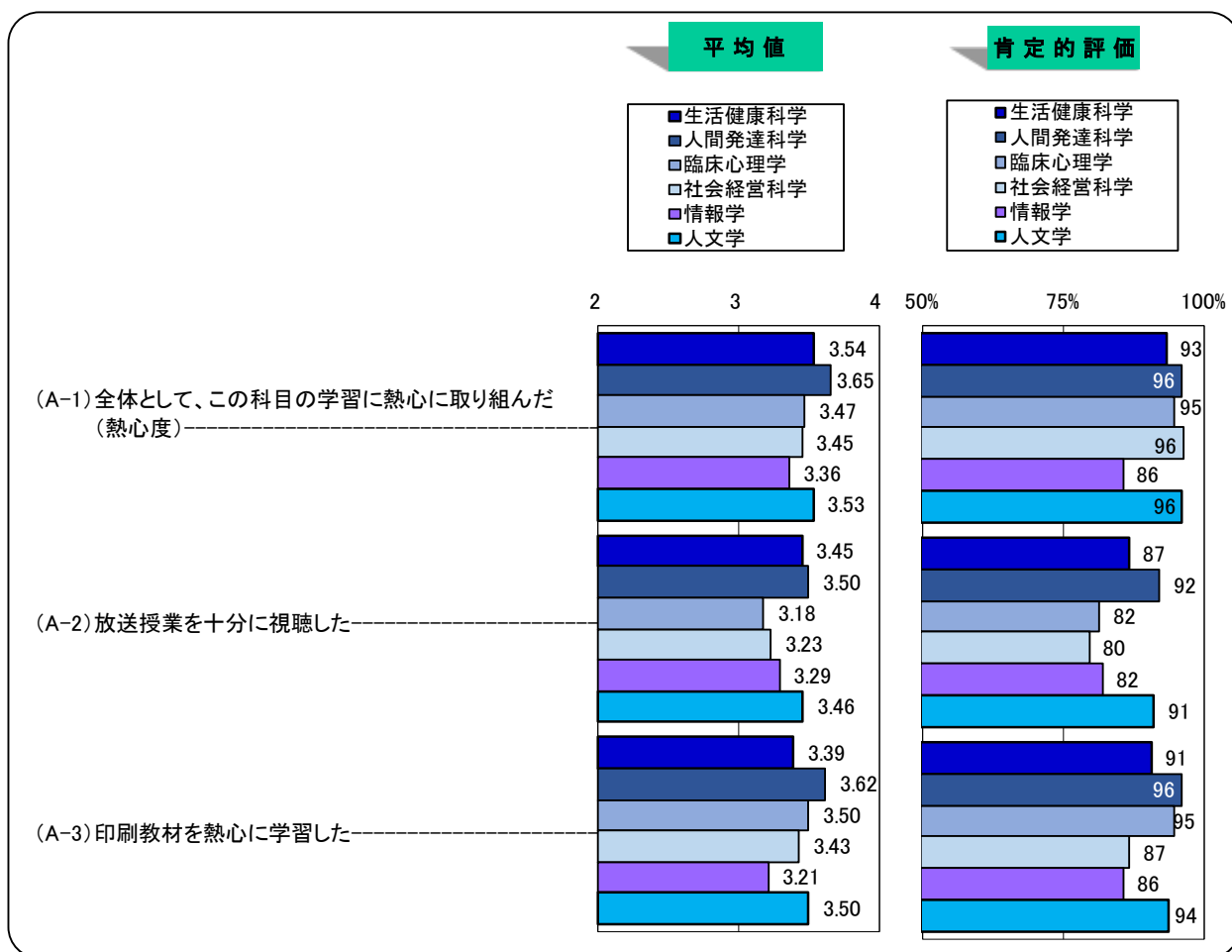
図2-58【大学院】年齢階層別の取組姿勢



所属プログラム別の取組姿勢（図2-59）では、全ての項目で「人間発達科学」の積極性が高くなっていた。

反対に、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」、「(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」は、「情報学」の評価がそれぞれ86%と低かった。(A-2)「放送授業を十分に視聴した」は、「臨床心理学」の評価が80%と低かった。

図2-59【大学院】所属プログラム別の取組姿勢

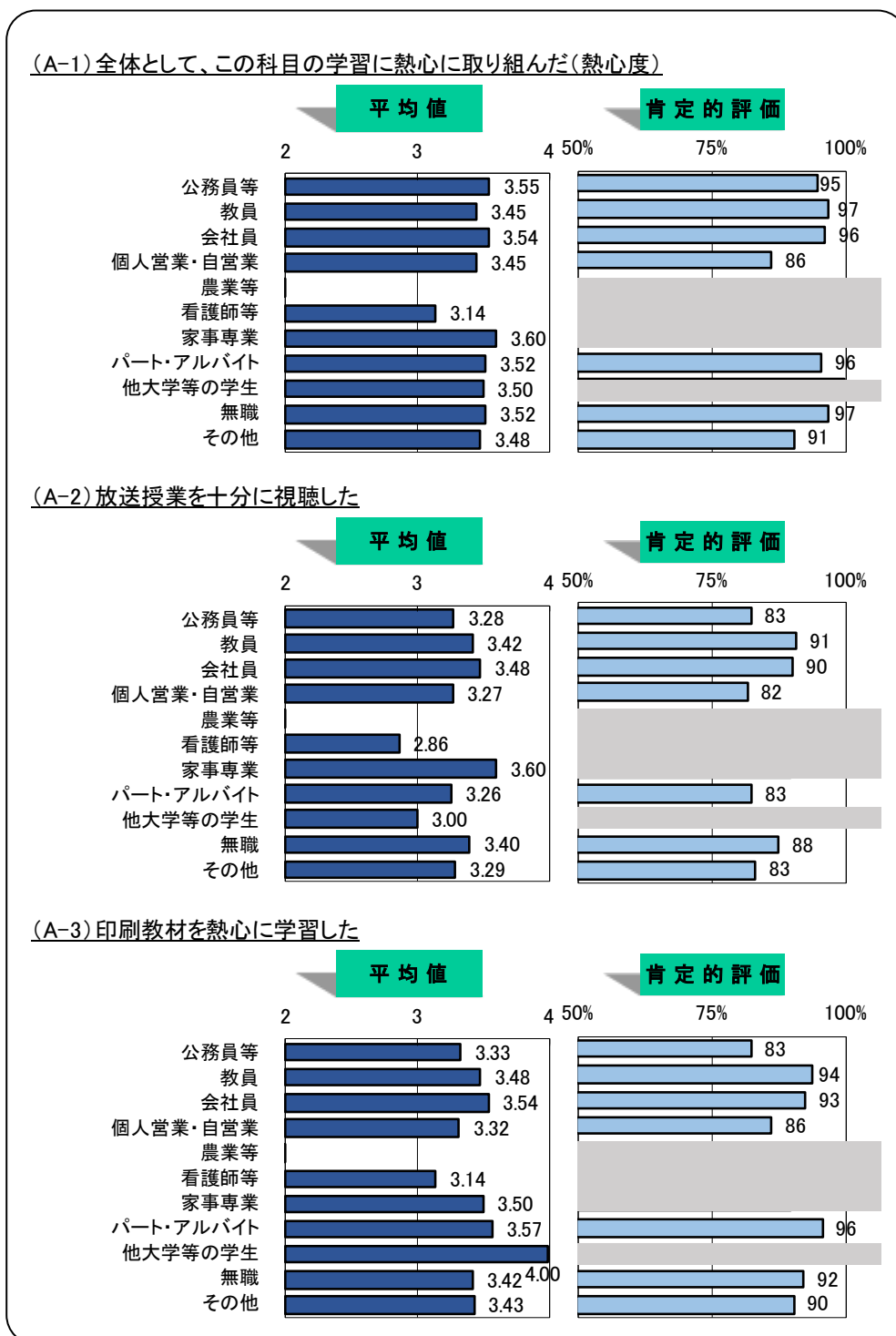


職業別の取組姿勢は（図2-60）、(A-1)「全体としてこの科目の学習に熱心に取り組んだ（熱心度）」では、「教員」、「無職」がそれぞれ97%と最も高かった。反対に「個人営業・自営業」は86%と低かった。

(A-2)「放送授業を十分に視聴した」も「教員」が91%と最も高く、次いで「会社員」が90%で続いていた。

(A-3)「印刷教材を熱心に学習した」については、「パート・アルバイト」が96%と高く、反対に「公務員等」「個人営業・自営業」は、他の職業に比べ83~86%と低く、9割を割り込んでいた。

図2-60【大学院】職業別の取組姿勢



単位認定のための学習方法（図2-61）では、属性別の各層内で回答者数が15人以下と少ない、「20～29歳」「農業等」「看護師等」「家事専業」「他大学等の学生」の5属性については、下記のグラフから除外した。

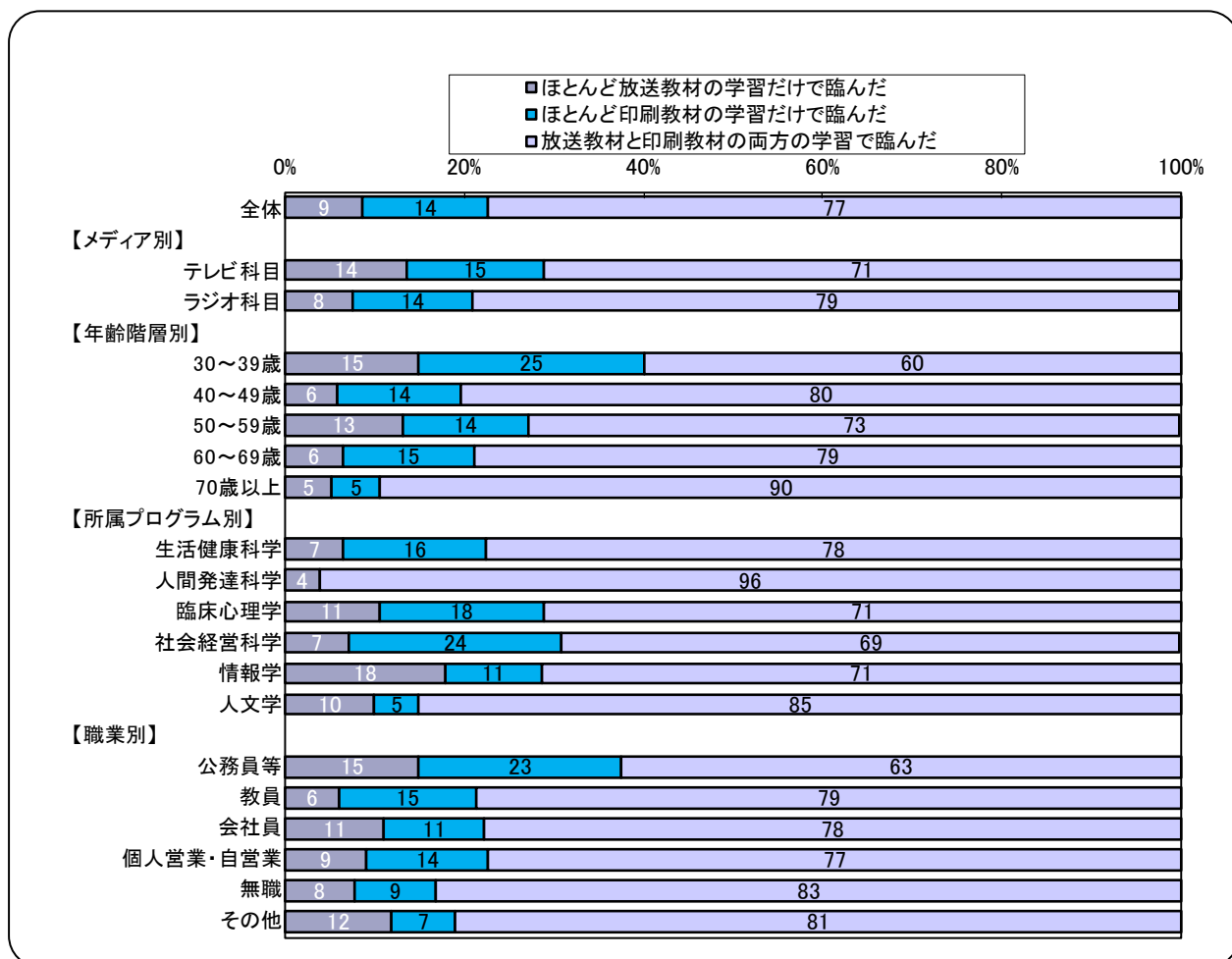
全体は、比率の高い順に「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が77%と、大半を占め、「ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ」が14%で、「ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ」は9%と、少なかった。

年齢階層別では、70歳以上は、「放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ」が90%と、他の年代に比べ比率が高かった。

所属プログラム別では、「人間発達科学」は「両方の学習で臨んだ」(96%)と極端に高かった。

「公務員等」は、「両方の学習で臨んだ」が63%と、他の職業と比べ最も低かった。

図2-61 【大学院】単位認定のための学習方法



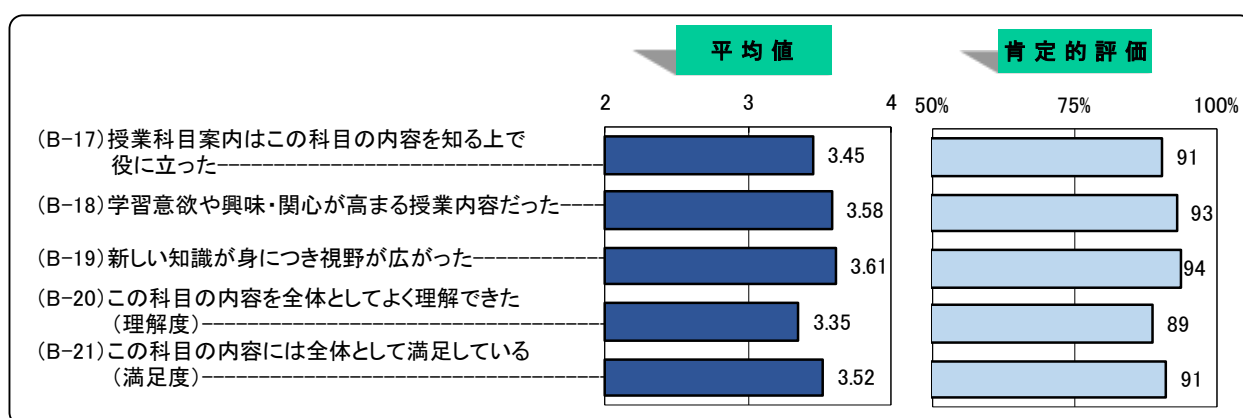
Ⅱ－2－3. 大学院の授業評価

ここからは大学院の授業評価について、評価項目ごとに見ていくことにする。

全体評価の項目では（図2－62）、(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」(94%)が最も高く評価されていた。

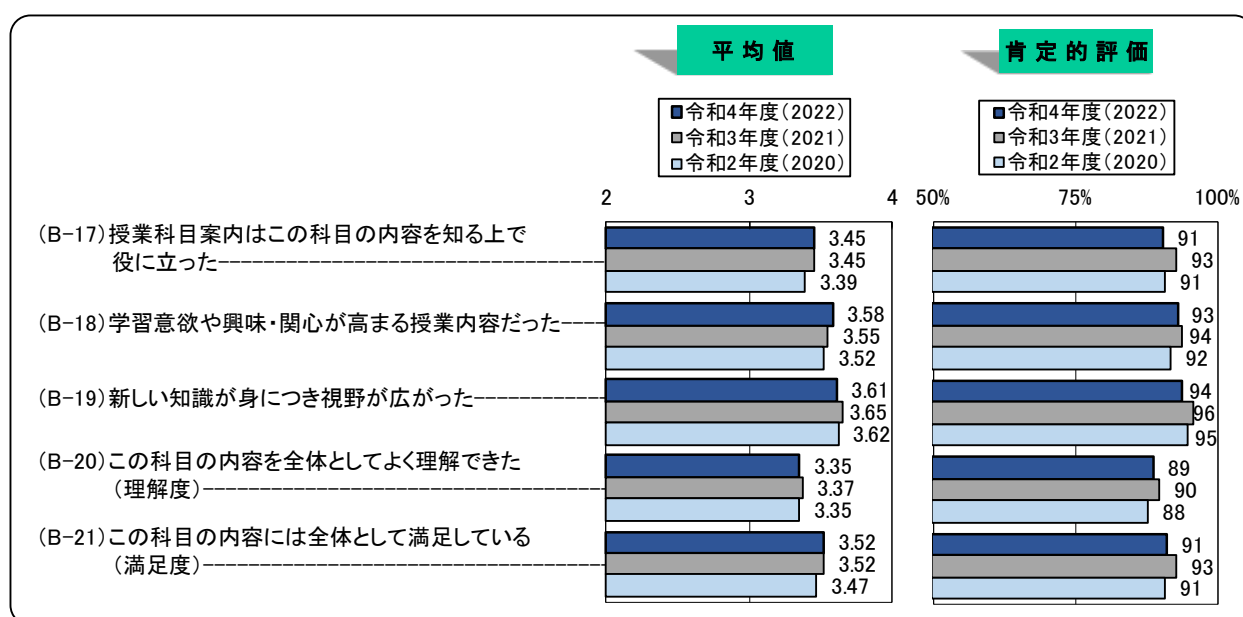
反対に(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は89%と、最も低く、それ以外の項目については91～93%であった。

図2－62【大学院】回答者全体の全体評価



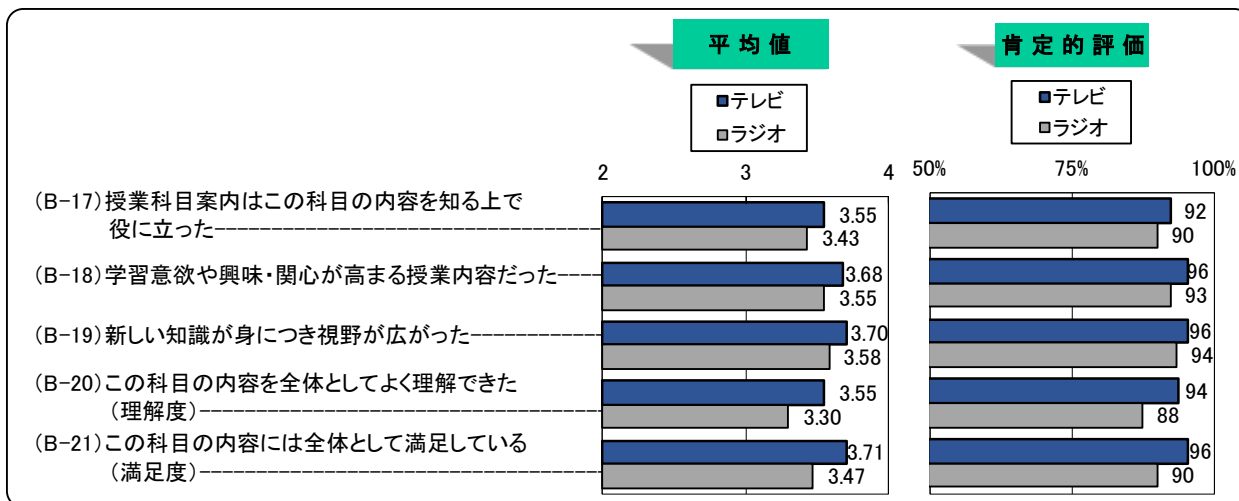
全体評価を時系列で見ると（図2－63）、昨年度と比べ全ての項目で下降傾向が見られた。

図2－63【大学院】回答者全体の全体評価（時系列）



メディア別に全体評価を見ると（図2-64）、全ての項目でテレビ科目の方が高い評価で、特に(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は、それぞれプラス6ポイントとラジオ科目との差が大きかった。

図2-64 【大学院】メディア別の全体評価

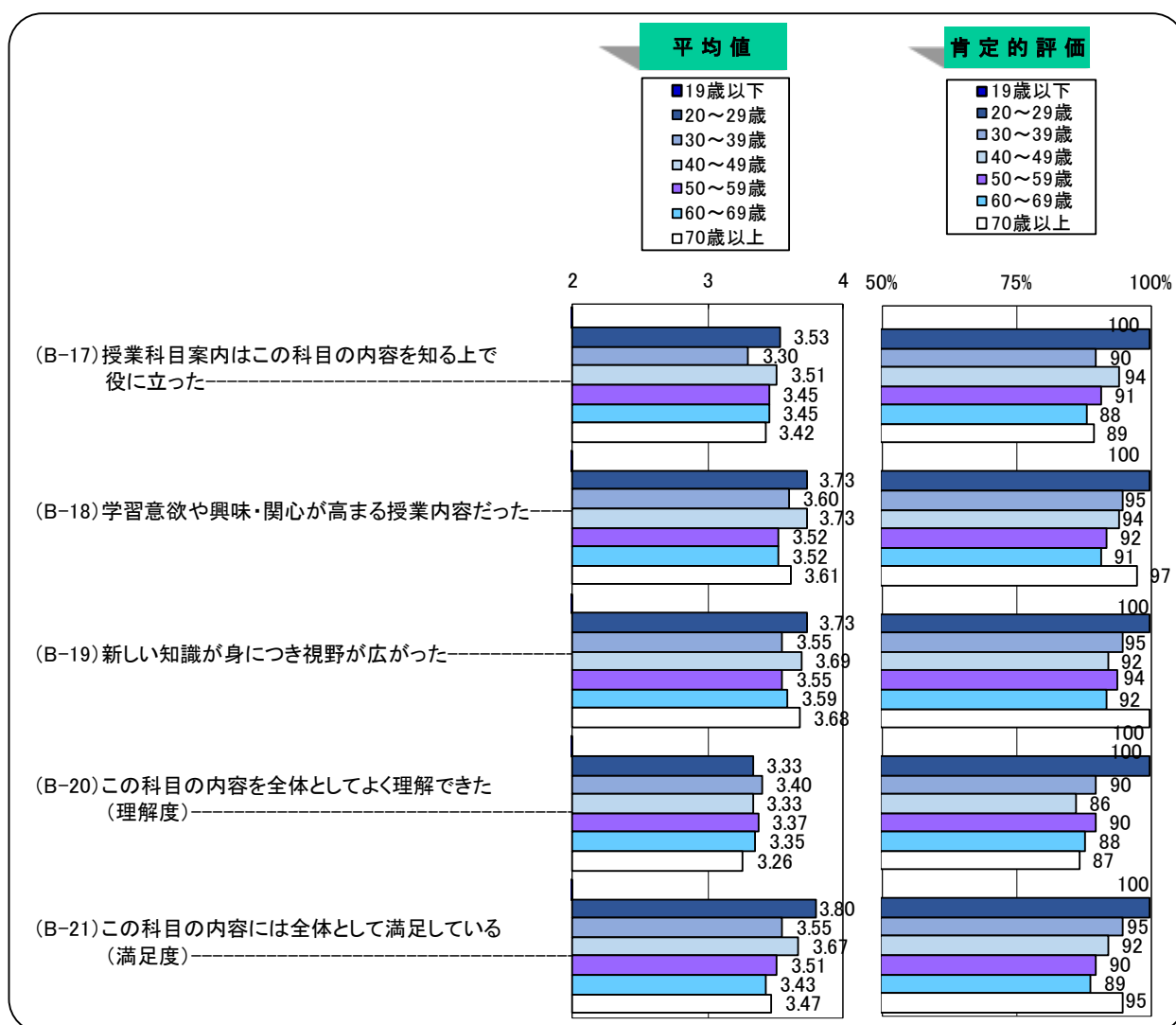


年齢階層別では（図2-65）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」については、40歳代が94%と、最も高く、(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」と(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」は、70歳以上がそれぞれ97%、100%と、最も高かった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」は30歳代と50歳代、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」は30歳代と70歳以上が95%を超え、他の年代より高かった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-65【大学院】年齢階層別の全体評価

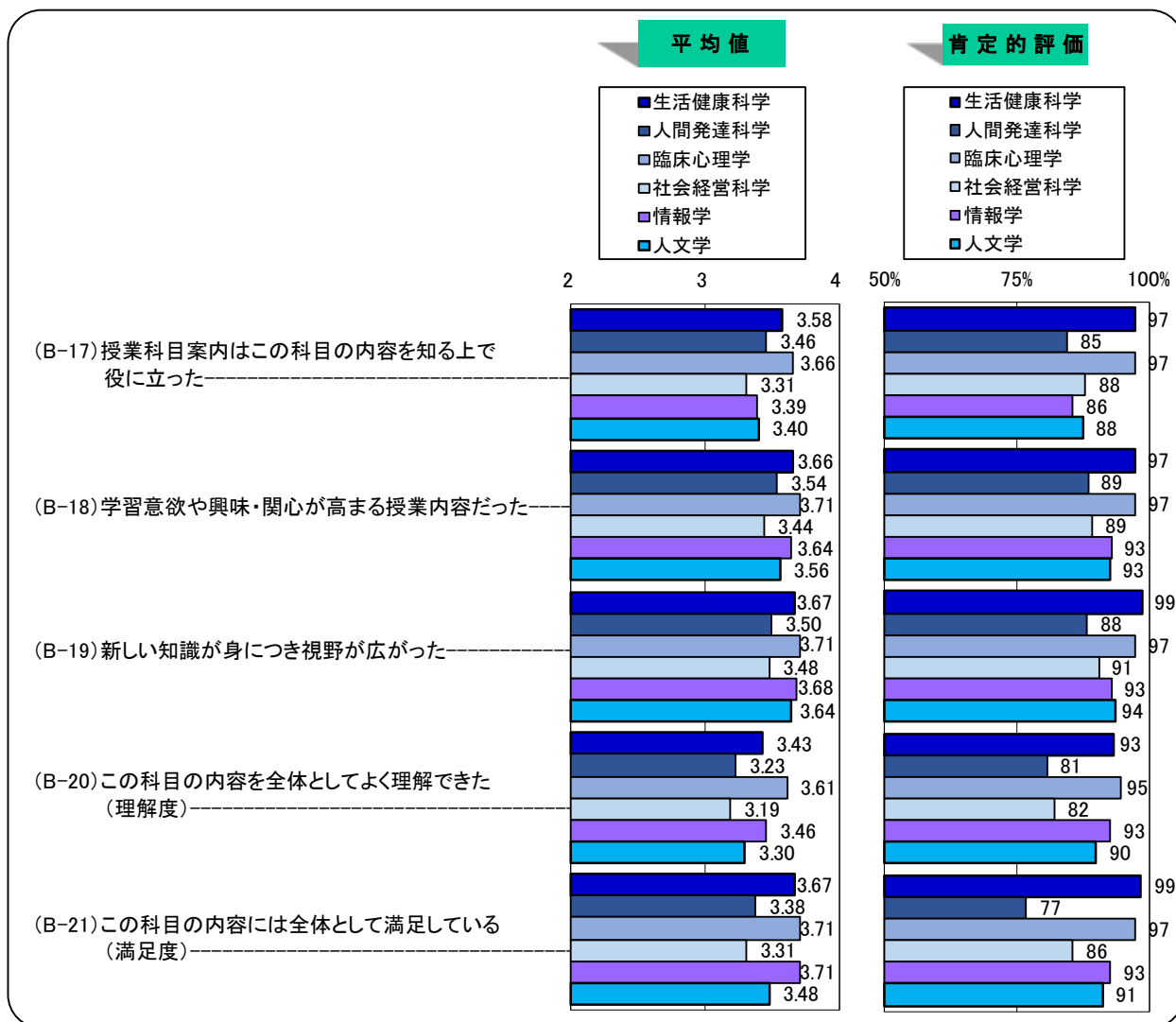


所属プログラム別に全体評価を見ると（図2-66）、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」と(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は「生活健康科学」「臨床心理学」の評価がそれぞれ97%と高かった。

(B-19)「新しい知識が身につく視野が広がった」、(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」でも「生活健康科学」の評価がそれぞれ99%と、非常に高かった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」では、「臨床心理学」が95%と高かった。

図2-66【大学院】所属プログラム別の全体評価



職業別（次頁図2-67）では、(B-17)「授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った」は、「会社員」の評価が94%と最も高かった。

(B-18)「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」は、「公務員等」「教員」「その他」が97%以上と評価が高かった。

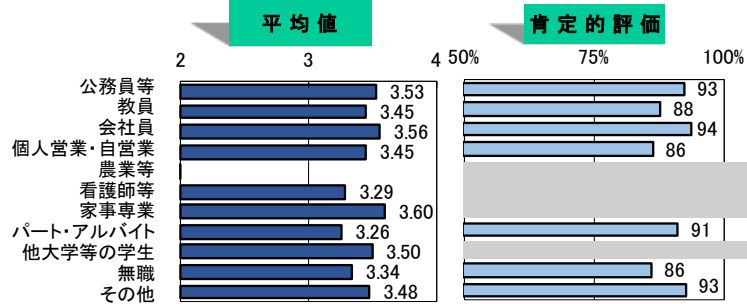
(B-19)「新しい知識が身につき視野が広がった」は、「教員」が100%と非常に評価が高く、「パート・アルバイト」で87%と評価が低かった。

(B-20)「この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)」については、「教員」と「その他」が94%以上と高く、反対に「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」がそれぞれ82%、83%で、低い評価であった。

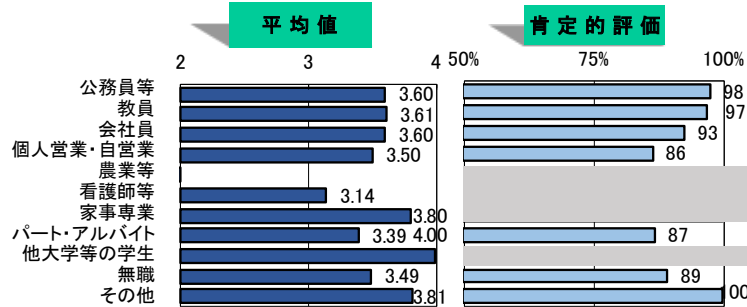
(B-21)「この科目の内容には全体として満足している(満足度)」では「教員」が97%と、最も高く、「個人営業・自営業」「パート・アルバイト」「無職」が86~87%で、9割に達していなかった。

図2-67【大学院】職業別の全体評価

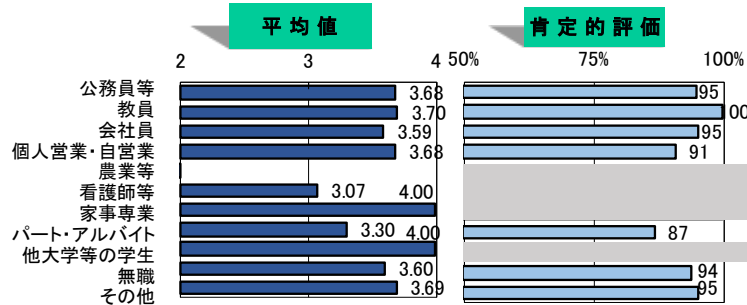
(B-17) 授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った



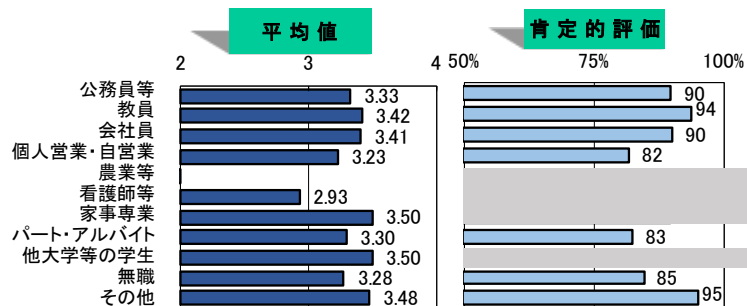
(B-18) 学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった



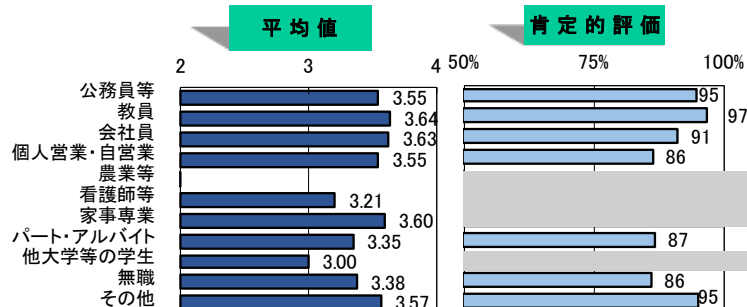
(B-19) 新しい知識が身につく視野が広がった



(B-20) この科目の内容を全体としてよく理解できた(理解度)



(B-21) この科目の内容には全体として満足している(満足度)

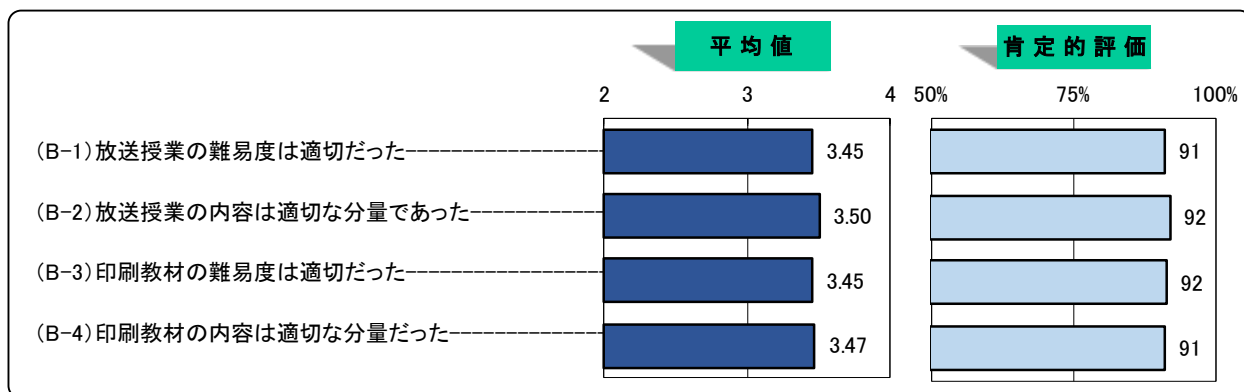


(2) 授業の難易度・分量

次に授業の難易度・分量について評価項目ごとに見ていく。

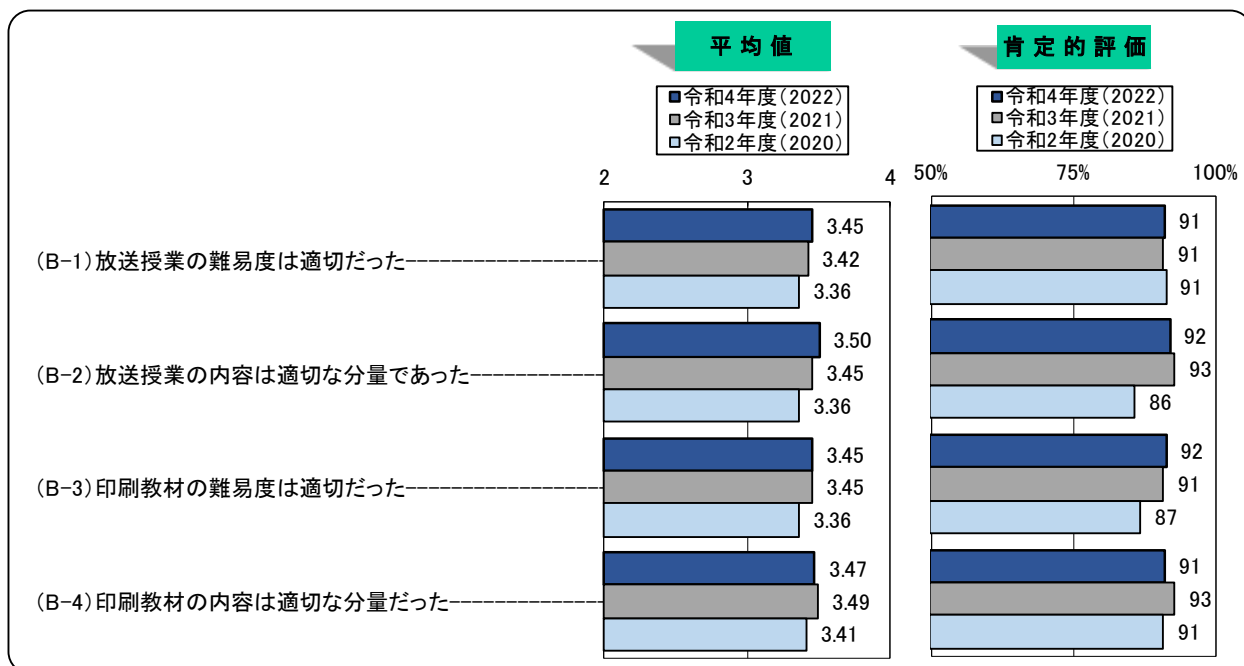
授業の難易度・分量の評価は（図2-68）は、全ての項目で91～92%と高い評価であった。

図2-68 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価



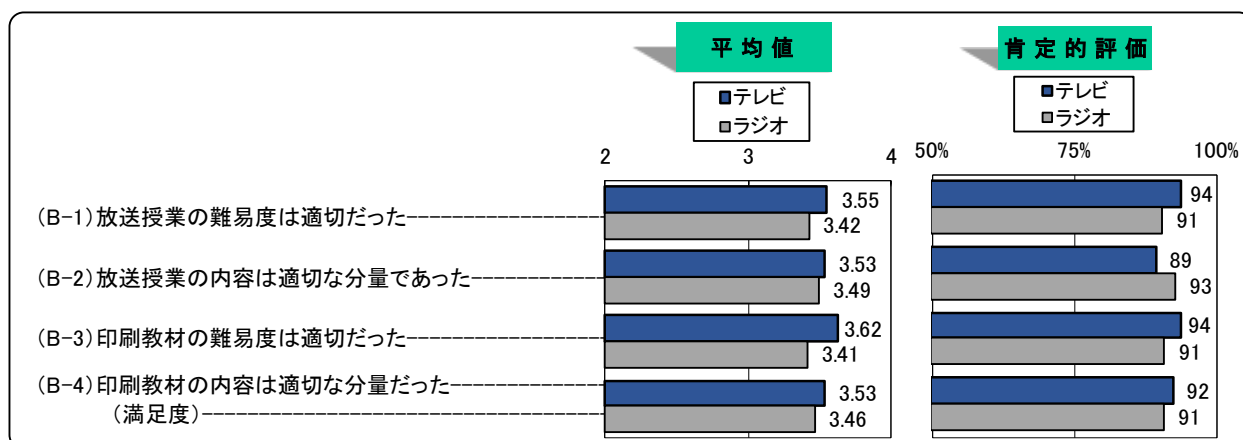
開設年度別では（図2-69）、本年度と昨年度を比較すると、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」はいずれも91%と変わらなかったが、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」は、昨年度よりやや低下していた。逆に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は昨年度よりやや上昇していた。

図2-69 【大学院】回答者全体の授業難易度・分量の評価（開設年度比較）



メディア別に授業の難易度・分量を見ると（図2-70）、(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」以外の項目では、テレビ科目の評価が高かった。

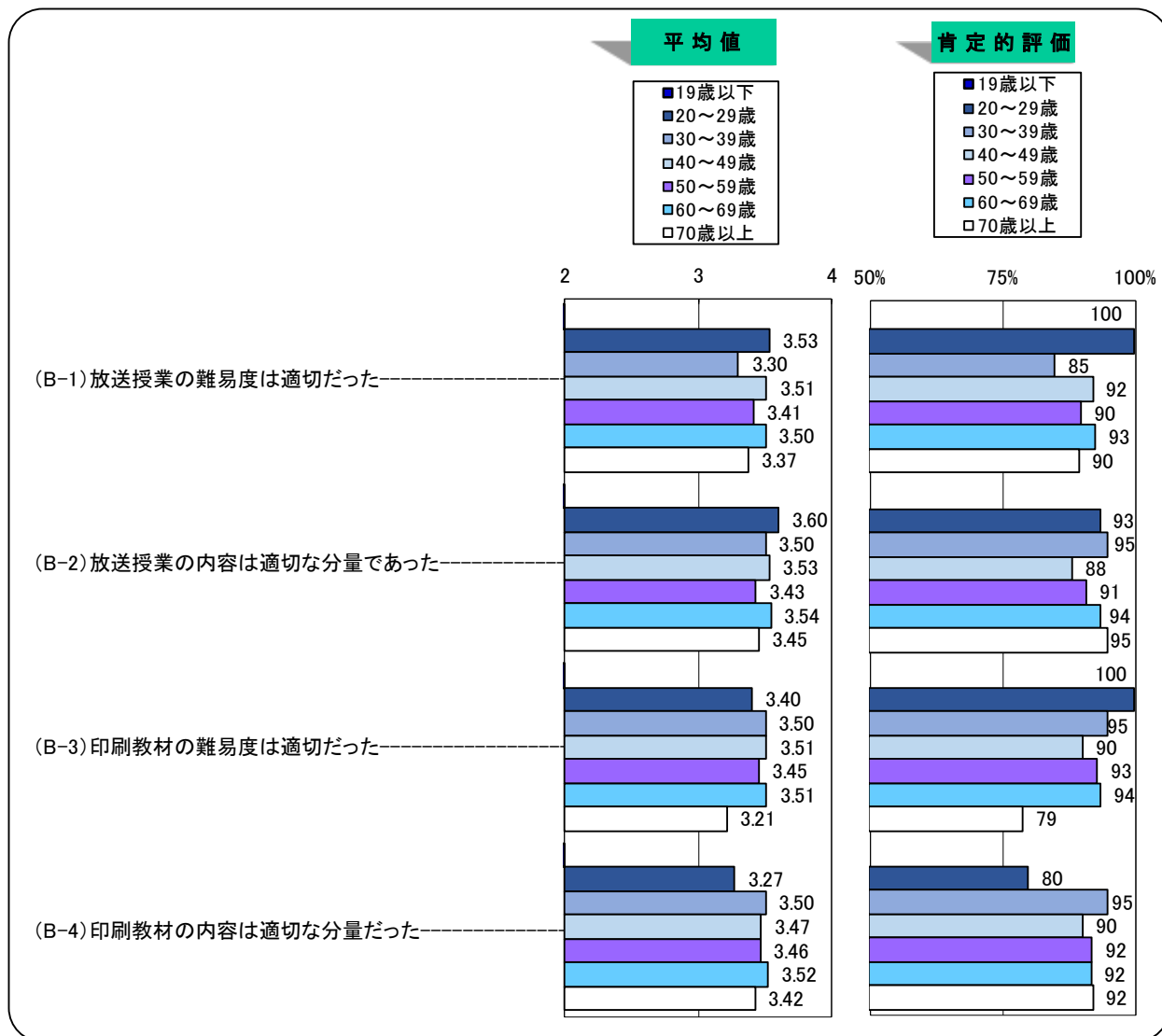
図2-70【大学院】メディア別の授業難易度・分量の評価



年齢階層別に授業の難易度・分量を見ると（図2-71）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は60歳代の評価が93%と最も高かったが、それ以外の3項目では30歳代の評価が最も高く、いずれも95%以上であった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-71 【大学院】年齢階層別の授業難易度・分量の評価



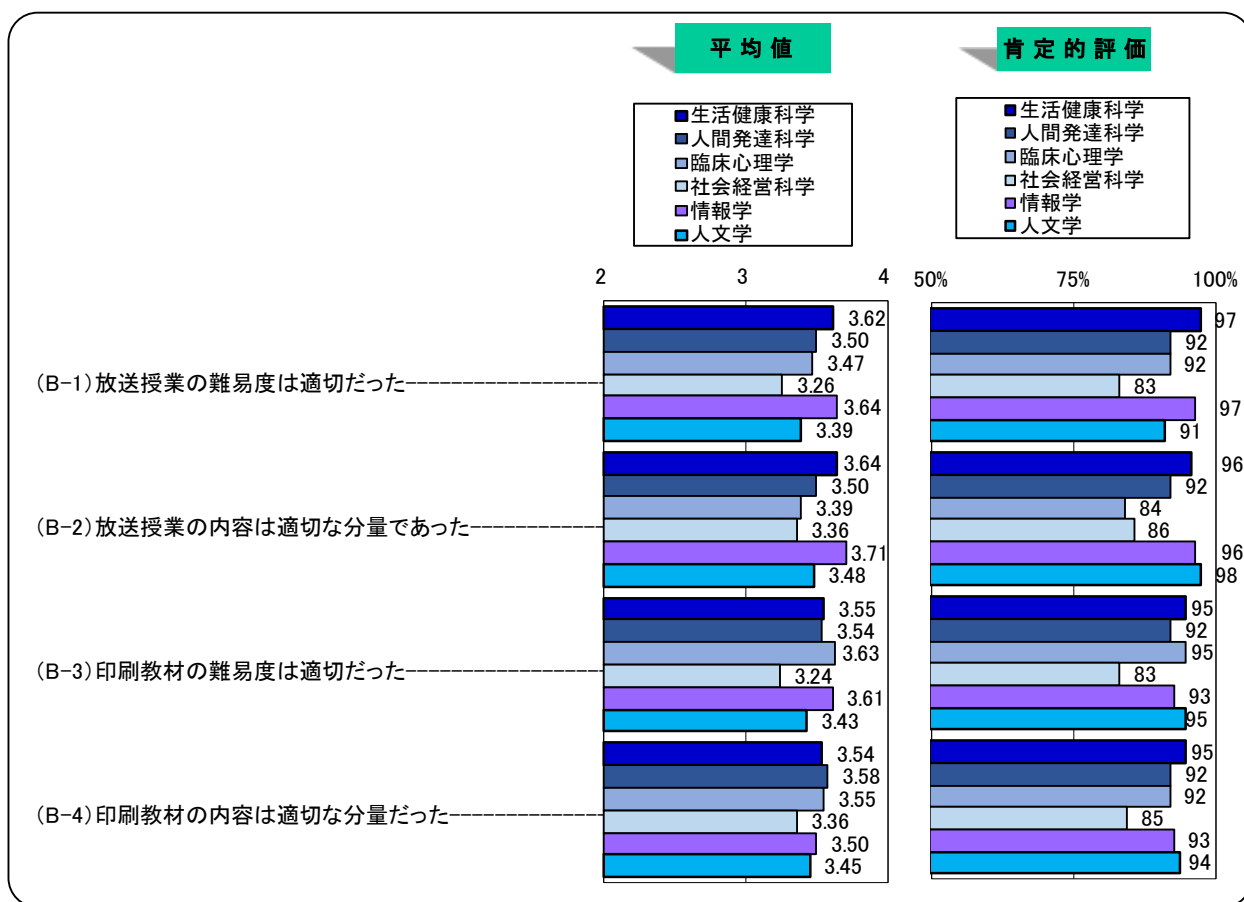
所属プログラム別に授業の難易度・分量を見ると（図2-72）、(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」は、「生活健康科学」が97%と最も高く、反対に「臨床心理学」が83%で最も低かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」は、「人文学」が98%で評価が高く、「臨床心理学」「社会経営科学」は90%以下の評価であった。

(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」は、「生活健康科学」「臨床心理学」「人文学」がそれぞれ95%と高い評価で、「社会経営科学」が83%と極端に低かった。

(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」も「生活健康科学」が、95%と高く、反対に「社会経営科学」が85%と低い評価であった。

図2-72【大学院】所属プログラム別の授業難易度・分量の評価



職業別に授業の難易度を見ると（次頁図2-73）、全ての項目で「教員」の評価が高い傾向にあり、特に(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」、(B-4)「印刷教材の内容は適切な分量であった」では、それぞれ97%に達していた。

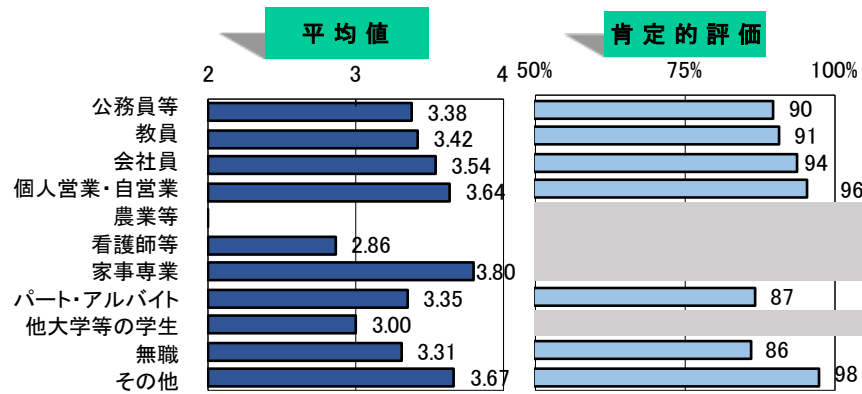
(B-1)「放送授業の難易度は適切だった」では、「会社員」(94%)「個人営業・自営業」(96%)、「その他」(98%)も評価が高かった。

(B-2)「放送授業の内容は適切な分量であった」では、「パート・アルバイト」(96%)、「その他」(95%)も高かった。

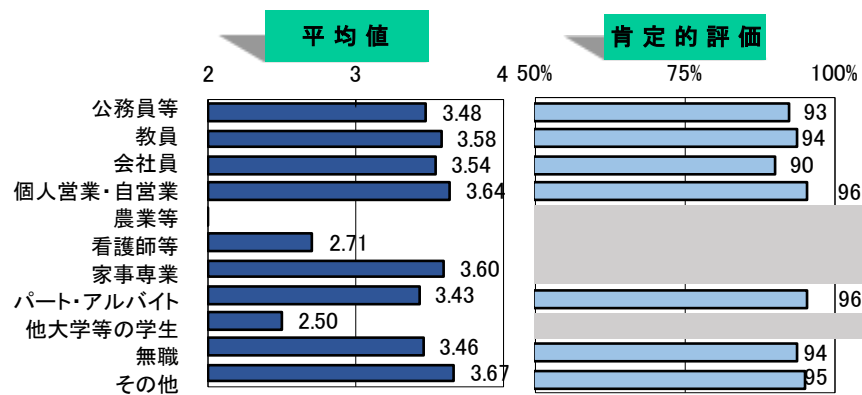
(B-3)「印刷教材の難易度は適切だった」では、「公務員等」(95%)と「会社員」(95%)、「個人営業・自営業」(96%)も高い評価であった。

図 2-73 【大学院】職業別の授業難易度の評価

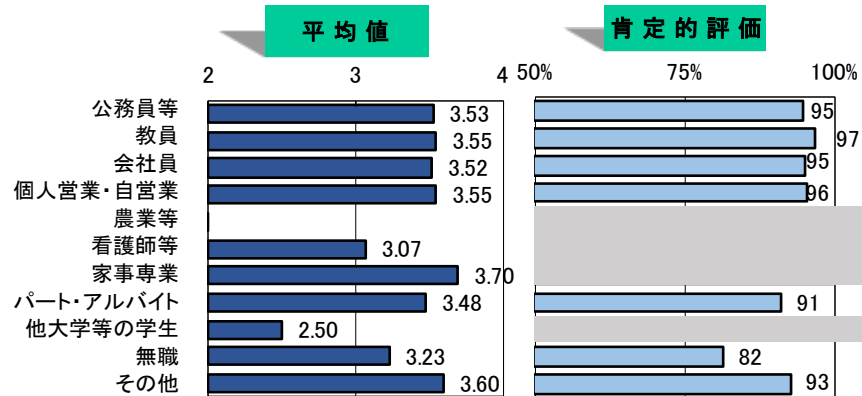
(B-1) 放送授業の難易度は適切だった



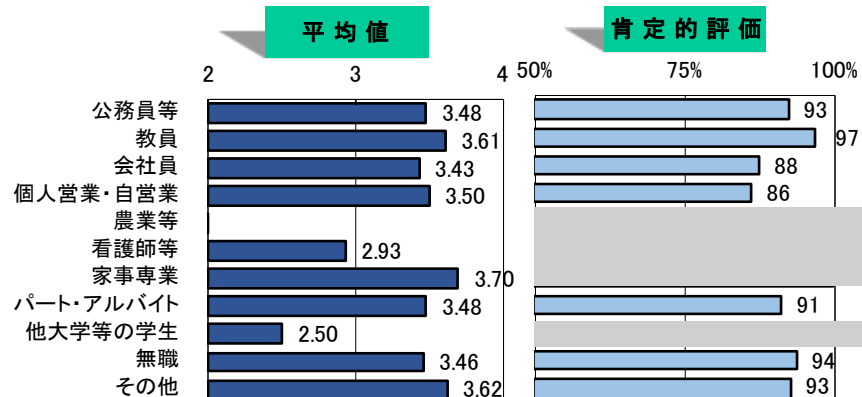
(B-2) 放送授業の内容は適切な分量であった



(B-3) 印刷教材の難易度は適切だった



(B-4) 印刷教材の内容は適切な分量だった



(3) 放送授業

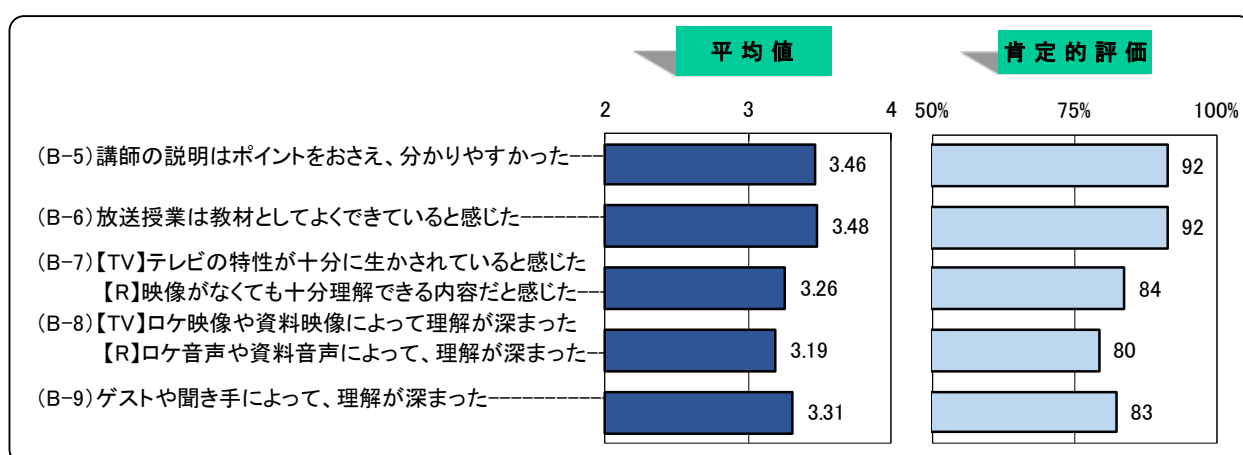
ここからは放送授業について評価項目ごとに見ていく。

放送授業に関する評価項目を見ると（図2-74）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」はそれぞれ92%で、他の項目より8ポイント以上高かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」は、84%と前2項目と比べかなり評価が低かった。

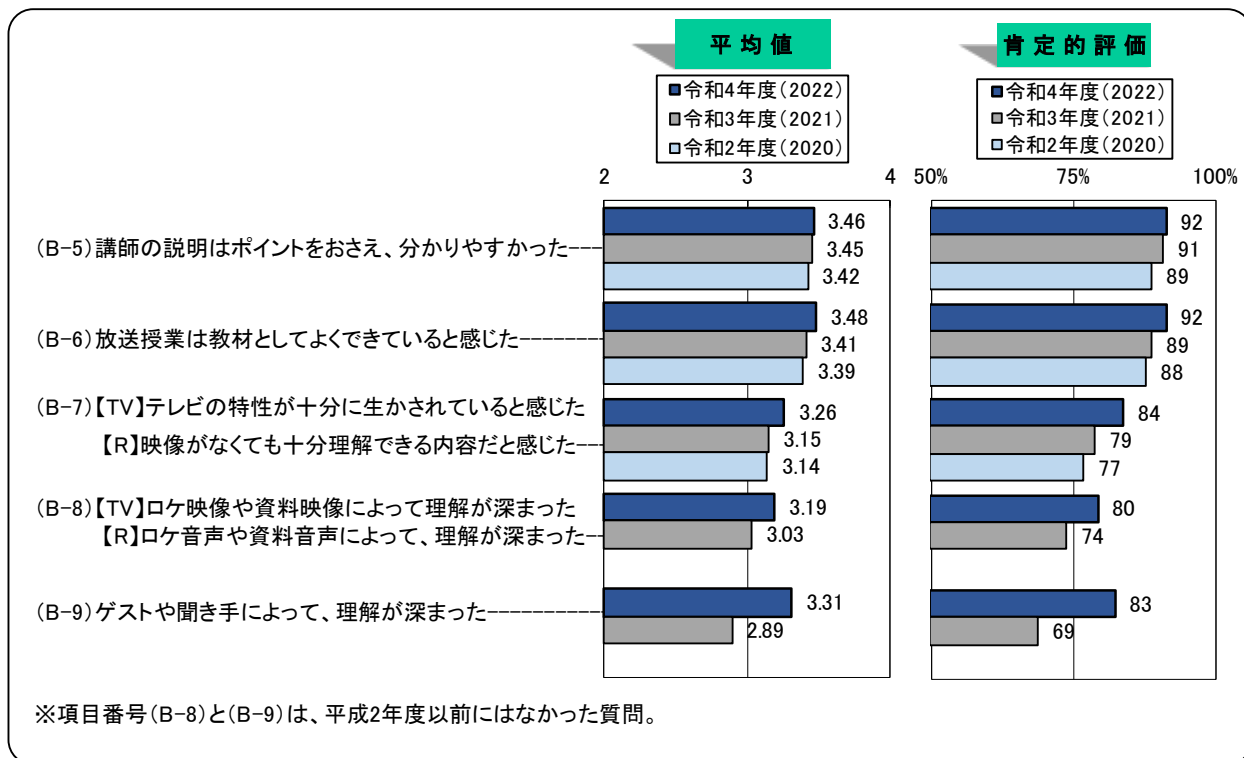
昨年度より新たに加わった(B-8)と(B-9)の評価は、他の項目と比べて低くなっていた。

図2-74 【大学院】回答者全体の放送授業の評価



放送授業の評価を時系列で見ると（図2-75）、下記4項目全てで、評価が年々上向いている傾向が見られた。中でも、昨年度に特に評価が低かった(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」でプラス14ポイントと大幅に上昇していた。

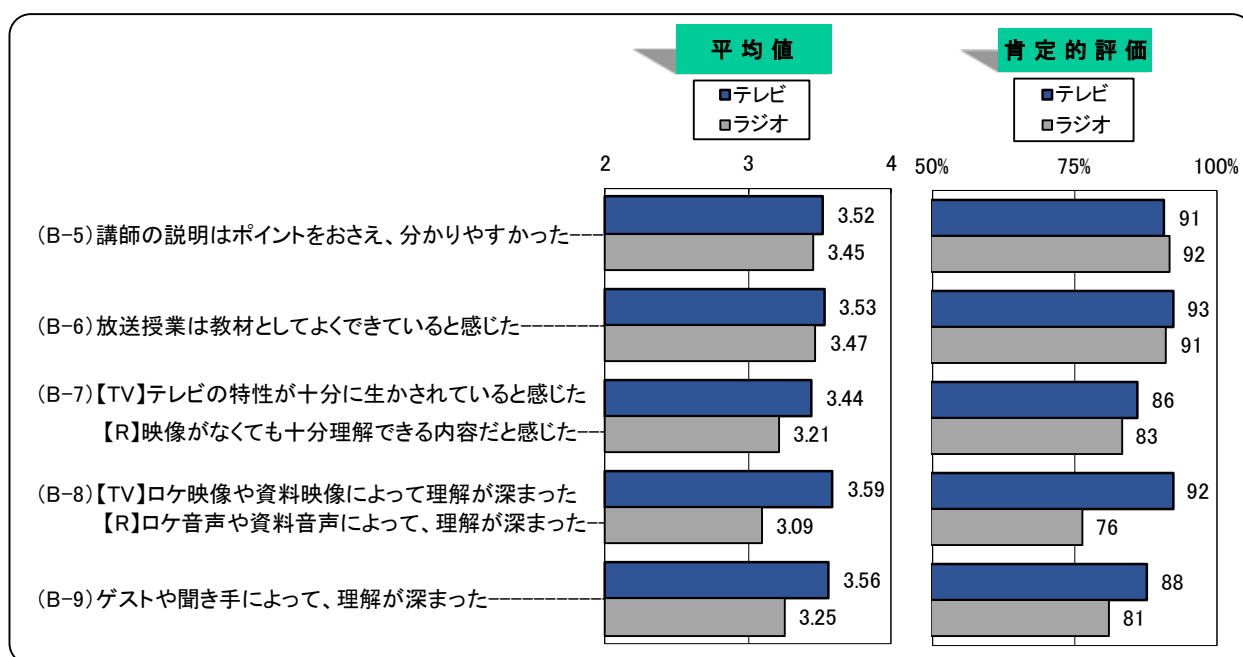
図2-75 【大学院】回答者全体の放送授業の評価（時系列）



メディア別に放送授業の肯定的評価を見ると（図2-76）」、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」以外の項目でテレビ科目の評価が高く、特に(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、テレビ科目が92%、ラジオ科目が76%で、その差が16ポイントと大きな開きが見られた。

一方、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、テレビ科目が91%、ラジオ科目が92%で、大きな差が見られなかった。

図2-76 【大学院】メディア別の放送授業の評価（時系列）



年齢階層別では（図2-77）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は、各年代いずれも90%以上と高かった。

(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」は、70歳以上が97%と最も高く、40歳代が88%で評価が低かった。

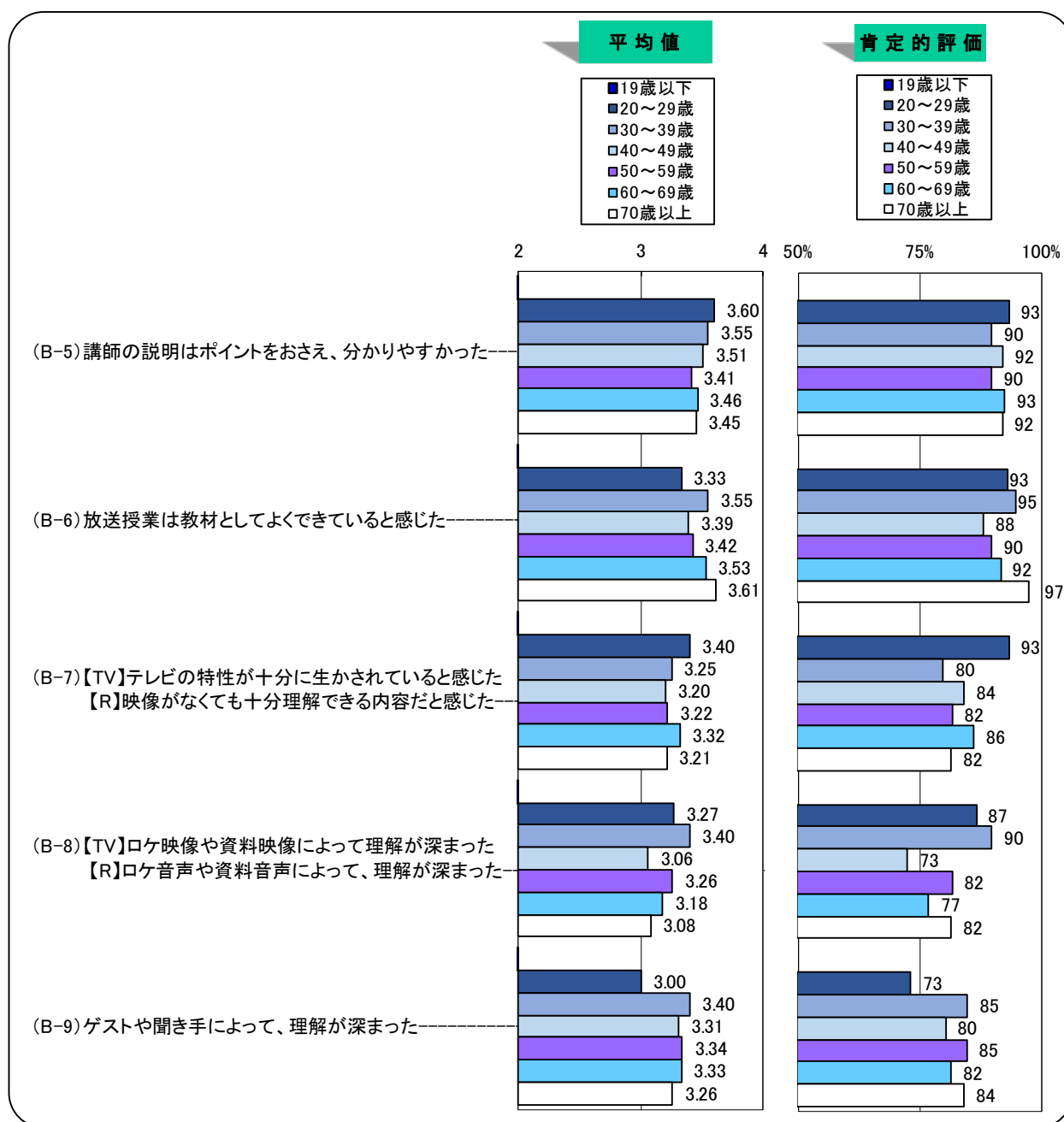
(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に生かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」の評価は80~86%で、30歳代でやや低かった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」は、30歳代が高く、40歳代が73%と最も低かった。

(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は、30歳代、50歳代が85%と最も高く、40歳代が80%と低かった。

※「20~29歳」は回答者数が15人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-77【大学院】年齢階層別の放送授業の評価



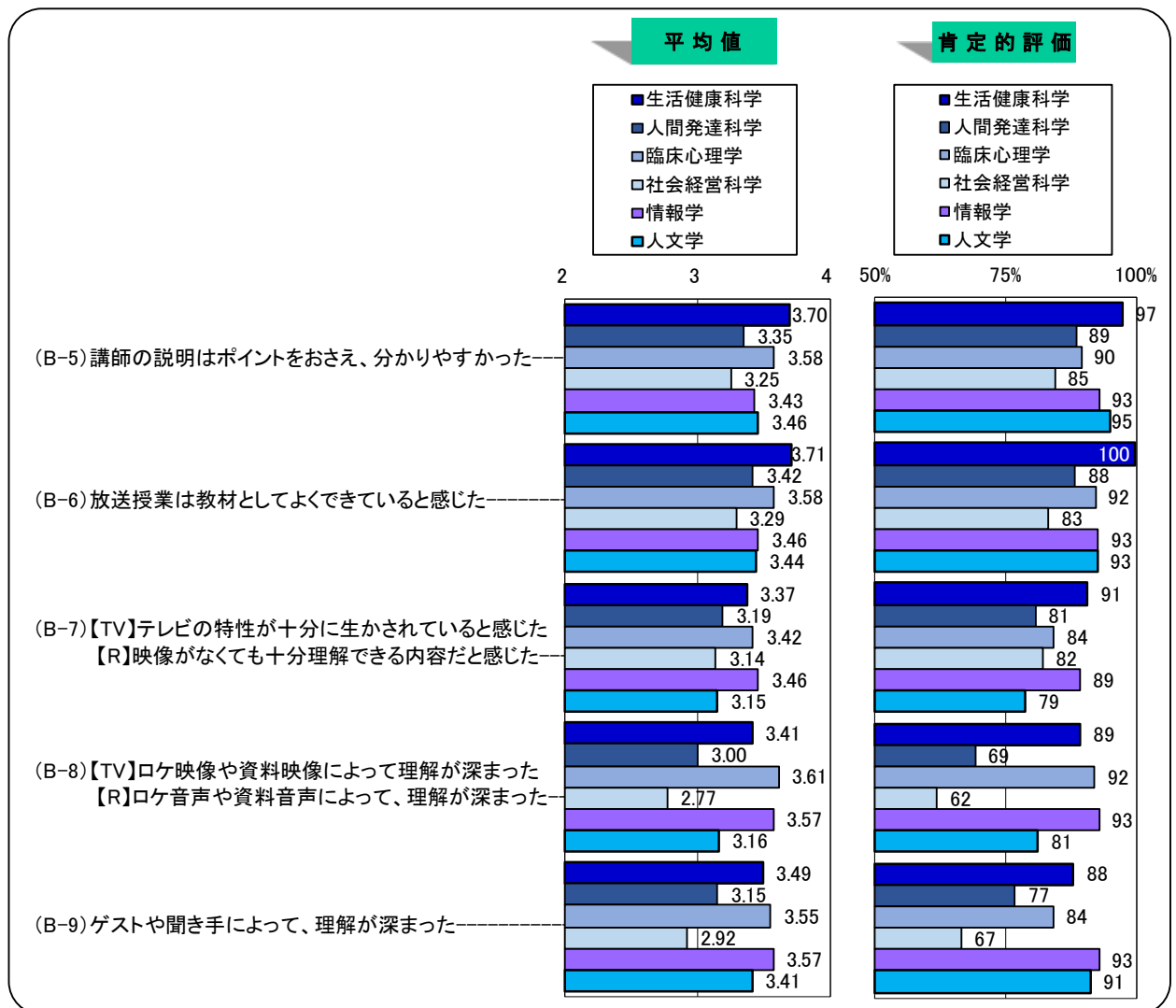
所属プログラム別では（図2-78）、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」は「生活健康科学」が97%と最も高く、「社会経営科学」が85%と評価が低かった。

(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」も、「生活健康科学」が100%と最も高く、「社会経営科学」が83%と評価が低かった。

(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」も、「生活健康科学」が91%と評価は高かったが、評価が最も低かったのは「人間発達科学」(81%)であった。

(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」、(B-9)「ゲストや聞き手によって、理解が深まった」は「情報学」の評価がそれぞれ、93%と高かった。評価が低かったのは「社会経営科学」で、62~67%と低水準であった。

図2-78 【大学院】所属プログラム別の放送授業の評価



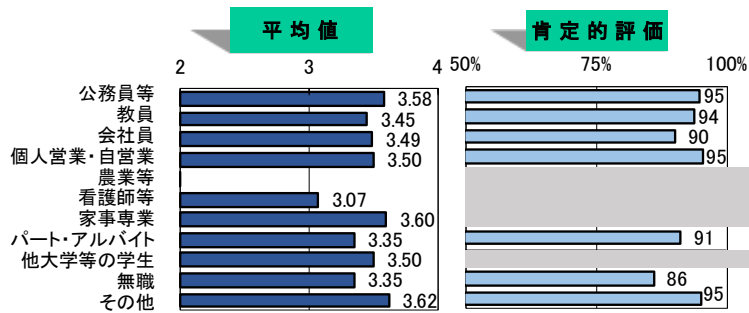
職業別では（次頁図2-79）、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」以外の項目について「その他」の評価がいずれも90%以上で最も高くなっていた。

また、(B-5)「講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった」、(B-6)「放送授業は教材としてよくできていると感じた」、(B-7)「【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた/【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた」では、「公務員等」の評価も93~95%と高い。

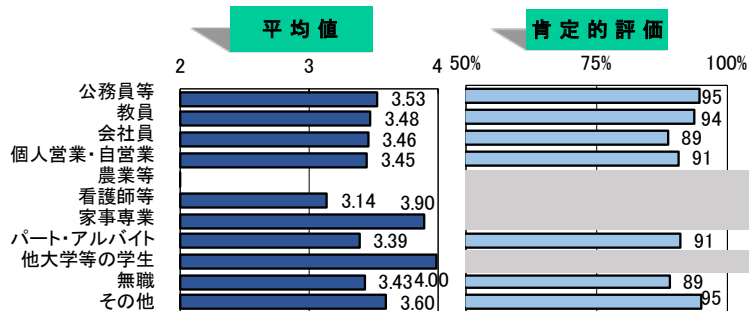
(B-8)「【TV】ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった/【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった」では、「個人営業・自営業」が59%と極端に低い評価であった。

図 2-79 【大学院】職業別の放送授業の評価

(B-5) 講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった

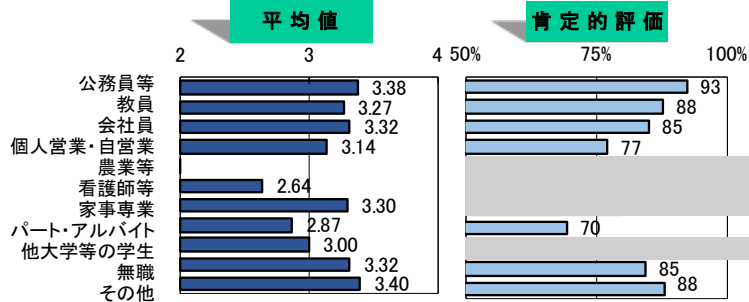


(B-6) 放送授業は教材としてよくできていると感じた



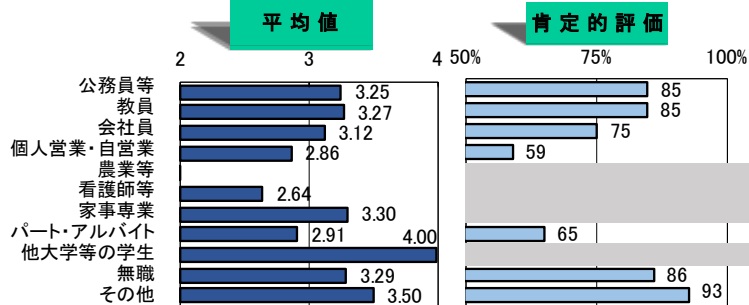
(B-7) 【TV】テレビの特性が十分に活かされていると感じた

【R】映像がなくても十分理解できる内容だと感じた

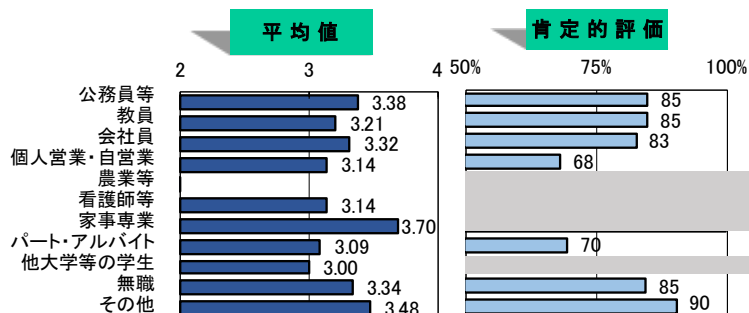


(B-8) 【TV】ロケ映像や資料映像によって理解が深まった

【R】ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった



(B-9) ゲストや聞き手によって、理解が深まった

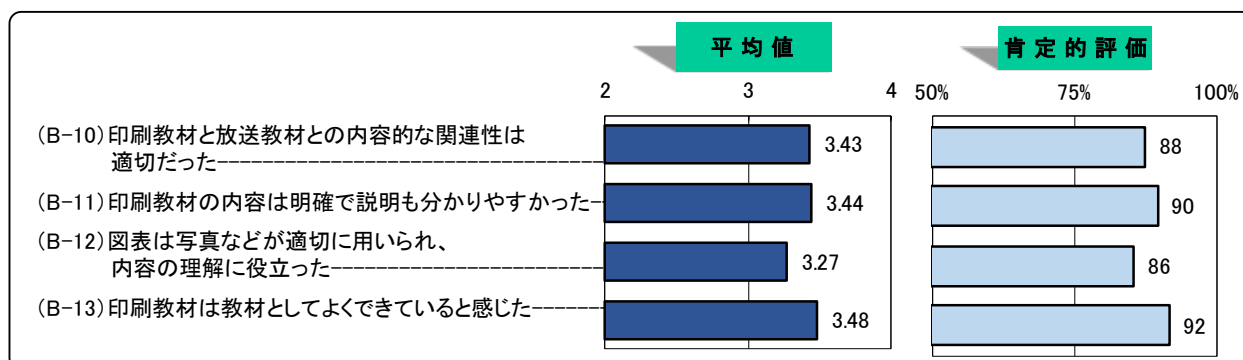


(4) 印刷教材

ここからは印刷教材について、評価項目ごとに見ていく。

印刷教材の評価項目では（図2-80）、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」が92%と最も評価が高く、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」が86%と低い評価であった。

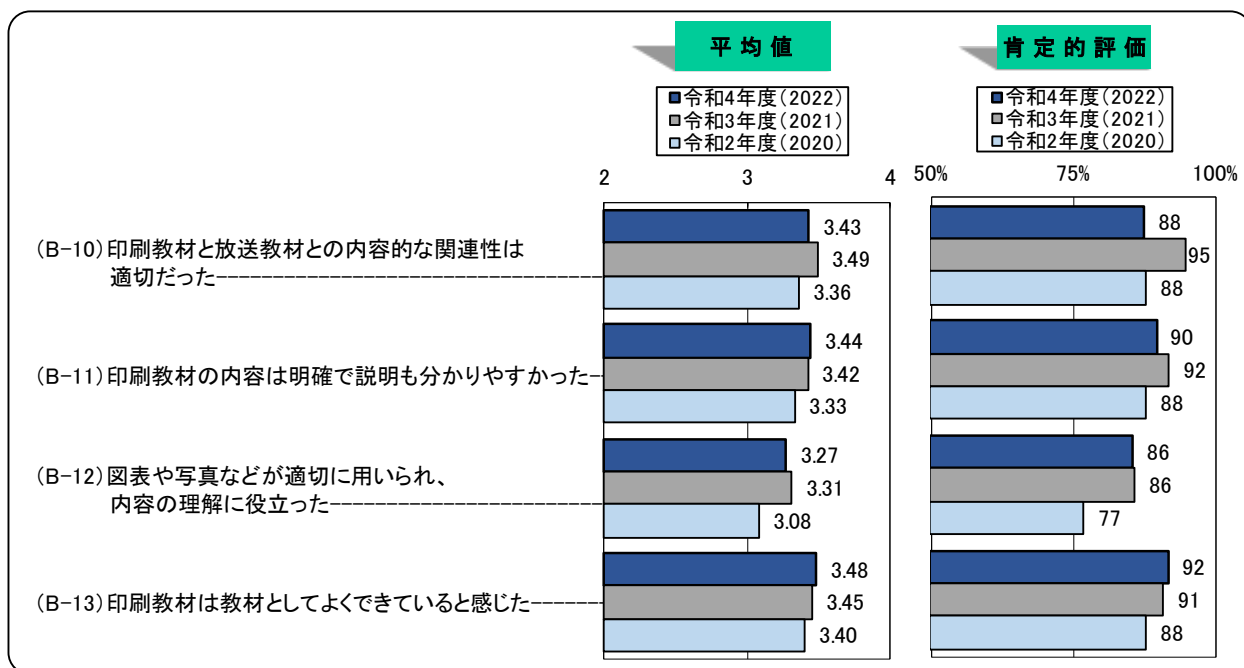
図2-80 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価



印刷教材の評価を時系列で見ると（図2-81）、本年度は昨年度と比べ、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」が減少しており、(B-10)が7ポイント減、(B-11)が2ポイント減であった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」については、評価が年々上昇していた。

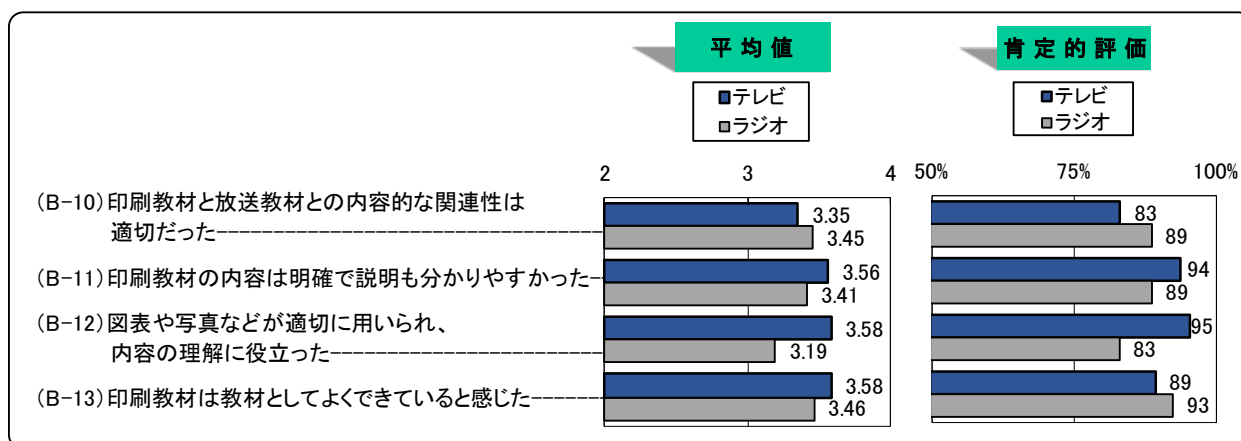
図2-81 【大学院】回答者全体の印刷教材の評価（時系列）



メディア別に印刷教材の評価を見ると（図2-82）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」はラジオ科目の評価が高くなっていた。

一方、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」と(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」については、テレビ科目の評価が高く、中でも(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」はその差が12ポイントと大きな差であった。

図2-82 【大学院】メディア別の印刷教材の評価



年齢階層別の評価（図2-83）は、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、70歳以上の評価が92%と最も高くなっていた。

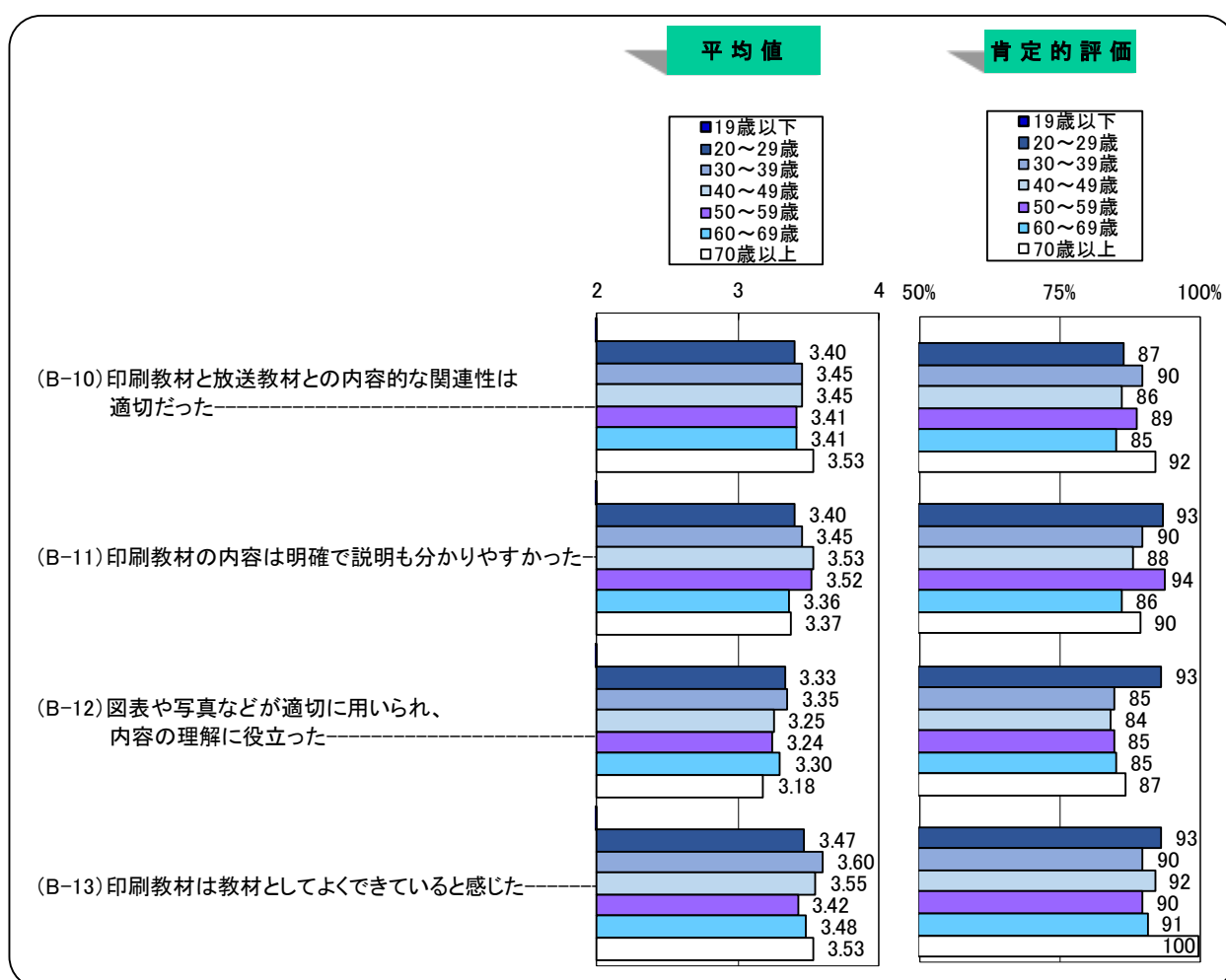
(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、50歳代が94%と高く、60歳代は86%と低かった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、70歳以上が87%と最も評価が高かったが、その他の年代も85%前後の評価であった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、70歳以上が100%と非常に高く、30歳代、50歳代が90%と低い評価であった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-83【大学院】年齢階層別の印刷教材の評価



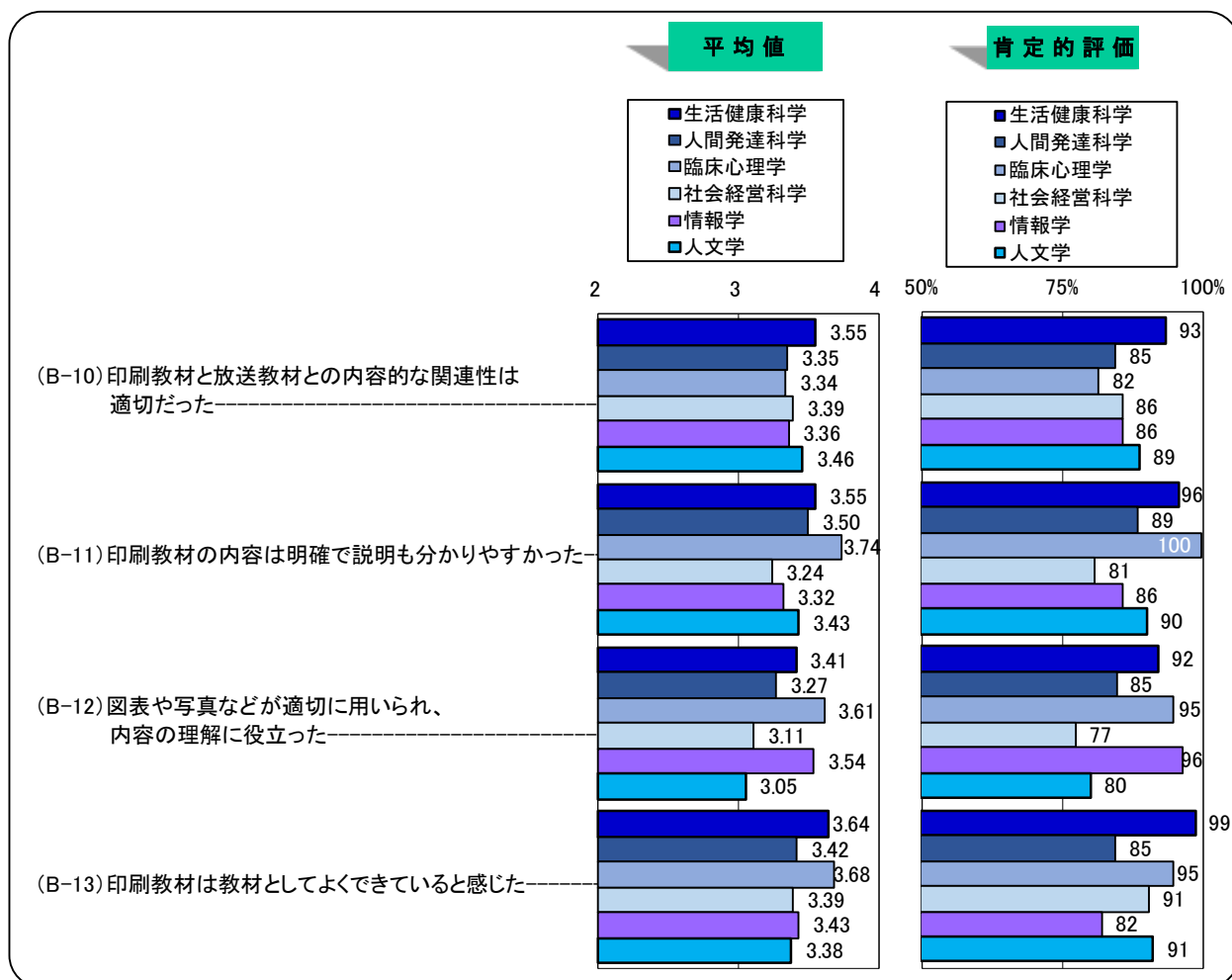
所属プログラム別の評価を見ると（図2-84）、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、「生活健康科学」93%と高く、他のプログラムはいずれも80%台であった。

(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」では、「臨床心理学」が100%と高くかった。逆に評価が低いのは「社会経営科学」の81%であった。

(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」は、「臨床心理学」「情報学」がそれぞれ95~96%で高く、「社会経営科学」77%で、低い評価であった。

(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」は、「生活健康科学」が99%で最も高く、次いで「臨床心理学」が95%で、反対に「情報学」が82%と、低い評価であった。

図2-84 【大学院】所属プログラム別の印刷教材の評価

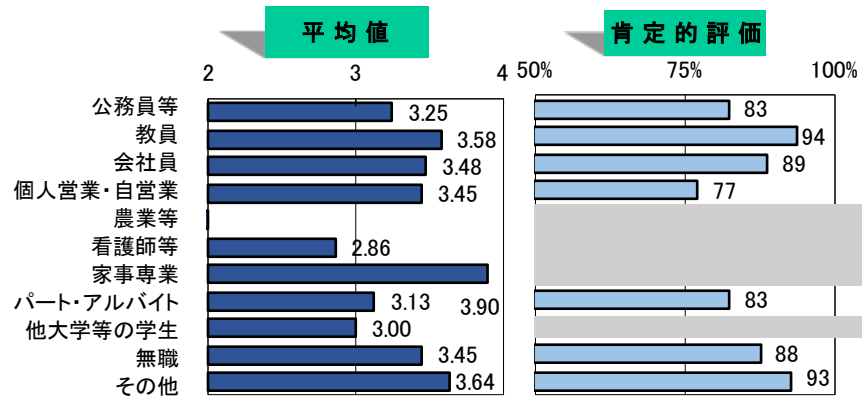


職業別では（次頁図 2 - 8 5）、全項目で「教員」の評価が 94～97%で最も高くなっていた。

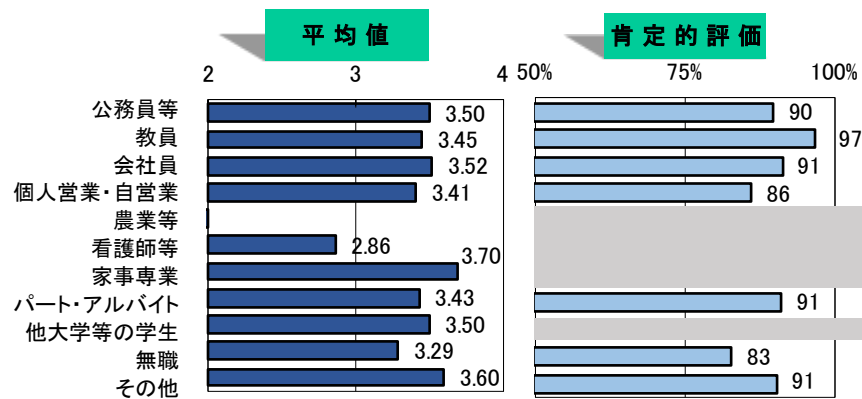
反対に評価が低かったのは、(B-10)「印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった」は、「個人営業・自営業」(77%)、(B-11)「印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった」は、「無職」(83%)、(B-12)「図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った」、(B-13)「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」では、「パート・アルバイト」の評価が最も低かった。

図 2-85 【大学院】職業別の印刷教材の評価

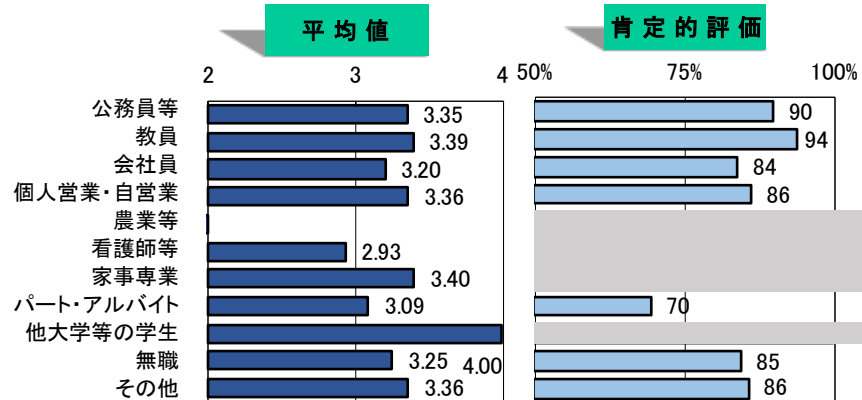
(B-10)印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった



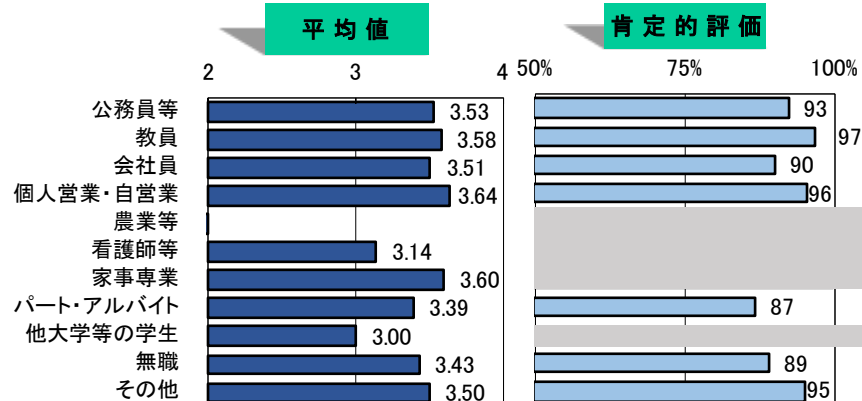
(B-11)印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった



(B-12)図表は写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った



(B-13)印刷教材は教材としてよくできていると感じた

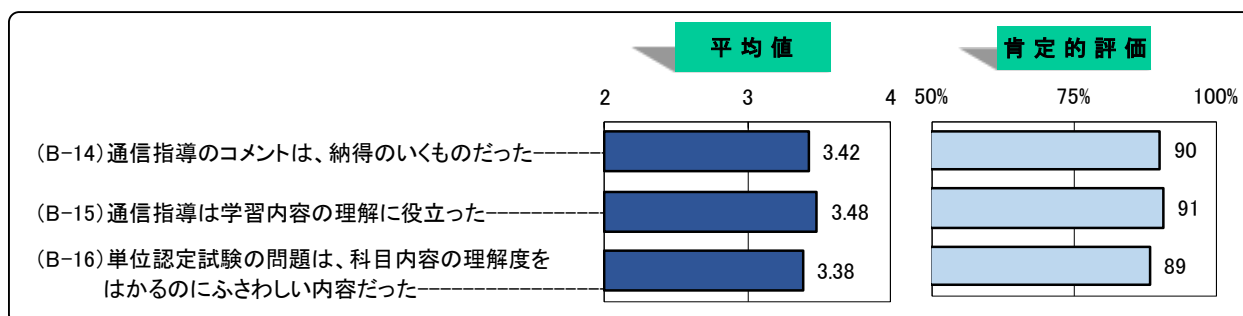


(5) 通信指導・単位認定試験

最後に通信指導・単位認定試験の評価について項目ごとに見ていくことにする。

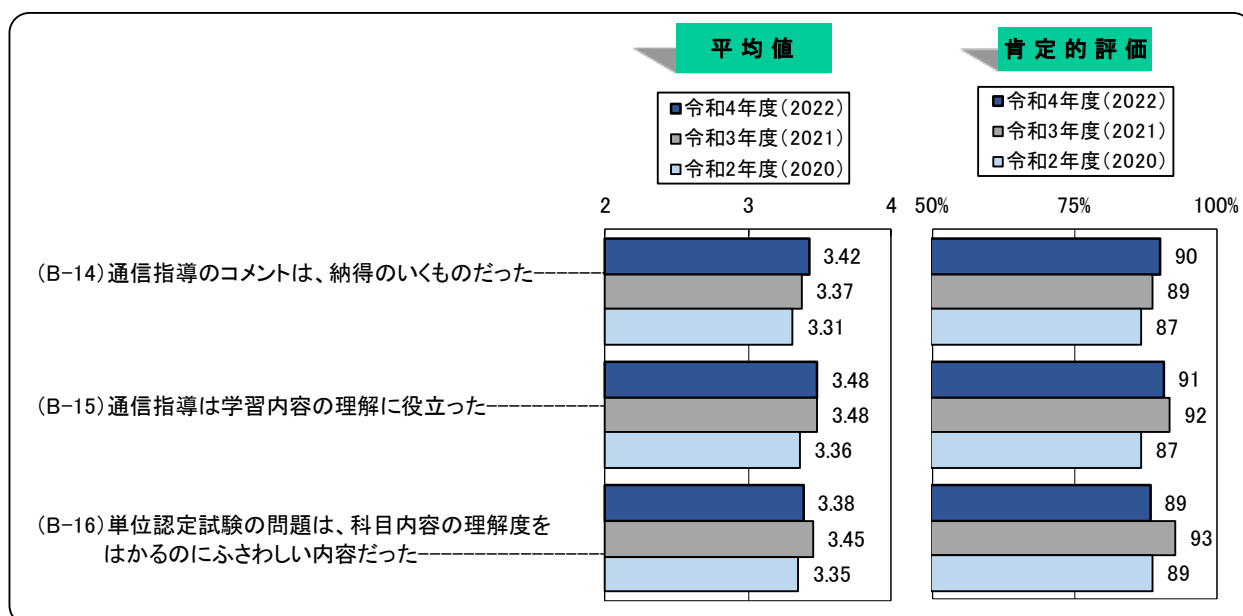
(図2-86)の通信指導については、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は90%にわずかに届かなかったが、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」はそれぞれ、90~91%であった。

図2-86【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価



通信指導・単位認定試験の評価を時系列で見ると(図2-87)、昨年度と比べ、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」はわずかに上昇しているが、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」、(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」はそれぞれ1~4ポイントの減少であった。

図2-87【大学院】回答者全体の通信指導・単位認定試験の評価(時系列)



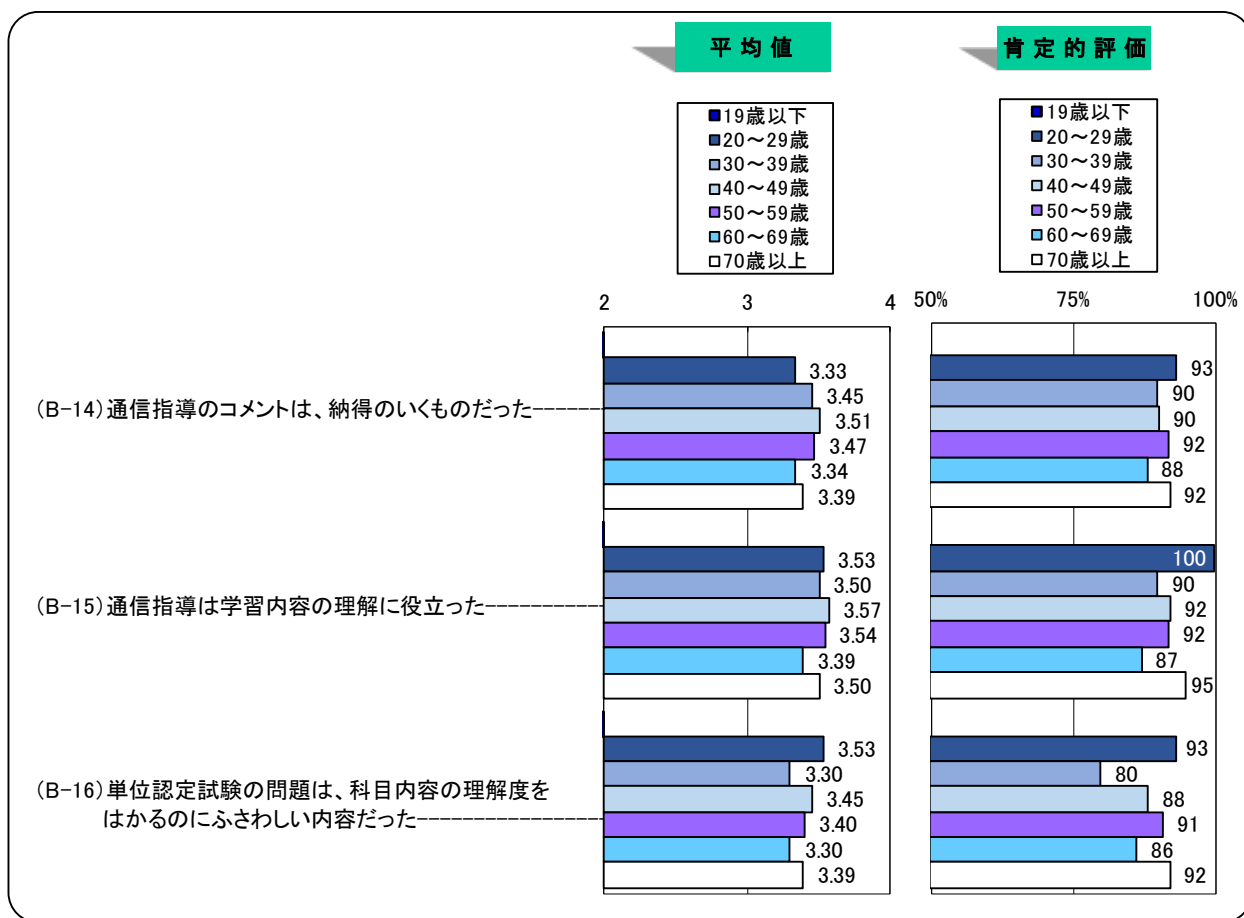
年齢階層別の評価（図2-88）では、全項目で70歳以上の評価が最も高かった。また、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は50歳代の評価も92%と高く、反対に60歳代の評価が88%で最も低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」でも、60歳代の評価が87%と低かった。

(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は30歳代が80%と、低い評価であった。

※「20～29歳」は回答者数が15人と少人数である為、コメントを差し控えた。

図2-88 【大学院】年齢階層別の通信指導・単位認定試験の評価

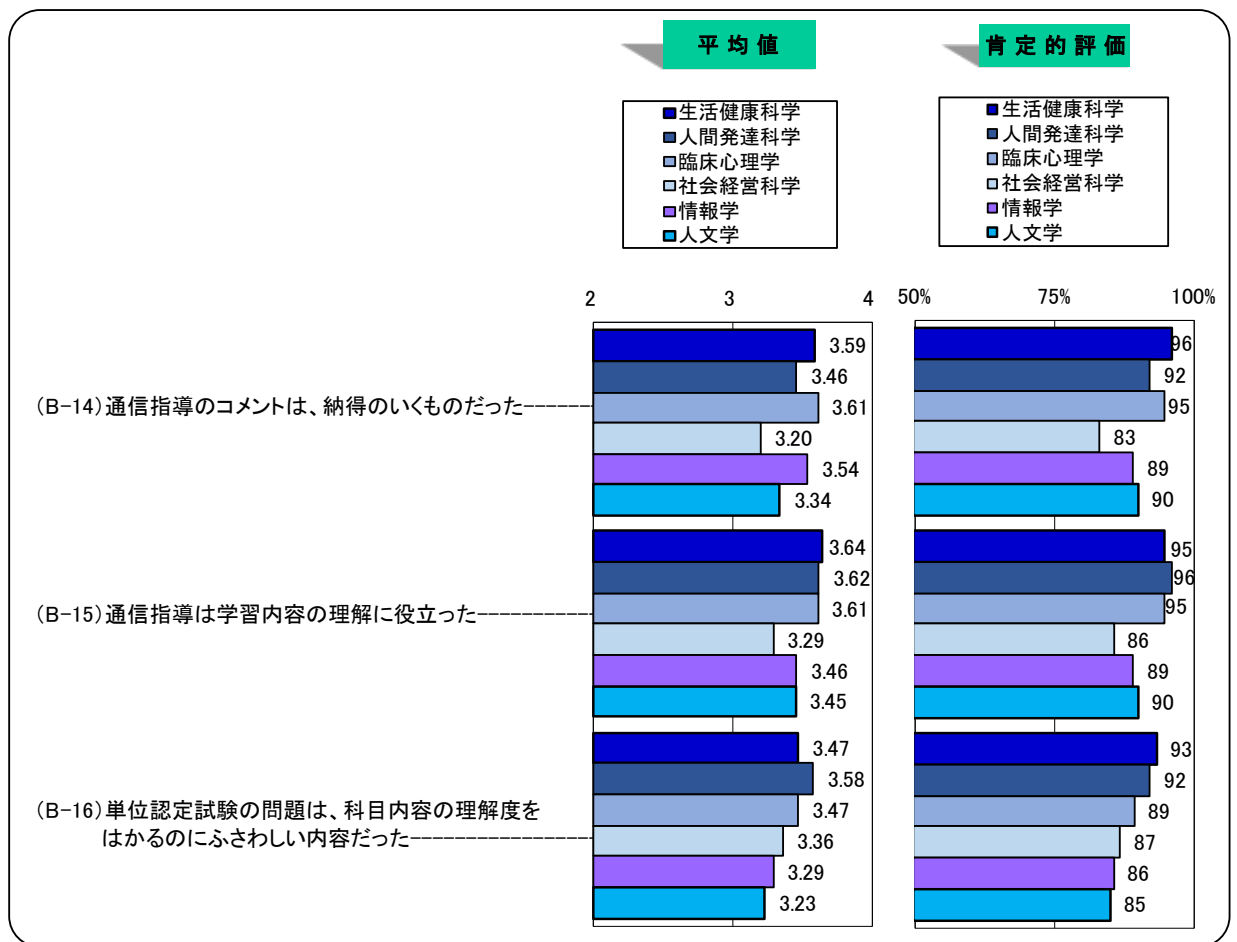


所属プログラム別では（図2-89）、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」と (B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「生活健康科学」と「臨床心理学」の評価が 95～96%と高かった。また、(B-15)では「人間発達科学」も 96%と高かった。

(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」は、「生活健康科学」、「人間発達科学」が 92～93%と高かった。

反対に評価が低かったのは、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」、(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」では、「社会経営科学」(83～86%)であった。また、(B-16)「単位認定試験の問題は科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった」では、「人文学」が 85%と、最も低い評価であった。

図2-89 【大学院】所属プログラム別の通信指導・単位認定試験の評価

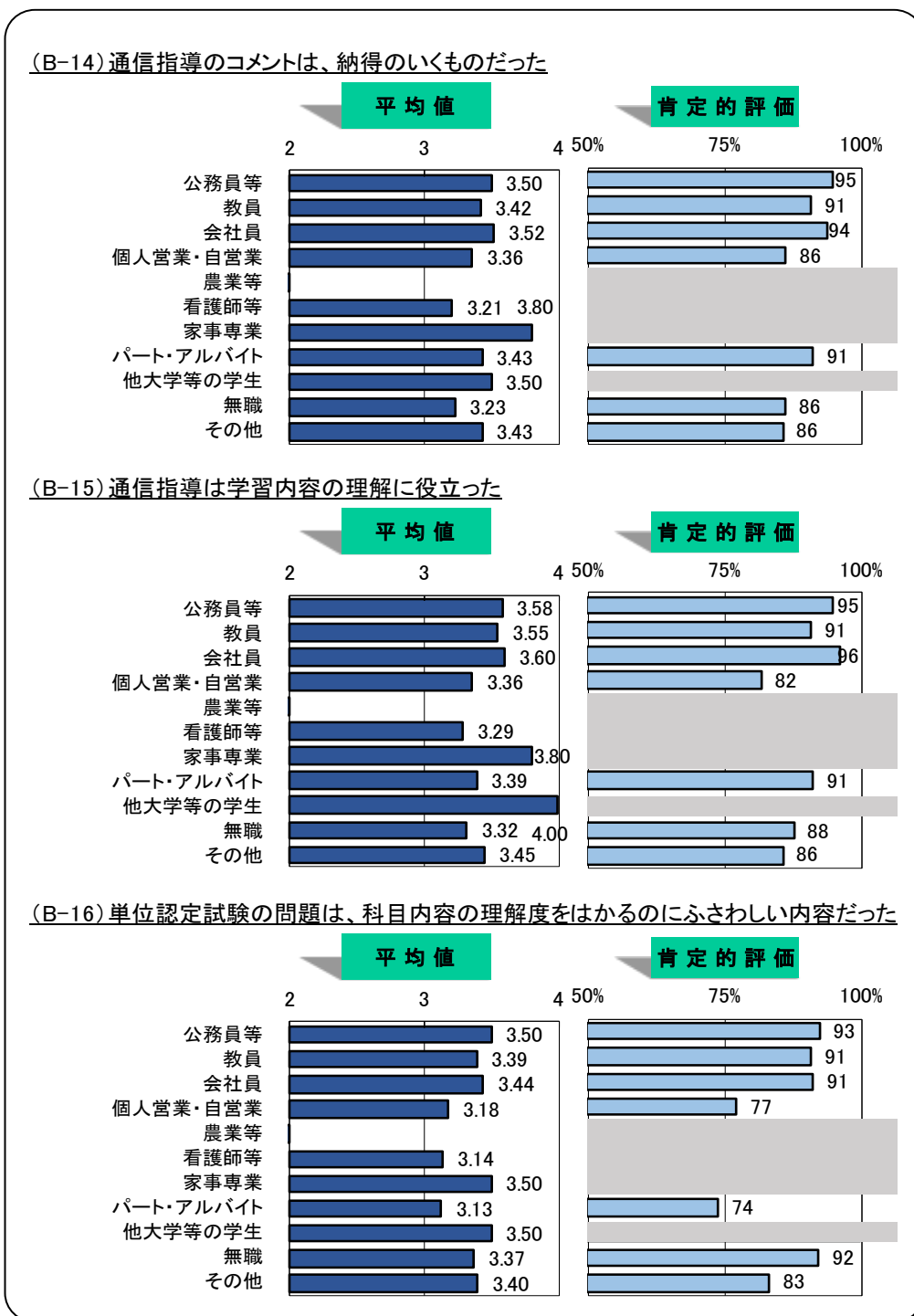


職業別では（図2-90）、全項目で「公務員等」の評価が93～95%で最も高くなっていた。

反対に評価が低かったのは、(B-14)「通信指導のコメントは、納得のいくものだった」は、「個人営業・自営業」「無職」「その他」がそれぞれ86%と低かった。

(B-15)「通信指導は学習内容の理解に役立った」は、「個人営業・自営業」(82%)、(B-16)「単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった」は、「パート・アルバイト」(74%)が最も低かった。

図2-90【大学院】職業別の通信指導・単位認定試験の評価



Ⅱ-2-4. 大学院の重回帰分析

大学院でも学部同様、重回帰分析を試みた。

その重回帰分析とは、数量データである目的変数と説明変数の関係を調べ、重回帰式（モデル式）を導き出す解析手法である。

今回も、全体の満足度（B-21）「この科目の内容には全体として満足している」を目的変数とし、調査票 I.A「授業への取り組み姿勢」を除く B-1～B-20 の各項目を説明変数として分析を試みる。

本調査の選択肢はカテゴリーデータであるが、平均値の算出と同様『あてはまる→4』のように数値をポイント化する事で数量として扱い、重回帰分析を適用する。

最終的には「全体の満足度」に寄与する項目を明らかにすると共に、その影響力の強さを知る事を目的としている。

項目名	変数	対象
目的変数	y	全体の満足度：B-21
説明変数	x_1, x_2, \dots	各項目 B-1～B-20：全 20 問（項目）
係数	a_1, a_2, \dots	重回帰分析によって得られる偏回帰係数

重回帰式 $y = a_0 + a_1x_1 + a_2x_2 + \dots + a_{20}x_{20}$ （説明変数が全 20 問の場合）

サンプルサイズが十分でない場合や説明変数が多すぎると、全体の満足度を表すのに適した重回帰式を得られない事が経験的に分かっているため、重回帰分析の中で、説明変数間で強い相関関係がある場合、その一方の項目を自動的に削除する「変数減少法」を用いて解析を行った。

使用したデータは質問項目 I.B の全設問を全て回答した 332 人のローデータを使用した。

その結果は以下の通りとなった。

■分析精度

自由度修正済み決定係数とは、得られた重回帰式が目的変数に対してどれだけ説明力（寄与度）があるかを示す指標で、「1」に近いほど良い結果で、この分析では 0.727 となった。

ダーヴィンワトソン比とは、残差同士の系列相関（自己相関）を示す指標で 0～4 までの値を示し、1 以下や 3 以上だと残差（誤差）に規則性があり、解析自体あるいはデータ自体に問題があり、「2」近辺の値ならよいとされるもので、その値は 2.163 となった。以上の結果から、問題のない結果が得られた事が示されている。

◆分析精度

決定係数	0.727
自由度修正済み決定係数	0.716
ダーヴィンワトソン比	2.163
残差の標準偏差	0.403

今回の重回帰分析は、分散分析表が示すとおり、有意水準 0.01 の判定で、かなりの精度で式の当てはまりの良さが確認できた。

(有意水準とは危険率と同義で 0.01 の場合、判定を誤る確率が 1%である事を表している。)

◆分散分析表

変動	偏差平方和	自由度	不偏分散	分散比	p値	判定
全体変動	188.891	331				
回帰による変動	137.319	13	10.563	65.1324	0.000	[**]
回帰からの残差変動	51.572	318	0.162			

凡例	有意水準	凡例	有意水準
[**]	0.01	[*]	0.05

下表にある標準偏回帰係数とは説明変数の相互比較を可能にするためのもので、各説明変数の目的変数に対する影響力の度合いがこれで分かる。

その結果から「全体の満足度(B-21)」に寄与する項目で、その寄与度が最も高かったのは、B-13「印刷教材は教材としてよくできていると感じた」で 0.241、次いで B-20「この科目の内容を全体としてよく理解できた」、(0.201)、他に B-18「学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった」(0.156)、B-3「印刷教材の難易度は適切だった」(0.141)と続いていた。

説明変数の影響力の度合いを比較するために、表中の標準偏回帰係数の中で最も小さい B-1 (0.093) を基準に、他の項目がその何倍となるか算出してみた。(表中の右端の数値) その結果、高い順に B-13:2.6 倍、B-20:2.2 倍、B-18:1.7 倍、B-3:1.5 倍、B-19:1.5 倍となった。

この結果を踏まえ、今後、「全体の満足度」(本年度の肯定的評価 91%) を上げるためには、上位 2 項目、「B-13 印刷教材は教材としてよくできていると感じた」、「B-20 この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)」が突出しており、この 2 項目の肯定的評価を上げる事が、効果的であると考えられる。

この 2 項目の肯定的評価について見てみると、B-13:92%、B-20:89%で、それぞれの肯定的評価を上げる余地はまだ残っていると思われる。

目的変数	標準偏回帰係数	説明変数	判定	B-1との対比
B-21全体の満足度	0.241	B-13印刷教材は教材としてよくできていると感じた	[**]	2.6
	0.201	B-20この科目の内容を全体としてよく理解できた (理解度)	[**]	2.2
	0.156	B-18学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった	[**]	1.7
	0.141	B-3 印刷教材の難易度は適切だった	[**]	1.5
	0.138	B-19新しい知識が身につく視野が広がった	[**]	1.5
	0.131	B-17授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った	[**]	1.4
	0.125	B-8 ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	[**]	1.3
	0.105	B-16単位認定試験の問題は、科目内容の理解度をはかるのにふさわしい内容だった	[**]	1.1
	0.096	B-14通信指導のコメントは、納得のいくものだった	[*]	1.0
	0.093	B-1 放送授業の難易度は適切だった	[**]	1.0
	定数項		[**]	

Ⅲ. 自由記述のまとめ

自由記述については、オンラインを除く放送授業受講者には以下の4問の質問を行った。

C-1.この科目を受講してよかったと思う点

C-2.この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）

C-3.この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点

C-4.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

また、オンライン受講者には、下記3問の質問であった。

B-19.この科目を受講してよかったと思う点

B-20.この科目を受講して改善すべきだと感じた点

B-21.この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想

掲載した内容は、自由記述のグラフ、代表的な意見の抜粋、個々の記述内容を要約し、それぞれをカウントした、度数カウント表である。

グラフ化した質問内容は、放送授業では前掲の C-1～C-3 を、オンライン授業では B-19、B-20 である。

Ⅲ－１．学部（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。
よかった点は、当該科目について回答された項目が3%以上となったものを掲載した。
改善点は、当該科目について回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

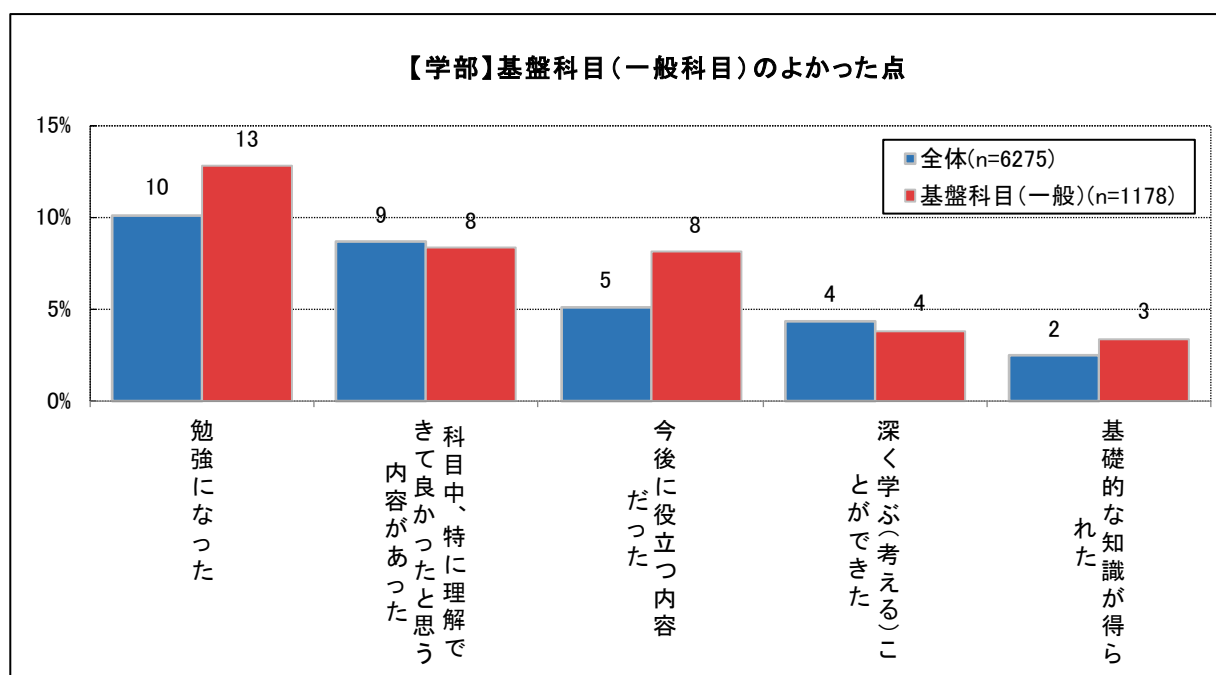
※改善すべき点については、前ページの C-2 と C-3 の問いをまとめて集計した結果を用いた。

【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

よかった点

「勉強になった」(13%)、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」
「今後に役立つ内容だった」がそれぞれ8%、「深く学ぶ(考える)ことができた」(4%)、
「基礎的な知識が得られた」(3%)が上位に挙げられていた。

図3－1 【学部】よかった点

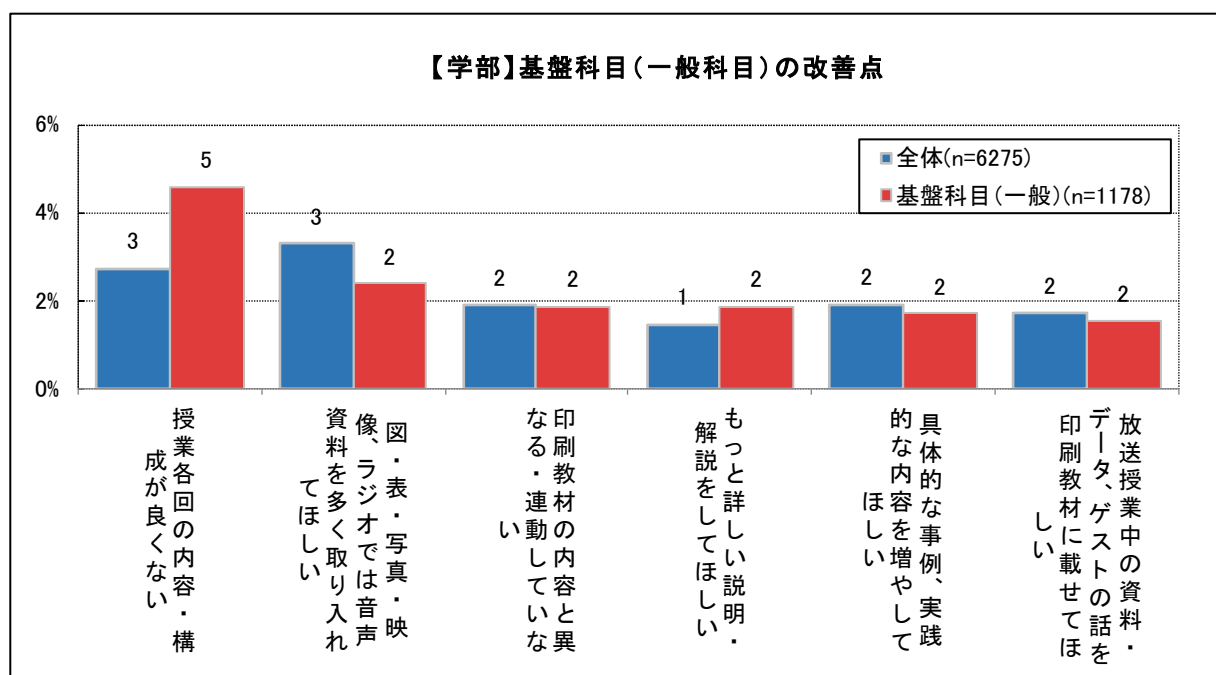


【学部】「基盤科目（一般科目）」の傾向

改善点

「授業各回の内容・構成が良くない」（5%）が最も高く、全体を上回っていた。次いで、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「印刷教材の内容と異なる・連動していない」、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」、「放送授業中の資料・データ、ゲストの話をも印刷教材に載せてほしい」などが2%で挙げられていた。

図3-2 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

よかった点

- アカデミックなライティングとは何か、勉強することができた。ライティングは目的に合わせて内容や文体が変化するものなので、この勉強は入学の初期のうちしておくことが必須であり、中高生のうちに習っておきたいと思うほどだった。
- 普段漠然と「運動はいいもの」「健康は大事」と考えていましたが、この授業でしっかりと運動と健康の関連性を学ぶことができ感動いたしました。
- 今後論文を書いていくことを目指して科目選択をした。基礎的な内容から応用まで学習することができ、自分の文章作成に大いに役立つ内容であったと感じた。
- 健康関連の仕事をしているのですが、より深い学びができて、とても良かったです。
- これからの授業、又はすでに受講した授業の基本を理解できたこと。上級の科目の単位は取っていたが、基本に一部理解不足があったが、理解できた。
- 地球温暖化について報道されるようになってから、自然環境、地球環境について興味を持つようになって、受講しました。新しい知識に触れたれたと思います。最後が数学の講義だったのが驚きでしたが、納得できました。
- 今までよく知らなかった科学にもっと興味がわきました。宇宙のことなどを知るとこの世の人間が人間を支配する構図が馬鹿馬鹿しいです。生物などいろいろなジャンルを説明してくれていた授業でしたのでいろいろなことがもっと興味を持ってました。
- 一般テレビ番組として放送されても全く問題なく、それだけでなくきちんと内容も詰まっていためになる講義だった。最初の方は生物学的な知識も必要で難しめだったように感じられたが、それでも分かりやすく理解ができた（生物学、化学の講義よりもかなり分かりやすい）。全体として放送大学の授業の中で最も良い放送授業と思えるし、基盤科目として立派で、ぜひ放送大学の全受講生に視聴をおすすめしたい番組である。体力作りにも触れられていて、私の知りたいところが詰め込まれていた。受講して本当に良かったと感じている。
- 聞き手の岩田さんが体験を通して学びに結びつく感想を言ってくれていたり、明るくて声も聴きやすかったので、全体として楽しく学習することができた。
- どの回も発見があってよかった。前半の身体のしくみはだるかったですが、やっているうちにこれも自分の身体のことなので知っておいた方が自分のためだなと思って取り組んだ。
- 様々な分野の先生方が講師に参加してくださり、自コース以外の話も聴けたので、今後もそれらを継続して頂ければ、と思います。
- 資格取得のために受講したが、思っていたよりもずっと楽しく勉強ができました。
- 地学・生物・化学・物理・数学の導入として、わかりやすかったです。個人的には難しいと思うところもありましたが、自分が知らなかった事柄へ導いていただけました。
- 何となく接していたパソコンをはじめとする情報関係の事項について、改めて学べる機会があり、知らなかったことが多かったことや知ろうともしなかった事項がこんなにも多いのかと思いました。もっと勉強したいと思いました。
- 前半の医学的な分野のテレビでの写真・図解・表のまとめが見やすかったので理解に役立った。遅筋速筋の写真やミトコンドリアの映像も良かった。
- 先生のお人柄が、ゲストの先生方との対話形式の授業でとてもよく引き出されていて、とても楽しい授業だったところ。
- 苦手な科目なので受講しようか迷ったが、わかりやすく説明してもらい楽しめた。
- 特にロケでは普段は聞けないような貴重なお話が沢山あり、勉強になりました。都市開発の回では、私の就業先の会社が出てきたので驚いたのとちょっと嬉しかったです。
- なにより教授の説明が的確で、自然科学というものがどういうものなのか、ということが分かり、教養、視野を広げることができました。
- ゲストの方々の話を聞けたのも、様々な分野について知ることができて良かったです。
- 内容も実践を織り混ぜとても分かり易いものとなっていたように思います。

【学部】「基盤科目（一般科目）」 抜粋

改善点

- 6章「情報リテラシーと情報倫理」と8章「情報社会と法律」の項は難解であった。もう少し、まとめた説明が欲しかった。
- 物理での実験は印刷教材の理解をより深めた一面があるので、実験の取り込みが困難な領域についてはCG等の多用で教材理解を深めるような方策を取り入れる検討をお願いしたい。
- 教科書の内容と放送での内容が若干違うような気がして理解するのが難しかった。
- ちょっと体の仕組みについて、具体的に難しいところがあったので、もう少し時間をかけて詳しく説明して欲しかった。
- 図表以外で、数式を文章の中に入れる場合など具体的な例を講義の中で、たくさん取り上げてほしい。
- 映像で使われている表で、印刷教材には掲載されていないものが割と多かった。映像を止めてノートに書き写すのに時間がかかった。映像で使われる図表は全て印刷教材にも掲載してほしい。
- 授業で使用している図表に関して、可能なかぎり教科書へ掲載してほしい。
- 放送授業についてですが、化学の説明があいまいで分かりにくかったです。質問者に対して、「はい」か「いいえ」で答えてほしい場面が何度もあったのですが、結果的にあいまいな回答を繰り返している形で結果的に何が言いたいのか、何が結論なのか分からないまま終わってしまう箇所がいくつもありました。もう少し、回答を明確にした授業にしていただけたらと思いました。
- 科学での表現で数字での表し方が今一つよく理解できませんでした。科学表現の進入角度を緩やかにお願いします。
- 数学的要素、物理的要素、化学的要素、広がりあるテーマをよく理解することは難しかった。
- 原稿に視線を落としがちな講師の方はプロンプターの使用を検討してみてもいいでしょうか。カメラ目線の先生の講義は視聴していて楽しいし、やる気がでてくる。
- 講師の方の声が小さく、分かりやすく説明しよう。という姿勢が見えませんでした。
- この科目と他の自然科学の科目の間にも科目があると少しずつ段階を踏んで学修ができると思う（初歩の～が難しいので）。
- 授業内容の特性から、印刷教材はフルカラーで高精細のものにしてもらったほうがわかりやすいと思った。
- 対象者がどの程度の基礎知識があるかを十分にリサーチされた上で、「情報学へのとびら」ですので、ゼロから勉強する者にも興味を持って勉強ができ、理解できる構成にして欲しいと思います。
- 入門編だと思いましたのでもっと知識を広げるために施設や書籍の紹介していただければ受講の後にも知識が広がる機会ができるかと思いました。
- テキストの棒読みだけで仕上げた教材は必要ありません。
- テキストでは、ところどころ詳しい説明が省かれているところがあったように思う。特にグラフなどは、それが示しているものが何なのかはぱっと見では分かりにくく、テキストを何度も読み込んでようやく理解できるものが多かった。
- 放送授業の聞き手の方と先生との会話の内容が今一つ抑揚がなくポイントがつかみにくい。
- ゲストの人数と分野を増やして、もっといろいろな先生の専門についてお聞きしたいと思いました。この科目というよりも、特別番組でやっても良いのではと思います。
- 基礎的な演習問題を繰り返す機会を増やして、理解が定着するようにしてほしい。
- （印刷教材の）文章だけだと理解し辛い部分が多かったため、もう少し図表があるといいと思った。
- スライドの中の引用図で、文字が不鮮明で読めないものがいくつかあった。改善してほしい。
- 古い。2022年版だということで期待をして望んだが、映像や資料が古い。確かに基礎的な事は変わらないかもしれないが、2016年版の流用が多すぎる。例えば非常に古いPCを分解して提示されてもイメージしづらい。スマートフォンが最も身近な情報デバイスになっている現状を踏まえて欲しい。

【学部】「基盤科目（一般科目）」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	150		150
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	98		98
今後に役立つ内容だった	95		95
深く学ぶ(考える)ことができた	45		45
基礎的な知識が得られた	40		40
新しい知識が身についた	28		28
興味・関心を持てた	21		21
全体として満足している	21		21
楽しかった	16		16
理解しやすかった	16		16
学習意欲・知識欲がわいた	15		15
視野が広がった	8		8
知識の整理に役立った	8		8
具体的な事例、実践的な内容があった	7		7
最新の情報・研究が学べた	7		7
自分のペースで勉強できた	5		5
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	5		5
体系的に学べた・理解できた	5		5
内容・構成が良かった(科目全般)	5		5
科目の学問的性質、位置付けが分かった	3		3
身近に感じられる内容だった	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	1		1
現在の課題や身近な問題点を学べた	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	20		20
授業各回の内容・構成が良かった	19		19
複数の講師の講義を聞くことができた	17		17
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	15		15
講師が良かった	12		12
楽しかった	11		11
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	10		10
講師の解説が分かりやすかった	10		10
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	9		9
理解しやすかった	9		9
科目全体の内容・構成が良かった	5		5
良い授業だった	4		4
印刷教材と連動していて良かった	2		2
講師の熱意・熱心が伝わった	2		2
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	2		2
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	2		2
対談形式の授業が良かった	2		2
ポイントがつかみやすかった	1		1
メディアの特性に合った授業内容だった	1		1
印刷教材とのバランスが良かった	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
手元に置き、今後も読みたい内容だった	2		2
図・表・写真・イラストが良かった	2		2
理解しやすかった	2		2
演習問題が良かった	1		1
内容・構成が良かった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
学習内容の理解・整理に役立った	1		1
指導内容・コメント・対応が良かった			

【学部】「基盤科目(一般科目)」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	22		22
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	20		20
難しかった	15		15
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	12		12
例題・練習問題を増やしてほしい	8		8
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	6		6
講義内容と科目名に乖離がある	5		5
授業科目案内は内容が不十分だった	5		5
努力不足だった	5		5
内容の詰め込みすぎ	5		5
最新の内容を講義してほしい	4		4
内容が基礎的で物足りなかった	4		4
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3		3
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	2		2
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	2		2
内容が専門的で難しかった	2		2
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1		1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1		1
科目による難易度の差が大きいの	1		1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1		1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	1		1
単位数の多い科目を増やしてほしい	1		1
内容にまとまりがない	1		1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	18		18
色刷りにしてほしい	12		12
内容・構成が良くない	10		10
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	8		8
理解しにくい(印刷教材)	6		6
図・表・写真・イラストが見づらい	5		5
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	4		4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4		4
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	3		3
誤植がある	3		3
文字が読みづらい	3		3
索引を充実させてほしい	2		2
詳細な解説がほしい	2		2
難易度・分量が不適切だった	2		2
練習問題がほしい、増やしてほしい	2		2
DVDの画質が良くない・BDIにしてほしい	1		1
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
書き込みしにくい	1		1
追加情報・追加教材がほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	2		2
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	2		2
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1
指導内容・コメントが読みづらい	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
授業各回の内容・構成が良くない	54		54
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	28		28
印刷教材の内容と異なる・運動していない	22		22
講師の解説・指導が良くなかった	17		17
理解しにくい	16		16
演出が良くない、演出を工夫してほしい	13		13
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	13		13
科目全体の内容・構成が良くない	11		11
参考となる事例や資料の紹介がほしい	11		11
印刷教材と異なる講義が聞きたい	10		10
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	9		9
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	8		8
字・図・表・写真・映像が見づらい	7		7
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	5		5
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	5		5
手話通訳、または字幕がほしい	5		5
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	5		5
システム面の改善が必要	4		4
講師以外は必要ない・違和感がある	4		4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	4		4
聞き手がいた方がよい	4		4
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	3		3
ポイントがつかみにくい	3		3
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	3		3
授業に興味・関心が持てなかった	3		3
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	3		3
例題・練習問題を増やしてほしい	3		3
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	2		2
不要なロケ、動画等がある	2		2
ゲストとの対話がかみ合っていない、単調	1		1
メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要	1		1
内容に誤りがあった	1		1
単位認定試験と運動していない	1		1
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式、および記述に関して改善してほしい	2		2
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	2		2
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	1		1
設問が見にくい	1		1
難易度を下げるべき	1		1
難易度を上げるべき	1		1
問題数が少なかった	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業: 授業各回の内容・構成が良くない
- 放送授業: 図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業: 印刷教材の内容と異なる・運動していない
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 印刷教材: 放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 放送授業: 講師の解説・指導が良くなかった

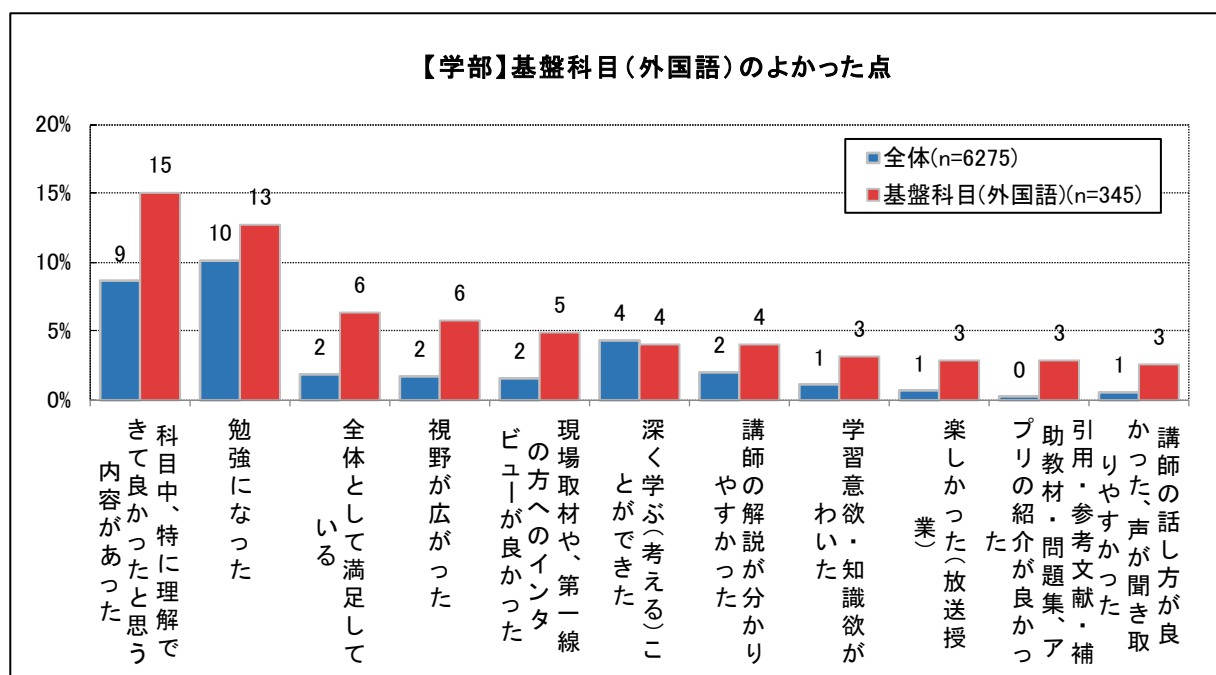
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」と「勉強になった」が10%を超えていた。

他では、「全体として満足している」、「視野が広がった」がそれぞれ6%、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」（5%）が続いていた。

図3-3 【学部】よかった点



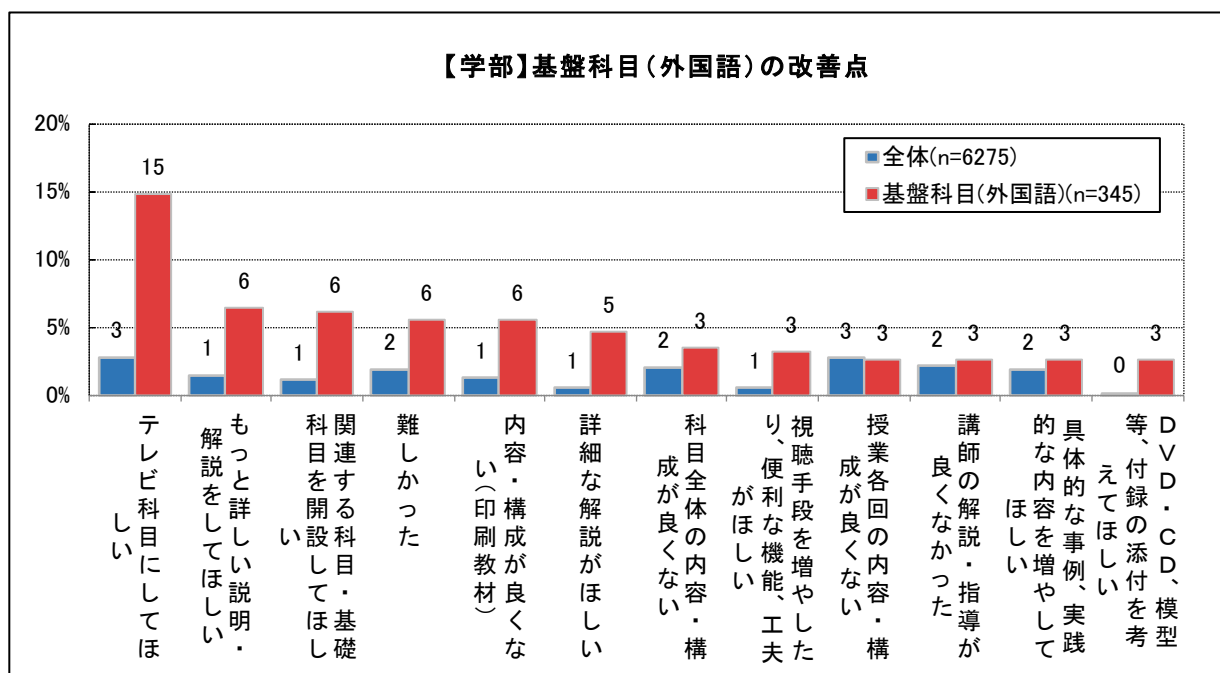
【学部】「基盤科目（外国語）」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」（15%）が最も高く、全体を大きく上回っていた。

他では、「もっと詳しい説明・解説をしてほしい」、「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」、「難しかった」、「内容・構成が良くない（印刷教材）」がそれぞれ6%で続いていた。

図3-4 【学部】改善すべき点



【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

よかった点

- グローバル英語の存在を知り、ネイティブの細かい技法にこだわらなくてもコミュニケーションを取ることができる事、言語の多様性について英語を学びながら考える事ができた。
- 人生初のロシア語の勉強で、最初は難しかったが、慣れてくるとニュースで出てくるロシア語が読めるようになり、簡単な単語も聞き取れるようになり感激した。
- ロシアによるウクライナ侵攻という想定外の事態が起きたにも拘わらず、開講していただき、大変よかったです。ロシア語やロシア文化の勉強や研究に関わる方には大変な困難な時期だと思いますが、こんなときだからこそ、ロシア圏の文化や言語を理解し、人々の声を直接理解することができることは、大切なことだと思います。
- 今後もっといろいろな人が話す英語に触れていった方がよく、かつ自分の話す英語ももっと自信を持って話していったらいいのだと思えました。視野が今までより少し広がった気がします。
- 毎回取り上げられる講演、インタビューの内容が非常に濃密で興味深いものだった。英語の教材というより読み物として面白く飽きなかった。
- イギリス、アメリカ以外の英語母語話者の英語に対する思い始めて聞いた。言語の持つ奥深い内容を改めて考えられた。
- ロシア文学にほとんど興味がなかったが、講師の先生の「ロシア文学万華鏡」のお話が面白く、紹介された作品をいくつも読んでみたいと思った。
- 様々な国の人の考え方に触れ、難しいながらも放送授業で解説を聞くことによって、更にもっと知りたいという意欲を掻き立てられた。
- TEDTALK が教材として使われていて、興味深く学習することができました。
- ロシア文学の解説や音楽紹介があり、盛りだくさんの内容でとても楽しめた。これらのコーナーにより新たな知見を得られた。
- 講師お二人の説明はわかりやすく、お声が大変聞きとりやすく、また話すスピードなども適切でした。テレビでなくラジオ科目でも十分満足できる構成だったと思います。受講してよかったです。
- ゲストへのインタビューを通じて、その人の考え方やその国の言語、文化などを知ることができ大変興味深かったです。
- ロシア語の基礎を学べ、テレビニュースに映るロシア文字を少しは読めるようになった（意味はわからず）。文学作品について広範な知識を得られた。戦争をしている国ではあるが、指導者以外には、親しみを感じることができた。
- コラムや注釈にこれまで知らなかった知識が詰まっていた、この授業を履修して良かったと感じられた。
- ロシア作家の本に興味を持つことができた。講師の先生が訳した本があると知って早速注文しました。すごくむずかしかったけど、授業がなければきっと興味がもてなかったので自分の世界がひろがり感謝しています。
- 宮本先生の的確な日本語訳。自分の翻訳能力を伸ばしたかったので、とても良かった。
- 日本に長く滞在する教師や研究員の生の話を取り上げて比較文化論的に探究することには興味を感じました。
- 私は既修者ですが、そういった学生も取り組めるような印刷教材になっていたのが、とても良かった。
- 英文を読んだ後、問題が数問あるので、文章の内容を振り返って考えることができたので良かった。要点の理解の大きな助けになりました。
- スラブ系の授業の入門として久しぶりに設置されたこと、15回の制約の中で文法項目をよく詰め込んだ方でした。
- 英語文法のみではなく、英語を話す外国のカルチャーも学べて楽しかった。

【学部】「基盤科目（外国語）」 抜粋

改善点

- ラジオ科目で語学を勉強するのは無理がありすぎます。英語などのある程度基礎的な学習がすでにある科目に関してはそれほど問題ではないかもしれませんが、我々がなじみのある文字と全く違う言語については映像がないとよくわかりません。初心者向きの講義ではないと感じました。
- 使い方多くそれぞれ意味が異なる単語が取り上げられていたが、用法の違いの説明をもう少し加えてほしい。
- 長い間ロシア語の講義がなく、復活したが、内容を詰め込みすぎと感じた。一度の講義でなく、初級から中級へ段階的に分けて進めてほしい。
- 英語にトラウマを抱いている者として、なんとか克服したいと考えて臨んだ学習だったが、全くついていけない内容だったので、私のようなレベルの人間が相応に理解しやすい内容にして欲しいと願っています。
- 各課の最後にあるおまけテキストについて、自分で辞書を引いて理解する形になっていました。ちょっとでいいので躓きやすい箇所に注釈を下さるとありがたいです。
- 内容はとても興味深いものであった。日本人の英語についても触れてもらえるとよかった。
- ラジオ放送授業におけるインデックス。たとえば、テキストの朗読の部分だけを繰り返してきけるような範囲を指定して聞けるように設定ができるようになってほしいと感じた。すでにこの機能があるのかもしれないが今回は使っていない。繰り返したい部分を指定できる機能。
- 先生方に身近な筑波の学校関係者ばかりにインタビューしていた。学究肌の人以外のもっと幅広い分野の英語が下手な人が登場してもいいような気がする。
- 語学の学習は音声を繰り返して聴くことが重要だと思うので、スキットを繰り返し聴けるように CD 等があると良いと思います。
- 内容が盛りだくさんだったので、放送授業はやや窮屈、時に中途半端に思えることもあった。
- 最後（15）の締めくくりが最初の盛り上がり比べてイマイチで内容のインパクトに欠ける分が残念でした。（期待が大きすぎました）。
- 展開が早く、英文のどの箇所から再開するのか、どこを読んでいるのか見失うことが多かった。
- すべての章でのヒアリング資料が用意されておらず、文字を追うことでしか内容を理解できない場合があったので不便を感じた。インタビューやプレゼンは全文を掲載してほしい。
- とにかくテキストを見ても単語のスペルと発音がなかなか結び付かなかったので、単語にカタカナで発音をふってもらえたら初心者には有難い。
- Today's Vocabulary の各単語の用例についての要望です。後のページの「問題解答」に、すべての用例の訳文を載せていただきたかった。辞書を引きながら訳しても、曖昧のままの訳文で終えた例が少なからずあり、もし「全解答」が掲載されていれば、すっきり納得できたように思います。
- 教科書の最後に索引をアルファベット順で並べてほしかったです。頻出単語をアルファベット順に並べた辞書を自分で作ったので結果的に復習になったのですが、最初から教科書の最後にあれば期末試験前の追い込みが楽だったなと思いました。
- 一単語のすべての意味を翻訳者のように正確に理解する試験内容ではなく、全体的な主張内容などの理解度を測る内容の方が、グローバル時代にネイティブや非ネイティブ同士でコミュニケーションをとれるようになるという本来の学習者の目的も達成されやすいように感じた。
- テキストを読みラジオの講座を聞いて単位認定試験を受験したが、各問題のなかには講義内容とは直接関係の無いような、英語の一般的な知識内容を聞く問題が少なからずあったと思う。講義内容に即した出題にしてもらいたいと思う。
- インターネット配信の音声では女声の高音域が割れているように思えた。
- もう少し印刷教材に図など入れたほうが見やすい。
- 英語学習能力は過去の英語テキストに合わせられるが、テキストを読んでも単語の広がり辞書だけでは、わからない。
- 放送内容は印刷教材を部分的に飛ばしながら音読しているだけに思えた。

【学部】「基盤科目(外国語)」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	52	52	52
勉強になった	44	44	44
全体として満足している	22	22	22
視野が広がった	20	20	20
深く学ぶ(考える)ことができた	14	14	14
学習意欲・知識欲がわいた	11	11	11
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	10	10	10
基礎的な知識が得られた	8	8	8
新しい知識が身についた	8	8	8
興味・関心が持てた	6	6	6
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	3	3	3
小テスト・練習問題が良かった	3	3	3
内容・構成が良かった	3	3	3
楽しかった	2	2	2
最新の情報・研究が学べた	2	2	2
今後に役立つ内容だった	1	1	1
体系的に学べた・理解できた	1	1	1
知識の整理に役立った	1	1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	17	17	17
講師の解説が分かりやすかった	14	14	14
楽しかった	10	10	10
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	9	9	9
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	8	8	8
講師が良かった	5	5	5
授業各回の内容・構成が良かった	5	5	5
良い授業だった	2	2	2
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	1	1	1
メディアの特性に合った授業内容だった	1	1	1
印刷教材と連動していて良かった	1	1	1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1	1	1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	1	1	1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1	1	1
発音を聞くことができた(語学)	1	1	1
複数の講師の講義を聞くことができた	1	1	1
理解しやすかった	1	1	1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった	3	3	3
読み物として面白い内容だった	2	2	2
演習問題が良かった	1	1	1
学習内容の理解・整理に役立った	1	1	1
手元に置き、今後も読みたい内容だった	1	1	1
良い教材だった	1	1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	3	3	3

【学部】「基盤科目(外国語)」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		22	22
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		21	21
難しかった		19	19
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		9	9
内容の詰め込みすぎ		7	7
努力不足だった		6	6
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい		3	3
授業科目案内は内容が不十分だった		3	3
講義内容と科目名に乖離がある		2	2
最新の内容を講義してほしい		2	2
例題・練習問題を増やしてほしい		2	2
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった		1	1
期待していた内容ではなかった		1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい		1	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい		1	1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい		1	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良くない		19	19
詳細な解説がほしい		16	16
DVD・CD、模型等、付録の添付を考慮してほしい		9	9
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		7	7
フリガナ、専門用語の説明などがほしい		6	6
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい		6	6
索引を充実させてほしい		5	5
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		4	4
理解しにくい		4	4
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		3	3
練習問題がほしい、増やしてほしい		3	3
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる		2	2
紙の資料は不要、必要なだけにすればよい		1	1
書き込みしにくい		1	1
図・表・写真・イラストが見づらい		1	1
難易度・分量が不適切だった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい		1	1
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1
指導内容・コメント・対応に不満がある		1	1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		51	51
科目全体の内容・構成が良くない		12	12
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		11	11
講師の解説・指導が良くなかった		9	9
授業各回の内容・構成が良くない		9	9
授業のテンポが良くない(早い・遅い)		7	7
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい		4	4
印刷教材と異なる講義が聞きたい		3	3
演出が良くない、演出を工夫してほしい		3	3
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		3	3
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		3	3
参考となる事例や資料の紹介がほしい		3	3
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		2	2
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい		1	1
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要		1	1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった		1	1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		1	1
システム面の改善が必要		1	1
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)		1	1
字・図・表・写真・映像が見づらい		1	1
授業に興味・関心が持てなかった		1	1
単位認定試験と連動していない		1	1
理解しにくい(放送授業)		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		5	5
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった		5	5
難易度を下げるべき		3	3
記述式、および記述に関して改善してほしい		2	2
難易度を上げるべき		2	2
受験の要領がわかりにくい		1	1
通信指導や前学期と試験内容が同じだった		1	1
評価方法に不満がある		1	1
問題の解答・解説・用紙がほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 難しかった
- 印刷教材:内容・構成が良くない
- 印刷教材:詳細な解説がほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない

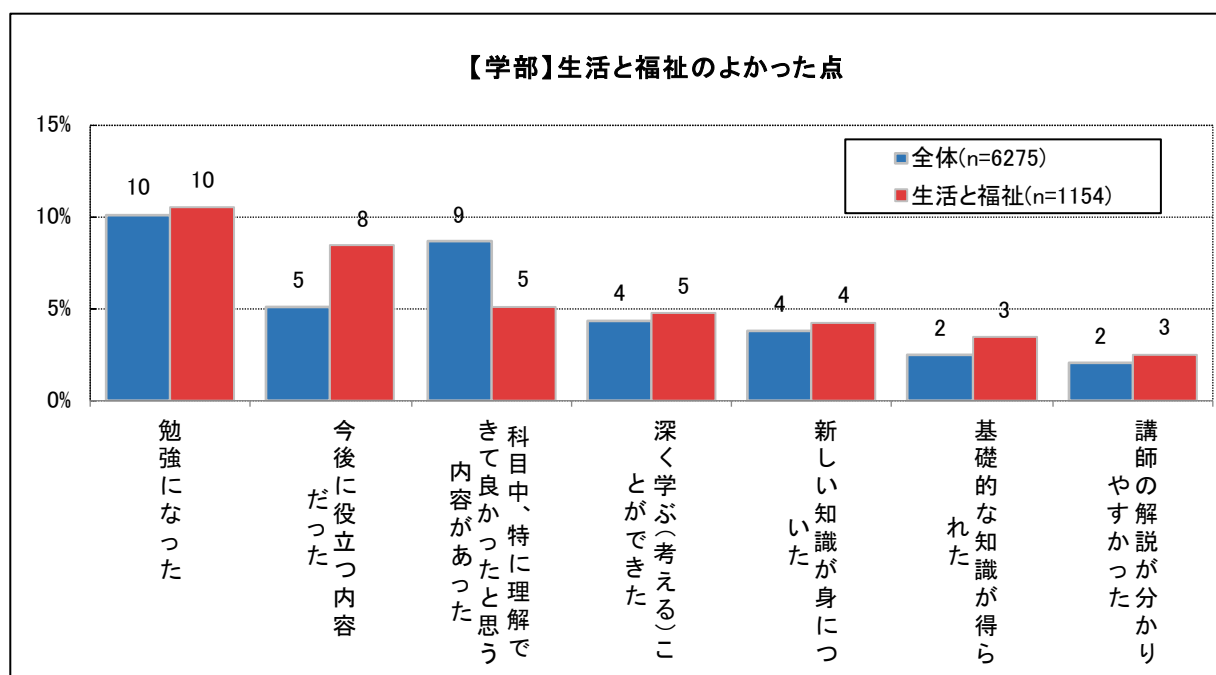
【学部】「生活と福祉」の傾向

よかった点

「勉強になった」が10%と最も高かった。「今後に役立つ内容だった」も8%と高く、全体を上回っていた。

他では、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「新しい知識が身についた」などが4%以上で続いていた。

図3-5 【学部】よかった点



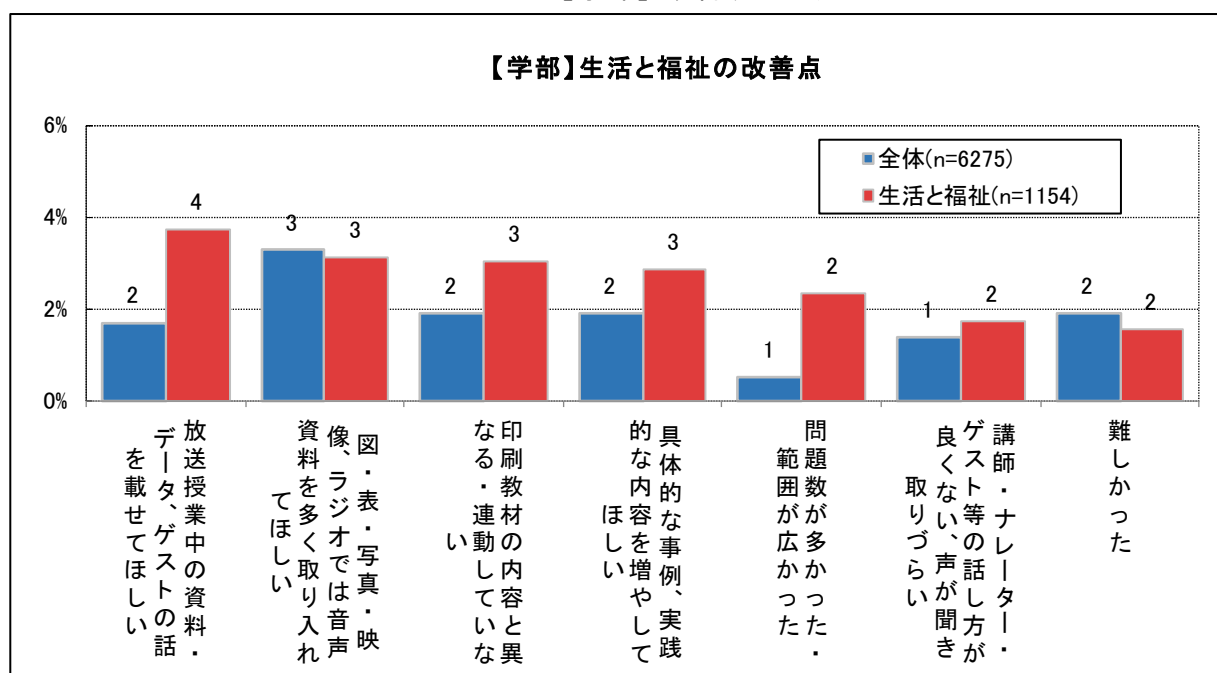
【学部】「生活と福祉」の傾向

改善点

「放送授業中の資料・データ、ゲストの話載せてほしい」(4%)が最も高く、全体を上回っていた。

他では、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「印刷教材の内容と異なる・連動していない」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」がそれぞれ3%で続いていた。

図3-6 【学部】改善すべき点



【学部】「生活と福祉」 抜粋

よかった点

- 基礎の再確認と興味があった循環器領域の理論がわかりとても勉強になった。
- まさに暮らしに活かせる不動産学で、まだまだ不十分ではあるものの多くの知識が身についたと思う。差し当たって特別なことをする予定はないが、今後の不動産をめぐる活動に役立てたい。
- 社会福祉というものに対しおおよその形を掴むことができたのが良い点です。障害者福祉に関しては、津久井やまゆり園の事件の見方が随分深いものになりました。きちんと勉強し、現場の話に耳を傾け、解決策を練る態度が必要だということがよくわかりました。製作側の熱意は大変大きいと感じました。
- 人体の構造と機能について理解が深まりました。次回から医者の説明をきちんと正しく聴けるようになったと思います。
- 以前、学んだ看護技術より新しい知識が取り入れられた。
- 身近な問題であり当初から勉強したく思っていた。解説は分かりやすく理解も進んだ。基本的な知識を得るのに役立ったと思う。
- 講師の話が面白かった。例えでの説明に、なかなか興味の持ちにくい内容についても、興味をもって取り組めた。
- 太郎さんと花子さんのやりとりが、私自身にも当てはまる身近なストーリーで良かったです。今後の暮らしの中で生かしていけたらと思います。
- 内容が幅広く、また制度の変更が早い内容の科目だけに、それぞれに精通した専門の講師陣には満足でした。
- 事例を映像で紹介していただき、とても分かりやすかったです。
- 受講意欲が落ちないように、事例が身近なものが多く、よく洗練されていたと思う。
- 印刷教材より放送教材の方が良く理解できました。いままでは、印刷教材中心に勉強していましたが、今回は印刷教材だけだと理解できない箇所が多かったので巣が、放送教材で納得理解できました。
- 全く学んだことのない分野でしたが、必要な内容と感じていたので新鮮な気持ちで勉強させていただきました。
- 将来、看護師国家試験に向けて必須であったことから単位取得した。最近の社会福祉について学べて良かった。実務にも取り入れ学んだ情報を活用していきたいと思う。
- 現場の取材場面も多く紹介されていて、現場の声が届いた良い内容だったので、興味を持って毎回臨むことができたのが良かったです。今後地域福祉の担い手となる心構えを整えることができました。
- 専攻科目の理解に役立つだけでなく、自分自身の視野を広げることにもなりました。文系なのであまり馴染みのない分野でしたが、その分興味深く学習できました。
- 社会福祉の基本が体系的に学べたと感じています。過去から現在の社会の問題を学び、すべての人にとってより良い社会を築くためにはどうすればよいのか考える機序になったと思います。
- 講師の話し方も抑揚、表情も豊かで聞き取りやすかった。
- これからの学習に取り組む意欲が湧いてきました。
- この科目のタイトル「社会福祉実践とは何か」ということが、私自身日頃社会福祉に関する活動をしているので、理論的で実践具体的な内容で分かり易く「自分」を振り返ったり新しい知識に触れたり目から鱗のなる機会になったりなどの良い機会の学びになった。
- 社会福祉の対象（高齢者、貧困者、子ども、障害者、ジェンダー）それぞれに対して、一步踏み込んで現状と課題を、講師が熱心に論じてくれまた取材で示してくれて、大変勉強になりました。
- 社会人として学ぶ機会をいただき、再学習するうえでも内容的にはわかりやすく、最新の情報も網羅されているため、受講してよかったと思います。

【学部】「生活と福祉」 抜粋

改善点

- テレビ講義のなかで、印刷教材には掲載されていない法律や文言が出てくるときがあり、スマートフォンの画面では見にくいのでテレビかパソコン画面を活用して勉強した。予めテキストに書いてあると良かった。
- せっかく、映像が流れているのだから、立体的にとか、働く細胞みたいにしたら、よくわかったのではないかと思います。
- 印刷教材に記載されているように放送授業が進行すればもっと理解しやすかった。この科目に限らないが、内容がページ順になっていないので、説明されていることがどこに記載されているのか探すのに時間がかかるし、記載されていないことの説明も多いので、それをメモしたりするので、結局授業 45 分だけで学習が終わらず、1 時間くらいかかった。仕事しながら複数の科目を勉強しているので、この時間がかかると大変だった。
- 社会福祉は実践的に学ぶことが大切と考えています。実践的な理解が進むような工夫をお願いします。
- 単位認定試験の問題数が他の科目(自分が受講したもので)と比べ格段に多い。更に問題の文字数が多いため、読むだけで時間がかかる。
- 講義の先生の話し方によっては、聞きやすい、そうではないもあり、話し方・声の調子も重要であると感じた。
- 医師や看護師の資格を目指している場合は、この授業内容でもついていけるとは思いますが、心理と教育専攻の場合で、いきなりこの科目内容はかなり大変でした。
- テレビの授業は、図表等がカラーで分かりやすいですが、印刷教材はモノクロで少し分りづらいかなと感じました。
- 全体的にバランスの取れた良い講座だと思ったが、一部、とても難解に感じた所があった。「住宅サービス」を受容と供給曲線に当てはめている所と、ユーザーコスト、割引現在価格と長期均衡の条件の辺りである。
- 後半、断定的・主観的な表現が多いことに困惑しました。優生思想批判やジェンダー平等について、「これはおかしい、これがまっとう」という価値観を独断的にお話しされるだけでは、実際に存在する優生思想や女性差別等に向き合う助けにはならないように思います。
- 統計データに古いものが複数あり、出来る限り新しいものに差し替えて頂けたらと存じます。
- 授業が教材の内容をただ話している回があると、放送授業に興味なくなる。教材以外の話しをする講師の回は楽しく受講出来た。
- 地域福祉については最近市民との協働や重層的支援体制の整備等大きく変わってきている。縦割り行政の弊害を少しでも無くす姿勢は評価できるが、行政における縦割りは依然として続いています。本当の意味での縦割りを無くすことについてどうしたら良いのでしょうか。民間人は行政の組織や考え方に入っていきません。
- 放送授業を見ながら重要だと思われる図表等はメモをとるのですが、時間がかかります。授業がスムーズに受けられるよう、印刷教材は文章を少なくして、図表を多くした方が理解が進むし無駄がないと思います。どの科目にも共通することです。
- 講座内容はとても素晴らしいと思うので、ぜひ、予備科目を設けていただけると復習としても理解が深まり、繰り返し研鑽ができると思いました。
- 試験の出題について、もう少し社会福祉全体の歴史や、施策の関連性等、俯瞰的に問う問題にしてほしいと思った。出題自体、枝葉末節にこだわり過ぎて、「木を見て森を見ず」の感がある。
- 太郎さんと花子さんのスキットは親しみを持たせる目的なのだろうが、まどろっこしく感じた。余計な人物の性格設定は要らないと思う。
- 各回ごとにゲストの説明が多く盛り込まれているが、テロップではなくポイントやまとめのスライドがあればより分かりやすいと思います。
- テキストや、授業での各章ごとに重複する内容が多く、執筆者間の整合性が不足していると感じた。
- 試験の難易度が細かく、高すぎると感じた。

【学部】「生活と福祉」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	117	4	121
今後に役立つ内容だった	88	9	97
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	54	5	59
深く学ぶ(考える)ことができた	45	10	55
新しい知識が身についた	42	7	49
基礎的な知識が得られた	37	3	40
全体として満足している	17	1	18
身近に感じられる内容だった	15	1	16
興味・関心が持てた	12	1	13
受験・資格取得に役立った	10	3	13
視野が広がった	9	1	10
体系的に学べた・理解できた	9		9
学習意欲・知識欲がわいた	8	1	9
具体的な事例、実践的な内容があった	7	2	9
現在の課題や身近な問題点を学べた	7	2	9
理解しやすかった	5	4	9
最新の情報・研究が学べた	7		7
知識の整理に役立った	4	1	5
内容・構成が良かった	3	1	4
楽しかった	2		2
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	2		2
難易度・分量が適切だった	2		2
専門的な内容だった	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が良かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった	23	6	29
スキット、ドラマが分かりやすかった、面白かった	20		20
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	18		18
理解しやすかった	14	2	16
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	11	1	12
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	9		9
楽しかった	4		4
講師が良かった	4		4
講師の熱意・熱心さが伝わった	3	1	4
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	2		2
ポイントがつかみやすかった	2		2
科目全体の内容・構成が良かった	2		2
授業各回の内容・構成が良かった	2		2
複数の講師の講義を聞くことができた	2		2
印刷教材とのバランスが良かった	1	1	2
印刷教材と異なる内容で良かった	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
内容・構成が良かった	5	1	6
手元に置き、今後も読みたい内容だった	5		5
良い教材だった	2	1	3
図・表・写真・イラストが良かった	2		2
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った	1		1
理解しやすかった	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	3		3
学習内容の理解・整理に役立った	1		1

【学部】「生活と福祉」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	30	3	33
難しかった	18		18
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	13	1	14
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	11		11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	9		9
努力不足だった	6	1	7
内容の詰め込みすぎ	6		6
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	4		4
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い	2		2
内容が浅い	2		2
内容にまとまりがない	2		2
例題・練習問題を増やしてほしい	2		2
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
授業科目案内内は内容が不十分だった	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	42	1	43
色刷りにしてほしい	15		15
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	10	2	12
内容・構成が良くない	8	2	10
図・表・写真・イラストが見づらい	6		6
文字が読みづらい	5		5
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	4	1	5
詳細な解説がほしい	4		4
理解しにくい	4		4
追加情報・追加教材がほしい	3		3
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる	2		2
索引を充実させてほしい	2		2
紙の資料は不要、必要な人だけにすればよい	2		2
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
誤植がある	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	5		5
課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	1		1
通信指導問題は印刷して配布すべき	1		1

主な改善点の提案:集約

- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:印刷教材の内容と異なる・連動していない
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	35	1	36
印刷教材の内容と異なる・連動していない	33	2	35
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	19	1	20
授業各回の内容・構成が良くない	16		16
講師の解説・指導が良くない	15		15
印刷教材と異なる講義が聞きたい	13	1	14
科目全体の内容・構成が良くない	12		12
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	10		10
スキット、ドラマは面白くない、不要	10		10
不要なロケ、動画等がある	9		9
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	8	1	9
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	8		8
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	6	2	8
演出が良くない、演出を工夫してほしい	7		7
字・図・表・写真・映像が見づらい	7		7
図・表・模型等のどこを指し示しているのかわからない	7		7
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	6	1	7
理解しにくい	6		6
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	5		5
参考となる事例や資料の紹介がほしい	5		5
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	4	1	5
手話通訳、または字幕がほしい	4		4
聞き手がいた方が良い	4		4
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	3		3
テレビ科目にしてほしい		3	3
対談形式の授業の方が良い	2		2
ポイントがつかみにくい	1	1	2
授業に興味・関心が持てなかった	1	1	2
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1		1
講師は1人の方が良い	1		1
最初やチャプター等の変り目の音楽、効果音等は不要	1		1
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
内容に誤りがあった	1		1
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広がった	27		27
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	10	1	11
難易度を下げるべき	10		10
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	7		7
難易度を上げるべき	4		4
記述式、および記述に関して改善してほしい(単位認定試験)	1		1
誤植があった、数字の誤りがあった	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1
評価方法に不満がある	1		1

- 単位認定試験:問題数が多かった・範囲が広がった
- 放送授業:講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい
- 難しかった

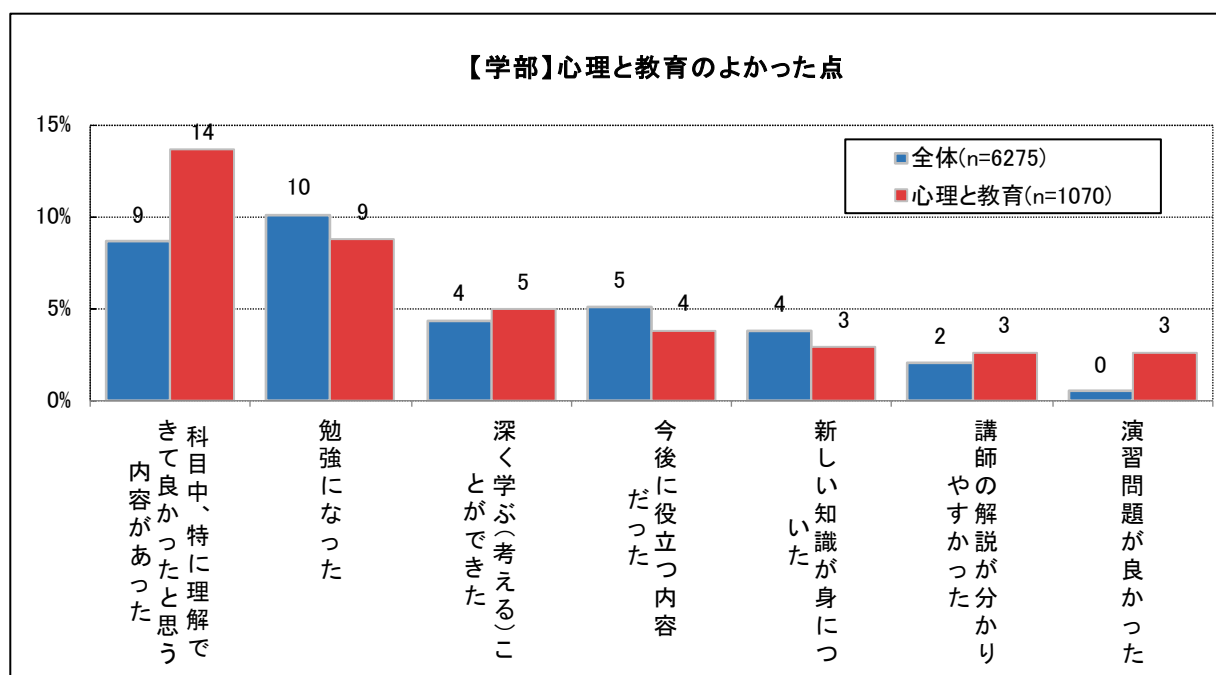
【学部】「心理と教育」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が14%と最も高く、全体よりも大きく上回っていた。

他では「勉強になった」(9%)、「深く学ぶ(考える)ことができた」(5%)、「今後に役立つ内容だった」(4%)などが続いていた。

図3-7 【学部】よかった点



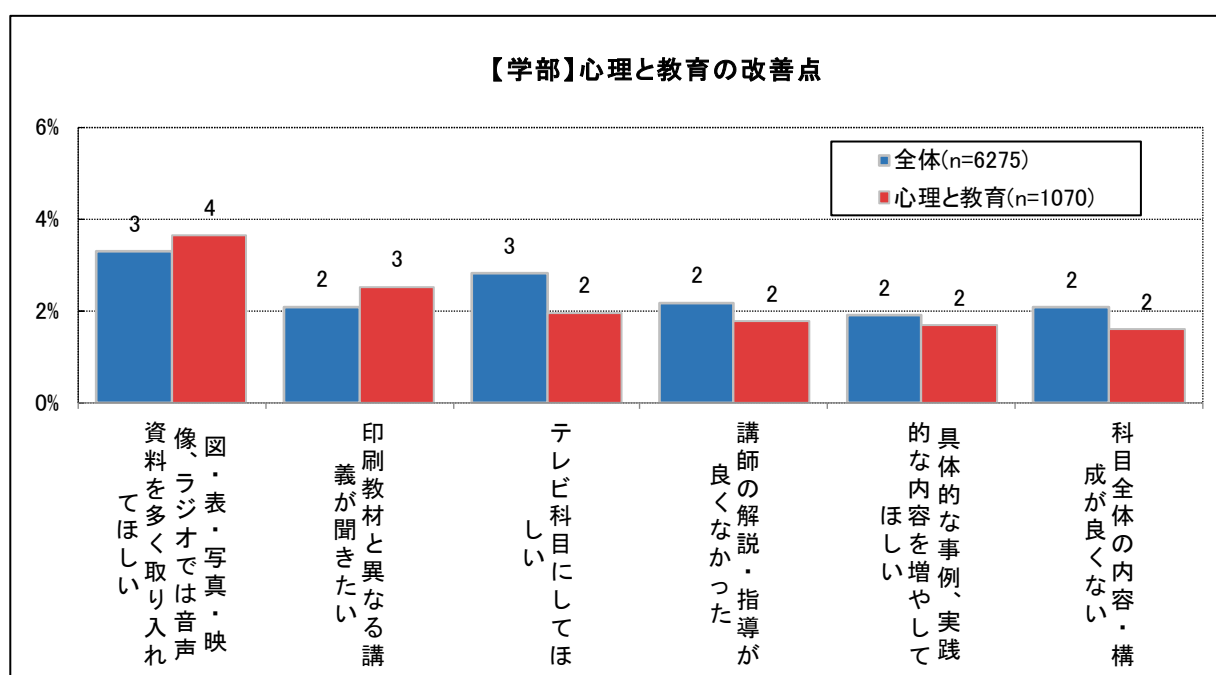
【学部】「心理と教育」の傾向

改善点

「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」（4%）、「印刷教材と異なる講義が聞きたい」（3%）が高く、全体を上回っていた。

他では、「テレビ科目にしてほしい」、「講師の解説・指導が良くなかった」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」、「科目全体の内容・構成が良くない」がそれぞれ2%で続いていた。

図3-8 【学部】改善すべき点



【学部】「心理と教育」 抜粋

よかった点

- 感情・人格を、先入観にとらわれず、多角的に、柔軟にとらえる必要があること、いろいろなとらえ方の可能性のあること、を一貫して示してくださったことが、とても良かったと感じています。より謙虚に、素直に対象に向かい合うように自分を戒めるような気付きを与えてくださいました。
- 今まで自分がやってきた保育を振り返ったり、幼児教育の指導をあらためて勉強できてよかった。
- 新しい科学的知見に基づいた知識と歴史的な背景も併せて知ることができて理解が深まった。
- （不登校児童・生徒）ボランティアを行っているので、この科目を選択した。私自身は教員ではないので、この科目を勉強することで、学校組織や、教員の置かれている立場、課題などが少し理解できた。今後、支援活動に活かしていきたい。
- 初めて放送大学の授業を受講しました。内容的に難しいと思う事もありましたが、新しい知識が身に付き、とても参考になりました。
- 資格取得のために受講しました。題名が難しそうだと感じ、構えながら受講しましたが、説明が分かりやすく、面白く感じながら学ぶことができました。
- 各章の最後に演習問題としてまとめがあったのは最後にまた見直しができるとても役に立ちました。
- 社会教育という分野について、興味を抱くきっかけになった。
- 公認心理師を目指すうえで、必要な科目だったため受講しました。けれども、そのこと以上に、受講していて、おもしろいことがたくさんありました。
- 内容が難しいのはやむを得ないが、それでも平易に分かりやすく説明しようとしている講師の姿勢に大変好感がもてました。
- 保育の仕事をするにあたって視野が広がり意欲的に取り組むことが出来た。
- 生涯学習の支援の重要性は従来から指摘されつつも、支援自体を科目にしたものを受講した経験が無かったため、期待して受講しました。テキスト・講義とも期待に沿う内容で満足しております。
- 放送授業はよくできていました。スタジオの中で完結するスタイルではなく、ロケや識者へのインタビューなど、よくできた授業でした。
- 難しい内容も多かったのですが、印刷教材だけではわからないことも、放送授業で模型を使うなど工夫してくださったので、わかりやすかったです。
- 幼稚園教諭を目指す者からすると、幼稚園の話はあまりないのに必修である、ということはあるが、私は中高の教員免許を持っているため、関連づけて受講でき、近年の教育界の動向を知ることができた。
- 概念、発達など基本的、理論的なことを学習することができた。
- 生涯学習関係に関わるイベントを考えており、手段や心構えなど具体的な部分が大変役立つ内容だった。
- とても分かりやすい内容で、私の理解力ではこれ以上難しいと理解が追い付かないと感じました。
- 内容は終始、自分が学びたかったことでいっばいで、珍しく予習までしたほど楽しく受講できました。
- 実際の教育現場の実情は保育現場では想像できないことも多いので、その点がわかりやすかったです。
- 二人の講師の先生の語り口調が、実に耳障りがよく頭にスッと入ってきます。
- 内容が詳細すぎて心理職にここまで必要だろうかと疑問に思うこともあったが、講師の先生の熱心が伝わってきて、「がんばらないといけないなあ」と思われました。
- 今まで保育士として仕事をしてきて得た知識を系統だてて集約出来る良い機会となった。
- 生物学を基盤にしながらの心理学という意味では、わかりやすい構成であった。
- 特に記憶、発達、臨床の面からの授業が興味深く感じました。

改善点

- テレビの授業なので、視覚的な教材がイラストよりアニメーションや動画の様な動きのあるものと記憶に残りやすいのでは。
- 印刷教材の内容をそのまま放送授業でコメントする、という形式は如何なものかと思います。印刷教材を読んだ上で授業にのぞむ（又は、後から印刷教材を読む）わけなので、放送授業では、項目を絞ってより掘り下げた内容を期待します。
- できればテレビ科目の方が望ましい。講師も力説しているように、感情も人格も「目に見えない」「はっきりしない」ものなので、音声だけで理解するには限度がある。特に章立てや段落で、話題が転換する時に、項目間のつながりや、軽重の判断がしにくい。
- 一部の講義において、前置きや前提条件の説明が長く、まわりくどい説明が多いと感じられました。焦点がぼけてしまい、結局何を言いたいのかわかりにくいと率直に感じました。
- 金銭的に行き詰まる例も具体的にあげてもらえると、失敗例として参考になる。
- 難易度はやや高めなので、心理的な影響によりフォーカスいただけるとよいかと思う。
- 放送授業は、印刷教材の棒読みに近く、興味をそそる内容ではなかった。演出の工夫をお願いしたい。
- 講師とスライドを入れこんでの画面が多く、不自然に思った。普通に、講師がスタジオで語る様子が見える方が親しみやすい。
- 放送授業では印刷教材で触れられていない話題、説明や放送教材との関連が分かりにくくなる箇所があり、何度も繰り返し見直したりすることがあったため、放送での扱い方を工夫していただきたい。具体的には、時間をかけゆっくり説明する、キャプションを出す、時間的な制約がある場合、印刷教材の話題を割愛するなどをしていただきたいかった。
- 内容が難しいと感じました。
- 失礼を承知で申し上げれば、講師の先生の滑舌の悪さが聞いていてしんどい。資料は棒読み、フリップの説明も指示語で指したりわかりづらい。今まで選択した科目で話しかけるようにゆっくり抑揚をつけて話す講師の授業では、内容が私には難しいと感じても授業が楽しかった。放送授業では、話し方や声の質が内容と共に重要な要素であると思う。
- 音声のみの授業の場合、受講する側としては、図表や写真などの視覚的な教科書の情報があるとなお良いと思った。
- 印刷教材を資料としてあてにした部分がおおくあり、放送授業の内容を後で印刷教材で確かめれば良いとしてしまったことがあり、反省した。放送授業でのスライドをまとめて掲載していただければもっと扱いやすい教材になると思う。
- テキストの書き方が、練れていないと感じた。全く同じ記述を別項で繰り返していることが多い。単元のタイトルと内容がずれている事が有る。別のスタッフが改善を提案するシステムが無いのだろうか？
- 現場の声がもう少し聞けると関心を持てる内容になると思いました。
- 教科書をカラー版にしてほしい。動画ではカラーで分かりやすかったが、テキストは白黒なので復習しにくかった。
- より、わかりやすくなったら良いと思います。
- どれも大事なのは理解できますが、ボリュームがありすぎて逆に記憶に残らないので、もう少し的を絞った内容でも良いのではないかと思います。
- もっと簡潔でわかりやすい文章にかえていただきたい。内容は明確で単純なのだから、正確な日本語で記述をお願いします。
- 時間と回数が決まっているので仕方ないことだとは思いますが、やはりもっと噛み砕いた説明が欲しいと思うところもありました。
- やや誤字脱字が多かったように思う。なかなかミスを全てチェックすることは難しいかもしれないと思いつつ、学ぶときに差し支えないようにと思う。

【学部】「心理と教育」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	92	54	146
勉強になった	59	35	94
深く学ぶ(考える)ことができた	28	25	53
今後に役立つ内容だった	15	26	41
新しい知識が身についた	20	11	31
興味・関心が持てた	13	12	25
受験・資格取得に役立った	14	7	21
視野が広がった	12	5	17
全体として満足している	11	5	16
最新の情報・研究が学べた	13		13
基礎的な知識が得られた	9	3	12
具体的な事例、実践的な内容があった	7	4	11
楽しかった	4	5	9
理解しやすかった	6	2	8
知識の整理に役立った	5	1	6
内容・構成が良かった	4	2	6
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	2	4	6
現在の課題や身近な問題点を学べた	3	1	4
身近に感じられる内容だった	2	2	4
専門的な内容だった	2	1	3
体系的に学べた・理解できた	2	1	3
難易度・分量が適切だった	2		2
自分のペースで勉強できた	1	1	2
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
科目の学問的性質、位置付けが分かった		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった	22	6	28
講師が良かった	12	6	18
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	16		16
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	16		16
理解しやすかった	9	1	10
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	1	7	8
講師の熱意・熱心が伝わった	4	2	6
授業各回の内容・構成が良かった	3	2	5
楽しかった	3	1	4
科目全体の内容・構成が良かった	2	1	3
良い授業だった	2	1	3
メディアの特性に合った授業内容だった	1	2	3
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	2		2
印刷教材と連動して良かった	1	1	2
対談形式の授業が良かった	1	1	2
印刷教材と異なる内容で良かった	1		1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

(単位:人)

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
演習問題が良かった		28	28	
理解しやすかった		4	4	
内容・構成が良かった		3	1	4
手元に置き、今後も読みたい内容だった		1	1	2
良い教材だった		1	1	2
図・表・写真・イラストが良かった		1		1
読み物として面白い内容だった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応が良かった		3	1	4
課題(問題)の範囲・難易度・分量が適切だった		1		1
学習内容の理解・整理に役立った		1		1

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった		2		2

【学部】「心理と教育」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	8	10	18
難しかった	10	5	15
内容の詰め込みすぎ	8		8
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7		7
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5		5
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	3	2	5
授業科目案内は内容が不十分だった	4		4
努力不足だった	4		4
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	2	1	3
例題・練習問題を増やしてほしい	2	1	3
内容・構成が良くない	2		2
共用科目、必須科目にしてほしい	1		1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1		1
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	1		1
内容が基礎的で物足りなかった	1		1
内容が浅い	1		1
幅広い視点でのカリキュラム編成してほしい	1		1
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい		1	1
期待していた内容ではなかった		1	1
講義内容と科目名に乖離がある		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	5	7	12
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	9	2	11
内容・構成が良くない(印刷教材)	8	3	11
色刷りにしてほしい	10		10
理解しにくい	7	1	8
誤植がある	2	5	7
図・表・写真・イラストが見づらい	4	1	5
DVD・CD、模型等、付録の添付を考えてほしい	4		4
詳細な解説がほしい	4		4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	4		4
索引を充実させてほしい	3	1	4
追加情報・追加教材がほしい	3		3
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1
書き込みしにくい	1		1
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	1		1
印刷教材がほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)に誤りがあった	1	1	2
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい		2	2
学習内容の理解・整理につながらない	1		1
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	39		39
印刷教材と異なる講義が聞きたい	15	12	27
テレビ科目にしてほしい		21	21
講師の解説・指導が良くなかった	7	12	19
科目全体の内容・構成が良くない	7	10	17
演出が良くない、演出を工夫してほしい	8	8	16
授業各回の内容・構成が良くない	12	3	15
印刷教材の内容と異なる・連動していない	11	4	15
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	9	4	13
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	7	4	11
理解しにくい	7	2	9
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	6		6
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	5	1	6
字・図・表・写真・映像が見づらい	5		5
図・表・模型等のどこを指し示しているのかわからない	5		5
システム面の改善が必要	4		4
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫してほしい	4		4
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	2	2	4
ポイントがつかみにくい	1	3	4
講師は1人の方が良い		4	4
参考となる事例や資料の紹介がほしい	3		3
聞き手がいた方が良い	2	1	3
対談形式の授業の方が良い		3	3
講師以外は必要ない・違和感がある	2		2
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1	1	2
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	1		1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	1		1
印刷教材をもっと活用してほしい	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
専門家の意見が聞きたい	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)		1	1
心理学がなぜ感情や人格を取り上げたのか、もう少しさかのぼってお話いただければさらに理解がふかまるのではと思った。		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	2	1	3
記述式、および記述に関して改善してほしい	2	1	3
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	2	1	3
難易度を下げるべき	2		2
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1
受験の要領がわかりにくい	1		1
難易度を上げるべき	1		1
評価方法に不満がある	1		1

- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:演出が良くない、演出を工夫してほしい

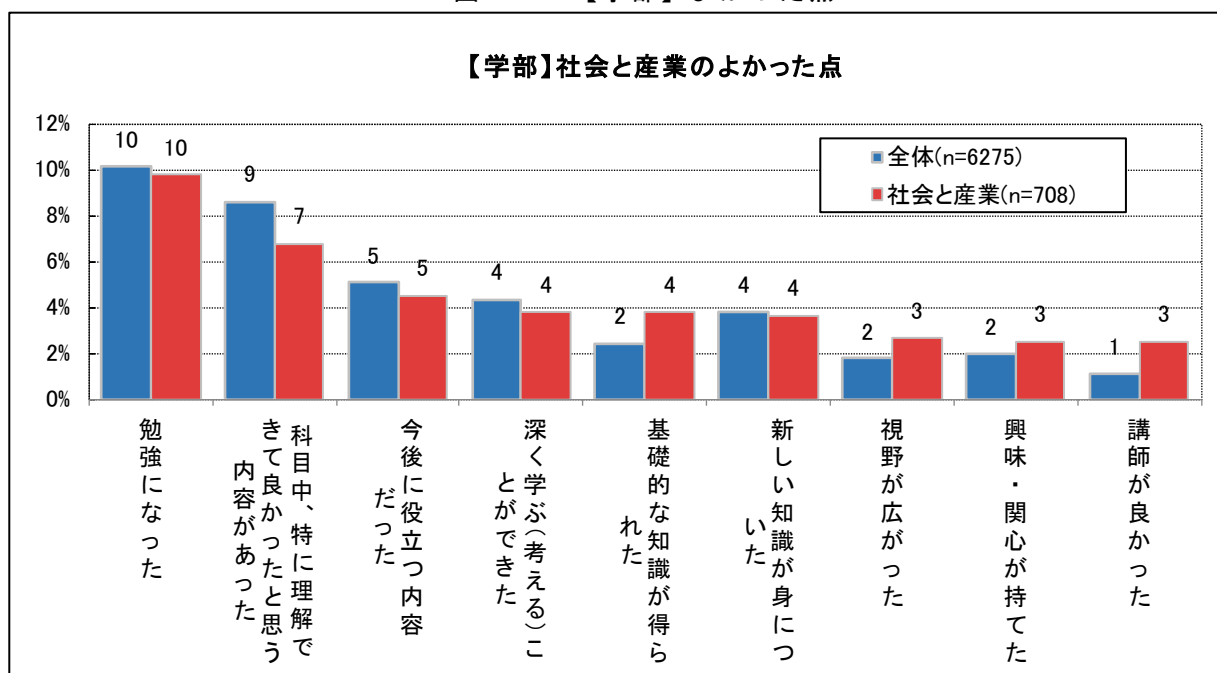
【学部】「社会と産業」の傾向

よかった点

「勉強になった」が1割を超え挙げられた。

他に「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(9%)、「今後に役立つ内容だった」(5%)、「深く学ぶ(考える)ことができた」(4%)、「基礎的な知識が得られた」(4%)、「新しい知識が身についた」(4%)などが続いていた。

図3-9 【学部】よかった点



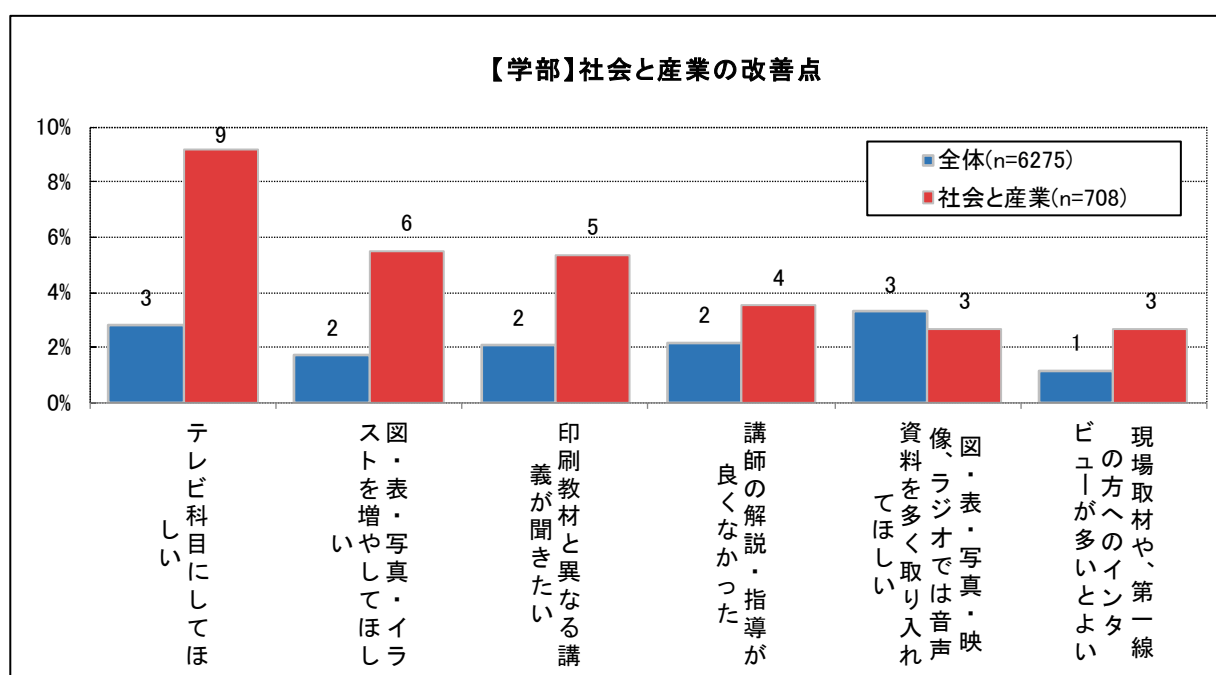
【学部】「社会と産業」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」「印刷教材と異なる講義が聞きたい」「講師の解説・指導が良くなかった」が4%以上で上位にあげられ、全体を上回っていた。

他に、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」などが3%で続いていた。

図3-10 【学部】改善すべき点



【学部】「社会と産業」 抜粋

よかった点

- 目からウロコ！でした。海運の世界は50年前と随分違ってきているのですね。とても勉強になりました。有難うございました。
- 古代から近代までの政治を背景にした建物やその空間のもつ政治的意図を考える必要があることを認識できた。特に、国立市や香里団地の様なものに対しては今回新たな認識であった。
- 仕事で税務申告をしなければならなくなったが、仕訳の仕方がよく理解できたので、自分で何とかなりそうだ。ありがとうございました。
- 国際政治という学問についてその枠組みを理解できた。また、移民や宇宙など新しい問題についても理解が深まった。
- 政治学に興味を持っていましたが、何から始めればよいか分かっていませんでした。この科目を受講することで政治学について一から知ることができてとてもよかったです。
- 管理会計については、ある程度の理解をしていた状態で受講したと考えていましたが、実際に受講しましたら、知らないことばかりでした。受講することで新たな知識を得ることが出来ました。
- 知らない分野を知ることができて良かった。社会への見方が少し変わり視野が広がった。
- 日常生活を送る上で、法律や裁判所との関りを分かりやすく想像することができて、法律についての興味関心が高まった。
- 膨大な民法の全部をうまくまとめて話されていたのがよかった。
- 教授のお話は具体的な事例を混ぜてくださるので、テキストも合わせて理解が深まりました。
- 今まで、著作権について深く考えたこともなかったが、「科目群履修認定制度（エキスパート）」で必要となったので受講しました。著作権について身近な法律だと感じました。
- とても難しい分野ではありましたが、普段から SNS などを利用しているので大切な授業だと思いました。知っておくべきこと、学んでおくべきことだと思い受講して大変良かったと感じました。
- 実務での疑問に思っている部分をこの講義で理解できるようになった。
- 政治学を過度に思想的・思弁的にとらえずに、選挙や政党などの制度的・組織的な側面の具体的な説明があったのがよかった。
- 資格を保持しているが年数を経ており、復習とブラッシュアップを目的に受講した。現代の新しい内容も入っており大変有意義でした。よく出来ていると思います。
- 内部監査ならびに内部統制について、体系的な知識が身についた。
- 授業が、現代の国際政治を構成する要素を、近現代史の流れを踏まえて理解できるよう構成されていた点。
- ゲストへのインタビューや、現地の映像など、興味深い内容がたくさんあった。
- 講師の声も聴き取りやすく受講しやすかったです。
- 近年の民法改正に対応する内容になっており、知識が整理されたこと。
- 三人の熱意ある講師の方、専門家との Interview を通じて、国際政治の現状をわかりやすく説明されており、大変興味深い内容であった。
- 簿記についての流れ、意味、歴史などを知ることができて面白かったです。
- 最初はテレビ講義だともっとわかりやすいのと思っていたのですが、講義が進むにつれ音声のみだからこそ出先でも気軽に組み合わせてかえってよかったです。
- 法の知識が全くなかったので、行政法のおおまかな理解はできたと思う。資格試験の勉強に役立った。
- ゲストである国際政治学者の選定と、ゲストの適確な見解を聞くことが出来た。
- 見る機会が少ない過去の貴重な映像も使われていて、とてもよかった。

【学部】「社会と産業」 抜粋

改善点

- 日商簿記 2 級を持っているので、すんなり勉強できましたが簿記に初めて触れる人には難しいだろうなと思いました。せめてテレビ放送で、視覚で仕分けの流れを確認できると理解が早いのではないかと独学で勉強していたころを思い出しました。
- 印刷教材において、文書の比率がかなり多かったと思うので、理解が促進するに資するような図解表示や表での整理などがあってもよかったですと思っています。
- ラジオの内容はテキスト丸読みという感じでテキストを深く理解を助けるものではなかった。
- 内容が濃く多いため早口に進められると理解しにくい。印刷教材にまかせて大事なポイントだけ心に残ると良いと思う。
- テレビというメディアは、やはりロケ取材や図表や地図などを多用して、ビジュアル化することが最大のメリットだと思う。コロナ禍のため、ロケが思うようにできなかったという講師のコメントもあったが、これは残念なことであった。
- この科目は特に講師の解説に終始していて、裁判所や色々な施設、各章にふさわしい映像などをいれてくれると視覚教材の価値があります。
- 教材の 1 章～15 章の章立てがフードシステムの構造視点で分割されていますが、現在～今後の食料供給問題を考えるうえでは、課題視点で章立てをして、システム全体のどこに問題があるのかを、分かりやすく解説すべきと思います。課題解決のためにシステム構造は変えていくべきものであり、そのためのオピニオンを、関係者への付度なく加えてください。
- 教材内容をコンパクトにした結果なのでしょうが、前回までの民法にあった、各種重要判例の紹介が少なかったように思います。勿論判例は挙げられていましたが、それぞれに符牒としてつけられた事件名が無くなった点は、少し残念か、と思います。
- 正直素人がいきなりやるには難しかったので、入門などステップアップを緩やかにしたほうがよいのではないのでしょうか。
- 著作権法という範囲が広すぎるので、法律の列挙になっていた印象。実際は判例などをじっくり検証しながら身に付けたいので、もう少し狭義の科目にしてもいいのではないかと感じた。とにかく盛り込みすぎ。
- 法律用語になじみがなく、理解するのに苦労しました。
- ゲストの方が話されるリアルな働き、見解が興味深かった。今後も多くの方を招いて話を聞かせてほしい。
- この科目の第 14 章について、取り扱う内容のため少々難しいものかとは思いますが、その上で相談事例がわかりにくく想像が難しいものであったので工夫があってよいのではないかと感じました。
- 教材による放送解説であると考えていましたが、章によりわかりづらい時間があつた。
- 棒読みな感じなので、もう少し話し言葉で説明してほしい。
- テキストをもう少し要点をまとめた形にした上で、今の放送授業であればわかりやすかったような気がします。話題が次に行ったときに、見失うことがままありました。
- 市販の簿記の入門書・参考書 2～3 に目を通したが、大変読みやすく分かりやすかった。大学でのアカデミックな教育である以上、そうした実用書と同じような作りには困難なのかもしれないが、初学者の取り組みやすさ、挫折しにくさという観点からは、参考になるのではないかと感じた。
- もっとわかりやすい説明をしてほしい。
- 放送で使用している図や表を印刷教材にも使用して貰えたらより理解しやすいと感じた。
- 練習問題の誤りなどは、通常スプレッドシート上で集計計算しているものには考えられない凡ミスで、ワープロのように逐一数値を手入力しているためではないかと感じる。
- ウクライナ侵攻が間に合わなかったのは仕方がないと思うが、特別講義としてウクライナ侵攻を取り上げてほしい。
- 堅いイメージがあり、もう少し遊び心取り入れて、親しみやすい演出が良いと思います。

【学部】「社会と産業」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	13	56	69
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	17	31	48
今後に役立つ内容だった	12	20	32
深く学ぶ(考える)ことができた	8	19	27
基礎的な知識が得られた	5	22	27
新しい知識が身についた	9	17	26
視野が広がった	10	9	19
興味・関心を持った	4	14	18
身近に感じられる内容だった	7	6	13
全体として満足している	2	11	13
理解しやすかった	4	7	11
具体的な事例、実践的な内容があった	5	5	10
最新の情報・研究が学べた	2	8	10
体系的に学べた・理解できた	5	4	9
内容・構成が良かった	1	7	8
知識の整理に役立った	1	4	5
楽しかった	1	3	4
自分のペースで勉強できた		4	4
受験・資格取得に役立った		4	4
現在の課題や身近な問題点を学べた	2	1	3
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
難易度・分量が適切だった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師が良かった	12	6	18
講師の解説が分かりやすかった	6	8	14
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	8		8
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	1	4	5
複数の講師の講義を聞くことができた	3	1	4
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	3		3
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	3		3
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	3		3
理解しやすかった	2	1	3
科目全体の内容・構成が良かった	2		2
授業各回の内容・構成が良かった		2	2
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	1		1
メディアの特性に合った授業内容だった	1		1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1		1
印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
印刷教材と連動していて良かった		1	1

(単位:人)

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
良い教材だった		2	1	3
理解しやすかった		1	2	3
内容・構成が良かった			3	3

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応が良かった		2		2
記述式が良かった		1		1
学習内容の理解・整理に役立った			1	1

【学部】「社会と産業」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	7	5	12
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	2	10	12
内容の詰め込みすぎ		12	12
難しかった	2	9	11
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	3	4	7
最新の内容を講義してほしい	5	1	6
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1	3	4
努力不足だった		4	4
例題・練習問題を増やしてほしい		4	4
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	3		3
講師の詳しいプロフィールや研究内容、仕事内容等を知りたい	2		2
授業科目案内は内容が不十分だった		2	2
内容が基礎的で物足りなかった		2	2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1
オンライン決済やカード払いなどができると楽		1	1
期待していた内容ではなかった		1	1
共用科目、必須科目にしてほしい		1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		1	1
質問箱での対応が良くない、質問箱は制限が多い		1	1
受験・資格取得に役立つ内容にしてほしい		1	1
内容が専門的で難しかった		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	3	36	39
内容・構成が良くない	4	4	8
理解しにくい		8	8
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	6	1	7
誤植がある	1	5	6
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい		4	4
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	2	1	3
色刷りにしてほしい	1	2	3
図・表・写真・イラストが見づらい		2	2
内容が浅い・少なすぎる		2	2
文字が読みづらい		2	2
練習問題がほしい、増やしてほしい		2	2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	5	1	6
指導内容・コメント・対応に不満がある	4		4
課題(問題)に誤りがあった	1		1
学習内容の理解・整理につながらない	1		1
記述式、および記述に関して改善してほしい	1		1
通信指導問題は印刷して配布すべき		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい		65	65
印刷教材と異なる講義が聞きたい	16	22	38
講師の解説・指導が良くなかった	13	12	25
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	15	4	19
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	12	7	19
科目全体の内容・構成が良くない	4	10	14
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	3	8	11
授業各回の内容・構成が良くない	4	5	9
印刷教材の内容と異なる・連動していない	4	4	8
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	3	5	8
演出が良くない、演出を工夫してほしい	4	1	5
理解しにくい		5	5
ポイントがつかみにくい	2	2	4
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		4	4
メディアの特性に合わない授業内容だった	2	1	3
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1	2	3
参考となる事例や資料の紹介がほしい	1	2	3
授業に興味・関心が持てなかった	1	2	3
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい		3	3
聞き手がいた方が良い		3	3
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1	1	2
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい		2	2
ゲストとの対話がかみ合っていない、単調	1		1
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	1		1
講師は1人の方が良い	1		1
システム面の改善が必要		1	1
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)		1	1
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1
講師以外には必要ない・違和感がある		1	1
手話通訳、または字幕がほしい		1	1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい		1	1
単位認定試験と連動していない		1	1
例題・練習問題を増やしてほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	2	3	5
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい		5	5
誤植があった、数字の誤りがあった		4	4
問題の解答・解説・用紙がほしい		3	3
難易度を下げるべき		2	2
問題数が多かった・範囲が広がった		2	2
難易度を上げるべき	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない		1	1
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった		1	1
評価方法に不満がある		1	1

- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない

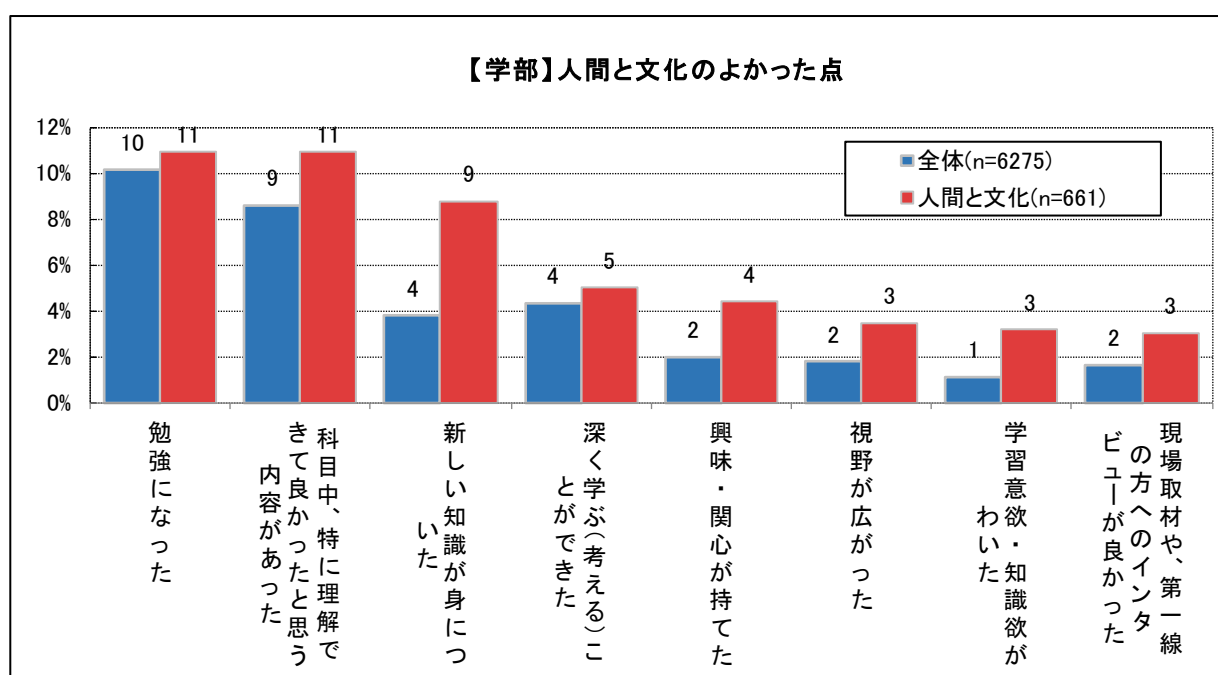
【学部】「人間と文化」の傾向

よかった点

「勉強になった」「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が1割を超え挙げられた。

他に「新しい知識が身についた」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「興味・関心が持てた」、「視野が広がった」、「学習意欲・知識欲がわいた」、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」などが3%以上で続いており、いずれも全体を上回っていた。

図3-11 【学部】よかった点



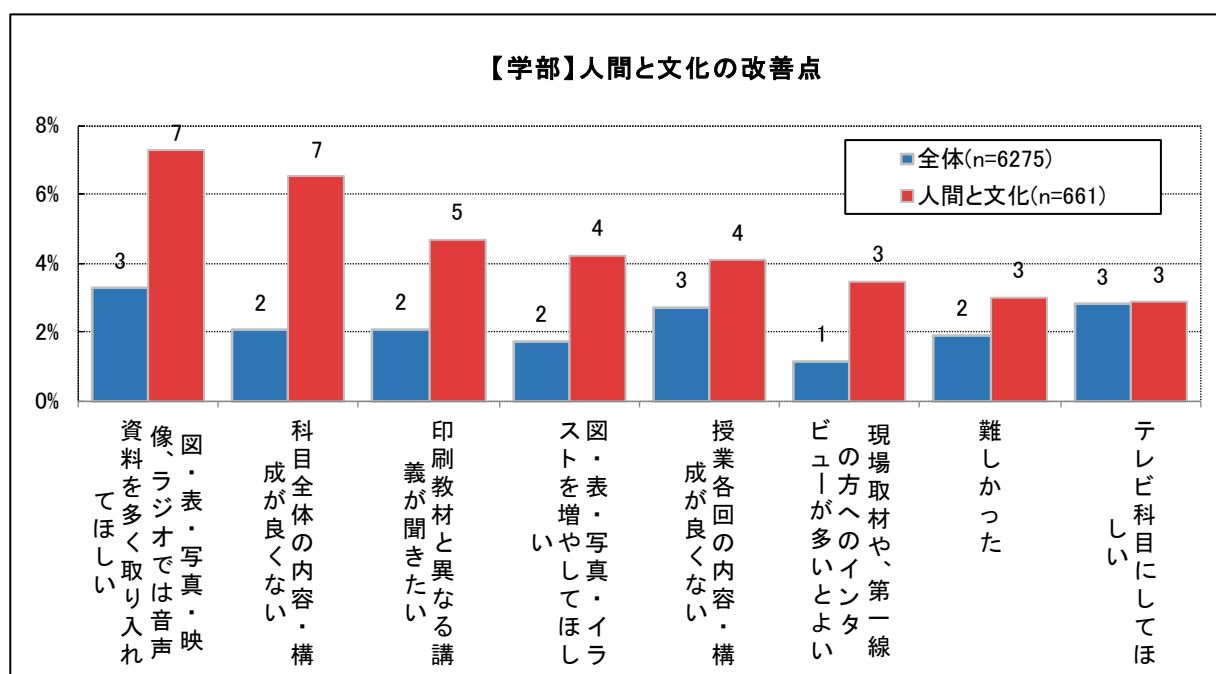
【学部】「人間と文化」の傾向

改善点

「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「科目全体の内容・構成が良くない」が7%と最も多く挙げられていた。

他では、「印刷教材と異なる講義が聞きたい」(5%)、「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」(4%)、「授業各回の内容・構成が良くない」(4%)、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」(3%)、「難しかった」(3%)、「テレビ科目にしてほしい」などがあげられていた。

図 3 - 1 2 【学部】改善すべき点



【学部】「人間と文化」 抜粋

よかった点

- どんな時代に生きた人なのか？どんな生き方をした人なのか？後にどんな影響を与えたのか？多岐にわたる人物を知ることができてよかった。
- この科目の印刷教材のまえがきに示されている 19 世紀から今日に到る近現代史を「人の移動」というテーマを軸にヨーロッパ史を講ずるとしていた。19 世紀が、ヨーロッパにとって移民の世紀であったということ、この科目の学習を通じて理解した。
- この科目を受講していなかったら、知ることのなかった世界の有名な文学作品について知れたこと。
- 過去を踏まえた後現在起きていることの理解を深めこれからどうして行ったら良いかを考えるようになった。
- 歴史に苦手意識を持っていたが、意外に面白く興味が持てるようになった。
- 大人になった今だからこそさまざまな文学に触れることができ、視野が広がったと思います。自分からは進んで読まない書籍にも手を出すいい機会でした。
- 人文地理学という学問自体知らなかったため、とても新鮮に学習できた。内容も入門者向けで、継続して学習したくなった。
- 博物館の現地取材の映像が多く、講義内容の理解にとっても役立った。通常の大学で受ける講義よりも理解しやすく、講義内容も多様性に富んでおり、魅力的だと思った。
- 様々なテーマ（節）ごとに、著名な哲学者たちの考え方を学べたのが楽しかったです。
- 図表や映像が多くとりいれられていて理解に役立った。
- かつて哲学を専修した者にとっては、西田とハイデガーというテーマが、講義という形で受講できることをうれしく思い大きな期待をもって履修させていただきました。なかなか専門の先生がおられないと開設できない講義の内容だったと思われます。ぜひ今後も、大学生の頃に難解で手がまわらなかった経験を持つ学生さんたちのために、こうした歯が立ちにくい哲学者に焦点を当てた講義を増やしていただければと期待しております。
- 現代が抱える問題を考える上、哲学という方向から考えさせられる良い科目でした。
- この分野における著名な先生の授業であり、幅広い内容がわかりやすく解説されていたこと。
- 日常生活の中では、深く考えることを習慣化していない。この学習を通じ根源から問い直す姿勢を勉強できた。今後の生活に生かしたい。
- いろいろな人物が取り上げられ、先生方それぞれの視点も面白く、楽しく学ぶことができました。
- 特に客員教授 3 名の講義内容がよかった。
- 概念を、過去ではなく、コロナ禍に見舞われてからの今にてらして考えることができる内容となっている点。
- 印刷教材について、哲学者の人ごとでなく、哲学の辿ってきた道筋ごとに印刷教材の章立てがされていた点で、どのような観点から学ぶかの新しい視点をいただき、大変勉強になった点。
- 古い人文地理学の観点と違う切り口で、講義が組み上げられているので、現代社会の問題点を考えることが出来た。
- これから歴史を学ぶのに、これだけという基本的な人材について詳しく知ることができた点が良かった。
- 「哲学とは何か」「人間とは何か」、このような命題が底に流れている古代ギリシア哲学を数多の哲学者の思想から導き出そうとしたこの授業は、哲学の深遠さと哲学が諸学問の大本である所以を説いている。
- 博物館教育に関連する実践例の紹介は、その内容についての理解を深めることにつながりました。
- 西田とハイデガーの哲学には通底するものがあると感じていたので、論点ごとに整理された講義・教材は自分の思索を深めるための参考になった。
- 参考文献を図書館であたって実際に読んだことが良かった。たとえば「神皇正統記」「世界の記述」「老人と海」など。

【学部】「人間と文化」 抜粋

改善点

- 地図が少なく大雑把で非常に分かり難かった。地勢図、民族・言語・自然(農業)・国境等適切な配置があれば助かりました。
- 先生の哲学研究の集大成を書くのではなく、哲学的思考の基礎ができあがっていない学生を導くという授業にしてほしいです。
- テキストを朗読するだけの授業は考え直してほしい。私達がほしいのは印刷教材の朗読ではない。
- 全体的に難解であったが、特に論理の章では、図表のようなものがあると、更に理解がしやすくなるだろうと思った。
- 韓国の歴史を全く知らなかったの、韓国人については難しすぎて、良く理解できなかった。他に比べて難しすぎると思った。改善していただければ。
- ロケがなかったのは、コロナ禍のためで、やむを得なかったものの、残念であった。
- 解説なく哲学固有？の言い回しが多用され、自分で調べても理解できませんでした。難しい内容であることは承知していましたが、少しでも理解が進む解説を期待していました。しかしそれはかなわず授業が進めば進むほど置き去りにされた感じで残念でした。
- やはりラジオのみでなく映像もあった方が、学習意欲もわきますし、学習した事がより頭に残りやすいのでは、と思いました。
- 多数の哲学者、その思想をただ流れるように紹介するばかりになってしまっていたので、もう少し個々に時間をかけて内容を深めて欲しかった。
- 印刷教材について、文脈や話の流れがやや曖昧・不明瞭、口絵や図表の説明が不十分、索引にある用語の説明や定義が本文中に見当たらない、等の箇所が見られた。
- 講義をされる先生方は立派な方ばかりですが、ただ残念なのが講義をされる中で言葉が聞き取れない方が一部いらっしゃったのが残念でした。
- ご出演の先生方の解説で十分とは感じたが、もし紹介した作品を映画化や舞台上演等したものがあれば、演出家による一つの解釈例として取り上げてみても面白いかもしれない。
- 試験の内容が歴史人物の生き方理解の本質に合っているかどうか疑問だった。引っ掛け問題のような設問もいくつかあった。試験の設問が多く時間内に解ききれなかった。
- 古文書の解釈が難しく、もう少し丁寧な（古文書の読解が初めての受講者もおる事に留意して）の対策や解説をしてほしく思いました。
- 予備知識の無いものにとってルビ無しの漢字は非常に難しい。特に漢字が使われ読み方が日本語と違うのは人名か地名なのかさえわからない。また放送授業後に印刷教材を見ても漢字と読みが繋がらないことが多々あった。
- 放送授業と印刷教材の関係を見直して欲しい。放送は印刷教材の解説や理解の助けになる役割を、担ってもらえないか。
- 単位認定試験が、難易度が高いと感じた。放送授業の中で重要な所をまとめのような形で示してもらえれば、的が絞りがやすかったと思う。
- 講師によってレベル感の違いを感じた。講義によっては難解な授業があった。
- 印刷教材以上の詳細なゲストの話が印刷教材になく、重要事項がわかりにくかったです。
- 入門編としてだけでなく、できれば、もう少し、本や地域を絞って、深く分析をするコースを作ってほしい。
- 単位認定試験でのテキストにはない、授業を受けていないと答えられないところがあり、驚きました。
- 試験は択一式の限界はあると思うが、間違い探しのような内容ではなく、思いきって記述式にした方がよいのではないかと思います。
- 通信指導の問題が難しく感じた。どのようなポイントで勉強すればよかったのか難しく感じた。

【学部】「人間と文化」

よかった点

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった	63	9	72	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	53	19	72	
新しい知識が身についた	54	4	58	
深く学ぶ(考える)ことができた	26	7	33	
興味・関心が持てた	27	2	29	
視野が広がった	16	7	23	
学習意欲・知識欲がわいた	16	5	21	
楽しかった	15	1	16	
全体として満足している	8	3	11	
内容・構成が良かった	7	3	10	
今後に役立つ内容だった	4	4	8	
最新の情報・研究が学べた	4	2	6	
現在の課題や身近な問題点を学べた	3	1	4	
基礎的な知識が得られた	2	2	4	
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1	3	4	
具体的な事例、実践的な内容があった		4	4	
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	2	1	3	
知識の整理に役立った	2	1	3	
身近に感じられる内容だった	2		2	
受験・資格取得に役立った	1	1	2	
小テスト・練習問題が良かった	1	1	2	
理解しやすかった		2	2	
自分の意見・考えを持てるようになった		1	1	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた		1	1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	18	2	20	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	11	1	12	
講師の解説が分かりやすかった	6	4	10	
楽しかった	7		7	
講師が良かった	5	1	6	
科目全体の内容・構成が良かった	1	3	4	
メディアの特性に合った授業内容だった	2	1	3	
講師の熱意・熱心さが伝わった	2		2	
授業各回の内容・構成が良かった	2		2	
複数の講師の講義を聞くことができた	2		2	
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	1		1	
印刷教材と異なる内容で良かった	1		1	
印刷教材と連動していて良かった	1		1	
講師の話し方が良かった、声が聞き取りやすかった	1		1	
理解しやすかった	1		1	
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった		1	1	

(単位:人)

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容・構成が良かった		2	3	5
図・表・写真・イラストが良かった		1	1	2
引用・参考文献・アプリの紹介が良かった		1		1
最新の情報・研究が盛り込まれた内容だった			1	1
良い教材だった			1	1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応が良かった			1	1

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
難易度が適切だった		1		1

【学部】「人間と文化」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難しかった	5	15	20
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7	4	11
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	5	1	6
内容の詰め込みすぎ	5		5
講義内容と科目名に乖離がある	3		3
内容・構成が良くない	3		3
授業科目案内は内容が不十分だった	2	1	3
努力不足だった	2	1	3
内容にまとまりがない	2	1	3
ジェンダー平等の精神がない、不足している	2		2
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	2		2
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	2		2
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	2		2
内容が専門的で難しかった		2	2
最新の内容を講義してほしい	1		1
新しい科目、広い分野をカバーする科目がほしい	1		1
内容が浅い	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		1	1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい		1	1
例題・練習問題を増やしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	14	14	28
内容・構成が良くない	11	3	14
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	7	2	9
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	5	2	7
誤植がある	4	1	5
追加情報・追加教材がほしい	2	2	4
図・表・写真・イラストが見づらい	3		3
理解しにくい	2	1	3
詳細な解説がほしい	2		2
色刷りにしてほしい	2		2
難易度・分量が不適切だった	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1
重要な言葉は太字や斜体、アンダーライン等わかりやすくしてほしい	1		1
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	1		1
文字が読みづらい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	2	4	6
課題(問題)が、放送授業・印刷教材と内容がずれている	3	2	5
課題(問題)に誤りがあった	3		3
通信指導問題は印刷して配布すべき	2		2
記述式、および記述に関して改善してほしい	1	1	2
学習内容の理解・整理につながらない	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	48		48
科目全体の内容・構成が良くない	28	15	43
印刷教材と異なる講義が聞きたい	15	16	31
授業各回の内容・構成が良くない	26	1	27
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	23		23
テレビ科目にしてほしい		19	19
講師の解説・指導が良くなかった	9	7	16
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	10	2	12
参考となる事例や資料の紹介がほしい	10	1	11
印刷教材の内容と異なる・運動していない	5	3	8
講師によって授業のレベルが違う	7		7
授業に興味・関心が持てなかった	4	1	5
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	3	2	5
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	3	2	5
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	4		4
聞き手がいた方がよい	3	1	4
理解しにくい	2	2	4
メディアの特性に合わない授業内容だった	3		3
演出が良くない、演出を工夫してほしい	3		3
不要なロケ、動画等がある	3		3
ポイントがつかみにくい	2	1	3
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	2		2
講師の熱意が伝わらない	2		2
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	2		2
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	2		2
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
対談形式の授業の方がよい	1		1
内容に誤りがあった	1		1
ゲストとの対話がかみ合っていない、単調		1	1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		1	1
講師以外は必要ない・違和感がある		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	7	4	11
難易度を下げるべき	6	2	8
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	4	3	7
記述式、および記述に関して改善してほしい	3	3	6
試験時間が短い、入力が間に合わない	1	1	2
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 難しかった

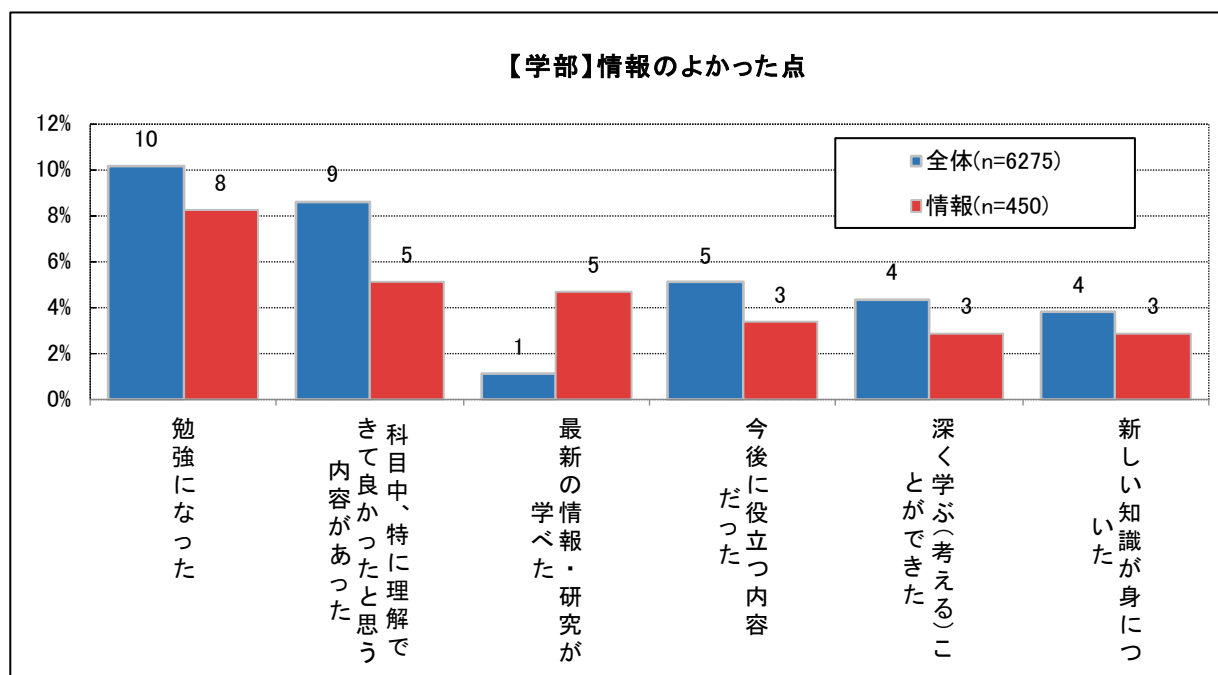
【学部】「情報」の傾向

よかった点

「勉強になった」が8%、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」、「最新の情報・研究が学べた」がそれぞれ5%で上位に挙げられていた。

他では「今後に役立つ内容だった」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「新しい知識が身についた」などが3%で続いていた。

図3-13 【学部】よかった点



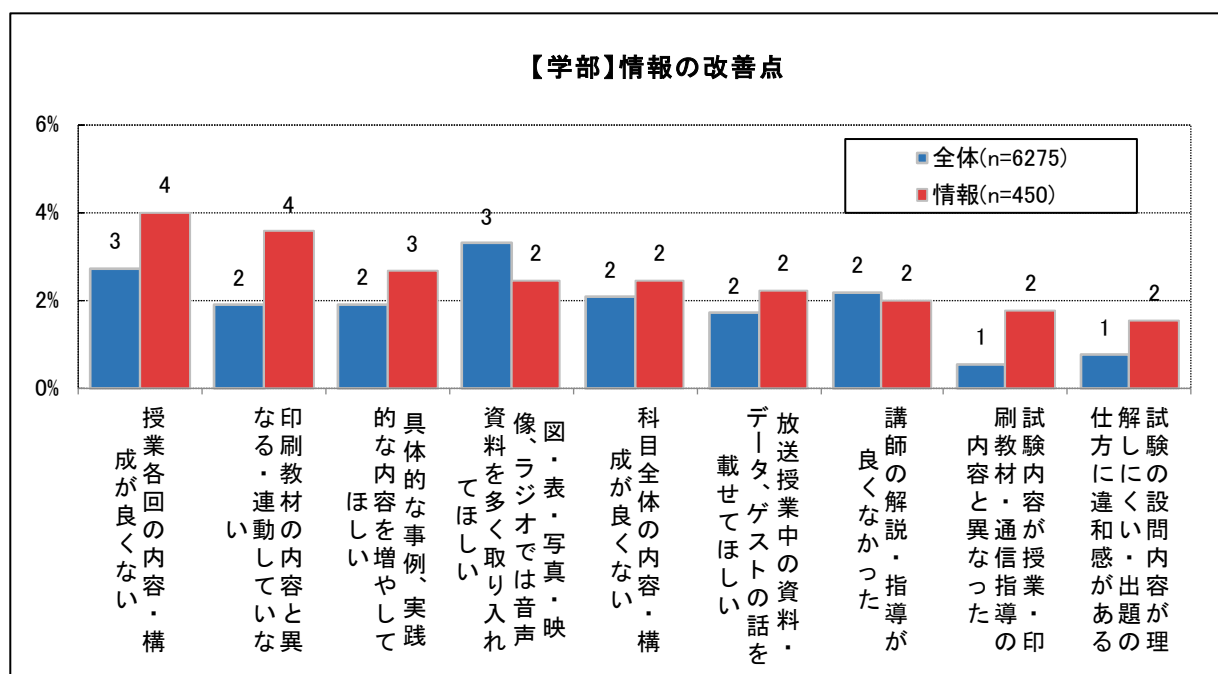
【学部】「情報」の傾向

改善点

「授業各回の内容・構成が良くない」、「印刷教材の内容と異なる・連動していない」がそれぞれ4%で上位に挙げられており、全体を上回っていた。

他では、「具体的な事例、実践的な内容を増やして欲しい」(3%)ことや「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「科目全体の内容・構成が良くない」、「放送授業中の資料・データ、ゲストの話を書いてほしい」、「講師の解説・指導が良くなかった」、「試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった」、「試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある」などが2%以下で挙げられていた。

図3-14 【学部】改善すべき点



よかった点

- 「ICT 教育」には、思っているより様々な授業形態があり、国や時代によって形を変えて変化してきた背景が学べて、とても勉強になりました。
- メディアと言われると、テレビやインターネットなどの電子媒体のことを考えていたが、相手に媒体として伝わるもの（キーホルダーやリュックなど）はメディアになり得ることを知ったことが驚きだった。
- 情報セキュリティに関する最新の情報を取り入れた講義であり、大いに参考になった。
- 全体的に面白かった。特に前半の小学生の授業の場面が印象的で、今はこんなふうな授業になっているのだと感心した。なかなか人に物事を教えるのが難しいと最近特に感じているが、この科目を学んだ事で工夫の仕方が分かった気がした。仕事に活かしていこうと考えている。
- 受講前に、改訂前のテキストで学習していたが、別科目と感じるほど、改訂されていて驚いた。でも、新しい知識が身についた気がする。
- メディアとはどういうものか多角的に理解できた。歴史を追って学ぶことができ知識が深まった。
- 第 10 章研究のための情報デザインは、資料を作成する上において内容を分かり易く伝える方法について、具体的で、参考になった。研究のシチュエーションに限らず、役に立つものだった。
- 印刷教材の範囲を超えた放送授業のインタビューは、とても良かったです。多角的に物事を考えるきっかけになりました。繰り返し視聴してみたいです。
- 数値処理と解析の様々な手法を理解でき、視野が広がりました。
- 放送授業で、テキストからは学びきれないものを様々な映像によって展開してもらえたのは良かった。科目の性質上、映像による、ゲストを交えての様々な説明や紹介などは必須であるので、さらに工夫・充実していただきたい。
- 50 代を目前の私には「情報領域」の勉強は自分で勉強しないと勉強できません。今の時代の基礎的な内容を丁寧に教えてくださったのでわかりやすく、興味も持てました。
- 情報セキュリティについて学びたい私のような初学者にとって、理解しやすい内容だった。学生時代に私の世代は「情報」という科目を学べる機会が無かった為、今の IT 社会についていく為にも必要な学習内容だったと思う。今の時代に非常に重要な科目なので、放送大学においても情報セキュリティや情報ネットワーク等の科目をもっと増やして欲しい。また、情報セキュリティ等に関する仕事に従事出来るくらいの高度な内容を学べると尚良いかと思えます。
- 昨年度、職場でインシデントが発生した際に、自身の無知を実感したため受講したが、基本的な部分から丁寧に学べる内容だったため、非常に満足している。
- 日常生活に溶け込んでいるデジタルメディアについて改めて学ぶことができよかったです。今後うまくつきあっていきたいと感じた。
- 様々な分野のゲストを招請して、飽きさせないような工夫がなされていた。何名かのゲストの著書を取り寄せて受講の参考に読んだ。
- セキュリティ概論という科目名通り、セキュリティに関しての基礎的な知識の説明があつてよかったと思う。
- 難易度が高い科目のため受講するか悩んだが、受講したことで授業で取り上げた内容について新たな興味を持つことができ、理解しきれなかった部分は今後勉強していきたいと思えた。
- 情報デザインについての概要を知れたのは面白く有意義だった。
- 数値解析の基礎を 20 年ぶりに学び直すことができ、更に応用を学ぶ意欲が出てきた。
- 授業がとても面白かった。メディア論の奥深さがよくわかった。この授業を履修できてよかった。
- 物事の表現をどう伝えるかの視点を様々なアプローチを例に挙げていただき、授業で答えを出すのではなく、受講者に常に問いかけて考える良いきっかけになったと思えます。
- 難しい内容でも聞き手の人の問い等でわかりやすかったです。
- 日常生活におけるマスメディアの影響、問題点を知ることができました。

改善点

- 各講義の最後に担当講師同士が当日の講義内容についてコメントするコーナーがあるが、互いに遠慮があるのか、個人的な感想が語られるだけで有用なコメントになっていないので、必要ないと思う。
- 印刷教材と授業内容が余りにも違いすぎる。これでは、印刷教材が意味をなさない。最低限授業内容は、印刷教材に沿った内容であるべき。
- ソフトやシステムのセキュリティをさらに高めるための具体的な手法、コピーガード法等の実践的な内容も知りたかった。
- 内容が広く感じたので、もっと細分化してテーマを絞ってもよかったのではないかと感じる。
- サイバー攻撃や情報ネットワークについても動画で説明したほうがよりわかりやすいのではないかと思います。
- 放送授業で紹介されたのに印刷教材には記載がないことがあった。放送授業のみだと見直しに時間がかかるので、簡単にでもいいから印刷教材にも記載がほしいと思った。
- 表現が下手な年寄りの講師はいりません。いくら東大の客員教授だとしても、ブツブツザラザラ、何を言っているのか分かりませんでした。時間の無駄と感じてしまいました。
- 改訂科目なので仕方がないかもしれないが、ロケの映像・インタビューの映像に関して、相当古い映像が流用されていた。コロナ禍で新規撮影が難しかったのかもしれないが、内容が時期によって大きく変化していく科目なので、古いインタビューよりは図解やイラスト等のパターンで最新の内容を見せて欲しかった。
- 偉い先生のインタビューで時間を消費しているのは、無駄に尽きる。もっと、わかりやすい内容で、勉強したくなる授業をしてほしい。はっきりいて、ガッカリに尽きる内容である。
- 印刷教材の前半（少ない）と後半（冗長）のボリュームのバランスが良くないと思った。文科省の資料をそのまま掲載されていて、読みづらい。
- 私には内容が難しく学習内容を理解するのが精いっぱいでした。
- ゲストは大学教授だけでなく企業の実務担当者もいるとよいと感じました。
- 講師の話し方が、口ごもったり、早口で英語の言葉が聞き取りにくかったりしたため、録画して、何度も確認しなければなりません。字幕があると助かります。
- ラジオ講座という環境が理解を妨げている面がある。テレビやオンラインへの変更を検討してもらいたい。
- 思うように実施できなくて悩んでいる教師もいるはず。ICT 活用の苦労話を聞きたかった。それに対するアドバイスのようなものも知りたかった。
- 理論に重点を置かれているように感じましたが、理解を空中に漂わせない為には、数理的背景を持つプログラムを書かせるなどの、実践科目も必要ではないかとも感じたことです。（すでにあるかも知れませんが。）。
- 印刷教材の索引について、人名がファーストネームにより分類されていたが、ファミリーネーム順にしてほしい。
- ゲスト講師の先生方のお話は対話方式よりも独立した講義の方が、無駄な時間が少なく良いかと感じました。
- 放送動画の視聴方法ですが、速い速度でも問題ないので2～3倍の速度があっても良いです。
- 広い内容を少しずつという感じがした。その結果、話の焦点が見えづらく思える。
- 放送では、式をトレースする際に必要となる情報をもっと盛り込んでほしいと思います。今回自分で Excel でシミュレーションするなどしてテキストの図と同じ図になるか確認したりしましたが、この科目については演習も必要と思います。例えば Mathematica や Matlab でワークシートを提供していただき、それを参考にして問題を解くなどの作業ができれば理解が深まると思います。
- インタビュー中にでたテロップよりテロップのないところが多く試験に出た気がするので、「重要ですよ！」というところはテロップを多く出してほしいです。

【学部】「情報」

よかった点

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった	35	2	37	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	23		23	
最新の情報・研究が学べた	21		21	
今後に役立つ内容だった	13	2	15	
新しい知識が身についた	12	1	13	
深く学ぶ(考える)ことができた	12	1	13	
具体的な事例、実践的な内容があった	10		10	
視野が広がった	8	1	9	
理解しやすかった	6	1	7	
全体として満足している	6		6	
身近に感じられる内容だった	5	1	6	
基礎的な知識が得られた	3	1	4	
興味・関心が持てた	3	1	4	
楽しかった	3		3	
学習意欲・知識欲がわいた	2	1	3	
現在の課題や身近な問題点を学べた	2		2	
専門的な内容だった	2		2	
体系的に学べた・理解できた	2		2	
内容・構成が良かった	2		2	
引用・参考文献・補助教材・問題集、アプリの紹介が良かった	1		1	
科目の学問的性質、位置付けが分かった	1		1	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	1		1	
受験・資格取得に役立った	1		1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	10		10	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	9		9	
講師の解説が分かりやすかった	8		8	
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	6		6	
楽しかった	3		3	
講師が良かった	3		3	
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	2		2	
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	2		2	
対談形式の授業が良かった	2		2	
複数の講師の講義を聞くことができた	2		2	
理解しやすかった	2		2	
メディアの特性に合った授業内容だった	1		1	
良い授業だった	1		1	
印刷教材と連動していて良かった		1	1	

(単位:人)

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
良い教材だった		1	1	2
内容・構成が良かった(印刷教材)		1		1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った		1		1

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
科目内容の理解度ををはかるのに相応しい内容だった		1		1

【学部】「情報」

改善点

(単位:人)

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	11	1	12
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	6		6
難しかった	4		4
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1	2	3
内容が専門的で難しかった	2		2
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2		2
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	1	1	2
授業科目案内は内容が不十分だった	1	1	2
ジェンダー平等の精神がない、不足している	1		1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1		1
講義内容と科目名に乖離がある	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
内容・構成が良くない	1		1
例題・練習問題を増やしてほしい		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	10		10
内容・構成が良くない	4	1	5
索引を充実させてほしい	2	1	3
誤植がある	2		2
図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
追加情報・追加教材がほしい	2		2
フリガナ、専門用語の説明などがほしい	1		1
色刷りにしてほしい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
難易度・分量が不適切だった	1		1
理解しにくい	1		1
内容が浅い・少なすぎる		1	1
練習問題がほしい、増やしてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	1		1
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	1		1
学習内容の理解・整理につながらない	1		1
指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:授業各回の内容・構成が良くない
- 放送授業:印刷教材の内容と異なる・連動していない
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
授業各回の内容・構成が良くない	18		18
印刷教材の内容と異なる・連動していない	16		16
科目全体の内容・構成が良くない	11		11
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	11		11
講師の解説・指導が良くなかった	9		9
インタビューやゲストの話が多い、時間を取られる、教材と関係のない話は不要	6		6
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	4		4
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	4		4
テレビ科目にしてほしい		4	4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	3		3
講師以外には必要ない・違和感がある	3		3
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	3		3
理解しにくい	3		3
例題、演習問題を解きながら解説してほしい		3	3
重要な情報はテロップ等で表示してほしい、長く表示してほしい	2		2
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	2		2
参考となる事例や資料の紹介がほしい	1	1	2
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい		2	2
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	1		1
印刷教材と異なる講義が聞きたい	1		1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
講師の熱意が伝わらない	1		1
字・図・表・写真・映像が見づらい	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1
対談形式の授業の方が良い	1		1
聞き手がいた方が良い		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	8		8
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	7		7
記述式、および記述に関して改善してほしい	2		2
難易度を下げるべき	2		2
誤植があった、数字の誤りがあった	1		1
試験に関する情報を早く教えてほしい	1		1
問題数が多かった・範囲が広がった	1		1

- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった

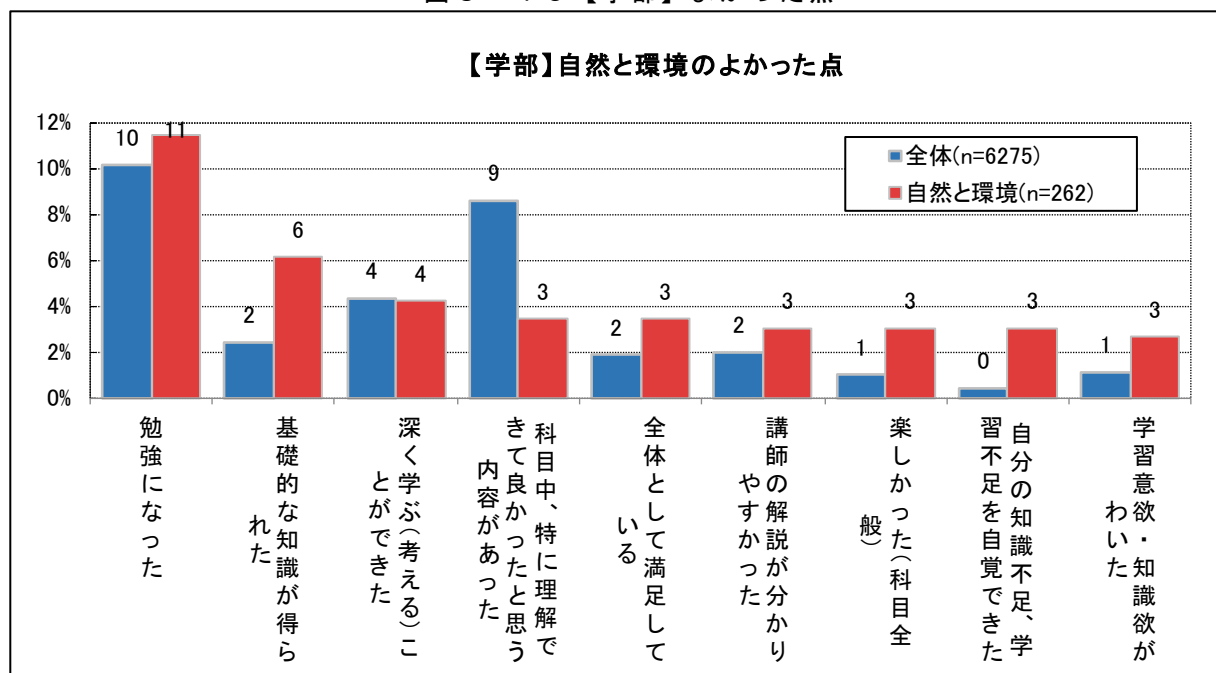
【学部】「自然と環境」の傾向

よかった点

「勉強になった」が11%と特に高く、全体を上回っていた。

他に上位に挙げられていたのは「基礎的な知識が得られた」(6%)、「深く学ぶ(考える)ことができた」(4%)で、後は3%以下で続いていた。

図 3-15 【学部】よかった点



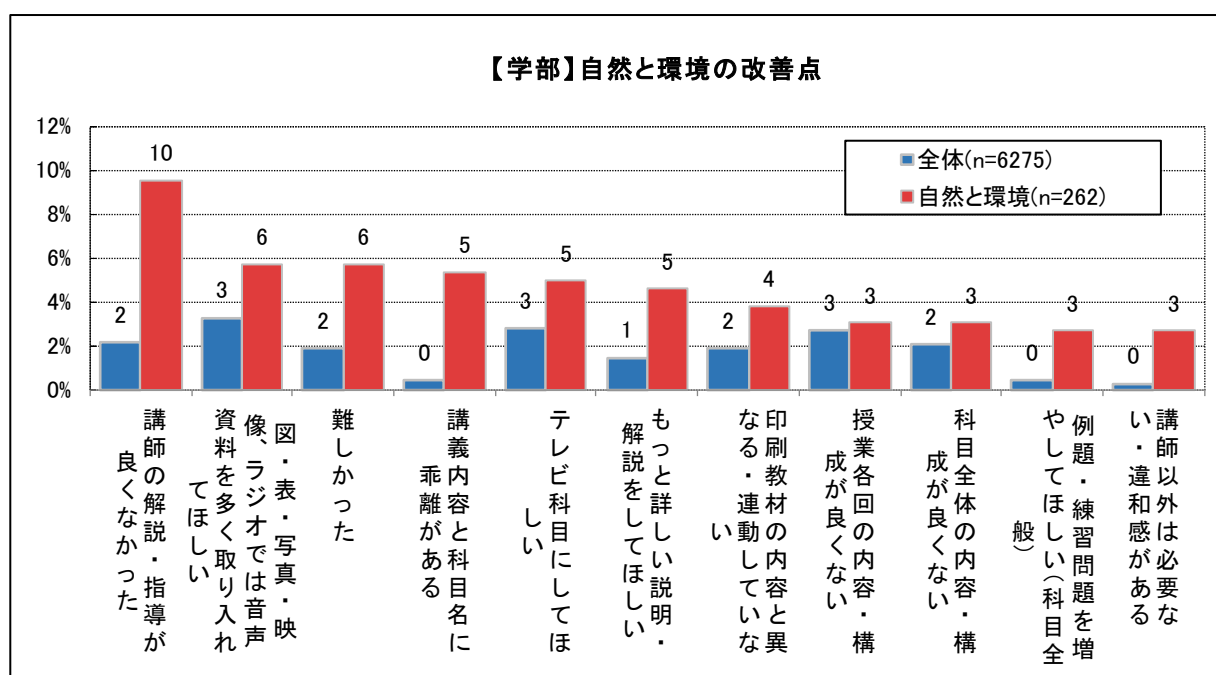
【学部】「自然と環境」の傾向

改善点

「講師の解説・指導が良くなかった」が10%と突出して高く、全体との差も大きかった。

他に、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「難しかった」、「講義内容と科目名に乖離がある」、「テレビ科目にしてほしい」、「もっと詳しい説明・解説がほしい」が5%以上で続き、全体を上回っていた。

図3-16 【学部】改善すべき点



【学部】「自然と環境」 抜粋

よかった点

- 既に取得した化学授業科目の総復習として当科目を受講した。理解が不十分だった部分を埋めることができ有意義であった。
- 微分積分を基礎から学ぶことができよかった。高校数学の範囲も多くあったが、全体としてのつながりがよく見えてとても満足している。
- 「ICT 教育」には、思っているより様々な授業形態があり、国や時代によって形を変えて変化してき元々高校で物理を選択していなかったため、知識としては不足している部分を補いたかった。充分と言えないかもしれないが、多少は以前より理解が深まったのではないかと思う。
- 仕事を引退したら、物理学をやろうと決めていたところに、この科目を見つけすぐに登録しました。わかりやすい授業とテキストに取ってよかったと感謝しています。
- 「現代を生きるための化学」という科目名に違わず、我々の日常が様々な化学反応やそれらを応用した技術に支えられて成り立っていることがよくわかった。
- あらためて微分・積分（数学）のおもしろさ・興味深さを実感することができたところ。
- 改めて学習したが、やっぱり難しいと感じた。自分のレベルがわかってよかった。頑張ります。
- 印刷教材だけでは理解し難い内容が放送教材での説明と解説及び要点を整理した資料提示で理解が深まった事。
- ついてはいけませんでしたが、もっと物理学を学びたいという意欲がわきました。楽しくて分かりやすい授業でした。
- 40 年以上前に化学の授業を大学で受けたがそれ以来の学習であり、新しい知識を得ることができた。
- 物理についての歴史と考え方について非常に興味深く勉強できた。
- 放送授業の説明や内容は大変わかりやすかったです。
- アシスタントの女性は、初心者目線で質問を投げかけ、それに応じて先生が丁寧に解説していたので、共感度がとても高かったです。講義がすすむにつれ、難易度は上がりましたが、何とか最後まで受講できました。やはり「初歩からの」シリーズは、この路線で良いと思いました。
- ラジオということで映像なしで理解できるか少し不安でしたが、わかりやすいよう工夫された内容で、楽しみながら受講することができました。
- 授業がとても楽しく、高校物理初心者ですがとても興味を持って試聴できた。
- 仕事に役立つような点がよかった。
- '22 年からの改定版テキストは 1 章ごとに非常に良く纏められていて良かった。
- こんなふうに化学を紹介すればよいのかと思えるほど、説明文が簡潔に書かれていた。
- 高校の物理の延長線上に内容がある感じで、視野が広がってよかったと思う点。
- オンラインで視聴可能なため、いつでも映像を止め、納得ゆくまで咀嚼してから次へと進むことができた。大学の学部時代にまっさきに置いていかれた微積だったが、長年の苦手意識をようやく克服することができた。本当によかった。
- 今まで物理を日本の教育で学ぶことがなかったため、初歩と記載はあったが非常に難しかったが、楽しいと感じる時もあった。資格取得のためにとらなくてはならない単位なので、今学期以上に勉強しないといけないと感じました。
- 知識の整理と確認、学びなおしに大変役立った。やはり系統立てて学ぶことの良さを再認識した。
- 「覚えよう」、「思い出そう」で、学習の道しるべが示されており、理解とその定着に役立った。
- 具体的な例で説明され理解しやすかった。別視点から理解できた。
- 各講師の方も、自分の質問に熱心に対応していただいて非常に感謝しています。
- 微分積分の計算が、具体的に、正確に理解されてないと答えに結びつかないことが分かった。とても良い番組でした。

改善点

- 印刷教材でも放送授業でも、よく「このことはあとで説明しますが」って言う部分が多く、その点が気になりました。初歩と言うことで、そのあたりは難しいのだろうと思いますが、思い切ってその部分は捨ててしまうか、それとも、説明の途中ではなく、あとで、そのままではこの辺りが問題になりますが、その点は後程、詳細を説明しますって、説明すべき点によりスポットを当ててもらおうとストレートに受け入れられそう。
- 画面の中での説明で、数式等が平面的になってしまうのは仕方がないとして、重要度とかほかの数式との関連性とかをもっとわかりやすく図式化してほしい。
- 私のレベルの問題もあると思いますが、正直、入門講座としては、わかりにくい内容だと思います。
- 『初歩からの物理』という科目だが全く初歩ではないように思う。高校の物理基礎の参考書も購入し学習したが物理基礎の内容を超越しているように思う。『初歩からの物理』という科目名ではなく、物理の内容を一通り網羅しているという意味で『物理総合』のような科目名に変更した方が良いと思う。
- 化学の基礎をしっかりと学習し、理解済みでないと進めない教科であった。ラジオ放送より、映像の有る、テレビ放送の方が適している。
- 数学挫折者を一人でも減らすようにもっとかみ砕いた内容、説明や印刷教材の文章作成をお願いします。
- ラジオ科目のテキストの作り方・・・テレビとテキストは相補的にできますが、ラジオはそうはいかないと思います。テキストは放送（しゃべっている言葉、内容）とできるだけ一致させてもらえるとありがたいです（ぶ厚くなってしまうんですけど）。
- 最初に課題を与える方法がなじめなかった。章のテーマを理解し課題を行う方法が理解しやすい。
- 学生がつまづきやすい箇所にもっとフォーカスを当てて欲しかった。私の場合は角運動量保存則について、運動量が外積となる理由が理解しづらかった。入門科目として定性的に理解させることはわかるが、この先定量的、数学的理解につながるような橋渡しの内容をもう少し欲しかった。
- アシスタントとの対話形式はやめて、より解説の専門性を高めた方がよいと思う。
- 練習問題及び解答をさらに増大させ充実していただきたい。
- 放送授業と印刷教材を活用して受講するようになっていますが、印刷教材の文章が全く理解できませんでした。そのために挫折してしまいました。
- 印刷教材の演習問題の詳しい解説が欲しかった。印刷教材に掲載できないのなら、システムWAKABA上でも良いと思う。
- 講師の方で、「あの一」という言葉が多く、聞きづらく感じました。またそのことにより理解しづらい面もありました。放送大学なので、明瞭な話し方は重要と考えます。
- 回によっては、講師の先生が何とおっしゃっているか殆ど聞き取れないことがありました。字幕が必要です。
- もうすこし初歩的な図表（元素の周期表など）が口絵に載せてあると、聴取中でも参照しやすいのではないかと思う。
- 期末試験は50分では足りなかった。画面だけで問題に取り組むのは何か落ち着かない。プリントアウトしてからの50分なら、どうかと思う。
- 文系出身者にとっては、日常生活やビジネスと縁遠く、定理や方程式の解説ばかりでは、出てくる問題を解くだけで原理原則を理解できそうにありませんでした。日常生活やビジネスにおける具体的な現象等にどのように貢献・利用されているのかという解説があれば、文系人間でも理解が進むように感じました。
- 物理に初めて向き合う人向けとして受講したが、かえって苦手意識が高まってしまった。最低限この知識は抑えて欲しい文献などを授業科目案内に更に詳しく書いて欲しい。
- この教科を得意としてない方には少し早すぎるテンポに思えるところがあった。何度か、止めて印刷教材を確認することがあった。

【学部】「自然と環境」

よかった点

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
勉強になった	21	9	30	
基礎的な知識が得られた	13	3	16	
深く学ぶ(考える)ことができた	7	4	11	
全体として満足している	9		9	
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	7	2	9	
楽しかった	8		8	
自分の知識不足、学習不足を自覚できた	8		8	
学習意欲・知識欲がわいた	7		7	
新しい知識が身についた	5	1	6	
興味・関心が持てた	4	2	6	
今後に役立つ内容だった	3		3	
視野が広がった	2		2	
自分のペースで勉強できた	2		2	
受験・資格取得に役立った	2		2	
知識の整理に役立った	2		2	
理解しやすかった	2		2	
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1	
最新の情報・研究が学べた		1	1	
身近に感じられる内容だった		1	1	
難易度・分量が適切だった		1	1	

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
講師の解説が分かりやすかった	7	1	8	
理解しやすかった(放送授業)	6		6	
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった	5		5	
科目全体の内容・構成が良かった	2	2	4	
楽しかった	3		3	
メディアの特性に合った授業内容だった	1		1	
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1	
良い授業だった	1		1	
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1	
講師が良かった		1	1	
講師の熱意・熱心さが伝わった		1	1	
対談形式の授業が良かった		1	1	

(単位:人)

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
内容・構成が良かった		3	3	
理解しやすかった		2	1	3
良い教材だった		1		1

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
指導内容・コメント・対応が良かった			1	1

【学部】「自然と環境」

改善点

科目全般				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
難しかった	14	1	15	
講義内容と科目名に乖離がある	12	2	14	
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	11	1	12	
例題・練習問題を増やしてほしい	7		7	
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	3		3	
授業科目案内は内容が不十分だった	3		3	
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	2		2	
内容の詰め込みすぎ	1	1	2	
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1	
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	1		1	
内容が基礎的で物足りなかった	1		1	
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1	
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった		1	1	

印刷教材				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
理解しにくい(印刷教材)	6		6	
詳細な解説がほしい	5		5	
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1	3	4	
内容の詰め込みすぎ・ボリュームが多すぎる	3		3	
難易度・分量が不適切だった	2		2	
練習問題等には詳しい解答や解説がほしい	2		2	
内容・構成が良くない(印刷教材)	1	1	2	
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1		1	
索引を充実させてほしい	1		1	
放送授業の要約(まとめ)を載せてほしい	1		1	
放送授業中の資料・データ、ゲストの話載せてほしい	1		1	
練習問題がほしい、増やしてほしい	1		1	
誤植がある		1	1	
追加情報・追加教材がほしい		1	1	
内容が浅い・少なすぎる		1	1	

通信指導				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	2		2	
指導内容・コメント・対応に不満がある	1		1	
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい		1	1	

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 難しかった

(単位:人)

放送授業				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
講師の解説・指導が良くなかった	25		25	
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	15		15	
テレビ科目にしてほしい		13	13	
印刷教材の内容と異なる・連動していない	6	4	10	
科目全体の内容・構成が良くない	7	1	8	
授業各回の内容・構成が良くない	7	1	8	
講師以外は必要ない・違和感がある	7		7	
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	4		4	
手話通訳、または字幕がほしい	4		4	
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	3		3	
理解しにくい	3		3	
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	2	1	3	
(各章ごとの)まとめや学習ポイント・総括がほしい	2		2	
印刷教材をもっと活用してほしい	2		2	
参考となる事例や資料の紹介がほしい	2		2	
聞き手が良くなかった、講師と合わなかった	1	1	2	
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	1		1	
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1	
字・図・表・写真・映像が見づらい	1		1	
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	1		1	
ポイントがつかみにくい		1	1	
印刷教材と異なる講義が聞きたい		1	1	

単位認定試験				
意見	テレビ	ラジオ	合計	
試験時間が短い、入力が間に合わない	4		4	
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	2		2	
難易度を下げるべき	2		2	
Web試験では出力できないので計算や記入ができず難しい	1		1	
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1	
評価方法に不満がある	1		1	
問題の解答・解説・用紙がほしい	1		1	
問題数が多かった・範囲が広がった	1		1	

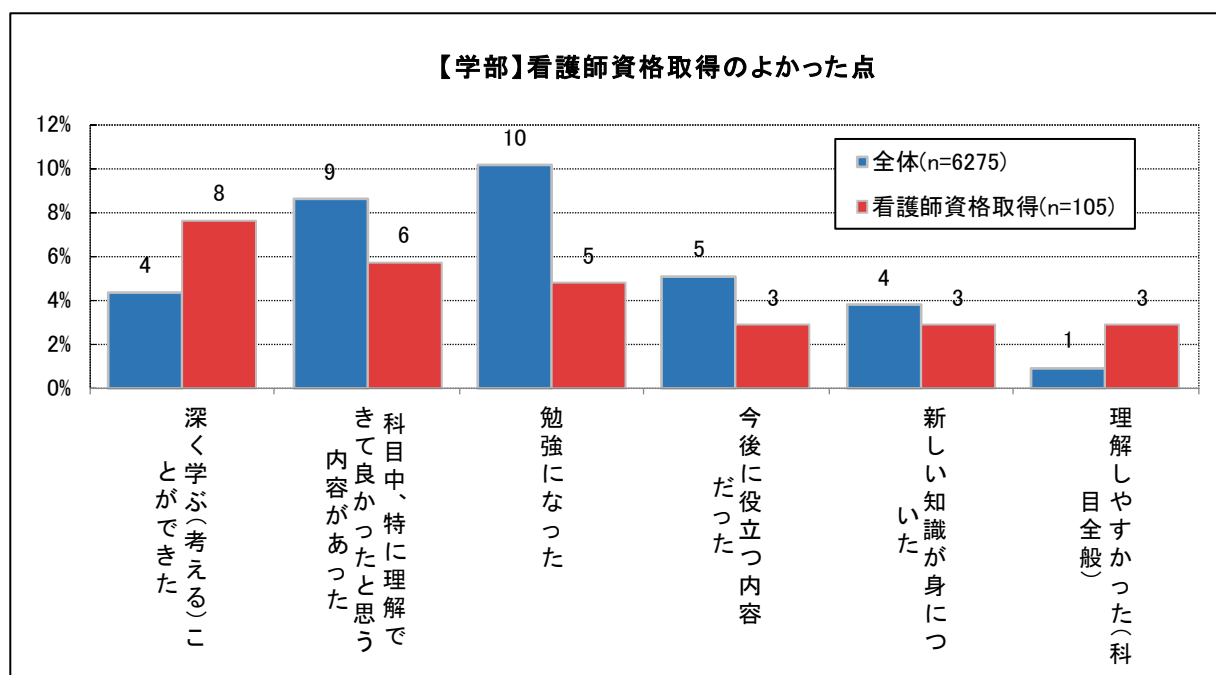
- 講義内容と科目名に乖離がある
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 放送授業:印刷教材の内容と異なる・連動していない

【学部】「看護師資格取得」の傾向

よかった点

「深く学ぶ（考える）ことができた」が8%最も高く、全体を上回っていた。
 他では、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」、「勉強になった」、
 「今後に役立つ内容だった」、「新しい知識が身についた」、「理解しやすかった」などが
 3%以下で続いていた。

図 3 - 1 7 【学部】よかった点

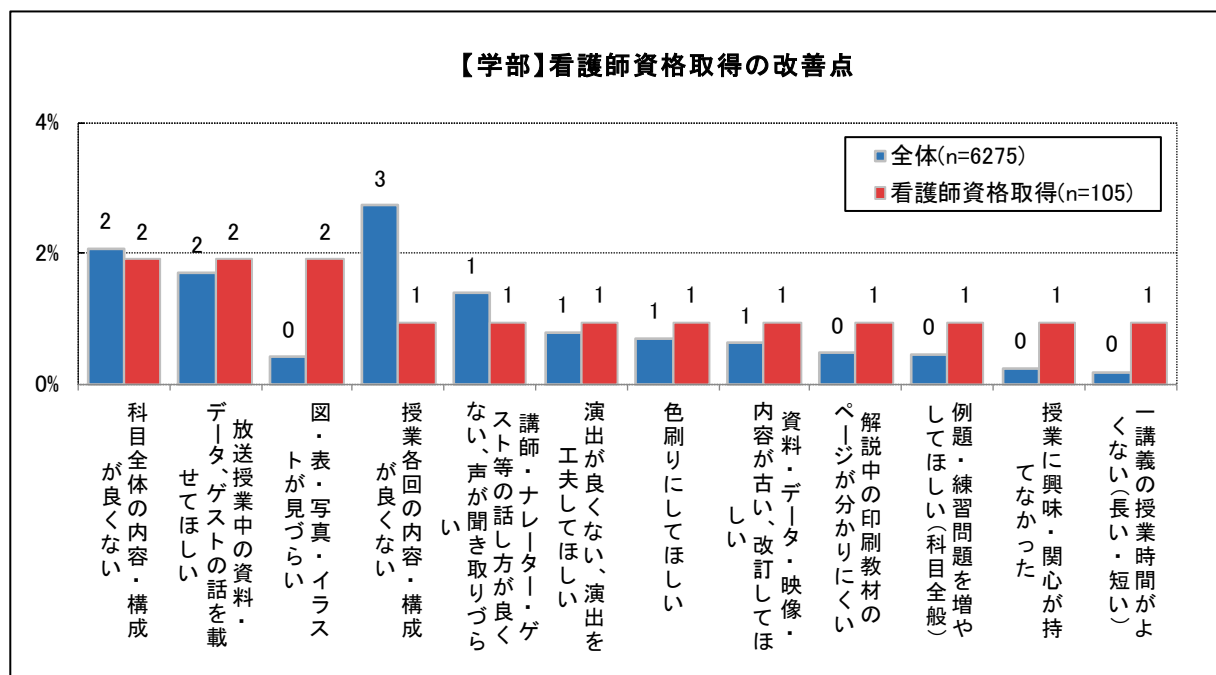


【学部】「看護師資格取得」の傾向

改善点

「科目全体の内容・構成が良くない」、「放送授業中の資料・データ、ゲストの話を書いてほしい」、「図・表・写真・イラストが見づらい」等が2%で上位に挙げられていた。

図3-18 【学部】改善すべき点



【学部】「看護師資格取得」 抜粋

よかった点

- 学校の授業と視点が違う解説もあり、理解が深まったと思う。
- 現在の小児看護学において、持つべき視点を学ぶことができました。日本の子供たちの置かれている現状が決して良いものではないことを知り、それを踏まえた上で関わる必要があると感じました。
- 普段余り小児と接する機会が少ないので色々と勉強になりました。
- 改めて勉強する事で、さらに理解が深まり仕事に対する意欲等も向上した。
- 小児学を学んだのは10年以上前のため、小児の災害時の反応や看護ケアについて教材からも放送授業での資料映像からも新しい知識を多く学ぶことができた。
- 学び直しとしては、理解しやすい内容であった。また、新たな学びもあった。
- 一番楽しい教科だった。過去問も思った以上に解けた。頭の中にすんなり入っていった。
- テキストに添って説明してもらえたので、意外と分かりやすかったです。
- 小児看護学は放送授業 15 回全てが非常にわかりやすく、絵を使用し、またロケなども行くことで、理解が深まったように思います。
- 小児看護学を学び直すことができて良かった。忘れていたことも多く、小児を看護する上での配慮し、他施設の取り組みなど知ることができてよかった。
- 先生の話し方が分かりやすかった。
- 先生方の解説が分かり易く、そして小児看護に対する思いが優しく感じられました。視野が広がり受講して良かったと思いました。
- テレビ視聴が理解を促すもので良かったと思う。
- 看護通信学校で取らなくてはならなかったが、TV でなくスマホで視聴しましたが、理解しやすいと思いました。

改善点

- 教科書すべての内容を学ぶため、集中的に必要な点を短縮して放送する必要があると感じる。
- 印刷教材の見やすさ。
- 放送授業で、印刷教材に載っていないことが結構多かった。一時停止して書き込むようにした。載せて欲しいと思った。それと、印刷教材の通りに進まないのが少し気になった（戻ったり、先に進んだりと行ったり来たりすることが多かった）。
- 仕方がないと思うが、印刷教材が白黒なので、カラーの方がわかりやすいだろうと思う内容があった。
- ロケ映像が以前のものに感じました。やらせではなく自然の中からそれを表現している映像は撮影が難しいとは思いますが、せっかく新しく編集するのであれば新しい映像を取り入れてはと思いました。
- 内容毎に問題があると、内容の定着や復習に役立つので、あったらいいなと思いました。
- もう少しテレビの時間が短いと集中して見れたのかなと思います。
- ゲストの演出の工夫。
- テキストの内容と放送授業の内容がどこのページなのかももう少しわかりやすく表記されていたら良いと感じました。
- 講師の話し方が気持ち悪いので改善すべき。
- 映像での授業は、身が入りづらかった。
- 時間の関係上、省略しているのが見受けられたので、そこはなくして欲しかったです。

【学部】「看護師資格取得」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
深く学ぶ(考える)ことができた	8		8
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	6		6
勉強になった	5		5
今後に役立つ内容だった	3		3
新しい知識が身についた	3		3
理解しやすかった	3		3
楽しかった	2		2
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1
視野が広がった	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材と連動して良かった	2		2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
講師が良かった	1		1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
理解しやすかった(放送授業)	1		1

【学部】「看護師資格取得」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1
例題・練習問題を増やしてほしい	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
図・表・写真・イラストが見づらい	2		2
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	2		2
色刷りにしてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目全体の内容・構成が良くない	2		2
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	1		1
演出が良くない、演出を工夫してほしい	1		1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	1		1
授業に興味・関心が持てなかった	1		1
授業各回の内容・構成が良くない	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 印刷教材:図・表・写真・イラストが見づらい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい

- 印刷教材:色刷りにしてほしい
- 資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい
- 例題・練習問題を増やしてほしい
- 放送授業:一講義の授業時間がよくない(長い・短い)

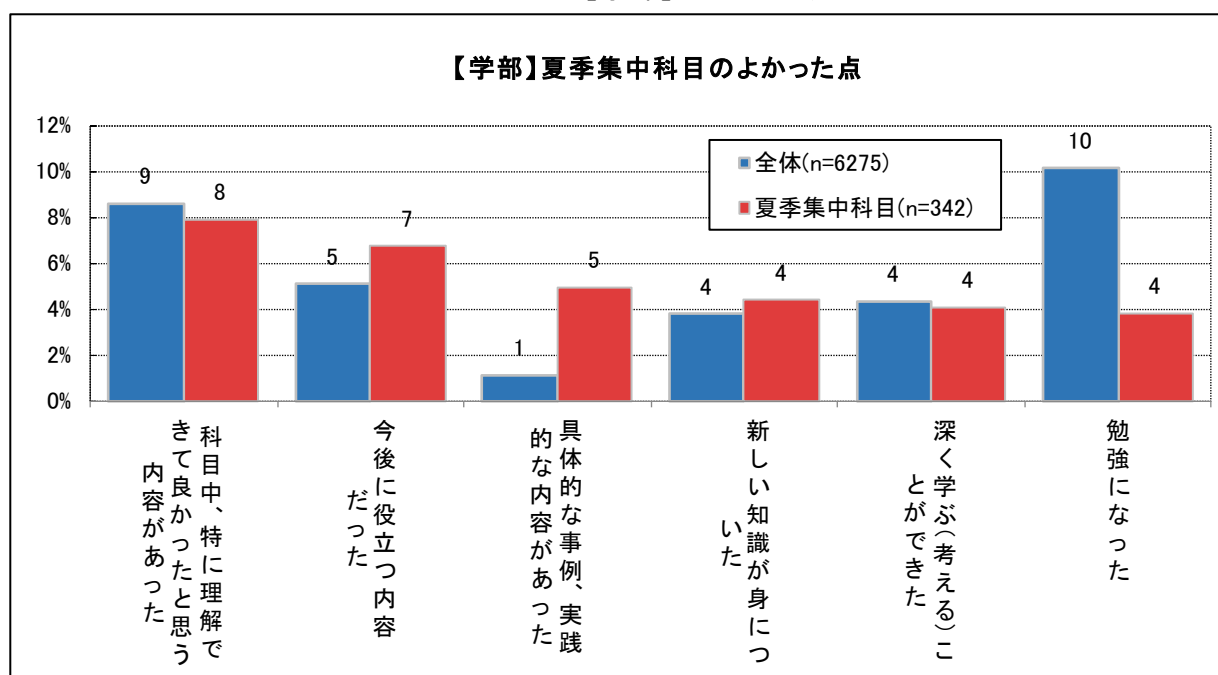
【学部】「夏季集中科目」の傾向

よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」、「今後に役立つ内容だった」、「具体的な事例、実践的な内容があった」が5%以上と高かった。

他に「新しい知識が身についた」、「深く学ぶ（考える）ことができた」、「勉強になった」が4%で続いていた。

図3-19 【学部】よかった点



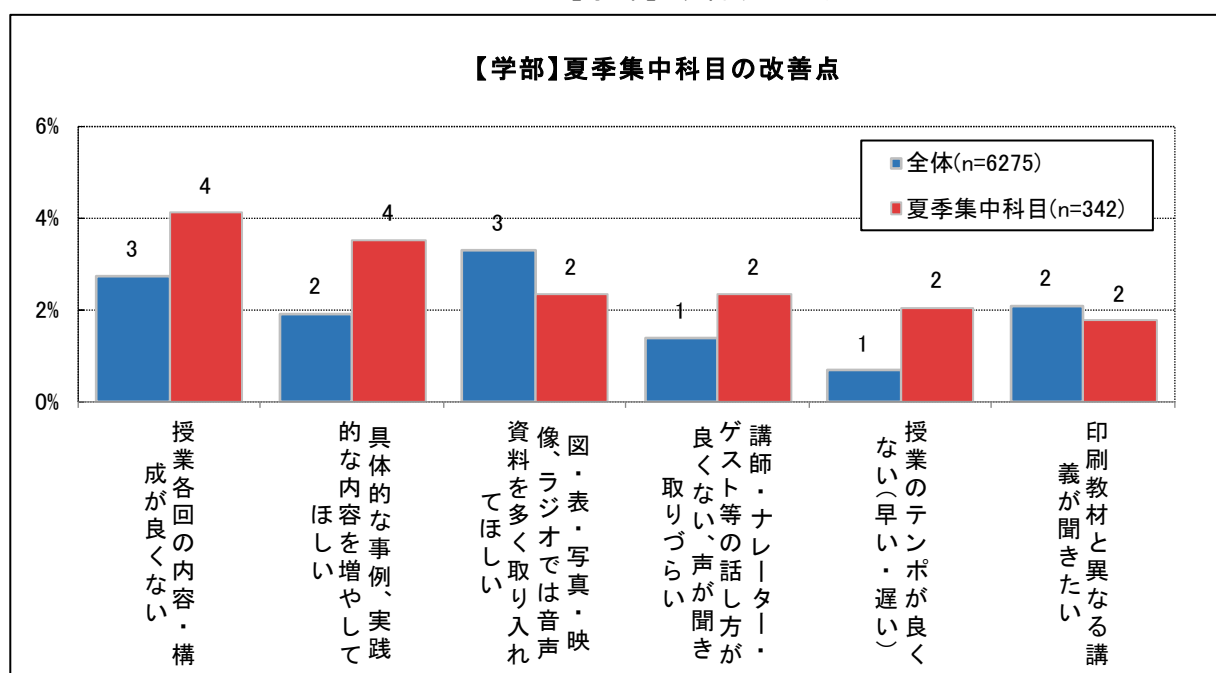
【学部】「夏季集中科目」の傾向

改善点

「授業各回の内容・構成が良くない」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が4%と高く、全体を上回っていた。

他に、「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」、「講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい」、「授業のテンポが良くない（早い・遅い）」、「印刷教材と異なる講義が聞きたい」が2%で続いていた。

図3-20 【学部】改善すべき点



【学部】「夏季集中科目」 抜粋

よかった点

- 学校の図書館が読書のための場だけでなく、学習や情報収集の場でもあることを知り、学校図書館の役割の広さを知ることができた。
- インターネットの仕組みや様々なメディアの特性を詳しく知れて、とても勉強になりました。生活や学習に直接使える内容だったので、役に立ったと実感しております。
- 実際の司書教諭の業務としての分類法や計画立案など、具体的に学ぶことができた。
- 写真で撮った画像から文章を抜き出す方法など新たな知識を得られた点。
- 学校図書館メディアの構成について理解がふかまった。
- 実際に図書館を運営するうえで最も実務的に必要な内容であったと思います。初めて知ることが多くて勉強になりました。
- 2人の子どもの育休中に資格取得をしようと思ったため、放送は全く聴ける状態ではありませんでしたが、夜中に起き出して、子どもの夜泣きの合間に頑張りました。スクリーニングなどがなく取得できるのがありがたかったです。こどもを預けるところがないため。
- 新しいコンテンツを知ることができました。操作の説明が画面上でおこなわれてわかりやすかったです。
- 小中高、特別支援とすべての校種の学校図書館を訪問してインタビューをされ、学校図書館活用の実践について深く知ることができた点。特に、「学習センター」としての学校図書館の機能については、探究学習の流れに沿って説明をしてくださり、大変よく理解できました。
- 件名と分類記号を与える実践の章は、印刷教材だけではちんぷんかんぷんだったので、映像を何度も止めて確認しながら進めることができた。
- 通信指導の手書きでのコメントが嬉しかったです。教員として忙しい中でもメリハリをつけて手をかけるところはかけていきたいと思いました。
- 講師の先生方の説明がわかりやすく、時折ユーモア(も私は感じました)も交えた例もあり、楽しく講義を視聴することができました。充実した15日間でした。ありがとうございました。
- 他の科目とも共通しますが、読書や図書館などについて体系立てて学べたのは良かった。
- 学校図書館に蔵書してある図書がどのように分類され、並べられているのか、基本的な部分を知ることができた。図書館を管理運営していく上で、図書司書としての仕事を学ぶことができた。
- 図書に関するさまざまなきまりやしきみを知ることができ、とても興味深い内容だったと思います。同時に、個人的には理解するのに難易度が高く感じられ、学習の基本として反復が重要だと改めて思いました。
- 専門的な知識を得ることができた。
- 日頃の授業での具体的な指導イメージを持つことができ、モチベーションがあがった。
- 図書館のいわゆる間接サービスの部分は大変興味があったので、前半は特に学んでいて楽しく感じた。
- 情報メディアの活用に関わる新しい情報や最新のツールをさまざまに知ることができました。実際の活用に至るまでにはまだまだ理解と習熟が追いついていませんが、活用に際しての留意点等を押さえつつ、努力していきたいと思います。
- 学校図書館の学習指導への活用の具体について視野が広がったこと。
- 教員のため、夏休み期間中に重なり、しっかりと受講することができた。
- とても難しかったが、充実した学習ができてよかった。
- 学校図書館のセンター機能の具体的な学習活動の実際が写真や図で掲載されていたことが、今、教職を離れている私には大変身近に感じられ、とても良かった。
- 印刷教材に、現場ですぐ使えるような資料が載っている事。

【学部】「夏季集中科目」 抜粋

改善点

- NDC分類法の実際について、もう少し具体的に放送授業で扱って欲しかった。学生・院生を使って、分類の際に陥りがちなミスや考え方などを具体的に示してもらえるとよく分かると思います。正解へのたどり着き方が、今ひとつ分かりませんでした。実際にありそうな間違いを例示してもらえると理解が深まりそうです。
- 放送では、印刷教材をもとに、現場における具体的な事例を知りたかったです。例えば、書籍だけではなく、多様な情報メディアを司書教諭や学校司書を中心として実際に管理・活用している学校等を紹介していただきたかったです。
- テレビ教材で、講師の説明がわかりづらく、特に音声聞き取りづらかった。具体的には全体に声が小さく、発音が不明瞭であり、わずかな時間でゆれるような強弱をつけた話し方でとても聞きづらかった。この点だけはぜひ改善してほしい。
- パワーポイントはポイントを押さえられていて非常に分かりやすかったのですが、文字情報は印刷教材もあるので、放送教材(テレビ)の特性を生かして、資料を参照する様子を映像で確認しながら解説を進める工夫があってもいいのではないかと思います。
- ソフトウェア等の説明が、初めて見る者にとっては、ペースが速かった。ただ、これは自分で実践してみないとわからないことなので、仕方ないのかな。
- スタジオでの説明は必要あるのだろうか。話していることはおおよそ印刷教材に書いてあるので、わざわざ話す必要性を感じなかった。
- 放送独自の内容(実践現場でのインタビューなど)が充実していてわかりやすく良かったが、印刷教材と内容の順序が違っているように感じることがありました。印刷教材に目を通してから放送を視聴するのが良いのでしょうか。
- 通信指導の設問で、印刷資料やビデオ映像を見てもどうしてもわからない問題が他の科目に比べて多かった。
- 単位認定試験のレポートもWEB提出がいい。
- 通信指導の問題に不備があった点は合否に影響はないということですが、時間をかなりかけてしまいました。問題のミスがなかったら、すぐに答えにたどり着けました。後になって授業連絡に載っているのを見ました。認定試験の追加情報については個々にメールを頂いたのですがすぐに気がつきました。試験に関する重要な事柄は個々にメールがいただけるとよいと思います。
- 日々情報は進化しているので、2年前に作成したこの印刷教材は、来年にはまた内容の更新・改訂が必要なのではと思いました。
- 放送大学というメディアを使った授業であれば、受講者側からもネット等で参加する双方向の授業にして実践的に行える取り組みをしてほしかった。
- 内容が非常に難しかった。学ぶべき内容が多いのかもしれないが、もう少し分かりやすいといいのと思った。(私の理解力が低いかもしれないが)。
- アプリやサイトの使い方が、見ただけでは、覚えられない。実際にやりながら、チェックしてもらいながら、できたら理想的。
- 例題をもっと印刷教材に載せて欲しい。
- 本年度の単位認定試験の問題が解答しづらい。図書館活用の評価については放送授業でも印刷教材でも触れられている分量が少ないと思う。また、職員会議での提案という想定が書きづらい。
- 通信指導の模範解答もなく、ポイントのみであったので、問題については模範解答まで示すくらい検討して出題してほしい。
- どうしても単調な進め方になってしまうので、演出に工夫が欲しいと感じた。
- 手書きにこだわる必要が感じられず、WEB提出やワード形式で印字した原稿を貼り付けることを認めて欲しいと考えます。
- 情報資源の分類に実際に携わっておられる司書教諭の方々のお話を聞く機会があっても、より興味が深まるのではないかと考えました。

【学部】「夏季集中科目」

よかった点

科目全般 意見	科目全般	
	テレビ	ラジオ 合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	27	27
今後に役立つ内容だった	23	23
具体的な事例、実践的な内容があった	17	17
新しい知識が身についた	15	15
深く学ぶ(考える)ことができた	14	14
勉強になった	13	13
受験・資格取得に役立った	7	7
体系的に学べた・理解できた	4	4
基礎的な知識が得られた	3	3
興味・関心が持てた	3	3
専門的な内容だった	3	3
学習意欲・知識欲がわいた	2	2
楽しかった	2	2
最新の情報・研究が学べた	2	2
視野が広がった	2	2
自分のペースで勉強できた	2	2
全体として満足している	2	2
小テスト・練習問題が良かった	1	1
内容・構成が良かった	1	1
理解しやすかった	1	1

(単位:人)

放送授業 意見	放送授業	
	テレビ	ラジオ 合計
パソコン上で実際にソフトを動かしながらの解説が分かりやすかった	6	6
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	6	6
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	6	6
講師の解説が分かりやすかった	5	5
ゲストを招いた授業が良かった、ゲストの話が良かった	1	1
メディアの特性に合った授業内容だった	1	1
講師が良かった	1	1
授業各回の内容・構成が良かった	1	1

印刷教材 意見	印刷教材	
	テレビ	ラジオ 合計
図・表・写真・イラストが良かった	2	2
良い教材だった	1	1

通信指導 意見	通信指導	
	テレビ	ラジオ 合計
指導内容・コメント・対応が良かった	6	6

【学部】「夏季集中科目」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	12		12
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	3		3
難しかった	3		3
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	2		2
通信指導、単位認定試験の原稿用紙の形式を統一してほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
授業各回の内容・構成が良くない	14		14
講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい	8		8
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	8		8
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	7		7
印刷教材と異なる講義が聞きたい	6		6
印刷教材の内容と異なる・連動していない	5		5
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	3		3
演出が良くない、演出を工夫してほしい	2		2
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
視聴手段を増やしたり、便利な機能、工夫がほしい	2		2
例題、演習問題を解きながら解説してほしい	2		2
システム面の改善が必要	1		1
インターネットでの視聴方法が分かりにくい・使いづらい	1		1
メディアの特性に合わない授業内容だった	1		1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1		1
字・図・表・写真・映像が見づらい	1		1

主な改善点の提案：集約

- 放送授業：授業各回の内容・構成が良くない
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業：図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい

(単位：人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
練習問題がほしい、増やしてほしい		2	2
印刷教材の形状が使いにくい	1		1
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい	1		1
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	1		1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話載せてほしい	1		1
文字が読みづらい	1		1
内容・構成が良くない	1		1
理解しにくい	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない	5		5
課題(問題)に誤りがあった	3		3
課題(問題)の解答・解答例・解説がほしい	2		2
手書きでなくWeb提出を認めてほしい	2		2
学習内容の理解・整理につながらない	1		1
通信指導の返却が遅い	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
単位認定試験のレポートもWEB提出がよい	3		3
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	2		2
試験内容が授業・印刷教材・通信指導の内容と異なった	1		1
通信指導や前学期と試験内容が同じだった	1		1
難易度を下げるべき	1		1
問題数が多かった・範囲が広がった	1		1

- 放送授業：講師・ナレーター・ゲスト等の話し方が良くない、声が聞き取りづらい
- 放送授業：授業のテンポが良くない(早い・遅い)
- 放送授業：印刷教材と異なる講義が聞きたい
- 通信指導：課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない

Ⅲ－２．学部（オンライン授業）

ここからは、各部オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

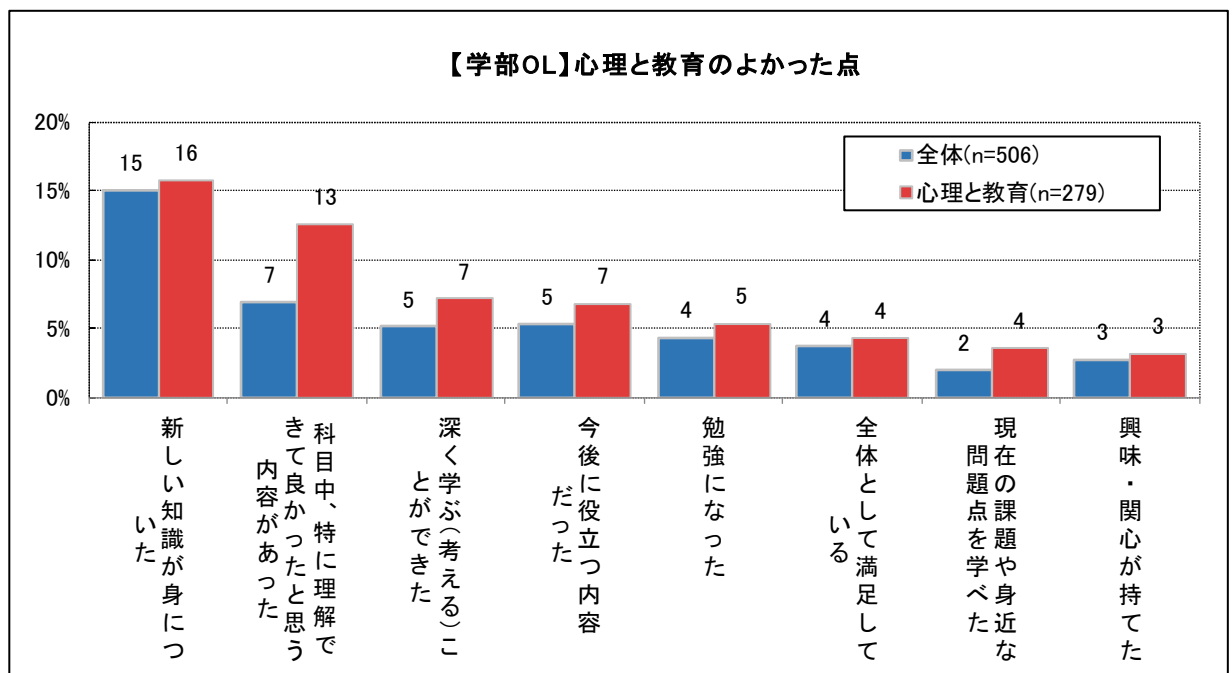
学部のオンライン科目については、科目別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点については、回答された項目が3%以上の場合、改善すべき点は、回答された項目が3%以上か、比率の高い上位5項目を掲載した。

【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」(16%)、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」(13%)、「深く学ぶ(考える)ことができた」(7%)、「今後に役立つ内容だった」(7%)が上位に挙げられていた。

図3－21 【学部 オンライン】よかった点



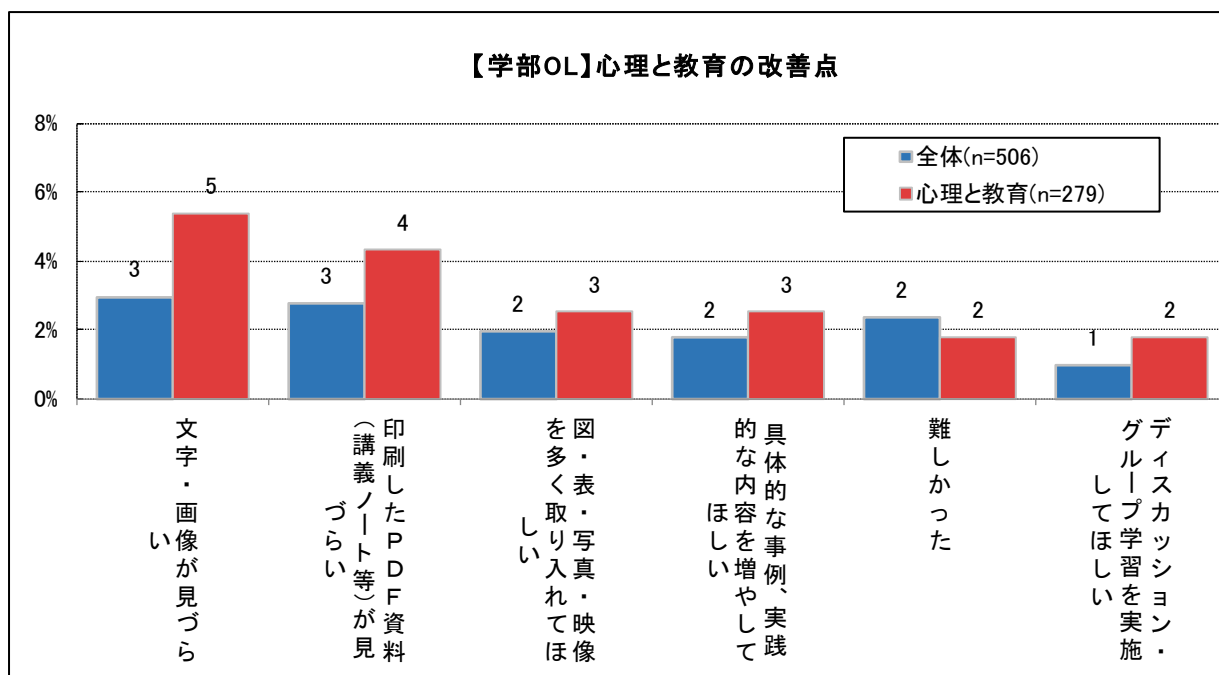
【学部 オンライン】「心理と教育」の傾向

改善点

「文字・画像が見づらい」(5%)、「印刷した PDF 資料(講義ノート等)が見づらい」(4%)など文字や画像の見づらさが多く、かつ全体より多く、「心理と教育」の特有な改善点であった。

他では「図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい」、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」などが3%以下で挙げられていた。

図 3-22 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

よかった点

- SDGs について耳にすることはあっても、どういう物かの理解をしていなかったのが今回授業を受けて少しでも理解することが出来たので良かったです。
- SDGs を実施するうえで教育の重要性がよく理解できた。ともすれば貧困国への教育支援のみスポットが当たりがちだったが、近年、国内の学校教育の教科書なども SDGs に沿ったものになっている点に気が付き、この講座を受けたが、その意義があった。
- SDGs について深く理解できたと思う。また、今後の生活にも影響する。自分の中で考えていた通りの点と改めなければいけない点が整理できました。
- SDGs を学ぶことで日本や世界での問題や課題について知らなかった部分を知ることができて今後の自分の生活に活かせる部分があったため。
- 最近 SDGs とよく見聞きするが、その内容はあまり詳しく知らなかったため良い勉強になった。
- SDGs の概要を把握していないと社会の目指す方向性を理解していないが故に、社会から取り残されたような感じがしていたので受講してよかったと思う。
- SDGs は今、最も注目されている課題である。ただ、そのことについて学習する機会がなかったので、タイムリーな学習機会となった。この課題を事業に活かすための知識としてこれを機に、学習を深めていきたい。
- 今迄以上に関心度が高まりました。以前より、意識していますし周りにも関心を高めてもらうように努めています。
- 近年話題となっている SDGs を、ESD という観点から検討することができ、教育についての最新の識見を得ることができたこと。
- SDGs のことについて視野が広がりました。これからも今回学んだことを発展させて、自分に出来ることは何かを常に問いかけながら生きてまいります。
- 中澤先生の講義が面白く印象的で、他の講義にも身が入った。普段 SDGs という批判的な声がネットのあちらこちらで盛り立てられ、強く大きな雑音であった。それが介在しない環境で SDGs について学べたことが最大の利点だったように思う。
- SDGs について概要は理解していると思っておりますが、細かい点についてはまだ勉強不足を感じておりました。図や補足説明でわからない点が解消されていくので、とても学習しやすいと感じます。
- SDG'S をより身近に感じるすることができた。
- SDGs と ESD が身近な対象にブレイクダウンされており、抽象的な用語になりがちなことが具体的に学べた。
- SDGs とはよく聞く言葉ではあるが、その実践については正しい情報にアクセスすることが難しいと感じていた。今回の講義で、事例を交えながらの解説は大変参考になった。
- レポートなどで調査・研究をする機会があり、座学だけでなく嬉しかったです。外に出て調査する機会を他の講義でも増やしてほしい。
- SDGs に対しリテラシーが深まり、会社や交友関係での SDGs への取り組みや考えに対し自発的に考えや意見を述べるようになったことは自身の成長や変化に良いものだった。
- 視聴教材などカラー図解で、わかりやすく箇条書き、写真、グラフ等わかりやすかった。

【学部 オンライン】「心理と教育」 抜粋

改善点

- スライドの文字が小さく見えない部分が多くあった。スマホやタブレットで拡大してみたが解像度が悪くなり文字がつぶれた。先生方が作って下さった貴重なスライドに、見えない部分があったのは大変残念だった。
- 印刷用の資料を今後も事ある事に見直したいのだが、資料の解像度が低過ぎるため拡大しても文字が読めない。下手な市販の書籍より遥かに良い内容なのに残念。今からでも高解像度版をダウンロード出来る様にしていきたい。
- 静止画の文字だけを流して何のための放送大学のオンライン授業なのか！？普通の映像を流せばいいのと思う。
- まだ 3 回より先に進んでいないので、なんとも言えませんが、一つの国の例だけでなく、まったく違う環境の国や都市などを並べて比べていただくと、とても理解しやすいのかなと思いました。
- 第 12 回が難しかった。文化の視点からの SDGs と教育のつながりが動画や資料からもわかりづらいと感じた。
- 可能であればディスカッションも行い、ほかの方たちとの意見の交流があればと感じました。
- 女性の講師がいなかったことや、学校教育の場でジェンダー問題があまり扱われないことを指摘している場面があったにも関わらず、この科目においてもジェンダー問題に特化した回がなかったことには疑問を感じた。一応ジェンダー問題に言及した回もあったが、全体的には男女の二元論的な傾向の強い説明になっていたことにも違和感があった。
- レポートに苦戦した。特に 1 2 文化遺産 文献調査に加え 現地調査 インタビュー等今住んでいるところがずっと住み続けているわけでない人もいる。現地に足を運ぶにも足（公共交通機関）と時間を要した。文化遺産を 4 つの視点で捉えなおすというところで、2 つ 3 つは当てはまっても 4 つあるものを探すのに苦戦した。国際協力・国際交流が鬼門であった。受け入れるということより発信するという方向にもっていき何とか提出に至った。1 2 回の内容と先生のご講義はとても分かりやすくよかった。このレポートに関してだけこの科目を選択したことを後悔した。
- 動画再生が何度も止まって、勉強できない日があった。ネット環境や通信速度などを確認したが問題なく、おそらく配信側の問題と思う。
- 途中から授業の内容や説明に重なりがあるのを感じた。スライドを印刷して読めば十分理解できるので聴くことに面白みを感じられなくなり 1/3 を過ぎたところで授業から脱落した。
- 第 9 回は他の回に比べて視聴メモの記載事項が少なく、口頭で説明された内容を調べる必要がかなりあった。
- ESD に重点が置かれすぎている気がする。もっと広く知りたいと思った。
- まだ発展途上の課題だと思います。これからの世界情勢などで、これから先様々な変容があるでしょう。科目内容の改定などでより充実した内容になっていくと思うので、今の時点で大満足の内容とは言うことができません。
- レポートを提出する際に、タイトルや拡張子や文字コードで少し悩んだ。
- 1 つの画面の中で、複数の図が書かれていると、どうしても一つが小さくなってしまい、文字が見にくいところがあった。その場合は、その引用元である Web ページを見て、調べたりした。

【オンライン学部】「心理と教育」

よかった点

科目全般	
意見	合計
新しい知識が身についた	44
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	35
深く学ぶ(考える)ことができた	20
今後役立つ内容だった	19
勉強になった	15
全体として満足している	12
現在の課題や身近な問題点を学べた	10
興味・関心が持てた	9
最新の情報・研究が学べた	6
具体的な事例、実践的な内容があった	4
視野が広がった	4
身近に感じられる内容だった	4
理解しやすかった(科目全般)	4
自分の意見・考えを持てるようになった	2
学習意欲・知識欲がわいた	1
楽しかった(科目全般)	1
基礎的な知識が得られた	1
体系的に学べた・理解できた	1

(単位:人)

設問解答	
意見	合計
レポート作成が楽しかった	2
課題(問題)の難易度・分量が適切だった	1

オンライン教材	
意見	合計
良い授業だった	4
講師の解説が分かりやすかった	3
図・表・写真・映像があるので内容が理解しやすかった	2
オンラインの特性が活かされていた	1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
講師の話し方が良かった	1
内容・構成が良かった	1

【オンライン学部】「心理と教育」

改善点

科目全般	
意見	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	7
難しかった	5
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	2
内容・構成が良くない(科目全般)	2
期待していた内容ではなかった	1
現実に生かせる内容にしてほしい	1
内容が専門的で難しかった	1
内容の詰め込みすぎ	1

講義ノート・テキスト	
意見	合計
文字・画像が見づらい	15
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい	12
内容を充実させてほしい	3
オンラインであっても冊子のテキストが必要	1
講義ノート・テキストを印刷するのは大変	1

設問解答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	4
レポート提出の方法がわかりにくい	2
レポートにコメントを記載してほしい	1
レポート提出が少ないとよい	1
各問題の解答・解説がほしい	1
出題の仕方が不適切だった	1
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	1
小テスト・練習問題に誤りがある	1
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	1
練習問題・資料は印刷可能な形にしてほしい、必要分だけ出力したい	1

(単位:人)

設問解答	
意見	合計
図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	7
ディスカッション・グループ学習を実施してほしい	5
講師の解説・指導が良くなかった	4
システム面の改善が必要	3
内容・構成が良くない(オンライン教材)	3
文字・図・表・写真・映像が見づらい	2
1講義の収録時間が良くなかった	1
オンラインの特性が十分に活かされていない	1
学習の進捗状況がわかる画面がほしい	1
講師・ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)	1
講師の声聞き取りづらい	1
理解しにくい	1

主な改善点の提案:集約

- 講義ノート・テキスト:文字・画像が見づらい
- 講義ノート・テキスト:印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 設問解答:図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい
- 設問解答:ディスカッション・グループ学習を実施してほしい
- 難しかった
- 設問解答:講師の解説・指導が良くなかった

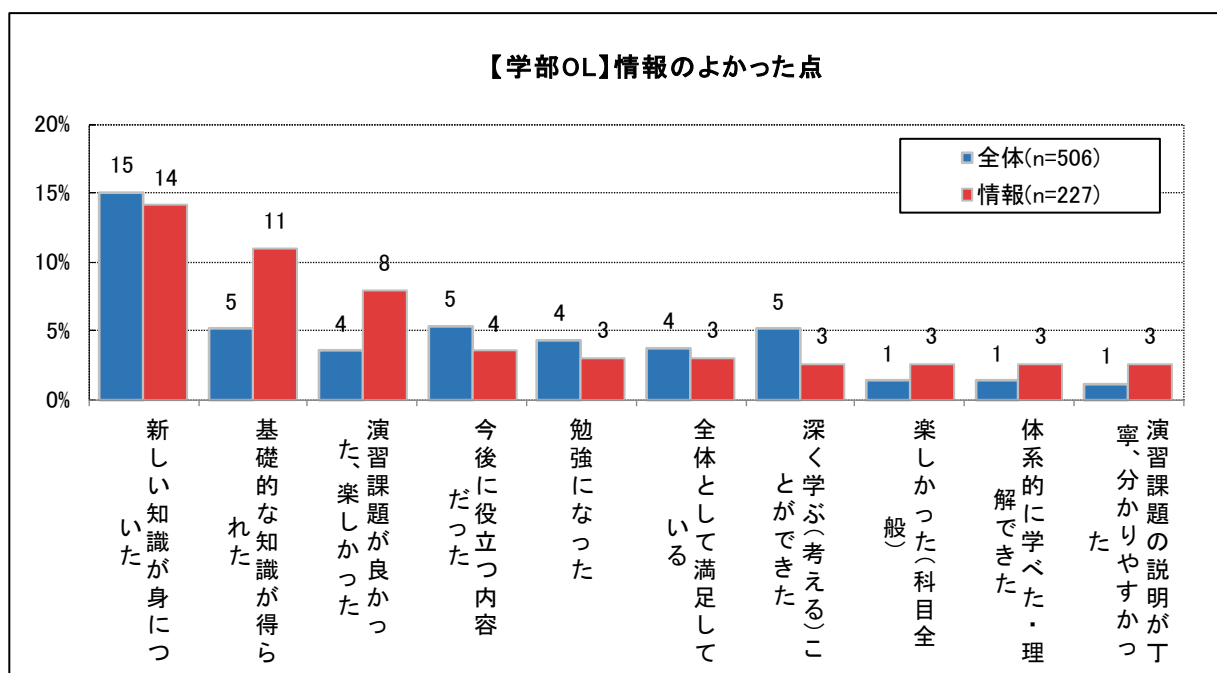
【学部 オンライン】「情報」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」(14%) ことが最も多く、「基礎的な知識が得られた」(11%)、「演習課題が良かった、楽しかった」(8%) がこれに続いていた。

「基礎的な知識が得られた」、「演習課題が良かった、楽しかった」は全体との差が大きく、「情報」特有のよかった点であった。

図 3-23 【学部 オンライン】よかった点

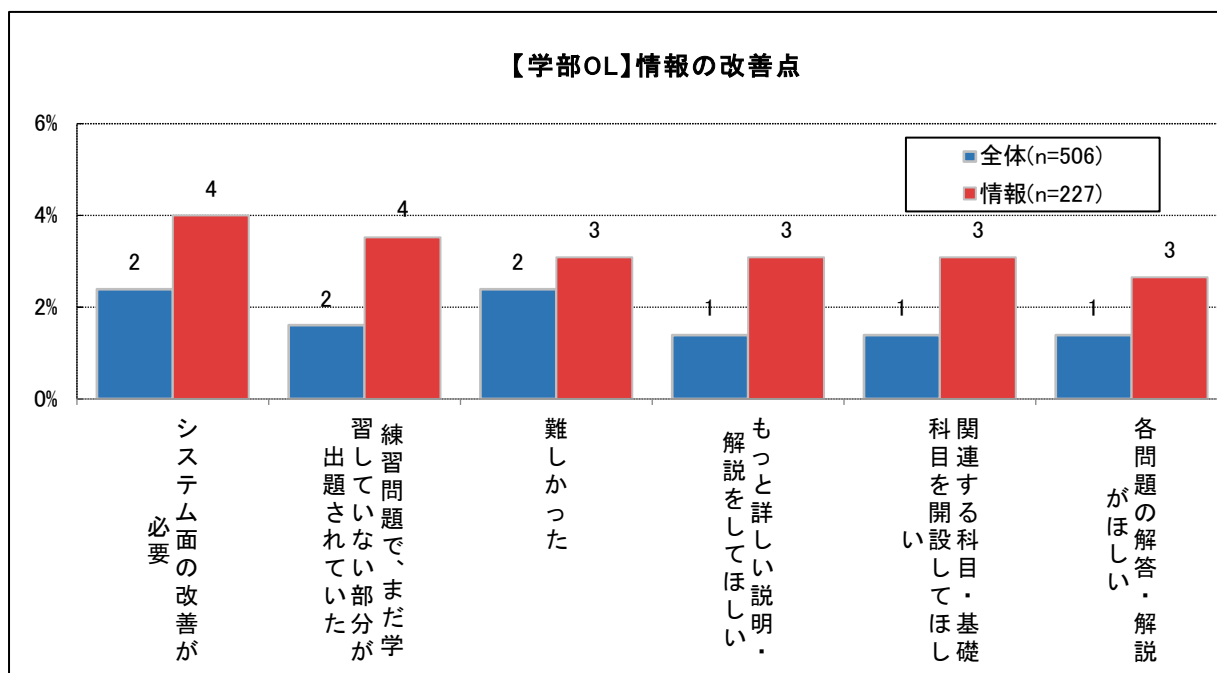


【学部 オンライン】「情報」の傾向

改善点

「システム面の改善が必要」、「練習問題で、まだ学習していない部分が出題されていた」がそれぞれ4%と最も高く、「難しかった」、「もっと詳しい説明、解説をしてほしい」、「関連する科目・基礎科目を開設してほしい」、「核問題の解答・解説がほしい」がそれぞれ3%で続いていた。

図3-24 【学部 オンライン】改善すべき点



【学部 オンライン】「情報」 抜粋

よかった点

- これまで習ってきた情報処理についてのおさらいとして受講した科目だったが、復習としても、認識を改める意味でも、新たな知識を得ることができて、とてもためになった。範囲としては広くそこそこ深くといったところかも知れないが、情報処理の主だった技術を知るには必要十分な内容だったと思う。
- 3DCAD について一から丁寧に学べて大変良かったです。普段は仕事で 2 次元 CAD を使い、建築設備の図面を描いていますが、3 次元 CAD でこんなに色々な作業が出来るんだと驚きました。
- 演習課題の 3 次元物体形状を造る作業がとても楽しかったです。指示通りに進めれば誰でも同じものが出来上がる体験をしました。何度か試行錯誤を繰り返して自分なりの工夫もできました。今後はゼロから新たな 3 次元形状造りに挑戦したいです。演習で使っていない他の機能も試してみたいと思います。何より創造する喜びが大きい科目でした。
- OpenCV を使ったプログラムを動かしたり、修正したりしたことで従前よりも画像処理に関する理解を深めることができた。卒業研究にも役立ちそうである。
- GoogleColabo に親しむことができて、大変勉強になった。今回の授業で取り扱われている内容は、画像処理の高度な部分であったので、直接使うことはできまかったが、Python の環境として有効に利用したい。
- 3D CG ソフトの使い方については Youtube の動画や書籍で解説がたくさん出ているが、原理を説明したものは他に知らないのが貴重でした。専門学校とかに行くと高額なので、趣味でやりたい人にはありがたい内容でした。フリーソフトの Blender を使っているのも費用がかからずに済みます。
- 科目名のイメージと内容が少し異なっていましたが、これまで自学にて行っていた内容がまとめられていたので受講して理解が深まりとても役立ちました。受講して良かったと思います。Python の学習に少し苦労しましたがある程度理解できたと思います。
- デジタル情報について知ることができました。難しすぎず、楽しめました。
- 私は仕事で CG を扱っていますが、どうしても知識が断片的で偏りがちだったため、授業を通して体系的になぞることができ、とても助かりました。
- CG は初めてで、最初は戸惑ったが、演習が丁寧に説明されていてわかりやすかった。
- 3DCG に興味をもてるようになりました。早速、Blender に関する本を 2 冊買って、入門書から始めています。
- GIMP(フォトショップ並に何でもできる。しかも無料)を用いて、Mac の画面で実際に動かしながら解説してくださり、とてもよく理解できました。
- 以前、3DCG に挑戦をして、その時はあまりにも難しくて断念した事があります。今回の授業では、モデリングの方法やオブジェクトの表面の光の反射屈折透過などでの質感の変化など、論理的且つ詳しい説明でとても分かり易かった。今後も 3DCG の勉強は続けて、更にステップアップしたいと思います。
- 最新のコンピュータビジョンの技術の概要を知ることができた。
- 自分でいろいろなCGに挑戦してみようと意欲がわいた。
- 講義の合間に、小テスト、演習、インタビュー映像が適度に織り交ぜられており、飽きさせない構成になっている点が良かったです。おかげさまで、楽しく学習することができ、技術の歴史や知識と、近代的なツールの具体的な使い方の一部を同時に知ることができました。ありがとうございます。
- フォーラムを通じた講師の先生のレスポンスも十分で、孤立を感じることはなかった。仕事の関係で受講しましたが、とても有意義でした。ありがとうございました。

改善点

- 講義スライドを倍速で視聴できるとよいです。または、講義スライドのスク립トを読める形で開示して下さると、隙間時間で学ぶことができ助かります。
- 確認問題のうち、次のセクションで取り扱う分野の問題が紛れ込んでいて（出題ミス？）、解きづらい場面があった。新科目ならではの現象と思い、今後の改善に期待したいと思います。
- 紛らわしい専門用語が多く、混乱してきた中で講義を進めていったために最後の数回の講義内容は少し難しく感じました。
- 各章ごとに現在の最新技術の課題とそれに対する取り組みについての説明が有ると良かった。
- コンピュータビジョンを構成する分野は多岐に渡り、本講義ではそれらの分野の基礎を外観しました。しかし、具体的なレベルでそれらの基礎知識がどのように融合してコンピュータビジョンを実現するのかの講義はありませんでした。（概要レベルではありました。）そこで、次のステップとして具体的なレベルでそのあたりを学びたいです。
- 解説コメントは、正解を復唱するだけでなく、何か $+\alpha$ な情報や不正解選択肢についての補足などがあると、勉強になりそう。（もしかして、誤答で提出すると違う解説文が付くのですか？）
- OpenCV 画像処理の前半部分と、深層学習で画像認識する後半部分の関連性が薄く感じられたので、科目を分割したほうがよいかもしれません。個人的には後半部分の内容をもっと厚く（顔認識などを演習に入れる等）してほしい気がしました。
- Blender の演習がもっとあってもよいと思いました。
- 知識や技術そのものについて解説する講義内容と演習課題にやや隔たりを感じる。やむを得ない部分もあるが、もう少し相互補完的な関係にあるとより理解が深まると思った。
- さらなるスキルアップのための参考書籍等の情報をご案内いただけると更によかった。
- 講師としてのレベルについて、自己能力の理解度と説明技法不足。オンラインで説明ができないのに無理に行っている。
- 内容が盛りだくさんだったため、ついていくのがちょっと大変に感じました。課題への向き合い方がわからないまま、ただ実行するだけになってしまったため理解が浅く、しかもそのことに自覚が持てないまま演習課題をすることになり、そこで初めて自分の理解できてなさに向き合うことになってしまってやりたいと思ったことを実装できなくて悔しい思いをしました。でもこれは科目の改善点というより私の課題かなと思います。
- 演習課題の問題設定が曖昧で、問題の意図を汲み取ることに苦慮した。例えば、グラフは画像に入るのか？一つの画像ファイルに複数の画像を入れてもよいか？ソースコードの添付により評価は変わるのか？用意すべき画像の指針は？画像の内容、入手経路、所有権等。
- もっと動画の資料があると分かりやすかったと思います。（静止画だけだとわかり辛い事があった）
- 小テストの解説をもう少し詳しくしてくれるとより分かりやすくなると思います。
- WEB 画面を紙出力した際、ヘッダーが邪魔になって文字が読めない個所を対処していただきたい。
- 各章でより具体的な内容・実装方法についても触れてほしかった。
- 理論より使い方を重視してほしかった。
- 演習課題の「独自の工夫」について、何を独自と考えるのか、先に例を示された方が良いかと思いました。途中で先生の説明があって「なんでもあり」と理解し、結果的には思いついたことを全て実現するために色々な技を研究することにつながりましたが、中には時間の取れない学生さんもおられると思います。例示があれば安心して演習に取り組めるのではと思います。
- 練習問題や小テストの問題数が少ないため、ごくごく一部しか問われていないので、問題数を増やしてもう少し幅広く問うてくださるとよかったです。
- 動画再生ボタンと画像説明がわかりにくい(当方、視覚障がい者)

【オンライン学部】「情報」

よかった点

科目全般	
意見	合計
新しい知識が身についた	32
基礎的な知識が得られた	25
今後に役立つ内容だった	8
全体として満足している	7
勉強になった	7
楽しかった	6
深く学ぶ(考える)ことができた	6
体系的に学べた・理解できた	6
興味・関心が持てた	5
学習意欲・知識欲がわいた	3
交流フォーラムが良かった	3
最新の情報・研究が学べた	3
視野が広がった	2
専門的な内容だった	2
理解しやすかった	2
自分のペースで勉強できた	1
身近に感じられる内容だった	1
知識の整理に役立った	1

(単位:人)

設問解答	
意見	合計
演習課題が良かった、楽しかった	18
演習課題の説明が丁寧、分かりやすかった	6
レポート作成が楽しかった	1
課題(問題)の難易度・分量が適切だった	1
オンライン教材	
意見	合計
パソコン上で実際にソフトを動かしながらの解説が分かりやすかった	5
理解しやすかった	5
内容・構成が良かった	3
設問解答・小テスト(確認テスト)等と連動していて良かった	2
良い授業だった	2
オンラインの特性が生かされていた	1
ポイントがつかみやすかった	1
楽しかった	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1
講師の解説が分かりやすかった	1
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
手話通訳・字幕が良かった	1
聞き手・アシスタントが良かった	1

【オンライン学部】「情報」

改善点

科目全般	
意見	合計
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	7
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	7
難しかった	7
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい	5
内容の詰め込みすぎ	4
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2
内容・構成が良くない	2
期待していた内容ではなかった	1
講義内容と科目名に乖離がある	1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1
授業科目案内は内容が不十分だった	1

(単位:人)

オンライン教材	
意見	合計
システム面の改善が必要	9
内容・構成が良くない	5
講師の解説・指導が良くなかった	4
図・表・写真・映像を多く取り入れてほしい	3
操作・説明がわかりにくい	2
オンラインの特性が十分に生かされていない	1
聞き手が良くなかった	1

主な改善点の提案:集約

- オンライン教材:システム面の改善が必要
- 設問解答:練習問題で、まだ学習していない部分が出題されていた
- もっと詳しい説明・解説をしてほしい
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 難しかった
- 設問解答:各問題の解答・解説がほしい
- 参考文献・補助教材・問題集を紹介、発刊してほしい

講義ノート・テキスト	
意見	合計
印刷したPDF資料(講義ノート等)が見づらい	2
オンラインであっても冊子のテキストが必要	1
内容を充実させてほしい	1

設問解答	
意見	合計
練習問題で、まだ学習していない部分が出題されていた	8
各問題の解答・解説がほしい	6
演習課題がもっとあるとよい	5
講義内容と演習課題に隔たりを感じる	5
課題の難易度・分量が適切ではない	4
小テスト(確認テスト)の解答・解説に不満がある	3
出題の仕方が不適切だった	2
小テスト・練習問題の問題数を多くしてほしい	2
演習課題で困った際のリカバリー方法があると良い	1
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	1
練習問題・資料は印刷可能な形にしてほしい、必要分だけ出力したい	1

Ⅲ-3. 大学院（放送授業）

ここからは、全体との比較で当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

大学院については、専攻プログラム別（中区分）の自由記述の集計結果から、よかった点は、当該科目について回答された項目が5%以上となったものを掲載した。

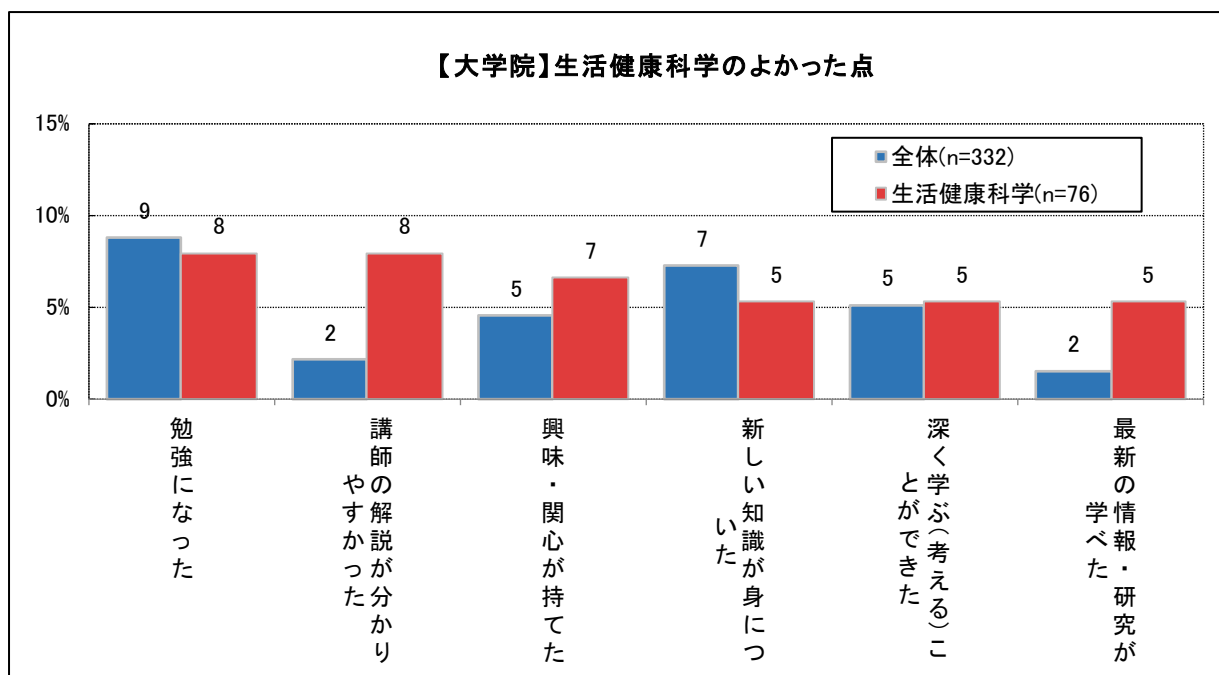
改善点は、当該科目について回答された項目のうち、5%以上、または上位5項目について掲載した。

【大学院】「生活健康科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「講師の解説が分かりやすかった」がそれぞれ8%と最も高く、次いで「興味・関心が持てた」が7%で続いていた。「講師の解説が分かりやすかった」は全体との差が大きく、生活健康科学の特徴的な項目となっている。

図4-1 【大学院】よかった点

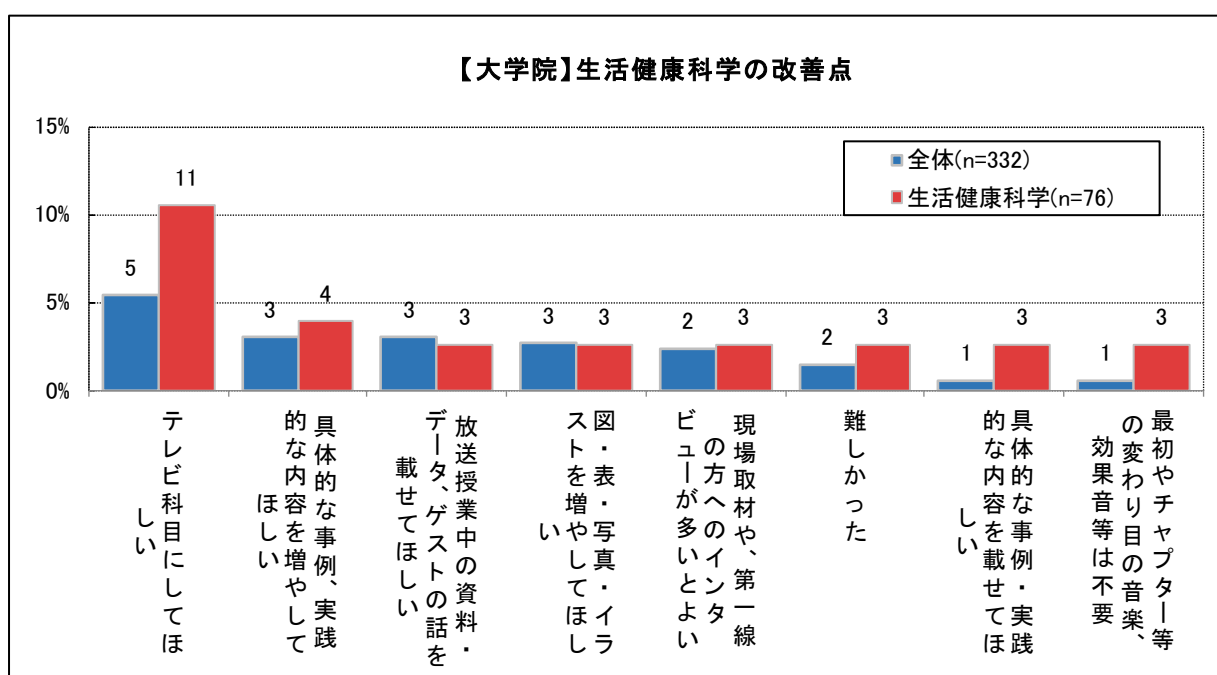


【大学院】「生活健康科学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」が11%と最も高く、また、全体との差が大きくなっていった。そのほかでは、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」が4%で続き、「放送授業中の資料・データ、ゲストの話を読んでほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」といった『印刷教材』に関する意見や「現場取材や第一線の方へのインタビューが多いとよい」「難しかった」、「具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい」「最初やチャプター等の変り目の音楽、効果音等は不要」がそれぞれ3%で続いていた。

図4-2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「生活健康科学」 抜粋

よかった点

- 現職の心理職です。知識をアップデートしようと思って受講しました。先生方の説明が大変聞き取りやすく、基礎的な事柄から新しい内容まで大変充実した内容で学習しがいがある科目でした。
- 先生の説明がとてもわかりやすく引き込まれた。精神医学の専門でない者への配慮に加え、現場や最新の情報を伝えようと考えて下さっている様子がよくわかった。
- 精神医学について、興味関心が高まりました。今後も勉強を続けていきたいと思います。
- 精神疾患とその治療について最新の情報を得ることができました。
- 知らなかった事や興味深い内容が学べて良かった。
- 精神的な疾患は身近に多く存在し、自分自身の不安症への理解も深まった。家族にも発達障害的な行動があり、今後も見たい。
- 「うつ病の患者を励ましてはいけない?」「がんばれと言っではいけない」という半ば常識化したフレーズは誤りである。(Page135)のように、既成概念を破り、専門家といわれる人々が言ってきたことを鵜呑みにしてはいけないことがわかって、反省するとともに、これからの学習姿勢に少なからず用変化がありました。石丸先生の講義にはこのような個所が多くあり、目を開かれました。よかったです。
- 駆け出しの精神科医として、基本的知識の勉強を改めてしたくて受講しました。なかなか放送教材の方は初めの方しか聞けませんでした。印刷教材は読み応えがありました。
- 精神医学に関して最低限の必要な知識は得られたと思えた。
- 普段の仕事で、精神疾患や発達の問題を話題にせざるを得ない相談業務をしているので、言葉で聞く疾患名と特性が概要であってもわかり、理解が深まったように思います。
- 統合失調症に対する理解が深まり、また試験の結果も納得がいく結果となりました。大変満足しています。
- 体系的な理解が深まった。
- 現場の人の声を聞くことができ、イメージして学ぶことができました。
- 先生がとても丁寧な言葉遣いであり、また講義を通じて、学生に対して理解して欲しいと願う熱意を強く感じるものでもありました。受講できましたこと、心より感謝です。
- 豊富な参考文献紹介により、文献調査や研究意欲の湧く構成でもあった。
- 精神疾患の多彩な症状や経過、診断、治療等について理解を深めるとともに、精神医学の歴史や人類学的な視点を学び、精神医学の奥深さや広がりを感じることができました。生物-心理-社会の観点から精神疾患を見つめることで、更なる学びへの可能性に開かれていく思いがします。
- 視野がひろがった。
- 放送授業の内容がとても興味深く、また楽しく聞くことができました（同じ職場の人にも内容を伝えたりもしました。へー！と思うことが沢山あったので。）。
- 図表もわかりやすかった。
- 放送授業では、石丸先生と広瀬先生とのお話のやり取りがとても興味深く、大変楽しく拝聴することができた。
- 素晴らしかった。
- テキスト内容は分担されている先生によって若干難易度がありましたが、理解できるものでした。さまざまな角度から人権を取りあげている点は、今日的な課題とも繋がり、有意義に受講させていただきました。
- こ通信指導の添削のコメント量は、他科目と比較すると段違いに多く、その文面から石丸先生の熱意をとて感じられたことで、こちらの学びへのモチベーションの維持に多いに役立った。石丸先生、ありがとうございます！！
- 試験の回答が温かく、嬉しく感じました。個別でメッセージをいただけたこと感激いたしました。

【大学院】「生活健康科学」 抜粋

改善点

- ラジオ科目は視覚情報が提供されない分、集中して聞き取り必要に応じてメモを取るなどの利点もある。しかしながら、社会人が隙間時間を利用しながらの学習では映像科目へ統一頂くことで更なる理解の促進と効率的な学習に繋がると感じた。
- 事例が多くあれば理解がしやすいと思います。
- 少しは理解が深まったようには思いますが、難しかったです。
- 幅広い分野なので、15回でまとめるのは大変であろうと感じました。改善ということではないですが、今後も現役の先生との対談など、臨床現場の生のお話はぜひ入れて欲しいです。
- ラジオ放送において、最初の音楽や、途中の効果音など、講義以外の部分は、極力短くして欲しいです。・特に、最初の音楽は不要です。作る側としては、音楽を付けないと番組を作った気になれないのですが、聴く側としては、全く不要どころか邪魔なだけです。・作る側も、費用&時間を節約でき、聴く側も、労力&時間を節約でき、ウィン・ウィンだと考えます。
- 症例を増やして欲しい。
- 印刷教材は全体的に文字が多いため、後日確認をしたく、索引から探すのが大変だった。
- ゲストとの会話の内容も印刷ないし、オンラインで文字として残していただくと後学のために役立ちます。
- 心理系はラジオ科目も減らさないでほしい。
- 精神医学は内容が多岐に渡るため、全15回だけでなく、もっと回数を増やしてもよいのかもしれないと感じた。
- 高齢化社会が進展する中で、認知症が話題になります。認知症の診断に関して、とくに科学的な診断方法が今後期待されます。
- 医学関連の書物は高価なものが多いので、一般的な人にも入手が容易な書籍を紹介していただくと嬉しいです。
- 心理系科目の改訂頻度をもう少し多めにしていただきたい。
- 放送大学の専任の先生が担当されていたら、将来的に論文指導を受ける時にもっと役立つのではないかと感じた。
- 一講義の時間が長いのでもう少し短い方が集中しやすいと思います。
- 教材とのリンクをより分かりやすくしてほしい。
- 自然ときりはなすことが出来ない、生活態度が必要である例えば眠らない大都会、夜間労働、AIとの兼ね合いなど問題が山積されていると思う、このような点を、精神医学の問題としてゲストの方々と学習の工夫をお願いいたします。
- 学生との対話の時間を設けてみてはどうでしょうか。
- 放送中に出てきた、例えばILOの看護職員条約等について、放送大学附属図書館に参考文献が用意されていたり、関連するホームページがあれば、そのURLが印刷教材に載っていたりしたら、興味を持った学生は、もっと自分で調べられると思う。
- 印刷教材の方が新しくなってラジオの方が古いままなのか、教材のページ数が合わない点があったように思います。
- 可能な範囲で、映像科目で使用されるような要点を纏めたスライド資料の提供があるとよい。授業関連タブ内から履修科目に限り資料をダウンロードできるシステムがあると、テキストや講義の要点を振り返る際にも役立つと感じた。
- 放送授業の親しみやすさや新鮮さに比べ、印刷教材は一般的な情報が多いような感想をもちました。
- 通信指導の課題が他教科よりも難しく感じた。
- テストの設問が少なすぎる気がします。もう少し問題数の多い方がやりごたえあると思います。

【大学院】「生活健康科学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	6		6
興味・関心が持てた	5		5
最新の情報・研究が学べた	4		4
新しい知識が身についた	4		4
深く学ぶ(考える)ことができた	4		4
基礎的な知識が得られた	2		2
今後役立つ内容だった	2		2
全体として満足している	2		2
体系的に学べた・理解できた	2		2
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	1		1
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
視野が広がった	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説が分かりやすかった	6		6
講師が良かった	3		3
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
講師の熱意・熱心さが伝わった	2		2
楽しかった	1		1
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	1		1
対談形式の授業が良かった	1		1
良い授業だった	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		3	3
理解しやすかった		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
コメント・対応が良かった		1	1

【大学院】「生活健康科学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	3		3
難しかった	2		2
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1		1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
参考文献・補助教材・問題集を紹介、発行してほしい	1		1
資料・データ・映像・内容が古い、改訂してほしい	1		1
放送大学専任の講師の講義がよい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目にしてほしい	8		8
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要	2		2
一講義の授業時間がよくない(長い・短い)	1		1
印刷教材の内容と異なる・運動していない	1		1
科目全体の内容・構成が良くない	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい		2	2
図・表・写真・イラストを増やしてほしい		2	2
放送授業中の資料・データ、ゲストの話の載せてほしい		2	2
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい		1	1
誤植がある		1	1
追加情報・追加教材がほしい		1	1
内容が浅い・少なすぎる		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
難易度を上げるべき		1	1
問題数が少なかった		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい

- 放送授業:最初やチャプター等の変わり目の音楽、効果音等は不要
- 印刷教材:具体的な事例・実践的な内容を載せてほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話の載せてほしい

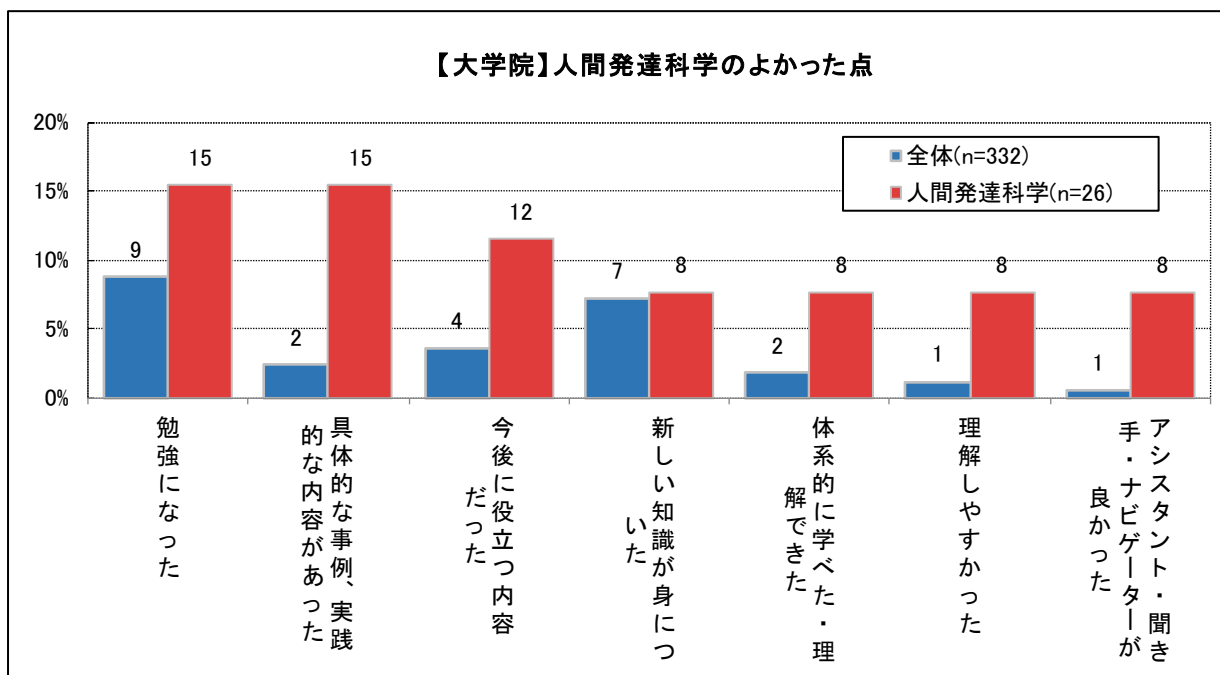
【大学院】「人間発達科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「具体的な事例、実践的な内容があった」がそれぞれ 15%と最も高く、次いで「今後役に立つ内容だった」が 12%で続いていた。「具体的な事例、実践的な内容があった」は全体との差が大きく、人間発達科学の特徴的な項目となっている。

上記以外では、「新しい知識が身についた」「体系的に学べた・理解できた」「理解しやすかった」「アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった」がそれぞれ 8%で続いていた。

図 4 - 3 【大学院】よかった点

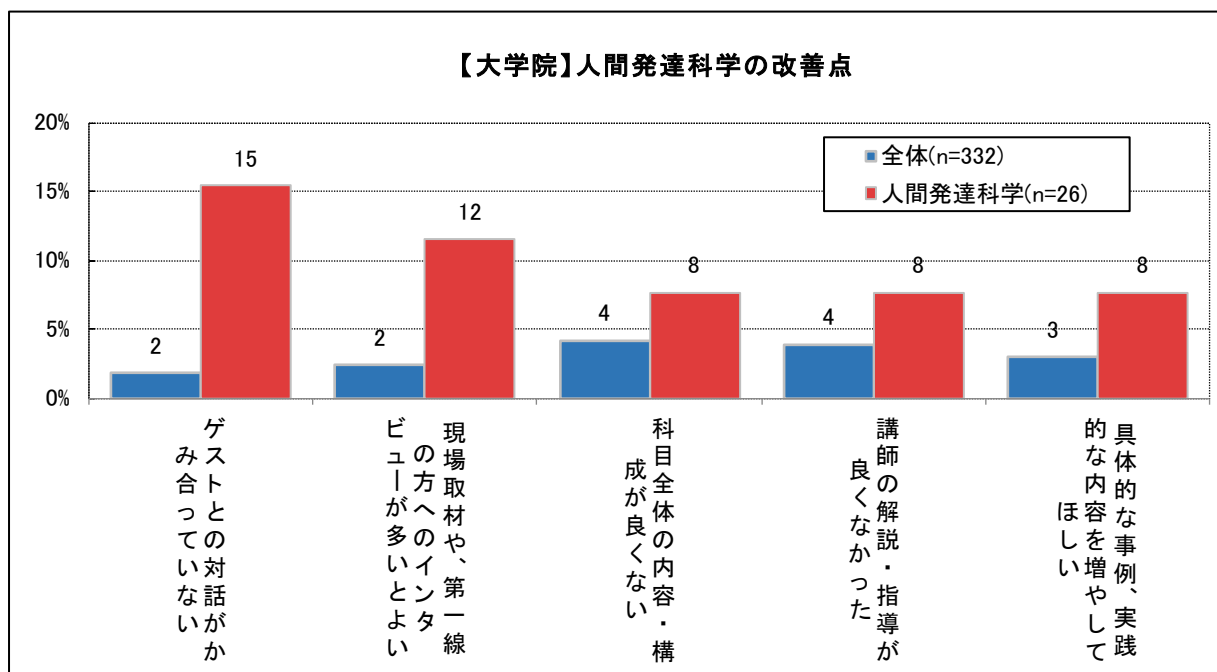


【大学院】「人間発達科学」の傾向

改善点

「ゲストとの対話がかみ合っていない」が15%と最も高く、また、全体を大きく上回っていた。そのほかでは、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」が12%で続き、「科目全体の内容・構成が良くない」「講師の解説・指導が良くなかった」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」がそれぞれ8%で続いていた。

図4-4 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人間発達科学」 抜粋

よかった点

- エイジングをポジティブに捉え、高齢期を前向きに生きようとした地域の取り組みなどが知り得て良かった。
- 受講するまでは、高齢者が教育を受けることに関する学問だと思っていたが、学習を進めていく中で受け身の形だけではないということを知ることができた。また高齢者のみを焦点にあてているのではなく、世代間や地域のなかで考えていく者であるということを知ることができたことが良かった。
- 「教育老年学」という学問領域があることを知り、その概要を理解することができた。また、自分自身が高齢者になる直前で、高齢者の特性を踏まえた教育、学習支援の在り方を学べたことは、自身の学習計画を考える参考になる。「最適な加齢」を実現するため、実践に努めたいと思います。
- 公務員を定年退職後、放送大学に入学して、サークル活動なども始め、新しい考え方や、知識を得ることができて良かった。
- 教育老年学の概念や歴史的背景、今後の課題等が理解できた点。後期高齢者への対応は今後も重要課題だと思います。
- 人として避けて通れない「死」「エイジング」についての先人たちの研究について、よく理解できた。
- 放送のなかで、聞き手の方がいらしたのが良かったです。聞き手の吉田さんや三上さんの反応が、学習者側の視点で親近感を持ちました。
- この学問領域を自分の専攻分野にしていきたいと思った。
- 高齢期の学習について理解が深まった。
- 高齢期の課題を当事者だけの問題とするのではなく、社会全体として、「共に学ぶ」ことからとらえようとする学問だと感じました。このような視点は、これからの社会には大変必要かと感じています。
- 私自身の経験、現在の立場などがそのまま講義となっているようで、たいへん身近な学問として受講することができた。
- 社会教育士の取得を目指していたため、生涯学習の側面からも教育老年学を学ぶことができて良かったです。また、全体的に、すべての章が興味深く、受講して良かったと思いました。
- 自分の中だけでは整理しきれなかったものが整理できた。
- 実際の活動についての様子を聞かせてくれたが、とても楽しかった。
- Interview形式はわかりやすかった。
- 先生がよかったこと。
- ゲストとの掛け合いも、堅すぎず聴きやすかったです。

【大学院】「人間発達科学」 抜粋

改善点

- ゲストとの会話がかみ合っていない点があり、何のためのゲスト登用なのか気になる点がありました。多様なゲストの登壇は意味がありましたが、老年に達していないゲストと教授の質問の意図とで、すれ違いがあったようで、期待する返答がなく盛り上がりには欠けました。
- 現場で活動されている人の体験談が多いと面白いと思う。
- 学校教育との比較をもっと多く取り上げた方が理解しやすいと感じた。
- 主任講師の日本語の使い方、講義の仕方を学習してほしい。日本語の表現がおかしな場面が多かった。
- 高齢者と雖もいろいろなケースがあると思うので個々に対応する事例などをもっと豊富に取り入れて欲しいと思います。
- 最新の論文の知見を織り交ぜてほしい。
- 受講することで何を理解できるようになってほしいかが理解できなかった。研究内容を理解する人と実践で理解する人が両立できる内容だということ。この科目の存在自体が課題だということはわかりました。
- 放送ではなく、面接授業が好ましいと感じています。
- ゲストの方の、老年教育についての、実例を、もう少し多く聴きたかったです。
- 研究者同士の対談といった回があってもよいのではないのでしょうか。
- ラジオ授業の限界かもしれませんが、テキストの内容を棒読みになることが多いので面白味に欠け、理解が進みにくかった。
- 言葉の表現を断定する部分を増やして、講師の意思を伝えてほしい。聞き手はいなくてもよいのでは。
- 参考文献について研究成果なども踏まえて提示していただきたい。
- 科目内容が理解出来ているかをチェックする簡易試験を各単元に付けて欲しい。
- 認定試験で論文形式が久しぶりだった。とても緊張し思うように書けなかった。論文の書き方ポイントなども指導していただけると嬉しい。
- 新設科目でもあり、初めてのオンラインでの単位認定試験でもあったので、受検の要領を今一步掴みにくく、自分なりによく学習した割には満足はいく解答が出来なかったのが残念である。

【大学院】「人間発達科学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容があった	4		4
勉強になった	4		4
今後に役立つ内容だった	3		3
新しい知識が身についた	2		2
体系的に学べた・理解できた	2		2
理解しやすかった(科目全般)	2		2
学習意欲・知識欲がわいた	1		1
視野が広がった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	1		1
身近に感じられる内容だった	1		1
全体として満足している	1		1
知識の整理に役立った	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
アシスタント・聞き手・ナビゲーターが良かった		2	2
楽しかった		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1
講師が良かった		1	1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		1	1

【大学院】「人間発達科学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2		2
最新の内容を講義してほしい	1		1
難しかった	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
ゲストとの対話がかみ合っていない	4		4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	3		3
科目全体の内容・構成が良くない	2		2
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった	1		1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1		1
講師の熱意が伝わらない	1		1
講師以外には必要ない・違和感がある	1		1
参考となる事例や資料の紹介がほしい	1		1

(単位:人)

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)の範囲・難易度・量が適切ではない		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
記述式、および記述に関して改善してほしい		1	1
受験の要領がわかりにくい		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:ゲストとの対話がかみ合っていない
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:ゲストや別の講師の話をもっといろいろ聞きたかった
- 放送授業:ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい

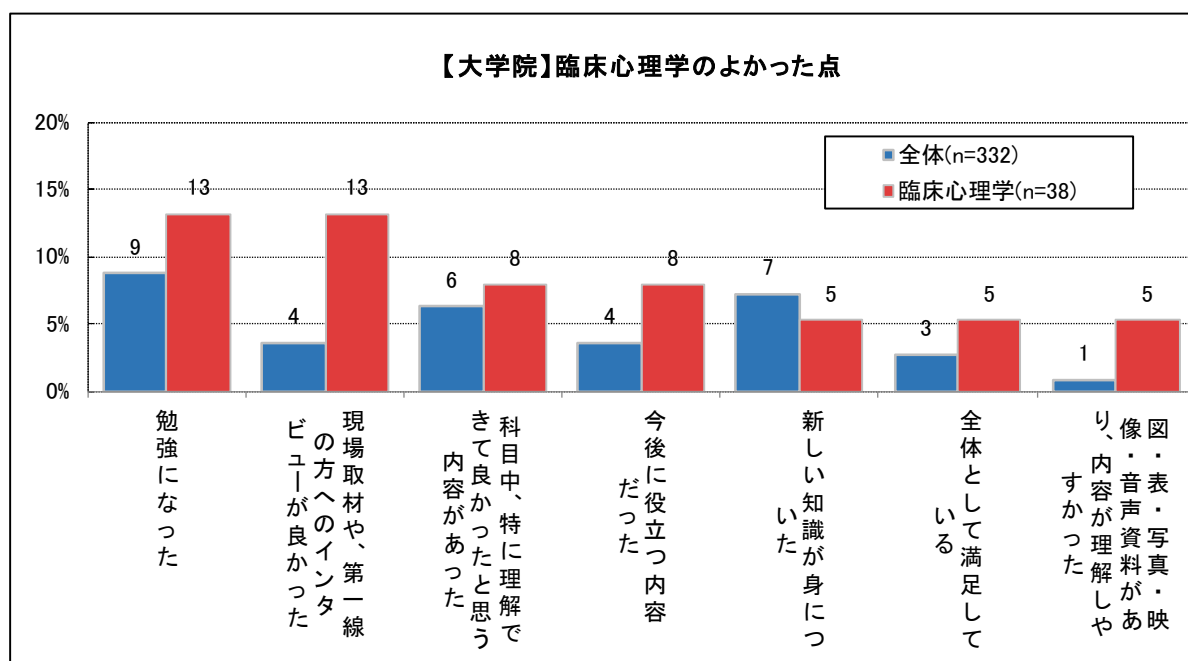
【大学院】「臨床心理学」の傾向

よかった点

「勉強になった」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」がそれぞれ13%と最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「今後役に立つ内容だった」がおおの8%で続いていた。中でも「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」は全体を大きく上回っており、臨床心理学の特徴的な項目となっていた。

他では、「新しい知識が身についた」「全体として満足している」「図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった」がそれぞれ5%で続いていた。

図4-5 【大学院】よかった点

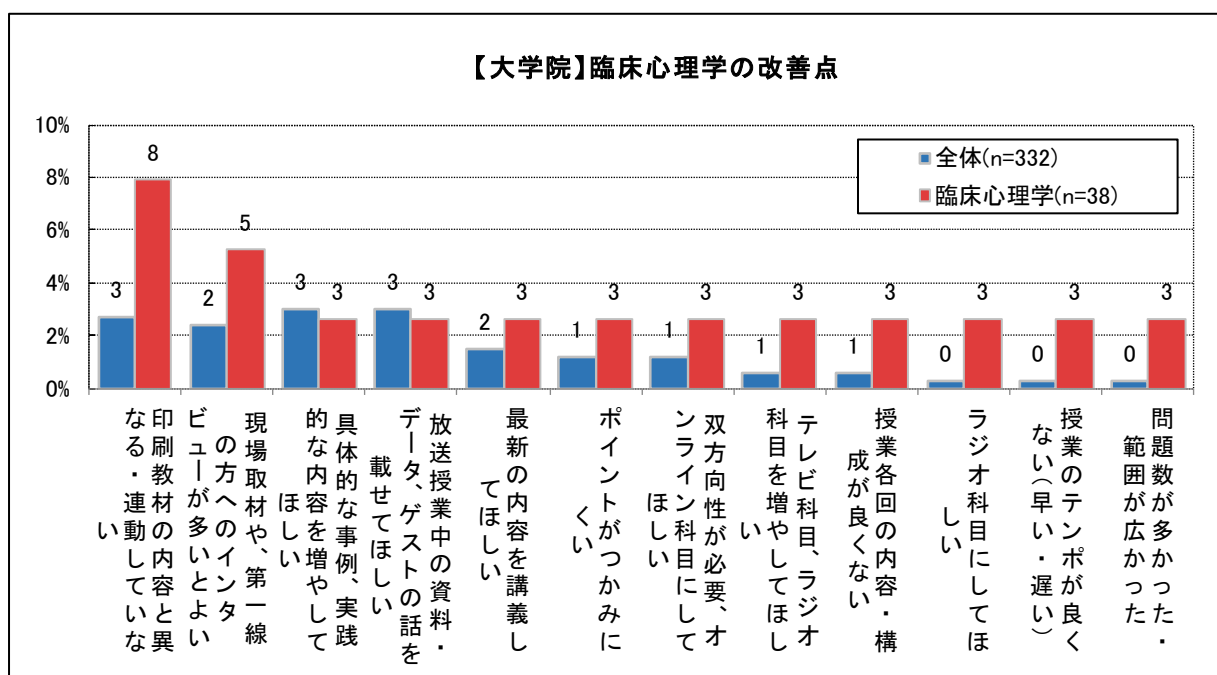


【大学院】「臨床心理学」の傾向

改善点

「印刷教材の内容と異なる・連動していない」が8%で最も高く、また、全体を大きく上回っていた。そのほかでは、「現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい」が5%でこれも全体を上回っていた。後は、「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」などが3%以下で続いていた。

図 4 - 6 【大学院】改善すべき点



【大学院】「臨床心理学」 抜粋

よかった点

- 現場で働く方のお話だけでなく、医療現場のシステム、取り組みもよくわかり、とても参考になりました。
- 保健医療分野については、これまで臨床的な立場では、あまり身近に感じられる分野ではありませんでしたが、現場の方の生の声をお聞きすることが出来たことは、大変有意義でした。
- 公認心理職という新しい名称の病院内での職業について、臨床心理士との違いや、求められる役割や意義を、明確に知ることができて、よかったと思われる。新しい科目なので、細やかな工夫や努力の様子が滲み出ていて、講師の先生やゲストの意気込みがうかがえる。
- 普段包括支援センターで相談業務をする中で参考になる内容があった。
- 今まで知らなかった施設や活動内容を知ることができた。
- まだ本格的な受講をしていませんが、十分な内容だと思います。
- テレビ科目と言うこともあり、ロケ先の状況について映像を見ることによって理解が進んだ。
- 医療と心理学について複数の視点から考える事ができ、興味が持てた。
- 具体的な事例を取り上げられていてとても参考になった。
- 保健医療心理学について学び理解を深めることができたと思う。
- 聞きたかった先生の授業を聞くことができたこと。
- 講師の先生の話が丁寧で分かりやすかった。
- ここまで広く、そして専門的な外部機関、そして充実したゲストのお話をうかがえる機会はそうそうあるものではないと感謝しております。新型コロナの状況において、教材作成やロケを行われた先生方の変さは想像を絶するものでもあります。本当にありがとうございます。
- 「保健医療心理学特論」小林先生はいつも工夫された授業内容となっており、今回も多くの講師の先生方が各専門分野での講義が聞けて大変良かった。

改善点

- 放送教材と、印刷教材がかけ離れすぎる。バラバラと、よくわからない。
- 施設の職員が直接インタビューに答え実際の支援の現場の内容が伝わって来た。可能ならば当事者の意見や話しを増やしてもらおうと実際の困りごとや臨床相談の様子が伝わって来ると思います。個人情報問題もあり難しいとは思いますが。
- テレビ科目が少ないと感じます。
- 実践も学びたい。
- 芸術療法や新しい心理療法の試みなど新しい動きをもっと積極的に取り入れて欲しいです。
- ゲストの話が多すぎる。結局何か言いたいのかよくわからない。ポイントを絞ってほしい。
- テレビを視聴する時間がなかなか作れないので、ラジオにしてほしかった。
- 私はスマホなど耳から受講することがほとんどであり、テキストはあとで読むなどの対応をしています。あまり図表を利用されると頭に入らないので、言葉でも理解できるようにしていただければ有難いと感じています。
- 双方向通信できるといいなと思う、学生と先生と一緒にコミュニケーションできる場があるといいと思う。
- テロップなどのアップの時間をきちんととってほしい。
- テレビ授業で提示する図表は全てテキストに入れた方が一過性にならず理解も深まると思います。
- 私には、単位取得試験の問題数が多すぎた。

【大学院】「臨床心理学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった	5		5
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3		3
今後に役立つ内容だった	3		3
新しい知識が身についた	2		2
全体として満足している	2		2
興味・関心が持てた	1		1
具体的な事例、実践的な内容があった	1		1
深く学ぶ(考える)ことができた	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	5		5
図・表・写真・映像・音声資料があり、内容が理解しやすかった	2		2
講師が良かった	1		1
講師の解説が分かりやすかった	1		1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた	1		1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

【大学院】「臨床心理学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
テレビ科目、ラジオ科目を増やしてほしい	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
印刷教材の内容と異なる・連動していない	3		3
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい	2		2
ポイントがつかみにくい	1		1
ラジオ科目にしてほしい	1		1
授業各回の内容・構成が良くない	1		1
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	1		1
授業のテンポが良くない(早い・遅い)	1		1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
問題数が多かった・範囲が広がった	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:印刷教材の内容と異なる・連動していない
- 放送授業:現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 最新の内容を講義してほしい
- 放送授業:ポイントがつかみにくい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい
- 単位認定試験:問題数が多かった・範囲が広がった

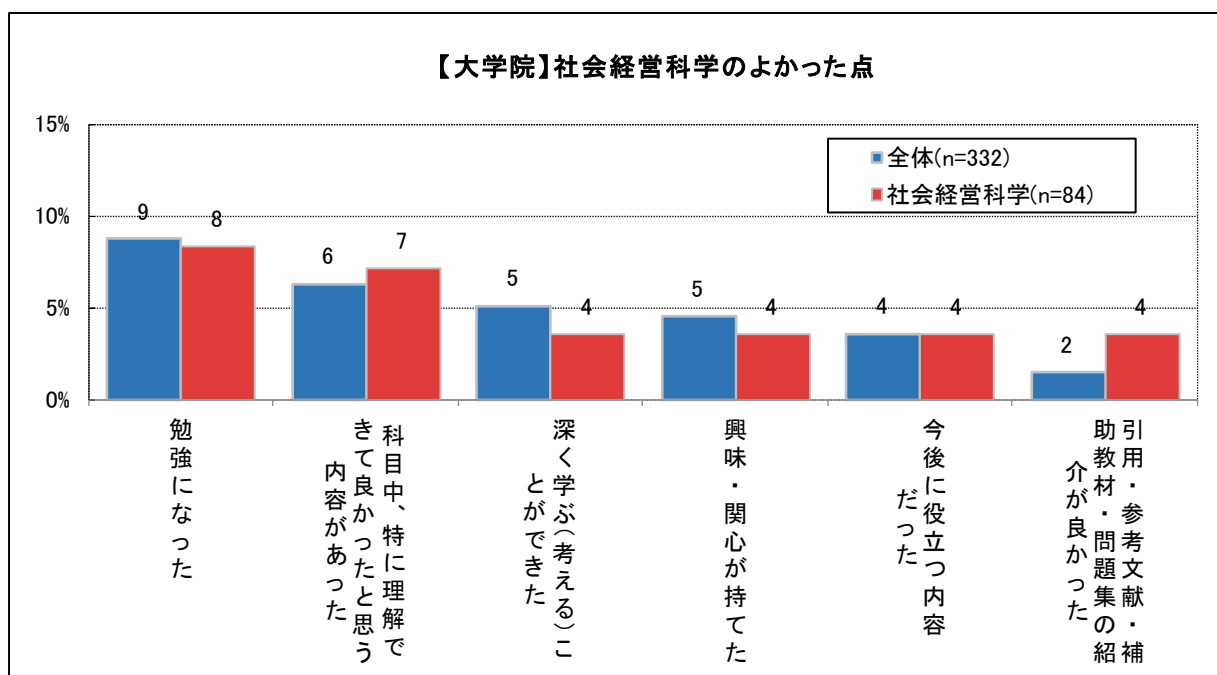
【大学院】「社会経営科学」の傾向

よかった点

「勉強になった」が8%で最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が7%で続いていた。

他では、「深く学ぶ（考える）ことができた」「興味・関心が持てた」「今後に役立つ内容だった」「引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった」がそれぞれ4%で続いていた。

図 4-7 【大学院】よかった点

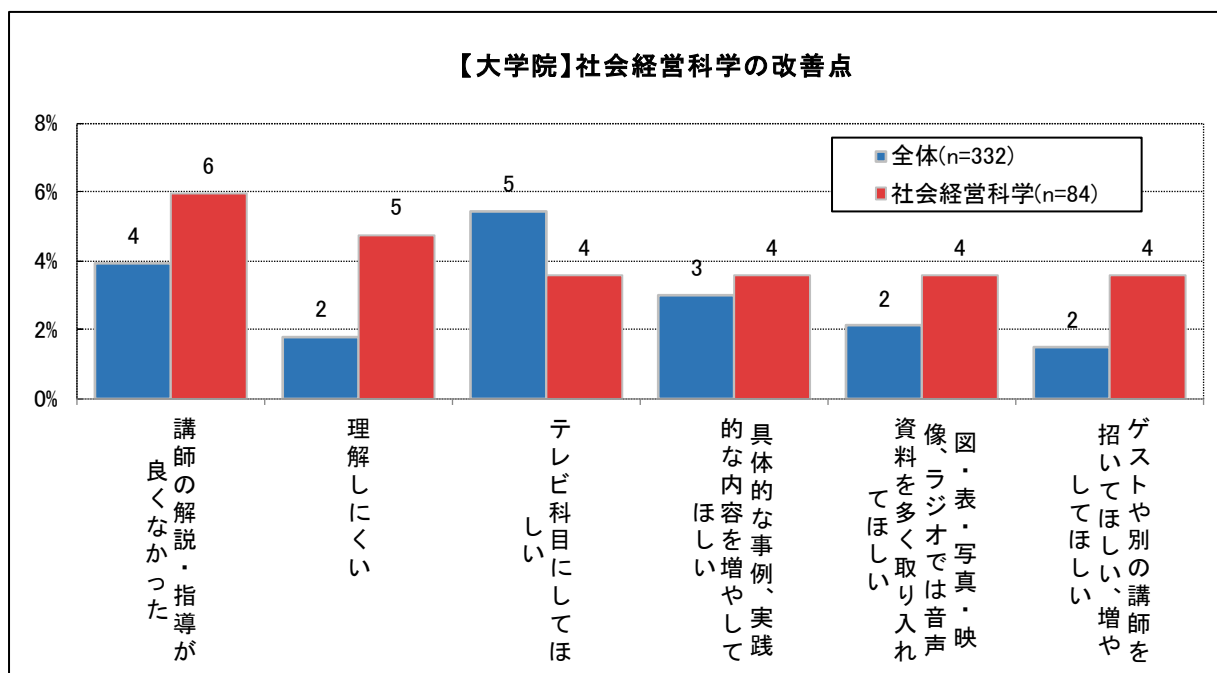


【大学院】「社会経営科学」の傾向

改善点

「講師の解説・指導が良くなかった」「理解しにくい」がそれぞれ5%以上で、全体を上回っていた。そのほかでは、「テレビ科目にしてほしい」「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい」がそれぞれ4%で続いていた。

図4-8 【大学院】改善すべき点



【大学院】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 私にとってやや難しかったが、様々な切り口での講義でとても為になった。
- 経済政策を考える上で、自分の場合、歴史的観点が抜けていて、講義をうける中で、歴史的背景の重要性が認識できたことです。
- 様々な参考文献の紹介で、さらに学習を深めていきたいという意欲を持つことが出来ました。特に第3部の多様な労働者たちの章は、知的な好奇心をかき立てられました。
- 今まで学習していない分野でしたので、大いに興味がわき、これからもこの分野のことを続けて学習してみようと思いました。
- 私は2021年11月に、人事関係の部署に初めて配属されました。この授業では、業務に直接関連することが数多く説明されるので、業務を進めて行くうえで非常に役に立ちました。
- ロールズ及びその後の分析的政治理論の最新状況と課題について、理解を深めることができた。5年前に学んだ「公共哲学」を復習し、より理解を広げることができた。
- 人的資源管理の基礎を振り返ることができたこと。
- 自分の視野が広がった。とくに原発の責任について。
- 公共政策という科目に殆ど知識がなかったが、その内容に多少とも触れることができたのは良かった。
- 職務給、職能給等の違いがわかり、一平社員として身に染み渡る内容でした。
- この分野の最近の体系的な知識を得たこと。実務に密接に関わり、日常的な出来事の理論的な分析視点が身に付く機会になる。
- 印刷教材が例えば、()書きや参考文献の数など、詳しく記述されていて今後も参考書代わりとなりそうです。
- 私の中では経済学と政治学は両者間で距離がある、異なる科目の印象だったが、本講座を通じて両者の接点のような概念を考えるきっかけになった。すなわち、経済学でも正義論のような概念を扱うことがあると知り、大変興味深く、楽しく受講できた。
- 経済政策がわかった。特に現代の問題がよくわかった。
- 内容が十分、高度であった。
- 内容的には難解であった。でもじっくりと取り組めば面白い内容だと感じています。1学期は試験は見送り、2学期も引き続きじっくりと学ぶつもりです。
- 考え方の整理が出来た。
- 新規改訂科目だったので、内容が新鮮に感じられた。
- 以前から関心をもっていたロールズの思想とその批判文脈や継承された現代の課題がよく理解できた。
- 放送授業は、面白くとても興味を惹きつけられるものでした。
- 印刷教材にはない具体的な事例も学べたのでよかったです。
- インタビューは臨場感があり興味深い内容で良かったです。
- ゲストが第三者的にポイントを質問していたところ。議論となるべきところがよく分かった。
- 印刷教材にグラフが載っていて、根拠となる数字を参照しながら日本の行政・政策に関する理解を深めることができた。
- 2~8章までの事例集のような部分で、自分の抱えている問題分野以外の事を知った。
- エイジングをポジティブに捉え、高齢期を前向きに生きようとした地域の取り組みなどが知り得て講義レベルは想定したよりかなり高く、学習不足を認識したため今回は単位取得試験の受験を見送った。通信課題提出後に担当教授から厳しいコメントを頂いたお陰で大学院での学習・研究に対する意欲が高まったこと。

【大学院】「社会経営科学」 抜粋

改善点

- もう少し基礎からの理論的説明を強化した方が理解しやすいと感じた。
- 公共政策（17）のように、御厨先生、片山先生、増田先生といった県知事や大臣としての政策実務や深い政治論のある学者を講師に入れてもらいたかった。
- テレビで受講したかった。できればテレビでも受講できるようにしてほしい。
- 図表などは、もっと多いほうが理解の助けになると思います。抽象的な内容が多いので難しいとは思いますが。
- 学問的だけでなく、現代の実際の社会での事例もあると理解がより深まると思う。
- 第三次産業が、多数占めてきた日本について評価制度をもう少し詳しく追及してほしい。感情産業として捉えられていたがそれに対する報酬や評価は日本のあるのかないのか。非正規雇用の比率がおおいなかで働いている人のモチベーションはどの様に生み出されるのか等デメリットとメリットをもう少し掘り下げてほしい。
- この科目はロールズの理論を軸に構成されているので仕方ないと思うのですが、政治理論は西洋由来のものだけで良いのか、例えば東洋思想（儒教、朱子学の最高善など）との関連はあるのか、「公共哲学」の科目でもそうでしたが、東洋の視点も欲しかったです。
- 科目名「現実と向き合う政治理論」は釣りである。「ロールズについての一考察」の方が相応しい。羊頭狗肉感があった。お金と時間を無駄にした。
- 事前に印刷教材を読んで講義を受講したが、講義中、印刷教材のどの部分の話をしているのか、わからないと感じる部分がある。特に総括後の対談形式における質疑の内容が、主に章中のどの部分に該当するのか、ページ数や小項目を明確にしていきたい。
- 印刷教材の難易度が少し高い箇所がいくつかあった。その回の放送を繰り返し聞くことで大筋は理解できたが、未だに十分には理解できていないところも少なくない。ただ私の知識不足によるところも大きく、必ずしも「改善すべき」というべきものではないかも知れない。
- 記述式回答においては、今回から初めてWEBによる入力のためパソコン入力の個人的能力の違いがあるので、工夫若しは改善して頂けると有難いです。
- 組織論や、ダイナミックケイパビリティなどのテーマと、この人的資源管理との関連性は高いと思っています。企業成長との関連で、人的資源管理の分野ではどのように論じることが出来るのかを取り上げていただけるとありがたいです。
- 難しすぎた。入門編があればよいと思います。
- テレビだと画面を見れば要点がわかるが、ラジオの場合わかりづらいのでわかりやすくしてほしい。
- 全体的な平坦な内容で、どこがポイントかなどがわからないので理解に十分な時間がかけられない場面では理解がしづらかった。
- 印刷教材について、各回の最初にキーワードが載っていると情報を整理しやすくなるのではと思いました。
- 私見では放送大教材は、単著に優れたものが多く、執筆人数が増えると、通り一遍の身内の自己満足的なものになる傾向があります。
- 通信指導と単位認定試験がもっとリンクしていると理解が深まると思った。また、単位認定試験の回答例を見たが、教材や放送授業とリンクしている回答例とは思えなかった。
- 通信指導が難しかった。おそらく、C-2にあるようにどこが特に大事かを押さえきれなかった。
- 単位認定試験の問題は、設問文の趣旨が理解できなかった。「政治家の存在意義」、「専門家の活用」、「専門家の主張を実現する方法」がうまくつながっていないと思います。

【大学院】「社会経営科学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
勉強になった		7	7
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった		6	6
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった		3	3
興味・関心が持てた		3	3
今後に役立つ内容だった		3	3
深く学ぶ(考える)ことができた		3	3
基礎的な知識が得られた		2	2
視野が広がった		2	2
新しい知識が身についた		2	2
身近に感じられる内容だった		2	2
体系的に学べた・理解できた		2	2
楽しかった		1	1
現在の課題や身近な問題点を学べた		1	1
専門的な内容だった		1	1
全体として満足している		1	1
知識の整理に役立った		1	1
内容・構成が良かった		1	1
理解しやすかった		1	1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
楽しかった		1	1
印刷教材と異なる内容で良かった		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった		1	1
講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた		1	1

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
良い教材だった		2	2
図・表・写真・イラストが良かった		1	1
様々な事例、具体的な事例が学習に役立った		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった		1	1

【大学院】「社会経営科学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい		3	3
もっと詳しい説明・解説をしてほしい		2	2
科目全体の内容・構成が良くない		2	2
講義内容と科目名に乖離がある		2	2
内容・構成が良くない		1	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい		1	1
現場取材や、第一線の方へのインタビューが多いとよい		1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい		1	1
最新の内容を講義してほしい		1	1
幅広い視点でのカリキュラム編成をしてほしい		1	1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい		1	1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
理解しにくい		2	2
内容・構成が良くない		1	1
講師により内容にバラつきがある・解説が異なる		1	1
索引を充実させてほしい		1	1
追加情報・追加教材がほしい		1	1
放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい		1	1

通信指導			
意見	テレビ	ラジオ	合計
課題(問題)が、単位認定試験と直結していない		1	1
理解しにくい		1	1
通信指導の解答はwebで確認できれば十分		1	1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
講師の解説・指導が良くなかった		5	5
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい		3	3
テレビ科目にしてほしい		3	3
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい		3	3
解説中の印刷教材のページが分かりにくい		2	2
理解しにくい		1	1
ポイントがつかみにくい		1	1
印刷教材の内容と異なる・連動していない		1	1
印刷教材をもっと活用してほしい		1	1

単位認定試験			
意見	テレビ	ラジオ	合計
試験時間が短い、入力が間に合わない		2	2
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある		1	1
難易度を下げるべき		1	1
難易度を上げるべき		1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい
- 放送授業:テレビ科目にしてほしい

- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 印刷教材:理解しにくい
- 単位認定試験:試験時間が短い、入力が間に合わない

【大学院】「情報学」の傾向

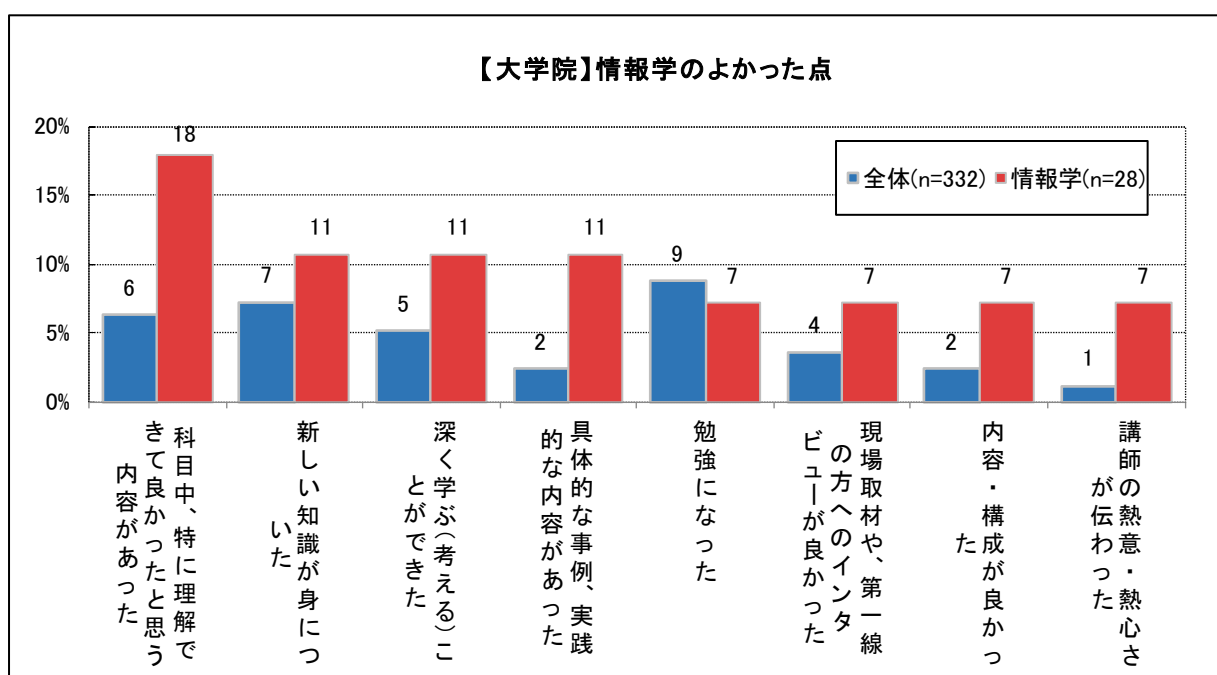
よかった点

「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が18%で最も高かった。また、全体を大きく上回っていた。

次いで「新しい知識が身についた」「深く学ぶ（考える）ことができた」「具体的な事例、実践的な内容があった」がそれぞれ11%で続いていた。

他では、「勉強になった」「現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった」「内容・構成が良かった」「講師の熱意・熱心さが伝わった」がそれぞれ7%で続いていた。

図4-9 【大学院】よかった点

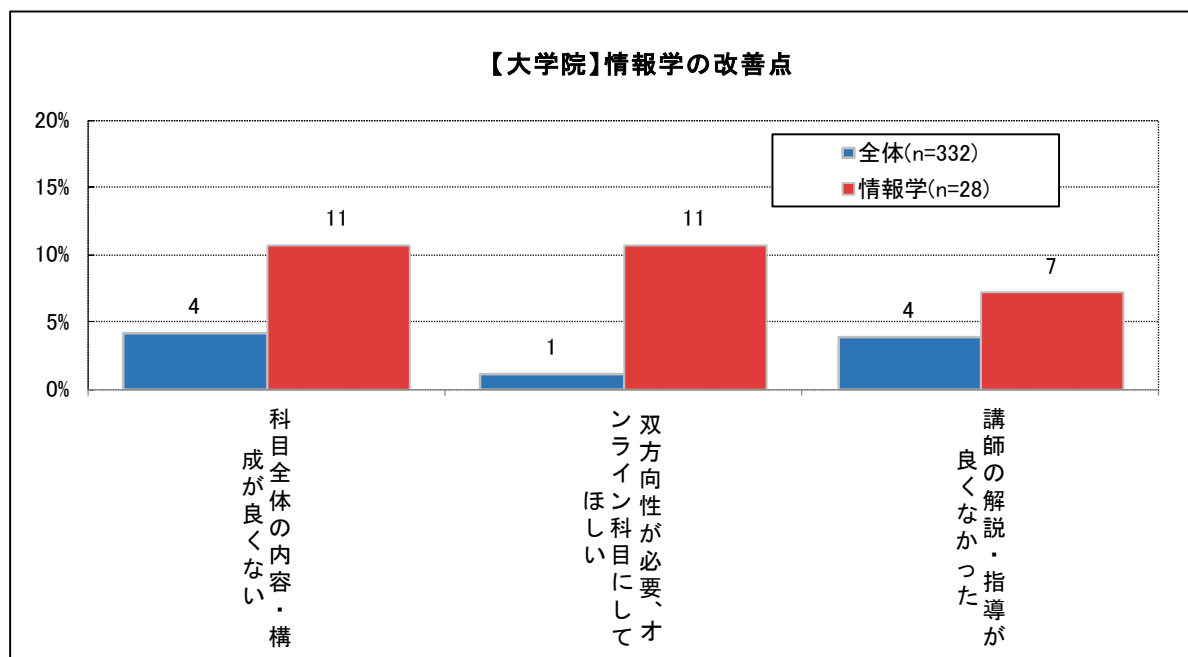


【大学院】「情報学」の傾向

改善点

「科目全体の内容・構成が良くない」「双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい」がそれぞれ11%で、全体を上回っていた。そのほかでは、「講師の解説・指導が良くなかった」が7%で続いていた。（複数回答があった項目のみ記載）

図 4 - 1 0 【大学院】改善すべき点



【大学院】「情報学」 抜粋

よかった点

- デザインと情報技術の知識が豊富ではなくても、生活している中の知見を総動員して取り組むことができたこと。生活そのものが答えだと思えたこと。
- 情報とデザインの繋がりを「混雑ランプ」等の具体例を通して、知ることができた。情報がデザインと繋がると、いろいろと可能性が広がる領域や可能性があると感じた。
- 情報デザインという新しい概念に触れられた。
- デザインの意味について、掘り下げて考える機会となりました。初めのうちは、座談形式での授業の進め方に慣れなかったが、復習として再視聴するうちに解釈が深まりました。テーマとしてやや深い内容のため、理解するには時間がかかるテーマだと感じました。
- デザインをデザインテクニックや方法論にしなかった点がとても良かったと思います。
- 情報デザインという考え方とアプローチの仕方が大変勉強になりました。参考文献の幅の広さにも、知的な好奇心を広め、高めるのに役立ちました。
- 通常の講義中心の授業とは違い、実際に行われたプロジェクトについて参加者の生の声を聴くことができていてとても臨場感があった。
- デザインの領域の広い事を知る良い機会となった。そして、研究分野のさらなる広がりを目指している、先生方の意欲を感じることができたことに感動した。
- 受講当初は、新しい知識を覚えていく学習かと思っていたが、実際には、デザインとは何か？という思考を促す学習であり、そのことに興味を覚えた。
- 特論ということで中級以上の内容かと思うが、初学者の自分でも丁寧に授業を視聴しテキストを読むことである程度理解することができた。その結果、デザインの面白さや、これまで勉強してきた分野と共通点や相違点を見出すことができ、頭の中の整理ができた。またデザインに興味が変わりかけたことになった。
- 講師の方々が代わる代わるご自身の専門テーマについて講義してくださるので、毎回興味が尽きることなく視聴することができた。
- 中間レポートの課題が戸惑いつつも面白かったこと。またそのコメントに一種の励ましを感じたこと。

改善点

- 従前の手法、つまり、放送授業は講師が喋る姿をそのまま流す、教科書は論文的手法でテキスト化する、では、現代的な他の手法に比べ大きく解像度が劣ると考えさせられました。(率直な物云いをすれば、まともな感性と矜持と情報処理能力を持つYouTuberに敵わない時代ゆえに。)
- オンライン授業で毎回アウトプットするほうが、理解が深まると考える。
- 教材の情報量が多く、事例の背景や展開などを詳細に説明されている点は、理解を深めるのに役立ちました。しかし、やや説明が過剰であるかなと思う点もなくはありませんでした。でもそれを短くしてしまうと、内容面で大事な部分が抜け落ちてしまいかねないとも思います。これでよいのかも知れません。
- 日本の心理学、精神医学があまりにも個人に集中しすぎていて、組織や社会を横断的に見る視点が欠けていることに長年、違和感を感じてきました。本講義や公共哲学の講義で、日本にも組織、社会を横断的に見る視点の研究者の方々がおられることに驚きましたし、発展版の講義に期待しています。
- プロトタイプでもよいが実際にシステムに触れるといいと思った。
- ネット配信だけだと混んでいると見られないので改善した方がよい
- 講義全体を通じて、何をもって「情報デザイン」というのかがはっきりしなかった。科目の性質上、体系的に整理して講義するようなことは難しいのかもしれないが、授業の構成については改善の余地があるように感じた(ただ、これは上で評価した授業のライブ感を損なうことになるかもしれない)。

【大学院】「情報学」

よかった点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	5		5
具体的な事例、実践的な内容があった	3		3
新しい知識が身についた	3		3
深く学ぶ(考える)ことができた	3		3
内容・構成が良かった(科目全般)	2		2
勉強になった	2		2
興味・関心が持てた	1		1
今後役に立つ内容だった	1		1
受験・資格取得に役立った	1		1
全体として満足している	1		1

(単位:人)

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	2		2
講師の熱意・熱心さが伝わった	2		2
講師が良かった	1		1
複数の講師の講義を聞くことができた	1		1

通信指導

意見	テレビ	ラジオ	合計
指導内容・コメント・対応が良かった	1		1

【大学院】「情報学」

改善点

科目全般			
意見	テレビ	ラジオ	合計
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1		1
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	1		1
最新の内容を講義してほしい	1		1
内容が浅い	1		1
面接授業・実習を実施してほしい、参加しやすくしてほしい	1		1

(単位:人)

印刷教材			
意見	テレビ	ラジオ	合計
色刷りにしてほしい	1		1
理解しにくい	1		1

単位認定試験

意見	テレビ	ラジオ	合計
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	1		1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1		1

放送授業			
意見	テレビ	ラジオ	合計
科目全体の内容・構成が良くない	3		3
双方向性が必要、オンライン科目にしてほしい	3		3
講師の解説・指導が良くなかった	2		2
システム面の改善が必要	1		1
ポイントがつかみにくい	1		1
印刷教材にない追加情報はテロップ等で表示してほしい	1		1
印刷教材の内容と異なる・連動していない	1		1
印刷教材をもっと活用してほしい	1		1
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	1		1
手話通訳、または字幕がほしい	1		1
授業各回の内容・構成が良くない	1		1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:双方向性が必要、オンライン科目にほしい
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 放送授業:講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい
- 印刷教材:色刷りにしてほしい
- 単位認定試験:試験時間が短い、入力が間に合わない

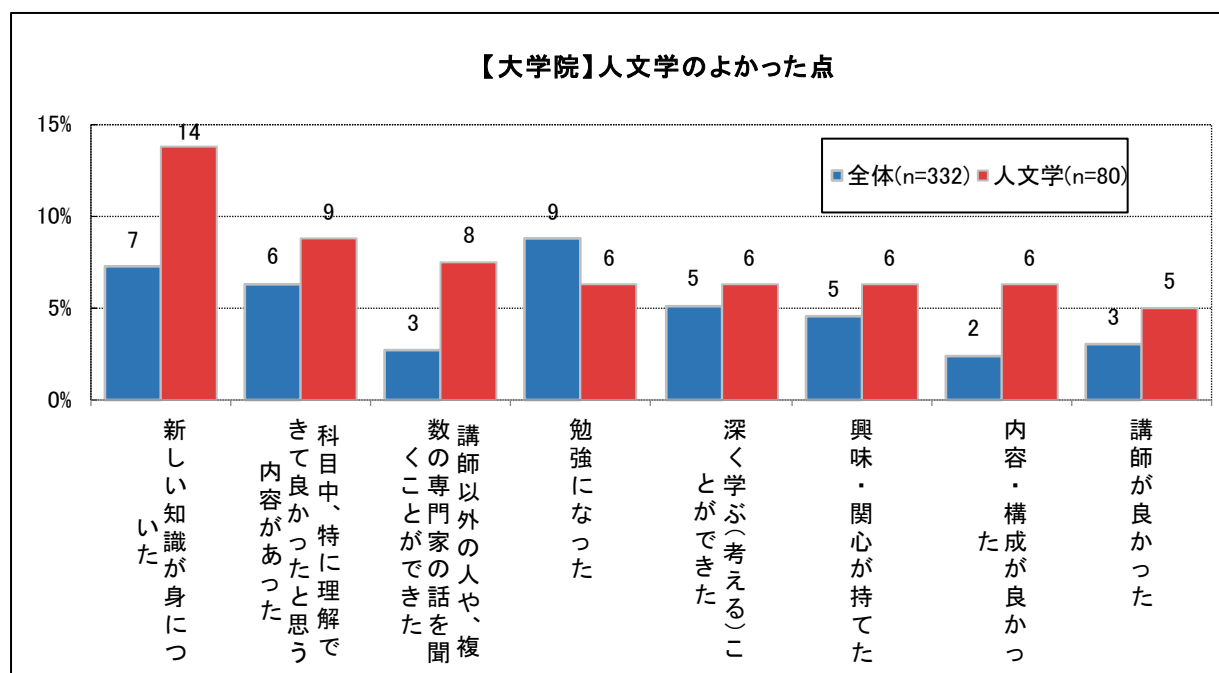
【大学院】「人文学」の傾向

よかった点

「新しい知識が身についた」が14%で最も高く、次いで「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」が9%、「講師以外の人や、複数の専門家の話を聞くことができた」が8%で続いていた。

他では、「勉強になった」「深く学ぶ(考える)ことができた」「興味・関心が持てた」「内容・構成が良かった」がそれぞれ6%で続いていた。

図4-11 【大学院】よかった点



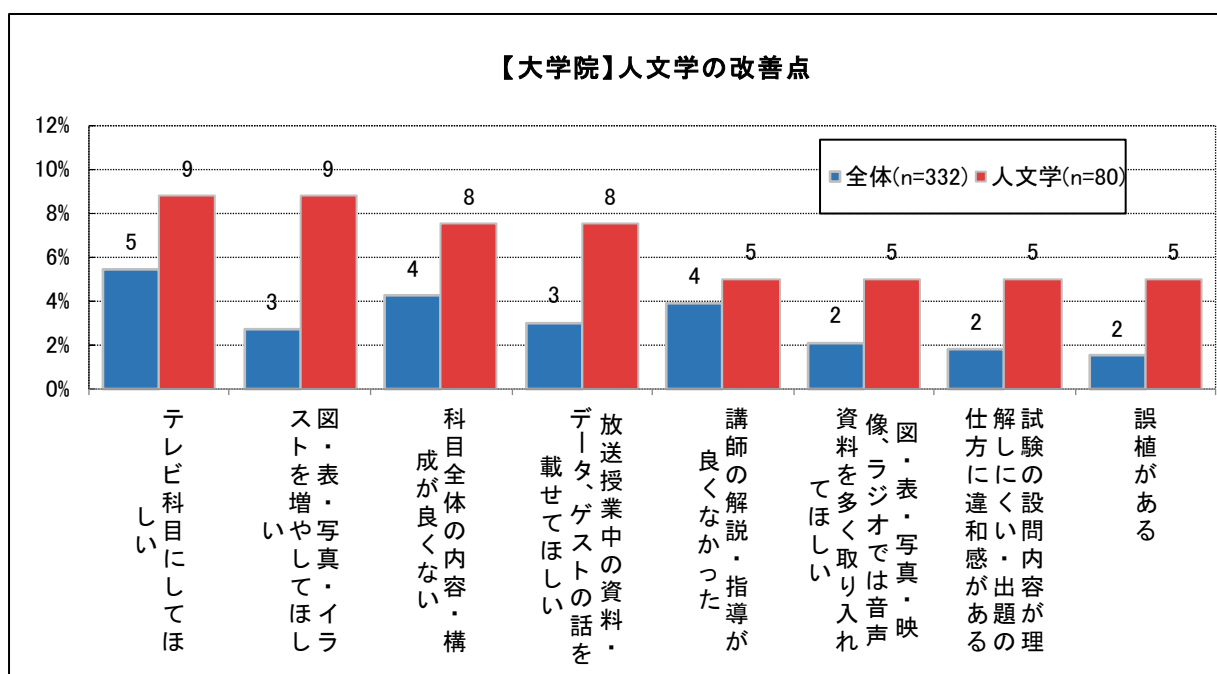
【大学院】「人文学」の傾向

改善点

「テレビ科目にしてほしい」「図・表・写真・イラストを増やしてほしい」がそれぞれ9%と最も高かった。

それ以外では、「科目全体の内容・構成が良くない」「放送授業中の資料・データ、ゲストの話を載せてほしい」が各8%、「講師の解説・指導が良くなかった」「図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい」「試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある」「誤植がある」などがそれぞれ5%で続いていた。いずれの項目についても全体を上回っていた。

図 4 - 1 2 【大学院】改善すべき点



【大学院】「人文学」 抜粋

よかった点

- 幾多のところで、歴史認識が変わった。例えば、仏教の日本化とか、関ヶ原の戦いで徳川方の大名の八割方は豊臣恩顧であり、戦後も京都より西は、外様大名ばかりであったことなど。
- 日本文化の全体像を捉えることができた。ある時代の文化はそれ以前の影響が強く残っているもの残らないものがあるのだが、その関連性がわかるようになった、と意識できるようになった。さらに、人々の考え方がどのようにしてできたのか、という点に入り込むことができたことはおおいに自分にとってプラスであった。
- 何回か外部講師の方の講義が挿入されており、内容の理解を深めることができた。
- 実用的かと言われるとそうではないが、教養としては、とても興味深い話題だった。社会人大学院という面ではこの科目はふさわしいと思う。
- 学習内容が大学院として考えさせられるところが多々あった。授業内容、単位認定試験共に自分がどう思うのか、どう考えているのかをベースに展開しなさいと度々指示されていた点には、なるほどと理解することができた。
- 日本史を文化的側面から縦断しており、とても興味深く日本人として自身のルーツの理解に繋がりました。
- 中国の音韻に対する理解が深まり、現代中国語を使い日中ビジネスに関わる者として、大変勉強になりました。
- それぞれの講師のテーマは興味深いものでしたが、特に宮本楊一郎先生、滝浦先生の講義から学ぶことと気づきが多かったです。ありがとうございました。
- 視野が広がった点。
- 更に研究意欲が湧きました。歴史は資料、事実への疑問など大変奥が深い。
- キリスト教の歴史、翻訳による影響、スモールタウン、直訳か意識かについて勉強できて良かったです。
- 参考文献も比較的に入手しやすいもの中心で手を出しやすく揃えることもできて（当然、買っただけで積読状態が大半だが）、これはこう読むのか！も含めて参考にさせてもらった。
- 最近の学説に触れられた事。
- 日本文化と思想の流れが、時代ごとによく整理されていて、大変分かりやすかったです。
- 幾人かへのインタビューやテレビ科目のロケの紹介も、変化があって面白かった。
- 大橋先生とNHKアナウンサーとの対話が、授業内容の理解を深めるのにとっても役立った。
- 野崎欽先生の講義に関心がありこの講義を選択したが、他の先生方のお話も興味深かった。
- 先生の講義は、前期にも「道を極める一日本人の心の歴史」を受講したが、レポート提出の成績に不満が残ったので、再度、新教材「日本文化と思想の展開一内と外と」の受講を決めた。日本の通史を復習し、新たに学び直すには適切な概説だと感じた。
- 日本語の言語文化に関心があったので、滝浦先生の授業が面白く、これまで以上に日本語への興味がわいてきた。

改善点

- 放送授業では音声だけでなく画像がある方がよく理解ができると考えます。
- 印刷教材は写真や図を増やしてもいいかと思う。
- 講師によって講義の内容の資質にかなりの相異があり、15回の講義の組み立ての趣旨が理解しがたかった。
- ゲストの方の専門的な話の内容が、テキストの中に更に分かりやすくまとめられていると、より理解しやすいと思いました。
- 先生の授業(放送)はボリュームに比べ内容が薄い感じがした。
- 昨年の魚住先生の講座は映像があり、実に分かりやすかったが、初めてこの授業を取る方は、映像もなく、資料も少ないので、親しみが湧かないのではと思った。もっとビジュアルな内容がよいと思う。
- 単位認定試験の課題そのものが理解しにくかった。50分で800字をいきなり受験したので、まとめることができなかった。受験者が練習を積んだ方が望ましいと思った。
- 科目開設の最初の授業、テキストなのである程度しょうがないと思いますが、誤植(明らかなもの)と、授業の話される項番とテキストの項番がズレているなどの、内容的には問題はないと思うが訂正は必要だと思うのでよろしくお願いします。1点だけテキスト p258【要旨とポイント】の最初の行で「一九六八年の明治維新」は「一八六八」で「九」は「八」の間違いですね。
- 印刷教材と放送授業の内容が大きく異なっていることが多く、どのページに書かれている話をされているのかわからなくなって迷子になることが多かった気がする。フラストレーションを感じた。
- 印刷教材には、参考図書の記載がありますが講義の中で若干でも参考図書の説明があれば自身としては助かります。
- なじみの薄い用語が結構頻繁に出てきたので、意味を理解するのに苦労した。学部の授業を受けていない学生でも理解できるように、解説が入っていればもっとわかりやすかった。
- 科目名は「異文化との出会い」となっているが、内容を見ると、少し言語の方面に偏りすぎているような印象を受けた。それでいて、周辺領域の問題も少しずつ採り上げたような形になっているため、全体として少し中途半端な感じを禁じ得なかった。以前開講していた「異言語との出会い」は、初めから言語の面に特化していたために、それぞれにかなり掘り下げた記述が多く、言葉に興味を持つ人々には、むしろその方が充実していたと感じるのではないだろうか。
- もっと深掘りしても良いかと思う。
- 中国語の内容については理解するのが難しいと感じた。
- インタビューに関しては、工夫が凝らされているが、ゲストによっては、対話というよりも一方的な話になっていて、もう少し一貫性が欲しかった。
- 印刷教材に書かれていない経験や具体的なことを放送授業で話していただけると、関心が深くなると思う。
- ゲストの話も興味深かったが、遠隔での録音のためか聞きづらい箇所が何か所かあったのが残念でした。

【大学院】「人文学」

よかった点

意見	科目全般	
	テレビ	ラジオ
新しい知識が身についた	11	11
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	7	7
興味・関心が持てた	5	5
深く学ぶ(考える)ことができた	5	5
内容・構成が良かった	5	5
勉強になった	5	5
視野が広がった	3	3
学習意欲・知識欲がわいた	2	2
全体として満足している	2	2
楽しかった	1	1
引用・参考文献・補助教材・問題集の紹介が良かった	1	1
最新の情報・研究が学べた	1	1
理解しやすかった	1	1

(単位:人)

意見	放送授業	
	テレビ	ラジオ
講師以外の人や、複数の専門家のお話を聞くことができた	6	6
講師が良かった	4	4
現場取材や、第一線の方へのインタビューが良かった	1	1
対談形式の授業が良かった	1	1
複数の講師の講義を聞くことができた	1	1
良い授業だった	1	1
楽しかった	1	1

【大学院】「人文学」

改善点

意見	科目全般	
	テレビ	ラジオ
もっと詳しい説明・解説をしてほしい	2	2
講義内容と科目名に乖離がある	2	2
内容が浅い	2	2
難しかった	2	2
内容・構成が良くない	1	1
科目の分類に疑問がある	1	1
学校の対応(WAKABA、シラバスを含む)が不十分だった	1	1
講義回数を増やしてほしい、受講期間を長くしてほしい	1	1
努力不足だった	1	1
内容の詰め込みすぎ	1	1

(単位:人)

意見	印刷教材	
	テレビ	ラジオ
図・表・写真・イラストを増やしてほしい	7	7
放送授業中の資料・データ、ゲストのお話を載せてほしい	6	6
誤植がある	4	4
印刷教材がほしい	1	1
引用・参考文献・補助教材・問題集を紹介してほしい	1	1
索引を充実させてほしい	1	1
内容・構成が良くない	1	1

意見	放送授業	
	テレビ	ラジオ
テレビ科目にしてほしい	7	7
科目全体の内容・構成が良くない	6	6
講師の解説・指導が良くなかった	4	4
図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい	4	4
印刷教材の内容と異なる・連動していない	3	3
参考となる事例や資料の紹介がほしい	3	3
ゲストとの対話がかみ合っていない	2	2
印刷教材と異なる講義が聞きたい	2	2
講師・ナレーター等の声が聞き取りづらい	2	2
ゲストや別の講師のお話をもっといろいろ聞きたかった	1	1
ゲストや別の講師を招いてほしい、増やしてほしい	1	1
ポイントがつかみにくい	1	1
解説中の印刷教材のページが分かりにくい	1	1
放送時間が違う時間帯の方が良かった	1	1
理解しにくい	1	1

意見	単位認定試験	
	テレビ	ラジオ
試験の設問内容が理解しにくい・出題の仕方に違和感がある	4	4
記述式、および記述に関して改善してほしい	1	1
試験時間が短い、入力が間に合わない	1	1

主な改善点の提案:集約

- 放送授業:テレビ科目にしてほしい
- 印刷教材:図・表・写真・イラストを増やしてほしい
- 印刷教材:放送授業中の資料・データ、ゲストのお話を載せてほしい
- 放送授業:科目全体の内容・構成が良くない
- 放送授業:講師の解説・指導が良くなかった
- 放送授業:図・表・写真・映像、ラジオでは音声資料を多く取り入れてほしい
- 印刷教材:誤植がある

Ⅲ－4. 大学院（オンライン授業）

ここからは、大学院オンラインの全体との比較で、当該科目がどういう傾向にあったのかを見ていきたい。

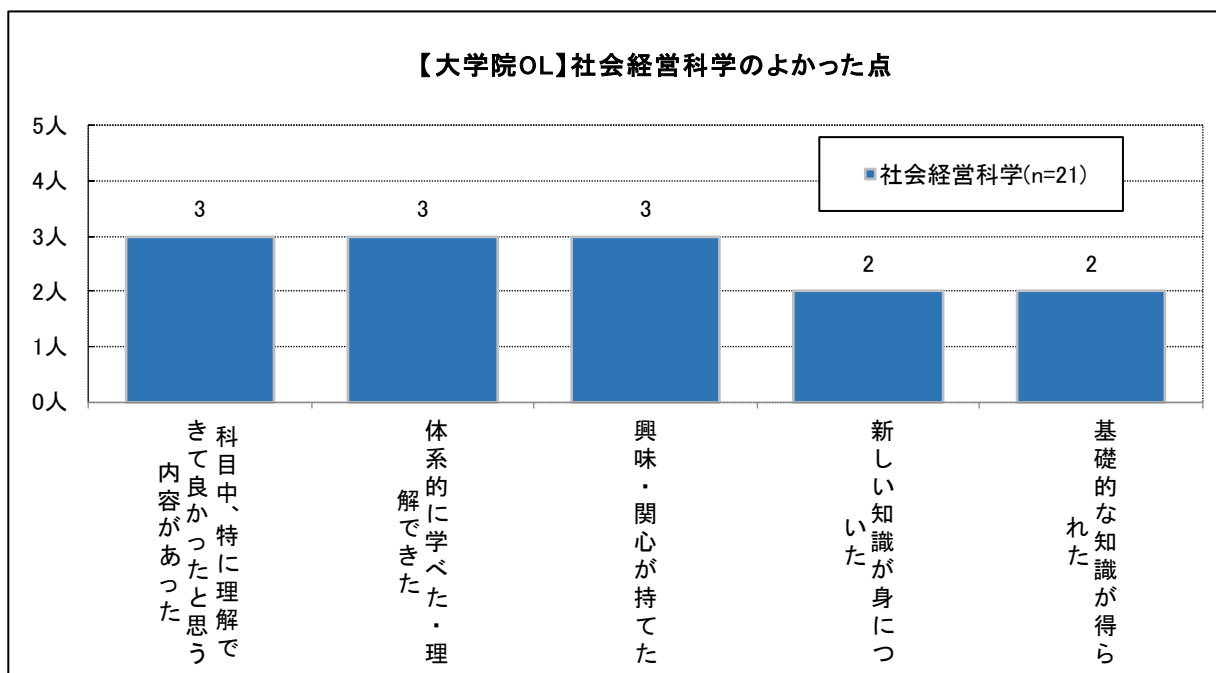
大学院のオンライン科目については、回答者が全体で 25 人と少ないため、複数の解答があった上位項目を掲載した。（社会経営科学：21 人、自然環境科学：4 人）

【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

よかった点

複数の解答があった項目は、「科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「体系的に学べた・理解できた」「興味・関心が持てた」「新しい知識が身についた」「基礎的な知識が得られた」などであった。

図 4－13 【大学院 オンライン】よかった点

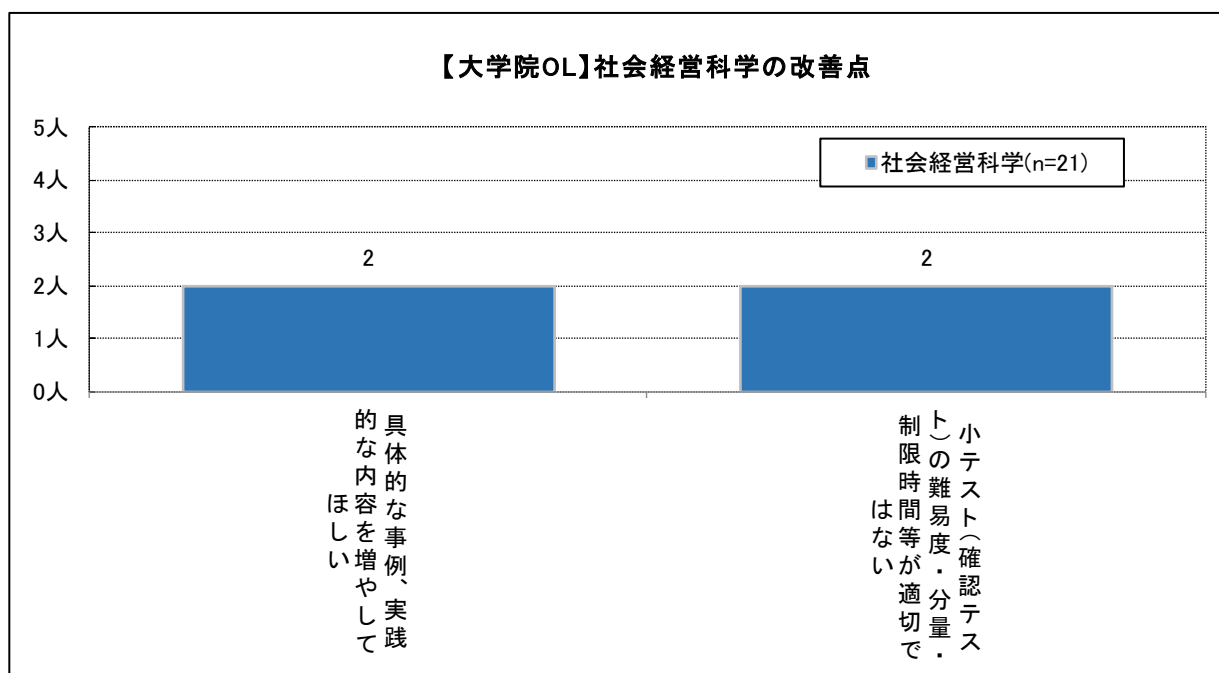


【大学院 オンライン】「社会経営科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」点が挙げられていた。

図 4 - 1 2 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「社会経営科学」 抜粋

よかった点

- 李教授の温かいお人柄と、誠実で熱心な講義に対する姿勢が、メディア授業からとても伝わって来て「保険法」という殺伐としてしまうような授業も理知的に学習することが出来たと思います。李先生、ほんとうにありがとうございました。
- 知っているようで良く分からなかった分野だったので、新しい知識を得られた。
- 改正後の保険法について理解することができた。改正前については少しか学んだことがあったので、変更点がよくわかった。
- 保険の種類(生保、損保、自動車保険、地震保険他)について学べた、また、保険金の受け取り方の多様性を学べた。
- 保険加入者側の留意点等が理解できた。
- 保険法の基本について学ぶことができた。
- 保険法の概要が理解できた。
- 保険法について、漠然と必要な条文だけを必要に応じて理解していたつもりでしたが、体系的に学ぶことができ、各条文の意味するところがよくわかりました。
- 火災保険について体系的に学ぶことができた。持ち家に住んでいるので台風被害に見舞われるなどした場合には生かしたい。また、職場においても施設管理を含む管理職の立場にあり、大いに役立つ内容であった。
- 保険に関する体系的な知識と、実際の営業現場のことも理解が深まり、非常に優れていると感じた。
- 企業法務に関する仕事をしているが、保険法を通じて「契約法」に対する知見が深まりました。
- 契約法の特別法としての、保険契約についての理解が深まった。
- 保険について興味を持つことができた。自分に、もしもの時もしくは天災などがあった時に保険に入っていれば自分や身内を守ることができると授業を通して学ぶことができた。若いうちから保険に向き合うことができた。日本の保健法の歴史が学べたことは自分のスキルアップにつながったと考えている。素晴らしい授業であった。
- 保険法という、あまりなじみのない法律に触れることができた。直接仕事などに関係するわけではないが、興味深く学習することができた。
- 日常生活にも大変役立つ内容であるため、直接専攻したい内容でないにも関わらず大変興味深く学習出来たと考えている。

改善点

- ナレーターの説明について、早すぎて1度聴いただけでは理解できない部分があった。繰り返し視聴できるので問題はない。
- 法学の基礎知識がなければ厳しいと感じた。
- 保険の事例等をもっと取り入れて頂ければイメージとして理解しやすいかと思われる。
- 法学部出身者から見て講義の難易度は極めて適切でしたが、契約法を履修した者でないといつていくのが非常に難しいように思います。「保険法」科目の位置づけに対する考え次第ですが、当該科目を応用科目として位置付ける場合、一般科目として契約法等の科目が必要と考えます。
- 論点をもう少し、判例、事例が欲しかった。
- 科目というわけではないが、オンライン科目についても冊子のテキストもあると学習しやすい様になる。
- 小テストに関して、趣旨が理解しにくい設例がいくつか見られた。
- 小テストの設問数はもう少しあった方が、内容の理解の確認になるのではないかと思う。

【オンライン大学院】「社会経営科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった	3
体系的に学べた・理解できた	3
興味・関心が持てた	3
新しい知識が身についた	2
基礎的な知識が得られた	2
最新の情報・研究が学べた	1
知識の整理に役立った	1
深く学ぶ(考える)ことができた	1
身近に感じられる内容だった	1
勉強になった	1

オンライン教材	
意見	合計
講師の熱意・熱心さが伝わった	1
複数の講師の講義を聞くことができた	1

【オンライン大学院】「社会経営科学」

改善点

(単位:人)

科目全般	
意見	合計
具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい	2
内容が専門的で難しかった	1
関連する科目・基礎科目を開設してほしい	1

設問解答	
意見	合計
小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない	2

講義ノート・テキスト	
意見	合計
オンラインであっても冊子のテキストが必要	1

オンライン教材	
意見	合計
1講義の収録時間が良くなかった	1
ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)	1
ナレーターは必要ない	1

主な改善点の提案:集約

- 具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい
- 設問解答:小テスト(確認テスト)の難易度・分量・制限時間等が適切ではない
- 内容が専門的で難しかった

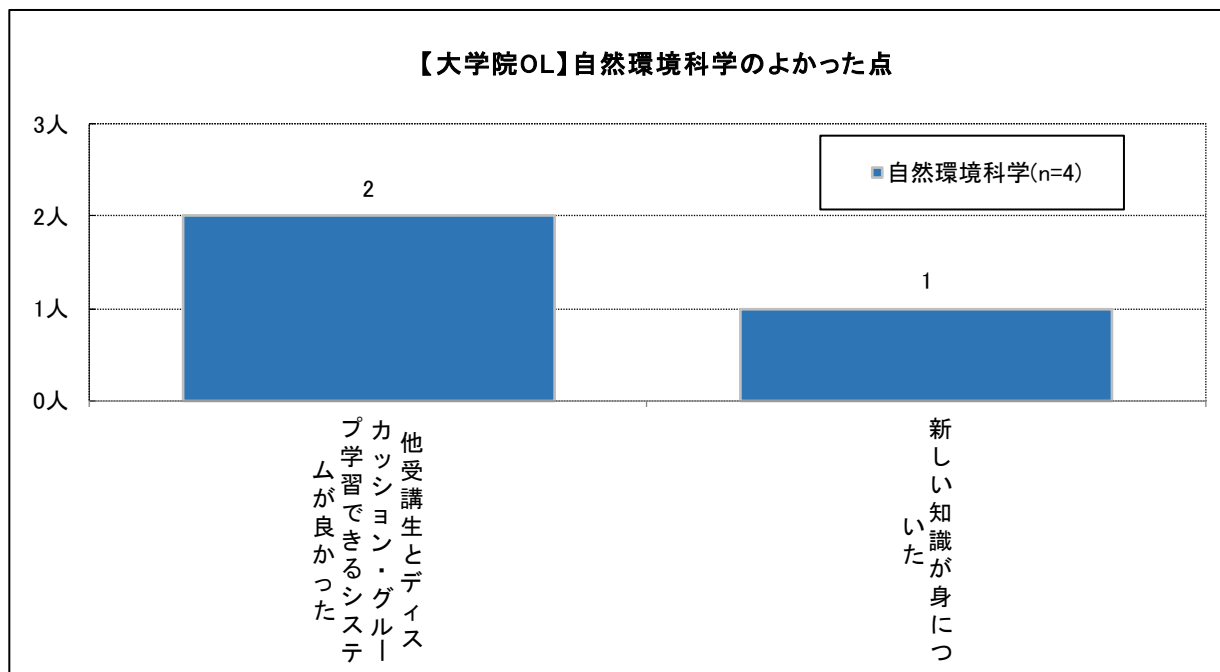
- 関連する科目・基礎科目を開設してほしい
- 講義ノート・テキスト:オンラインであっても冊子のテキストが必要
- オンライン教材:1講義の収録時間が良くなかった
- オンライン教材:ナレーターの説明のテンポが良くない(早い・遅い)

【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

よかった点

よかった点としては、「他受講生とディスカッション・グループ学習できるシステムが良かった科目中、特に理解できて良かったと思う内容があった」「新しい知識が身についた」点が挙げられていた。

図 4-15 【大学院 オンライン】よかった点

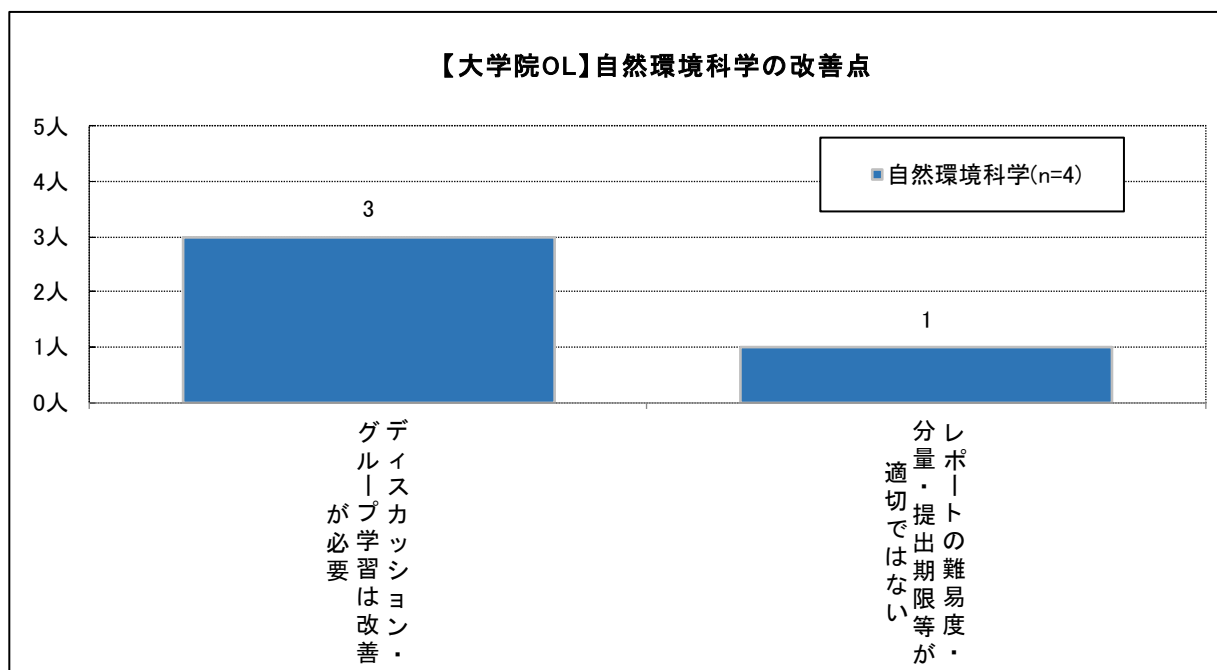


【大学院 オンライン】「自然環境科学」の傾向

改善点

「具体的な事例、実践的な内容を増やしてほしい」「小テスト（確認テスト）の難易度・分量・制限時間等が適切ではない」点が挙げられていた。

図 4 - 1 6 【大学院 オンライン】改善すべき点



【大学院 オンライン】「自然環境科学」 抜粋

よかった点

- 新しい知見を得られた。
- オンラインでありながら、他受講生とのディスカッションができる授業の仕組みを作っておられるのは素晴らしいと思いますし、実践を通した学びが深まりました。
- 受講者で共同作業を行い理解が深められた点。

改善点

- グループ学習に入ってから、各回の課題の締め切りが少しわかりにくいと感じました。次の講義を予習的に見ることで分かることも多々ありましたが、今回は締め切りの課題なのか、次回が締め切りの課題を先取りして言われているのかを、その週の講義またはメールで、もう少し明言していただくと、グループでの作業がしやすいと思いました。
- システムが使いにくいいため、グループ学習のコミュニケーションが十分に取れず実施の難しさを感じました。
- ディスカッションへの参加が今回初めてだったが、能動的に注意していないと参加しそびれる点があるのでシステムや参加方法の改善が欲しい。
- レポートのファイル容量が大きいので、初期設定でご配慮いただけると良い。今回は講師が別の保存領域を作ってください。

【オンライン大学院】「自然環境科学」

よかった点

(単位:人)

科目全般		設問解答	
意見	合計	意見	合計
新しい知識が身についた	1	他受講生とディスカッション・グループ学習できるシステムが良かった	2

【オンライン大学院】「自然環境科学」

改善点

(単位:人)

設問解答	
意見	合計
レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない	1

オンライン教材	
意見	合計
ディスカッション・グループ学習は改善が必要	3

主な改善点の提案:集約

- 設問解答:ディスカッションは改善が必要
- 設問解答:レポートの難易度・分量・提出期限等が適切ではない

付録) 2022年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2022年度学生による授業評価集計結果の概要

1. 調査の概要

- (1) **調査目的** 自己点検・評価の一環として、本学学生の授業に関する理解状況等を把握することにより、本学における教育内容及び方法の改善に資すること
- (2) **調査方法** システムWAKABAを用いたオンライン調査
- (3) **調査対象**

①対象科目

【学部】

	基盤科目	基盤科目 (外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
R4 (2022)	5	2	6	7	12	7	6	3
	看護師 資格取得	夏季 集中科目	計					
R4 (2022)	1	3	52					

【大学院】

	生活健康 科学	人間発達 科学	臨床心理学	社会 経営科学	情報学	人文学	計
R4 (2022)	2	1	1	4	1	2	11

- ②**対象者** 2022年度第1学期履修登録者

- (4) **調査時期** 調査期間： 7月26日～9月30日
調査結果の集計： 10月

2. 集計結果

(1) 回収状況

	標本数 (人)			有効回答数 (人)			回収率		
	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院	全体	学部	大学院
R4 (2022)	34,648	33,595	1,053	8,195	7,783	412	23.7%	23.2%	39.1%

付録) 2022 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(2) 回答者の属性

【学部】

年次	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2020	8.8%	42.0%	7.1%	7.8%	3.5%	2.6%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	71.8%	18.7%	9.5%		
年次	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2021	11.6%	39.2%	8.2%	11.6%	4.3%	6.4%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	81.3%	14.8%	3.9%		
年次	新コース所属全科履修生					
	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報	自然と環境
2022	11.0%	23.8%	8.9%	11.8%	9.0%	6.4%
	旧専攻所属全科履修生	全科履修生(計)	選科履修生	科目履修生		
	0.1%	70.9%	17.7%	11.2%		

年次	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2020	40.9%	59.1%	0.4%	6.5%	11.6%	24.0%	31.7%	18.3%	7.6%
2021	39.2%	60.8%	1.2%	7.7%	8.8%	21.9%	30.8%	21.3%	8.2%
2022	45.0%	55.0%	2.2%	9.2%	11.3%	22.6%	26.4%	18.5%	9.8%

(2) 回答者の属性

【大学院】

年次	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2020	0.9%	9.4%	3.6%	10.3%	-	7.2%	4.0%	0.9%
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	36.3%	54.3%	9.4%					
年次	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2021	3.2%	9.7%	6.3%	1.2%	-	1.5%	10.4%	1.2%
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	33.5%	58.3%	8.3%					
年次	新プログラム所属修士全科生							
	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	文化情報学	情報学	人文学	自然環境科学
2022	4.5%	2.4%	5.4%	7.2%	-	8.1%	3.3%	0.9%
	修士全科生(計)	修士選科生	修士科目生					
	31.9%	59.9%	8.1%					

年次	性別		年齢別					
	男	女	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
2020	66.4%	33.6%	5.4%	11.2%	22.0%	29.1%	23.8%	8.5%
2021	50.7%	49.3%	1.5%	10.4%	15.8%	38.6%	23.8%	10.0%
2022	62.7%	37.3%	4.5%	6.0%	15.4%	29.8%	32.8%	11.4%

※四捨五入の関係から内訳の合計が100%にならない場合がある。

付録) 2022年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(3) 評価結果:各質問項目に対する4段階評価(「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」)の項目に対して、順に4、3、2、1の得点を与え、平均値を算出した。)

【学部】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2020	3.43	3.43	3.43	3.44	3.44	3.45	3.41	3.40	3.43	3.42	3.46	3.36	3.40	3.40	3.41	3.48	3.46	3.51	3.51	3.51	3.52
2021	3.34	3.35	3.34	3.30	3.28	3.33	3.28	3.25	3.33	3.23	3.23	3.22	3.28	3.26	3.31	3.37	3.34	3.42	3.36	3.34	3.41
2022	3.33	3.36	3.27	3.30	3.34	3.20	3.25	3.28	3.18	3.24	3.31	3.03	3.28	3.33	3.16	3.36	3.38	3.31	3.37	3.40	3.29

【学部】

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	基盤科目	基盤科目(外国語)	生活と福祉	心理と教育	社会と産業	人間と文化	情報
2020	3.52(3.89~2.94)	3.52	3.51	-	3.44	3.56	3.54	3.54	3.48	3.32
2021	3.35(3.69~2.66)	3.31	3.42	3.38	3.33	3.49	3.27	3.48	3.28	3.52
2022	3.37(3.73~2.33)	3.40	3.28	3.52	3.25	3.32	3.48	3.29	3.27	3.31

※()内の値は「最高値~最低値」

	コース・科目区分別		
	自然と環境	看護師資格取得	夏季集中科目
2020	3.35	3.36	3.38
2021	3.35	-	-
2022	3.02	3.35	3.49

←※2020年度は「夏季集中科目(司書)」

	性別		年齢別						
	男	女	19歳以下	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2020	3.50	3.53	3.35	3.53	3.54	3.52	3.54	3.46	3.50
2021	3.34	3.36	3.25	3.47	3.31	3.33	3.37	3.34	3.34
2022	3.34	3.40	3.52	3.45	3.35	3.41	3.40	3.30	3.26

(3) 評価結果(4段階評価における評点平均)

【大学院】

①項目別評価

	取組姿勢			授業評価全体			難易度・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価		
	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R	全体	TV	R
2020	3.38	-	3.38	3.38	-	3.38	3.37	-	3.37	3.37	-	3.37	3.29	-	3.29	3.34	-	3.34	3.47	-	3.47
2021	3.43	3.45	3.42	3.40	3.51	3.36	3.45	3.56	3.42	3.19	3.43	3.10	3.42	3.48	3.40	3.43	3.51	3.40	3.51	3.56	3.48
2022	3.43	3.34	3.46	3.43	3.53	3.40	3.47	3.56	3.45	3.34	3.53	3.29	3.41	3.52	3.38	3.43	3.51	3.41	3.50	3.64	3.47

【学部】

②【B-21】満足度「この科目の内容には全体として満足している」の専攻科目別等の評価

	全体	メディア別		コース・科目区分別						
	全対象科目	TV	R	生活健康科学	人間発達科学	臨床心理学	社会経営科学	情報学	人文学	自然環境科学
2020	3.47(3.69~2.57)	-	3.47	-	3.69	3.66	3.56	2.87	3.29	-
2021	3.52(3.85~2.84)	3.62	3.48	3.49	3.48	3.43	-	-	3.69	3.29
2022	3.52(3.73~2.90)	3.71	3.47	3.67	3.38	3.71	3.31	3.71	3.48	-

※()内の値は「最高値~最低値」

	性別		年齢別					
	男	女	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
2020	3.39	3.63	3.75	3.60	3.43	3.38	3.47	3.53
2021	3.55	3.49	3.67	3.49	3.57	3.42	3.61	3.61
2022	3.49	3.56	3.80	3.55	3.67	3.51	3.43	3.47

付録) 2022年度学生による授業評価集計結果の概要等について

2022年度学生による授業評価の調査結果一覧【2022年度新規開設科目】(単純集計1 平均評点) コース・科目区分別、プログラム別

所属	科目名	調査対象者数	回収状況 回答者数 回収率	取組み姿勢			購読・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価			授業にか かる評価 (B1)の平均	全体 (A1- B2)の平均														
				A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	B-13	B-14	B-15			B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	B-21	B-22							
				項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均			項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均						
	全科目平均	33,837	6,275(18.5%)	3,40	3,23	3,36	3,33	3,21	3,29	3,22	3,29	3,25	3,31	3,33	3,22	3,22	3,10	3,24	3,36	3,25	3,36	3,34	3,40	3,53	3,22	3,37	3,37	3,30	3,30								
	科目最高値			3,71	3,55	3,68	3,65	3,63	3,64	3,60	3,60	3,62	3,68	3,65	3,65	3,63	3,57	3,64	3,65	3,56	3,78	3,67	3,72	3,76	3,68	3,73	3,72	3,72	3,65	3,65							
	科目最低値			3,06	2,74	2,93	2,91	1,88	2,50	1,88	2,52	2,20	2,00	2,13	2,35	2,04	1,88	2,08	2,67	1,83	2,13	2,21	2,21	2,50	2,57	2,88	2,55	2,33	2,52	2,30	2,37						
	ナレ七科目(TV)平均	24,147	4,652(19.3%)	3,42	3,27	3,38	3,36	3,24	3,31	3,25	3,31	3,28	3,34	3,37	3,30	3,34	3,20	3,31	3,35	3,28	3,33	3,37	3,44	3,33	3,37	3,42	3,56	3,26	3,40	3,34	3,34						
	ラジオ科目(R)平均	9,690	1,623(16.7%)	3,35	3,13	3,32	3,27	3,11	3,22	3,15	3,23	3,18	3,22	3,22	3,00	2,90	2,92	3,03	3,36	3,16	2,93	3,20	3,16	3,29	3,37	3,26	3,31	3,26	3,33	3,46	3,11	3,28	3,29	3,18	3,20		
	「基礎科目(一般科目)」全体	5,457	1,178(21.6%)	3,44	3,33	3,36	3,38	3,35	3,42	3,31	3,40	3,37	3,45	3,48	3,40	3,42	3,33	3,42	3,42	3,35	3,40	3,42	3,40	3,43	3,51	3,44	3,46	3,40	3,49	3,62	3,34	3,52	3,47	3,42	3,42		
	「基礎科目(外国語)」全体	1,444	345(23.9%)	3,26	3,12	3,14	3,17	2,94	3,09	3,01	3,10	3,04	3,35	3,32	3,14	3,13	3,27	3,24	3,50	3,12	2,77	3,19	3,15	3,28	3,33	3,12	3,24	3,14	3,40	3,47	2,98	3,25	3,25	3,19	3,18	3,18	
	「生活と福祉」全体	6,789	1,154(17.0%)	3,39	3,16	3,36	3,30	3,18	3,22	3,19	3,24	3,21	3,26	3,30	3,23	3,27	3,05	3,22	3,23	3,22	3,27	3,29	3,25	3,36	3,43	3,29	3,36	3,38	3,37	3,50	3,23	3,32	3,36	3,28	3,28	3,28	
	「心理と教育」全体	6,447	1,070(16.5%)	3,49	3,28	3,46	3,41	3,30	3,36	3,31	3,38	3,34	3,43	3,42	3,29	3,30	3,16	3,32	3,50	3,37	3,39	3,40	3,42	3,51	3,59	3,48	3,53	3,47	3,49	3,62	3,34	3,48	3,48	3,41	3,41	3,41	
	「社会と産業」全体	3,900	708(18.2%)	3,35	3,18	3,38	3,30	3,17	3,24	3,20	3,24	3,21	3,19	3,20	2,97	2,84	2,69	2,98	3,37	3,19	2,88	3,20	3,16	3,15	3,26	3,26	3,22	3,29	3,29	3,45	3,15	3,29	3,29	3,17	3,18	3,18	
	「人間と文化」全体	2,954	661(22.4%)	3,36	3,29	3,32	3,32	3,21	3,33	3,21	3,30	3,26	3,20	3,24	3,18	3,14	2,95	3,14	3,30	3,15	3,11	3,21	3,19	3,32	3,35	3,16	3,28	3,21	3,36	3,49	3,11	3,27	3,29	3,23	3,24	3,24	
	「情報」全体	2,312	450(19.5%)	3,29	3,11	3,27	3,22	3,22	3,30	3,27	3,32	3,28	3,27	3,29	3,25	3,28	3,19	3,26	3,22	3,24	3,25	3,24	3,25	3,32	3,18	3,25	3,18	3,25	3,23	3,35	3,46	3,24	3,31	3,32	3,27	3,27	3,27
	「自然と環境」全体	1,325	262(19.8%)	3,26	3,07	3,11	3,15	2,75	2,98	2,74	2,98	2,86	2,98	3,03	2,97	2,96	2,92	2,97	3,13	2,84	2,97	2,99	2,98	3,11	3,14	3,01	3,09	3,04	3,15	3,24	2,69	3,02	3,03	2,98	3,00	3,00	3,00
	「看護資格取得」全体	1,008	105(10.4%)	3,49	3,48	3,48	3,29	3,18	3,10	3,22	3,22	3,18	3,18	3,14	3,02	3,10	3,02	3,09	3,18	3,29	3,27	3,20	3,24	3,35	3,40	3,33	3,36	3,41	3,36	3,47	3,30	3,35	3,38	3,24	3,25	3,25	3,25
	「夏季集中科目」全体	2,180	342(15.7%)	3,65	3,48	3,66	3,60	3,29	3,34	3,30	3,37	3,33	3,41	3,42	3,37	3,39	3,30	3,38	3,43	3,40	3,46	3,46	3,44	3,42	3,48	3,39	3,43	3,48	3,49	3,73	3,38	3,49	3,51	3,42	3,42	3,42	

所属	科目名	調査対象者数	回収状況 回答者数 回収率	取組み姿勢			購読・分量			放送授業			印刷教材			通信指導・単位認定試験			全体評価			授業にか かる評価 (B1)の平均	全体 (A1- B2)の平均														
				A-1	A-2	A-3	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	B-6	B-7	B-8	B-9	B-10	B-11	B-12	B-13	B-14	B-15			B-16	B-17	B-18	B-19	B-20	B-21	B-22							
				項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均			項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均	項目 平均					
	全科目平均	1,053	332(31.5%)	3,50	3,36	3,44	3,43	3,45	3,50	3,45	3,47	3,47	3,46	3,48	3,26	3,19	3,31	3,34	3,43	3,44	3,27	3,48	3,41	3,42	3,48	3,38	3,43	3,45	3,58	3,61	3,35	3,52	3,50	3,43	3,43	3,43	
	科目最高値			3,72	3,65	3,72	3,70	3,65	3,71	3,63	3,58	3,64	3,70	3,75	3,46	3,61	3,61	3,63	3,62	3,74	3,61	3,68	3,66	3,63	3,70	3,58	3,64	3,66	3,72	3,75	3,61	3,73	3,69	3,65	3,65	3,66	3,66
	科目最低値			3,13	3,07	3,06	3,09	3,05	3,25	2,80	3,25	3,09	3,00	3,15	3,10	2,30	2,75	2,86	3,31	2,75	2,55	3,15	2,94	2,90	2,85	2,91	2,89	3,00	3,30	3,35	2,60	2,90	3,03	2,96	2,98	2,98	
	ナレ七科目(TV)平均	250	66(26.4%)	3,42	3,23	3,38	3,34	3,55	3,50	3,62	3,50	3,56	3,52	3,53	3,44	3,59	3,56	3,53	3,35	3,56	3,58	3,58	3,52	3,58	3,55	3,39	3,51	3,55	3,68	3,70	3,55	3,71	3,64	3,55	3,53	3,53	3,53
	ラジオ科目(R)平均	800	266(33.1%)	3,52	3,39	3,46	3,46	3,42	3,49	3,41	3,46	3,45	3,45	3,47	3,47	3,21	3,09	3,25	3,29	3,45	3,41	3,19	3,46	3,38	3,47	3,37	3,41	3,43	3,55	3,58	3,30	3,47	3,47	3,40	3,40	3,40	3,40
	「生活健康科学」全体	220	76(34.5%)	3,54	3,45	3,39	3,46	3,62	3,64	3,55	3,54	3,59	3,70	3,71	3,37	3,41	3,49	3,54	3,55	3,56	3,41	3,64	3,54	3,59	3,64	3,47	3,57	3,58	3,66	3,67	3,48	3,67	3,60	3,57	3,57	3,55	3,55
	「人間発達科学」全体	80	26(31.0%)	3,65	3,50	3,62	3,59	3,60	3,50	3,64	3,58	3,63	3,35	3,42	3,19	3,00	3,15	3,22	3,35	3,50	3,27	3,42	3,39	3,46	3,62	3,58	3,55	3,46	3,54	3,50	3,20	3,38	3,42	3,41	3,43	3,43	3,43
	「臨床心理学」全体	158	38(24.1%)	3,47	3,18	3,50	3,38	3,47	3,39	3,63	3,55	3,51	3,58	3,58	3,42	3,61	3,55	3,55	3,34	3,74	3,61	3,68	3,59	3,61	3,61	3,47	3,56	3,66	3,71	3,71	3,61	3,71	3,68	3,58	3,58	3,56	3,56
	「社会健康科学」全体	255	84(32.9%)	3,45	3,23	3,43	3,37	3,26	3,36	3,24	3,36	3,31	3,25	3,29	3,14	2,77	2,92	3,07	3,39	3,24	3,11	3,30	3,28	3,20	3,29	3,36	3,28	3,31	3,44	3,48	3,10	3,31	3,35	3,25	3,25	3,27	3,27
	「人文学」全体	244	80(32.8%)	3,53	3,46	3,50	3,50	3,39	3,48	3,43	3,45	3,44	3,46	3,44	3,15	3,16	3,41	3,32	3,46	3,43	3,05	3,38	3,33	3,34	3,45	3,23	3,34	3,40	3,56	3,64	3,30	3,48	3,48	3,39	3,40	3,40	
	「情報学」全体	92	28(30.4%)	3,36	3,29	3,21	3,29	3,64	3,71	3,61	3,50	3,62	3,43	3,46	3,46	3,57	3,57	3,50	3,36	3,32	3,54	3,43	3,41	3,54	3,46	3,29	3,43	3,39	3,64	3,68	3,46	3,71	3,58	3,51	3,48	3,48	

(注) 平均評点は、開講票の選択票「あてはまる：4点」「ややあてはまる：3点」「あまりあてはまらない：2点」「あてはまらない：1点」として算出した。

2022年度学生による授業評価調査票 (学部)

次の科目についてお答えください。

科目名	
科目コード	

- I. この授業科目を学習して、あなたはどのような印象や感想をお持ちになりましたか。次の①～④及び(1)～(21)の項目について、あてはまる程度を4段階で評価し、4～1の番号にそれぞれ1つだけ○を付けてください。(この面が済みましたら、裏面にもお答えください。)

(注) 通信指導を提出していない方、単位認定試験を受験していない方についても、回答できる範囲でお答えください。

あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
-------	---------	------------	---------

A. 授業評価をしていただく前に、あなたの授業への取組みについてお尋ねします。

①	全体として、この科目の学習に熱心に取り組んだ。	4	3	2	1
②	放送授業を十分に視聴した。	4	3	2	1
③	印刷教材を熱心に学習した。	4	3	2	1
④	単位認定のための学習方法について、次の1～3のいずれか一つを選んでください。 1. ほとんど放送教材の学習だけで臨んだ。 2. ほとんど印刷教材の学習だけで臨んだ。 3. 放送教材と印刷教材の両方の学習で臨んだ。				

B. 以下のアンケートにお答えください。

<授業の難易度・分量>					
(1)	放送授業の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(2)	放送授業の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
(3)	印刷教材の難易度は適切だった。	4	3	2	1
(4)	印刷教材の内容は適切な分量であった。	4	3	2	1
<放送授業>					
(5)	講師の説明はポイントをおさえ、分かりやすかった。	4	3	2	1
(6)	放送授業は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
(7)	(テレビ科目についてのみお答えください) テレビの特性が十分に生かされていると感じた。	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) 映像がなくても十分理解できる内容だと感じた。				
(8)	(テレビ科目についてのみお答えください) ロケ映像や資料映像によって、理解が深まった	4	3	2	1
	(ラジオ科目についてのみお答えください) ロケ音声や資料音声によって、理解が深まった				
(9)	ゲストや聞き手によって、理解が深まった	4	3	2	1
<印刷教材>					
(10)	印刷教材と放送教材との内容的な関連性は適切だった。	4	3	2	1
(11)	印刷教材の内容は明確で説明も分かりやすかった。	4	3	2	1
(12)	図表や写真などが適切に用いられ、内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(13)	印刷教材は教材としてよくできていると感じた。	4	3	2	1
<通信指導・単位認定試験>					
(14)	通信指導のコメントは、納得のいくものだった。	4	3	2	1
(15)	通信指導は学習内容の理解に役立った。	4	3	2	1
(16)	単位認定試験の問題は、科目内容の理解度ををはかるのにふさわしい内容だった。	4	3	2	1
<全体評価>					

付録) 2022 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

(17)	授業科目案内はこの科目の内容を知る上で役に立った。	4	3	2	1
(18)	学習意欲や興味・関心が高まる授業内容だった。	4	3	2	1
(19)	新しい知識が身につく視野が広がった。	4	3	2	1
(20)	この科目の内容を全体としてよく理解できた。	4	3	2	1
(21)	この科目の内容には全体として満足している。	4	3	2	1

裏面に続きます。

II. 次の点について、ご自由にお書きください。

- (1) この科目を受講してよかったと思う点をお書きください。

- (2) この科目を受講して、放送授業をさらによくするために改善すべきだと感じた点（例：ロケ、ゲスト、図表等の画像、演出の工夫等）をお書きください。

- (3) この科目を受講して、その他のことで改善すべきだと感じた点をお書きください。

- (4) この科目に限らず、本学の教育内容や教育方法等についてご意見やご感想があれば、どんなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

III. この科目の通信指導と単位認定試験についてお答えください。（あてはまる番号に○を付けてください。）

1. 通信指導を提出し、単位認定試験を受験した。
2. 通信指導を提出したが、単位認定試験は受験しなかった。
3. 通信指導を提出しなかった。

付録) 2022 年度学生による授業評価集計結果の概要等について

IV. あなたご自身についてお答えください。(あてはまる番号にそれぞれ○を付けてください。)

(1) 学生種別	<p>〔全科履修生 新コース所属の方〕</p> <p>1. 生活と福祉 2. 心理と教育 3. 社会と産業 4. 人間と文化 5. 情報 6. 自然と環境</p> <p>〔全科履修生 旧専攻所属の方〕</p> <p>7. 生活と福祉 8. 発達と教育 9. 社会と経済 10. 産業と技術 11. 人間の探究 12. 自然の理解</p> <p>〔選科履修生・科目履修生〕</p> <p>13. 選科履修生 14. 科目履修生</p>
(2) 性別	1. 男性 2. 女性
(3) 年齢	1. 19歳以下 2. 20～29歳 3. 30～39歳 4. 40～49歳 5. 50～59歳 6. 60～69歳 7. 70歳以上
(4) 職業	1. 公務員等 2. 教員 3. 会社員 4. 個人営業・自営業 5. 農業等 6. 看護師等 7. 家事専業 8. パート・アルバイト 9. 他大学等の学生 10. 無職 11. その他 ()

どうもありがとうございました。

授業評価の組織的な活用

